

Kカードレスアップエンタメマガジン

KCAR

Kカーズスペシャル

SPECIAL

2016年1月号(毎月26日発売) 11月26日発売
第23巻第1号(通巻275号)

2016
January
Vol.275

1

ドレスアップシーンを牽引する

見るべき

今年の30台

KSP OF THE YEAR 2015

軽ONE STARS

ベース車博物館

NEW AERO COLLECTION

ドレスアップdeしゃべりまSHOW

DIYビギナーズ

むずかしい知識は必要なし

LEDを光らせちゃおう

LIVE! 660 OWNERS

オフ会だよ! 軽トラ大集合&
第2回トラック野郎ミーティング(群馬県)

第30回北陸加賀百万石杯(富山県)

第49回D・S・U杯(滋賀県)

好評連載中 ドレスアップ実践教室

走って遊べるお洒落スタイル

リフトアップ仕様の作り方

スタイルワゴン&Kカーズスペシャルフェスタ

S.K.F.のすべて

富士スピードウェイに全国から大集合







夫婦で楽しむエブリイライフ



話題のキャンピング仕様にも注目



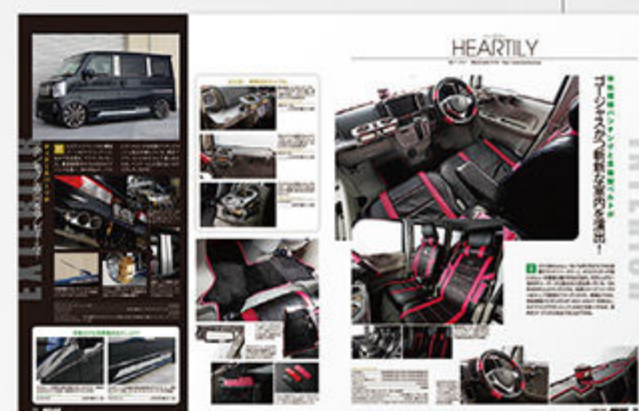
新型DA17を中心にDA64まで完全収録

好評
発売中

お仕事グルマの代名詞である
エブリイが、こんなに快適に
そしてこんなにカッコ良く



エブリイの魅力を総力取材



エクステリア&インテリアメイク攻略術



だから大好き!DIY講座



THE EVERY NEWS



エブリイ&スクラム全国オフEAST



足まわりリアルマッチング検証

エブリイを丸ごと楽しむための1冊

今年2月から発売が始まった新型エブリイ。通算12代目、9年半ぶりのモデルチェンジとなり、関係者の間ではその燃費の良さ、積載性の高さで最新にして最強との声も高いという。その新型DA17型エブリイの魅力をあますことなく紹介したエブリイのドレスアップガイドが発売された。今回で第6弾となり、その内容もより充実。外装や内装の新作アイテムの紹介はもちろん、最近人気を集めているアゲ系の作り方やキャンピング仕様の楽しみ方もしっかりチェック。さらにホイールの履きこなし方やDIY講座、全国オフの模様など内容盛りだくさんでお届けします。今、エブリイに乗っている人も、これから乗りたいと思っている人も、エブリイカスタムの参考書としてぜひお役立てください。

注目のアゲ系エブリイの
魅力と作り方を大紹介





CONTENTS

ドレスアップシーンを牽引する



見るべき

今年の30台

KSP OF THE YEAR 2015 19



富士スピードウェイに全国から大集合

S.K.F.のすべて

..... 71

FSWに1000台を超すカスタムカーが集合!! **カスタムジャパン2015詳報** 122

KSP Goods Navi

生地 ステッチ パイピング

色が選べる

シートカバーカタログ

..... 109



The Masterpiece.

HE21S ラパン

▶ 長井真清さん(岐阜県) 127



■本誌に掲載した商品の価格・仕様・発売元等は編集部調べです(2015年10月現在)。■商品の価格は消費税抜きの本体価格と消費税込みの総額表記が混在しております。また、2014年4月1日から消費税率が変更になりましたが、税率5%、8%での総額表記が混在している場合もあります。恐れ入りますが、商品を購入される場合は、メーカー、ショップで必ず価格、仕様、返品方法等についてご確認の上、お買い求めください。■購入後のトラブルについて、出版元、編集部は一切関知しません。また責任も負いかねますのでご了承ください。

大好評車種別企画

オフ会に潜入!!

はっするハスラー 154

人気連載

プロのアドバイスで脱・初心者を目指す

ドレスアップ実践教室 57

Kカーベース車博物館 63

ドレスアップお悩み相談室

何でもアンサー! 66

K-BREAK 大林さんがパーツメーカーの社長に突撃インタビュー

ドレスアップ de しゃべりまSHOW 96

LEDを光らせちゃおう

DIYビギナーズ 135

KSP RECOMMEND

大人気メッシュホイールにクエルボが参入!

フレイダーマウス・クエルボ40 92

8インチが2モデルから選べるカロツツェリアのカーナビ

カロツツェリア・サイバーナビ & 楽ナビ 114

キメ手は全体のカラーコーデ!

第二回マイカードレスアップフォトコンテスト2015 106

群馬県内2店舗目!!

タイヤ&ホイール館フジ スペシャルブランド伊勢崎南店 133

Kカーズスペシャル賞は祐奈さんのタントカスタムに決定!!!

D.A.Dオーナーズミーティング 158

最新モデルが特別価格!

NEW'S Tire & Wheels 1周年記念大商談会!! 165

新作モノコレ

ブリッツ・ニールスペックオーバル Ti 91

NEW AERO COLLECTION

ハイスティール/MR31S ハスラー 142

バブリー/DA17V エブリイ 143

K-02/DA17W エブリイワゴン 144

慶番/DA17V エブリイ 145

ノベルプレミアム/DA16T キャリイ 146

ノベルプレミアム/MH44S ワゴンR スティングレー 147

HOT WHEELS

ララパーM KC-02/マルゼンカラー 160

シーエルエスホイールス/TC01 161

パサージュ/デュオ 162

ララパーM/MD-10 163

情報満載

イベントカレンダー 69

超SCOOP! 153

NEW PARTS INFORMATION 178

LIVE! 660OWNERS

第49回D・S・U杯/第12回東西王座決勝(K-CAR) 166

第30回記念チャリティー北陸加賀百万石杯 170

オフ会だよ!軽トラ大集合&第2回軽トラック野郎ミーティング.. 174

主役はキミだ!!

珠玉のドレスアップカーを見よ!

軽ONE STARS!!! 100

読者みんなの投稿企画

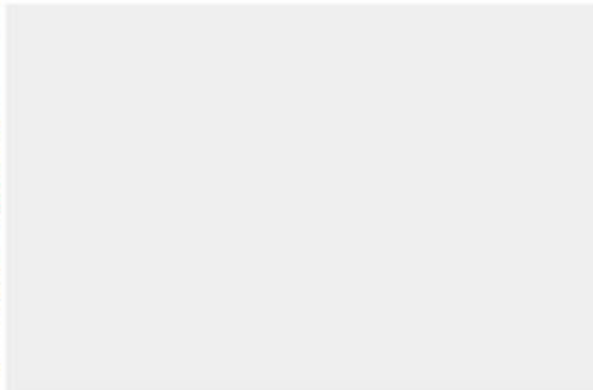
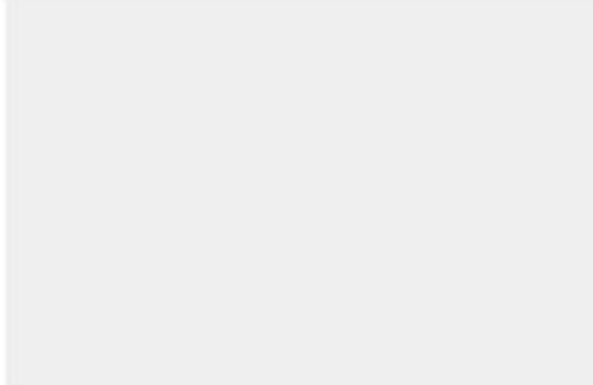
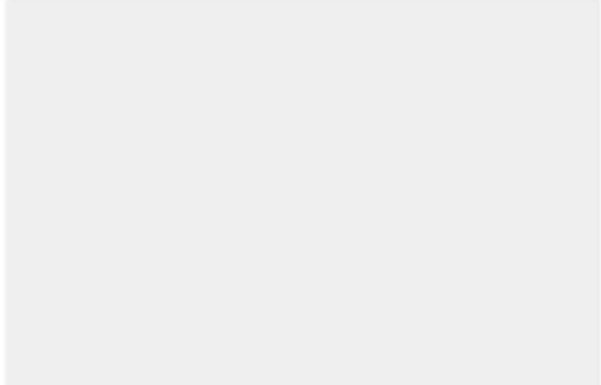
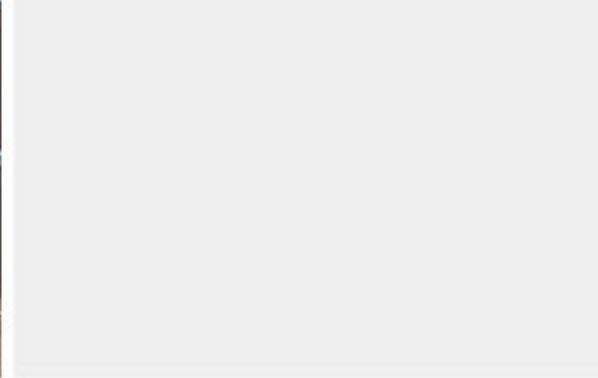
オーナーズサロン 119

編集後記 126

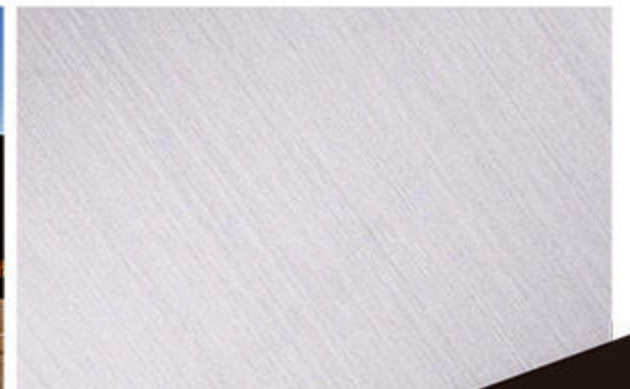
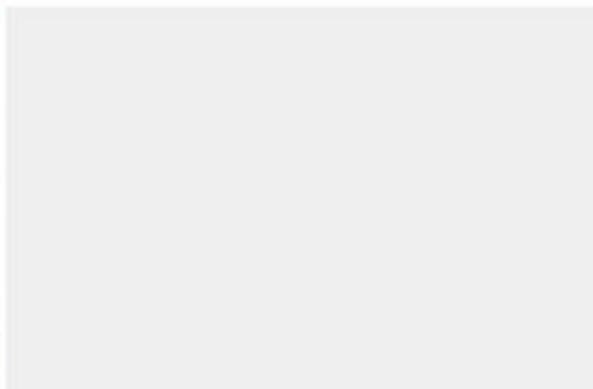
いいね!をよろしく♪

フェイスブック絶賛更新中!!

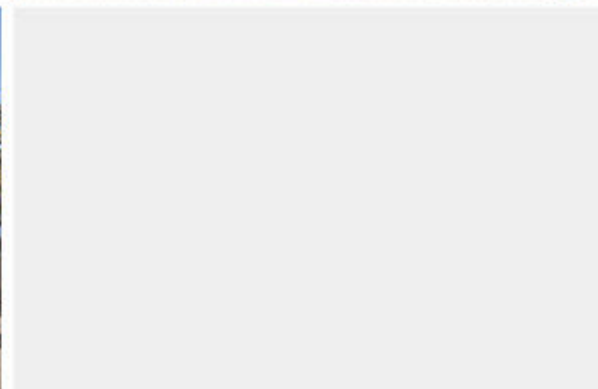
<https://www.facebook.com/kcarspecial>

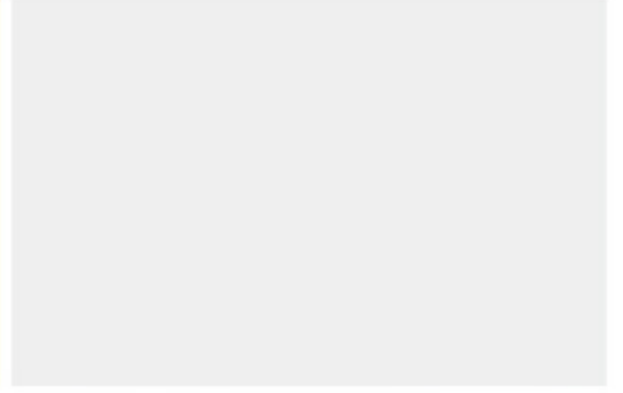
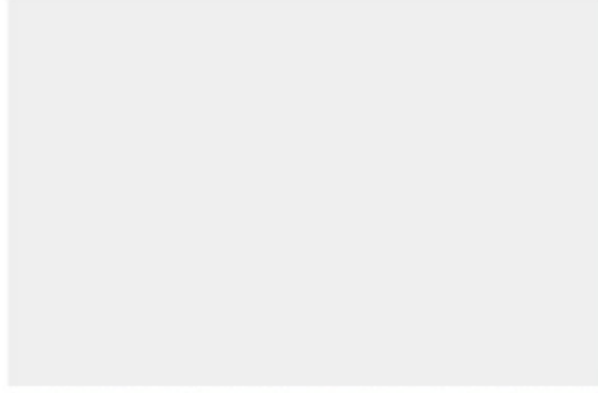


KSP OF THE YEAR 2015

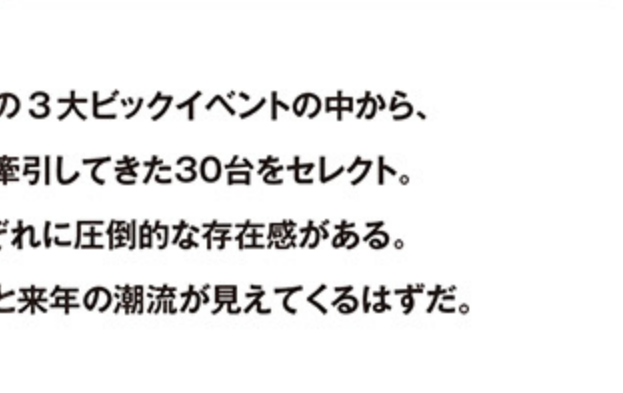
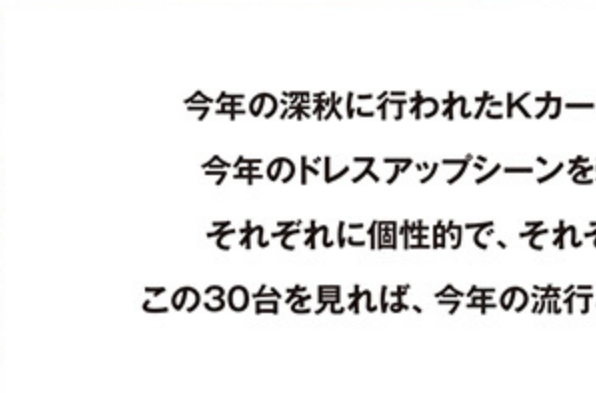
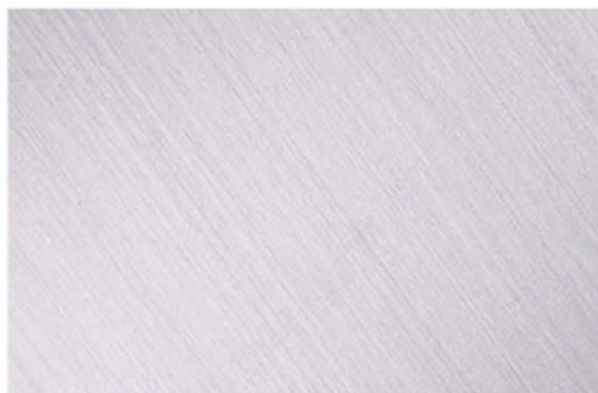
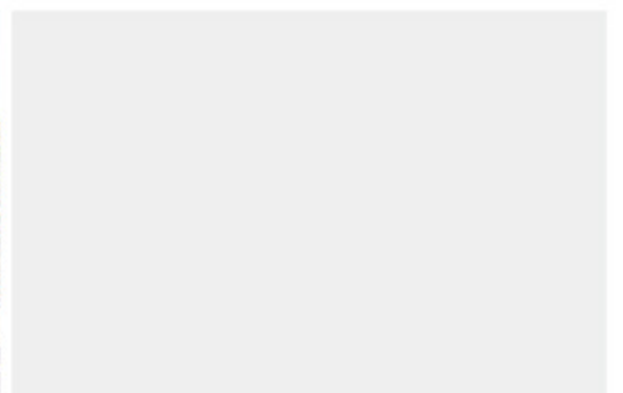
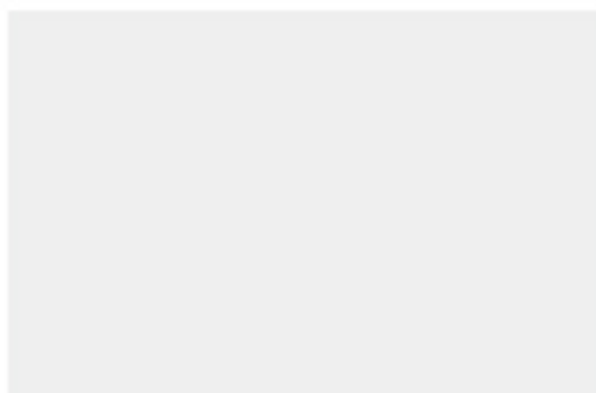


総台数500台以上から編集部がピックアップ

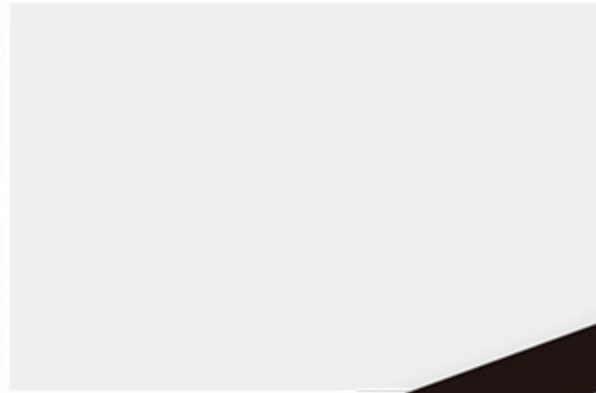
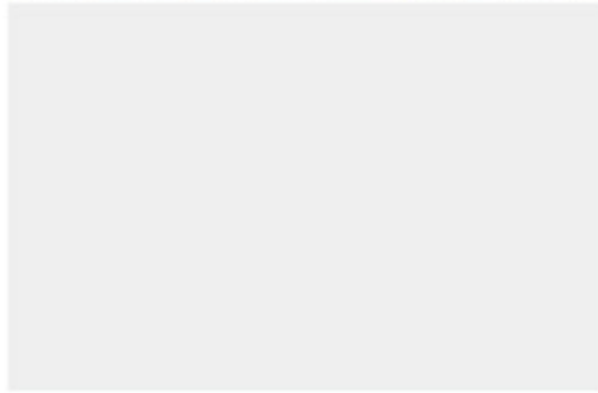
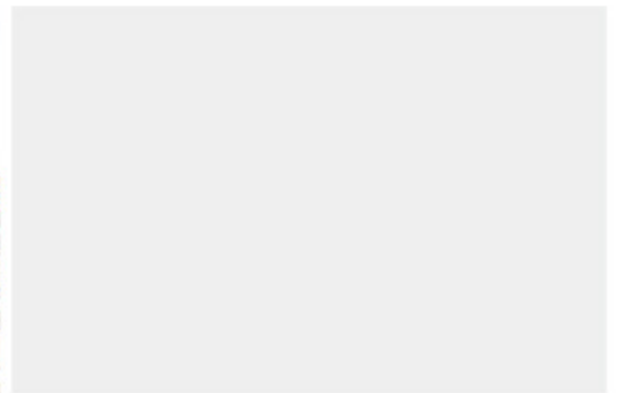
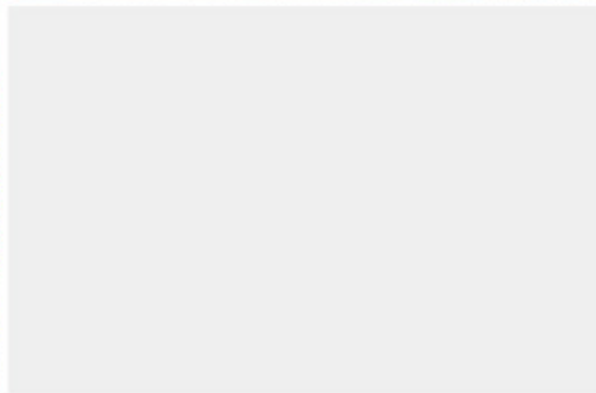




今年の30台



今年の深秋に行われたKカーの3大ビッグイベントの中から、
今年のドレスアップシーンを牽引してきた30台をセレクト。
それぞれに個性的で、それぞれに圧倒的な存在感がある。
この30台を見れば、今年の流行と来年の潮流が見えてくるはずだ。





01
PICK UP
Kear special
Car of The Year
見るべき
POINT
チューナーズを意識したワンオフエアロに立体感の強いライン。さらに大きくワイド化したフェンダーが噛み合っ“他にはない”スタイルを実現。



天井はワインレッドに中央だけダイヤのライン。「内装全体がほぼ一色ですが、キルティングで変化を出している部分を見て欲しいです」。



「何回も作り替えてきた」というトランクオーディオ。「今回は鳴らしたかったので、ロックフォードのP1ウーファーで音を重視しました」。

内装の中で最大の自慢はなんと言っても「左ハンドル」という点。さらにフル張り替えを施して高級感溢れるインテリアを作り上げている。



小さめヘッドライトとフェンダーラインの競演

MHワゴンRの縦に大きなヘッドライトを大胆なエアロワークでシャープに変更。そこに立体的なラインを入れて流れを生み出している。



フェンダーはF6〜7センチ、R約10センチのワイド化。「以前よりもさらに大きくしています。クルマを大きく見せたかったんです」。

リョーコックさん



まるでショーカーを思わせる圧倒的な存在感。「元々はスポーツチューナーズを意識していた」が、そこにスーパーカーのテイストを加えてこのスタイルを作り上げている。注目はなんといってもボディに入れた流れるようなライン。グリルの根元からフロントドアへと一本、さらにボディサイドを貫いてリアフェンダーに一本。これがAZワゴンの疾走感を強く高めるとともに、たつぷりと張り出したプリスターオーバーフェンダーをより引き立たせる効果も担う。

もうひとつの見所はヘッドライト。バンパーをグリル一体型にする際、上に大きく立ち上げてウインカー&ポジション灯部分全体を被せるように造形した。「ヘッドライトもカッコいい新型車に負けてられないですからね。BMW風にライトを小さく、パッドフェイスを被せたら「来たな!!」って思っただけです」。

スーパーカーを意識した
唯一無二の三次元フォルム



MJ22S AZ ワゴン 平成21年式

AZ WAGON

specification

WHEEL●ワーク・マイスター M1R(17×F8.5J+6、R9.5J+6)
TIRE●ナンカン (F185/35-17、R205/35-17)
AERO PARTS●F/S/R=ワンオフ
EXTERIOR●ボンネット&フェンダー&リアゲート&ヘッドライト&テールレンズ=ワンオフ
INTERIOR●ステアリング=左ハンドル化、シート=ワンオフ、インパネ=部貼り替え
SUSPENSION●エアサス=トウルー、リアアクスル=バルテック
BRAKE●トウルー
MUFFLER●ワンオフ
AUDIO●ヘッドユニット=ケンウッド、アンプ=ロックフォード&アルパイン、ウーファー&スピーカー=ロックフォード
MAKING SHOP●トウルー

かわいらしいムーヴラテを 大胆不敵なUSスタイルに



ホイールはスタンス・アンコール。旬のコンケイブデザインゆえ、326パワールのロングナットがより際立つ。ブレーキはイデアルを選択。



前後8Jサイズに165タイヤを思いっきり引っ張らせ、驚異のアウトリップを披露。アヒル商会の独立アクスルを装着して、このツラを維持したまま爆走!

02
PICK UP
Kcar special
Car of The Year
2015



愛知県
小島雅之さん



エンジンルームの一部分を、エメラルドグリーンの缶スプレーで自家塗装。プロローフパネルやむき出しのエアクリもセットした。



開口部にジャストフィットなインタークーラーは、トラスのレグナム用コアを流用。バイピングは現車に合わせて作り直している。

見るべき
POINT

純正バンパーをカットし、バックパネルをおもむろに見せてスバルタンに演出したリアバンパーレス風ルック。個性的なマフラーも要チェック。

走りに振ったドレスアップの延長で、チューニングにもハマってしまったというオーナーの小島さん。「次は内装をイジりたいです」。

L550S ムーヴラテ 平成20年式

MOVE LATTE

specification

WHEEL ●スタンス・アンコール (15×8J+25)

TIRE ●ハンコック (165/45-15)

AERO PARTS ●F=ステージ21・セブリップライナー

INTERIOR ●インパネ=ワンオフ

SUSPENSION ●車高調=RS-R加工、リアアクスル=アヒル商会

BRAKE ●イデアル

MUFFLER ●ワンオフ

AUDIO ●ヘッドユニット=パナソニック、ウーファー&スピーカー=アルパイン



非常にアグレッシブな
唯一無二のリアメイク



バックパネルは黒で塗装して引き締め、ステーで吊り下げたカナードは上部を鮮やかなエメラルドグリーンで塗って存在感を際立たせた。

USカスタムが大好きな小島さんは、海外のトレンドをじっくり研究してムーヴラテを自分好みに料理した。ステッカーボムやルーフィアリア&フェアリングなど、海外で人気のワザを抜かりなく取り入れている。

今回の仕様の注目ポイントは、超過激なリアまわり。ロケットバン二でおなじみのTRA京都が提案して、ただ今海外で大ブレイク中のリアバンパーレススタイルに挑戦した。とは言っても、全部外すと見栄えが悪いため、純正バンパーを一部残してスパッとカットしている。その下から飛び出したワンオフマフラーは、パイプの取りまわしをひと工夫し、ぽっかり空いたすき間を埋めるかのように作り込んだ。このマフラーで、クールかつヤンチャなテイストをゲット。その下に3Dデザインのカナードを装着することで、キビキビと走りそうな印象をもたらした。

L175Sムーヴカスタム 平成18年式

MOVE CUSTOM

specification

WHEEL●バランディデザイン・イレブン(16×F7.5+9J、R7.5J-4)
TIRE●ヨコハマ(165/40-16)
AERO PARTS●F=ブローデザイン・モードバルファムファントムバージョン加工、
S=ブローデザイン・モードバルファムファントム雅夢、R=純正加工
EXTERIOR●フェンダー=ワンオフ、ヘッドライト=L175Sカジュアル用
INTERIOR●ステアリング=アルテア、シートカバー=ベレッツァ
SUSPENSION●エアサス=イデアル、リアアクスル=バルテック
BRAKE●F=イデアル、R=ガレージB
MUFFLER●ワンオフ
MAKING SHOP●ディーワークス



「武骨なゴツゴツ感がスポーティな雰囲気にピッタリ」と選んだバランディデザインのホイール。ブレーキキャリパーはゴールド×表面切削。

スポーティ感抜群の鍛造ホイール
ブレーキキットは前後に装着

キャリパーブレーキはフロントがイデアル、リアがガレージBのムーヴ用キット。「今後オーディオをやることも考えて走り強化したんです」。



フロントの出幅は4センチ、リアは6センチ。「エッジの効いたエアロやホイールに合わせて」フェンダーはクッキリとしたラインで作り込み。



前置きのインタークーラーはDワークス製。開口部の下側の縁を面取りしたように角度を付けて、エアロのデザイン性も向上させている。



リアバンパーは純正加工。モチーフにしたのはシトロエンDS5。「これは以前乗っていたムーヴからの流用。凄く気に入ってたんす」。

リアルインタークーラーを備えた VIPス。ボーティなカジュアル顔

スツキリとしたデザインのフロント開口部から顔を除かせるのはスポーティ感をグッと高める前置きインタークーラー。しかもハイピングをエンジンまで通し、リアルにつないでいるのが密かな自慢。と、同じ型のムーヴに乗っている人ならここで「アレ!?!」と思うかもしれない。何しろ

L175ムーヴにはターボ車の設定が無いために実際にインタークーラーをつなぐのは不可能だからだ。だが、クルマの後ろにまわればそんな疑問も解決。そう、ベースはムーヴカスタム。顔面移植でカジュアルスタイルに変えているのだ。

「個々のパーツやボディカラーはスポーティに、エアロや足まわりはVIPにまとめてみました」。

なインタークーラーなの? な
なんてギャップが狙いです」。

なお、エアロのポリウレタン感や

フェンダーの作り方はかなりイカ

ツめ。スツキリとしてシンプルな

フォルムに仕上げています。

「個々のパーツやボディカラーは

スポーティに、エアロや足まわり

はVIPにまとめてみました」。



赤嶺 宥太さん
栃木県

隣は奥様のまなピーさん。以前宥太さんが乗っていたムーヴカスタムをイジっている。「できる限り2台一緒にイベントに行くんです」。



03
PICK UP
Kcar special
Car of The Year
2015
見るべき
POINT

「インタークーラーはダミーじゃない」「この顔面の型にはターボ車はない」という二つの両立が最大の見所。「なんで?」と思わせる技は見事!!

見るべき

30

台

KCAR

24

アウディR8を思わせるコペン キーワードは“やり過ぎない”



敢えてSP1Rではない、
のがポイントのホイール。
「リムの薄さがカッコいいんです。この感じはSP1Rでは出せないと思いますよ」。



ルーフはヘアラインのシートでラッピング。そこにアウディのキャラクターであるゲッコーをアレンジ。さりげなくアクセントを作っている。



ウインカー&バックランプは社外品のLEDタイプに変更。合わせてフィンを作り直してレンズにかけのように造形。フロント開口部とイメージを合わせた作り込み。



04
PICK UP
Kcar special
Car of The Year
見るべき
POINT
一見純正風、でも放つ空気が全然違う。そんなアレンジが「街中でのカッコよさ」を引き立てる秘密。特に注目はフェンダー&ホイール。



L880K コペン 平成14年式

COPEN

specification

WHEEL●SSR・プロフェッサー SP1 (16×F7J+39、R7.5J+26)
TIRE●クムホ (165/40-16)
AERO PARTS●F/R=NRF・エリクサー加工、S=NRF・エリクサー
EXTERIOR●フェンダー&ヘッドライト=純正加工、テールレンズ=コーリンプロジェクト
INTERIOR●ステアリング=エムスリーレーシング、シート=スバルコ
SUSPENSION●車高調=シュビーゲル、リアアクスル=マーシャングレート
MUFFLER●純正加工
AUDIO●ヘッドユニット=パナソニック
MAKING SHOP●NRF



シートはスバルコ。赤だったものをすべてレザーで張り替えてオレンジステッチを追加。落ち着いた雰囲気、少しだけ個性を。

落ち着いた黒をベースに
オレンジで個性を追加

ブラックを基調にオレンジを少し差したインテリア。ウッドステアリングは巻き替え&塗装で全体とのバランスをとる。

最大のポイントはリアから見た姿。1センチだけフェンダーをたたき出し、7.5Jの深リムホイールをツライチにセット。
「こうすればあまり大きくキャンバーを付けなくてもしっかりタイヤのトレッドを見せることができる。気を遣ったのは「おもちゃっぽくならないように」という点ですね」。

合わせてリアバンパーは若干絞り込み、台形のラインに立体的なリブを与えて欧州車を意識。「イメージはアウディR8。そのためにエアロはフロント開口部の丸目ウインカーを外してデイルイトとフィンに変更しました。ただ、「凄」って言われるより、街中でも「カッコいい!!」って思われるクルマにしたいんです。だから、やりすぎないように気をつけています」。

ちなみにエアロは前後ともNRFがベース。すでに廃盤モデルのSSR・SP1 16インチも自慢点。

「リアフェンダーを少し広げて“FR車っぽい雰囲気”を出すようにしています」。純正ホワイトと差し色黒のコントラストもオシャレ。



篠原 秀章 さん
長野県



10月に入籍したばかりという幸せいっぱいな渡邊さん。「奥さんも自分のクルマをドレスアップしているの、夫婦で頑張ります」。

渡邊好一郎さん 福岡県



左右の開口は黒で塗り分け、視覚的に大口に見せる。脇にはデイトライトをセット。パッドフェイス化したボンネットには、マークX純正グリルを収めている。



マフラーはオーバル型出口をハの字風に傾けた4本出し。しっかりと奥行きを付けたダクト部分にはメッシュを張って、クオリティをより一層高めている。

どこから見ても楽しい 左右非対称のペイントメイク

これまで弟が乗っていたムーヴカスタムをベースに、よりド派手な姿へとブラッシュアップさせた渡邊さん。まず目が行くのが、太陽の光を浴びて鮮やかな色合いを放つオレンジのボディカラー。さらにサイド部分にカスタムペイントを施して個性を強めているが、モチーフを左右非対称にしたのが面白い。

エアロはケイブレイクをフル加工。フロントは中央部をツルンとスムーズに加工して、近未来的な雰囲気漂わせる。そしてリアは見せるマフラーのパイピングがあつてこそ成り立つ、アグレッシブなディテールが決め手。4本出しマフラーのインパクトも非常に強烈だ。

そしてホイールはワークのエモーションだが、リアは驚異の18インチ。しかもリアブレーキをデイスクリュー化し、ハブを5穴化。普通のKカーでは履けないモデルを収めることに成功した。



05
PICK UP
Kcar Special
Car of The Year
2015
見るべき
POINT
オレンジのボディに浮かび上がるカスタムペイントは、左右でモチーフを変えて見る人を楽しませる。力強さみなぎるリアバンスボも必見だ!

L175S ムーヴカスタム 平成19年式

MOVE CUSTOM

specification

WHEEL●R=ワーク・エモーションCR kai L=ワーク・エモーション11R (F17x7J、R18x8.5J)
TIRE●ナンカン (F165/40-17、R215/35-18)
AERO PARTS●F/S/R=ケイブレイク・コンプリート加工
EXTERIOR●グリル=マークX純正、フェンダー&ヘッドライト&テールレンズ=純正加工
INTERIOR●ステアリング=純正加工、シートカバー=ワンオフ
SUSPENSION●エアサス=Fボルドワールド(アルト用)、R ACC(タント用)、リアアクスル=アヒル商会加工
BRAKE●イデアル
MUFFLER●レクサスISF加工
AUDIO●ヘッドユニット=カロツツェリア、スピーカー=ロックフォード
MAKING SHOP●サウンドタイム



右側は旭日旗をモチーフとしたデザインで魅せる。ケイブレイク大林さんのサイン入り。ホイールは右がCRKai、左は11Rを装着。

見るべき

今年の30台

KCAR SPECIAL

26

06

PICK UP
Kcar SpecialCar of The Year
2015

見るべき

P O I N T

流行のスタンス系ではなく、BMWをモチーフにした王道の高級スポーツユーロ路線。各パーツのチョイスにも考え抜かれたこだわりを感じさせる。



日本未導入の1M用 サイドマーカーを移植

フロントフェンダーには1M用サイドマーカーをインストール。日本未導入の最小スポーツモデルを選ぶあたりがツウっぽい。

ホイールはBBS・LMチャンピオンエディションのバトンモデル。BMWリスペクトをアピールするため、欧州ブランドにこだわった。



ラゲッジのオーディオスペースはエアサスタンクを追加するためにリメイク。天板からチャラッとタンクを見せたいのもポイントだ。



シートはレカロSRをベースにアイボリーとブラウンで張り替えた。シートベルトもブラウン、ルーフライニングも同色で張り替え済み。



脇田 佑紀さん
広島県

「産休のためドレスアップを一旦休止しよう」と佑紀さん。旦那さんと二人三脚でユーロテイスト全開な一台を造り上げた。



エアロはケイブレイクをベースに、開口部には深いスリットを加えて奥にLEDをインストール。造形もどことなく欧州車風だ。



エアロのデザインはM4がモチーフ。中央にマフラーを寄せた4本出しレイアウトもM4意識。テールエンドはレムスに変更されている。

欧州スポーツの上質感を 凝ったディテールで表現

狙いはズバリ、BMWをモチーフにした高級スポーツユーロ路線。欧州車でも流行りのスタンス系ではなく、あくまで本場チーナーが作るような上品なスタイリングこそが目標だ。

だから、あえて低さ至上ではなくディテールの造り込みとバランス感にこだわった。たとえばボディカラーを3シリーズ純正のプラチナブロンズにベイントし、サイドマーカーは日本未導入の1M用をインストール。

マフラーもM4風にセンターに寄せた4本出しにするなど、全身からBMWリスペクトを醸発させた内容となっている。

ホイールチョイスもユーロテイストを徹底するため、BBS LMのチャンピオンエディションを選択。内装もアイボリーを基調にセンス良くブラウンを配置し、アクセントにグリーンの刺繍を入れるなど、上品で上質なテイストが貫かれていた。レカロシートの存在感もさすがだ。



「低さだけではないバランス感にこだわった」とのことだが、パルテックのマルチアクスルとボルドのエアサスで目一杯落としている。

JC1ライフ 平成23年式

LIFE

specification

WHEEL●BBS・LM(17×7J+48)
TIRE●ナンカン(165/40-17)
AERO PARTS●F/S/R=ケイブレイク・コンプリートプラチナム加工
EXTERIOR●フェンダー=ワンオフ、フェンダーマーカー=BMW 1シリーズMクーペ、ヘッドライト&テールレンズ=純正加工
INTERIOR●シート=レカロ(アコードユーロ用)、ステアリング&天井=張り替え、インパネ&ドア内張り=塗装&張り替え
SUSPENSION●エアサス=ボルドワールド加工、リアアクスル=パルテック
ブレーキ●キャノバー
AUDIO●ヘッドユニット&スピーカー=カロッツェリア、ウーファー&アンプ=ロックフォード
MAKING SHOP●オートワールドアタック



ボディ側面にはシルバーリーフ。「あまり遣り過ぎると濃すぎる」と取って押さえておき、ドアノブ周囲はフリーハンドのピンストライプも組み合わせた。

「こちらは筆記体でシルバーバレット。直訳すると、銀の弾丸ですが、『強敵を打ち倒す』という意味を込めているんです。」



セクシーな女性のエアブラシ。ただし、最も重要なのは実はその下のシルバーカーネーション。シルバーバレットと入れている。



一見するとワンオフのパンチングマフラーだが、実はHKS製のターボ専用用品。「ワンオフですか?って良く聞かれるんですよ。」



外装に合わせて内装パネルにもピンストライプを入れ、アメリカンな雰囲気。ダッシュマットやステアリングもブルーに統一。



07
PICK UP
Kcar special
Car of The Year
2015
見るべき
POINT
かつて大流行したアメリカンスタイル。時代の移り変わりによって、いまではむしろ「新しい」とさえ思えるアレンジに。温故知新の好例と言える。

MR31Sハスラー 平成26年式
HUSTLER
specification
WHEEL●クリムゾン・ディーン クロスカントリー (15×6J+42)
TIRE●グッドイヤー (165/55-15)
EXTERIOR●グリル=純正加工
INTERIOR●シートカバー=クラッツィオ
SUSPENSION●車高調=JIC
MUFFLER●HKS
AUDIO●ヘッドユニット&スピーカー&ウーファー=カロットツェリア
MAKING SHOP●MKファクトリー

ハスラーで作るアメラグSUV 「誰よりも低い」が最大の自慢



ホイールは15インチ。だが注目すべきはそのまわり。ペイントでホワイトトリボンに仕上げている。



大阪府
西田龍さん

「今はここからさらに15ミリほど下げます。約15年前にCTをアメリカンにしていた西田さん。その時のテイストが今も生きている。」

以前はリフトアップでアゲスタイルに振っていた西田さん。しかし今は「同じ車種なら誰にも負けない低さ」が自慢。
「ハスラーってアゲ系が本当に多いんですよ。なので印象が被ってしまうことが多くて。だから思いっきり下げてアメリカンSUV風でも面白くなって路線を変更したんです。」
そのために、まず車高調はハイレートのショートバネに変更。リアアクスルももちろん入れて、何よりも苦労したのはフエンダー内部の加工。ハスラーのフエンダーは外側の樹脂と内側の鉄板の2枚重ねになっているのだが、この内側の鉄板をカット。樹脂フエンダーのツメもカットした。さらに天井を叩いて上げ、ようやくこの車高を実現したという。
「タイヤのホワイトリボンには16インチのサイズで揃えてあるんです。それで被り具合が分かってもらえるかな、と思って。」

見るべき

30台



以前のデザインはシンプル過ぎたため、立体感ができるようにワンオフ加工。後部に向かってウイング風の張り出しが現れる。

MH21SワゴンR 平成16年式

WAGON R

specification

WHEEL●ケイブレイク・ハイブリッドファイブスタ(17×F8J、R10.5J)
TIRE●ナンカン(F165/40-17、R215/40-17)
AERO PARTS●F/S/R=ワンオフ
EXTERIOR●フロントグリル=後期型、ヘッドライト=ワンオフ、テールレンズ=エーワークス
SUSPENSION●エアサス=エアダイン+ACC、ワンオフ=ダブルウィッシュボーン化
BRAKE●ミルキーホワイト
AUDIO●ウーファー&アンプ=グラウンドゼロ、スピーカー=ロックフォード
MAKING SHOP●ボディショップアライ



輸出仕様の240Zに採用されていたグランプリマルーンをベースに、ガラスフレックを大量にプチ込んでイマドキに色に変身させた。



ホイールからチラ見えのフロントブレーキは神風の6pot。ローター径は310mmで、恐ろしく止まるブレーキになったとか。



ダブルウィッシュボーン化によって実現したフル調整式の足まわり。リアのキャンバー角は23度から18度に変更して深リム感を強調。

すべてがワンオフのアシで 極深リムを履きこなす

本誌でもお馴染み限界突破の深リムを履く、えてこーマンさんのワゴンR。今回はリアのホイールサイズを9Jから10.5Jにワイド化し、キャンバー角も23度から18度に落としてさらなる深リム感の強調に成功した。この脅威のフットワークを支えているのは、ワンオフ加工によって生み出したダブルウィッシュボーン式の足まわり。アックスルという構造から開放されることで微調整を可能にし、乗り心地も大幅に良くなったというが、他車種用の移植ではなく完全ワンオフしたため、ビルダーが「二度と作りたくない」というほど難解な構造となっている。



インテリアはオレンジベースの派手な装い。差し色にパープルを使うカラーのセンスも独特。オーディオもハイレベルだ。

オレンジを基調にしたハイレベルなオーディオ

後部座席を潰したオーディオはメカニカル感を前面に押し出した仕上げ。ラゲッジスペースもきちんと残されている。



埼玉県
えてこーマンさん

こう見えて(失礼!)
IT関連の会社に勤める
えてこーマンさん。とっさの
トラブルに対応できるよう
準備万端なあたりはオ
ナです。

08
PICK UP
Kcar Special
Car of The Year
2015
見るべき

P O I N T
やはり注目はワンオフ加工によ
って生み出されたダブルウィッ
シュボーン。あり得ないほどの
キャンバー角はこのワゴンRの
命ともいえる。

WAGON R

specification

WHEEL●ワーク・マイスターS1R(16×F8J+3、R9J-10)

TIRE●クムホ(F1645/45-16、R195/40-16)

AERO PARTS●F=フローデザイン・モードバルファム加工、S=エヌエー・ジャック・アリール加工、R=ESB・CLSネオエディション加工

EXTERIOR●フェンダー=ワンオフ、ヘッドライト=塗装

INTERIOR●ステアリング=イソッタ、シートカバー=ディオーム、フロアマット=ワンオフ、インパネ=張り替え

SUSPENSION●車高調=Fレオン、Rバーディークラブ、リアアクスル=自作

BRAKE●イデアル

MAKING SHOP●ヴィヴィドラスター



滑らかに膨らませ、なおかつスソを大胆に絞り込んでドッシリ感を強調させるワンオフのオバフェン。ギリギリのツライチも見どころだ。



フェンダーに入れたダクトは、今までにないくの字型。穴はあえて開けず、斬新なデザインと限界まで付けた奥行きで魅せる。そこにBMWのウインカーをフィンに見立ててセットした。



くわチャラさんのワゴンRは、ワイド感あふれるスタイリングへと導くワンオフのオーバーフェンダーがウリ。出幅やスソの絞り具合だけを見ると強烈だが、BMW・X3のスパークリングベロンスでオールペンしたことで渋さも兼ね備え、ド派手な印象を見事に中和させている。

そしてこのボディカラーを筆頭に、BMWが持つ洗練された雰囲気やバランスよく取り入れたのも注目すべきポイントだ。



ダッシュボードは手間がかかる張り替えを選び、質感が大幅にアップ。ステアリングはユーロ意識のクルマに人気のイソッタをチョイス。



ヴィヴィドラスターでワンオフしたマットには、リメイク前の愛車がプリントされる。以前はボディをマットオレンジで塗装していた。



BMWを連想させるアイデアを、ふんだんに盛り込んだ外装が最大の自慢。フェンダーは大きめに作り、ユーロとVIPを高次元で融合させた。

BMWをイメージして作り込んだワイドかつスタイリッシュな佇まい



時間をかけて進化させてきたこのワゴンRで、積極的にイベントに参加しているくわチャラさん。今後の仕様変更にも期待しよう。



兵庫県
くわチャラさん



フロントはモードバルファムを加工し、MH34風の形状に。ボトムにはリップも添えている。グリルとヘッドライトは純正を加工した。



室内のカラーリングはオレンジ×ブラック。「インパクトはあるけど派手じゃない」がテーマだ。エクセーヌによる張り替えも効果的。

室内は花が咲いたような明るいオレンジを基調に



2列目シートは取り払い、山のようなウーファーボックスを作り込むなど大胆にメイク。リアゲート部にもスピーカーが埋め込まれる。



L175Sムーヴ 平成20年式

MOVE

specification

WHEEL●SSR・フォーミュラ メッシュ(16×F7.5J+45、R7.5J+32)

TIRE●クムホ(165/40-16)

AERO PARTS●F/R=ブローデザイン・モードバルファム ファントムバージョン加工、S=ブローデザイン・モードバルファム ファントムバージョン+翔プロデュース・ノベル

EXTERIOR●グリル=純正加工、ウイング=ブローデザイン加工、フェンダー&ヘッドライト&テールレンズ=純正加工

INTERIOR●シートカバー=ベレッツァ、フロアマット=ワンオフ、インパネ=張り替え

SUSPENSION●エアサス=ACC、リアアクスル=アヒル商会

MUFFLER●ワンオフ

AUDIO●ヘッドユニット=カロツェリア、ウーファー&アンプ&スピーカー=ロックフォード

MAKING SHOP●ファンメリー、川戸商会



見るべき

キレイさ、上品さにこだわったという外観は、やることはやっている中でのシンプル仕様。落ち着いたグリーンメタが過激さを優しく包んでくれる。



ACCのエアサスでベタ落とし。リアフェンダーはたたき出したが、インナーはバツバツ状態だ。キャンバー角はリアが大胆な10度。



三重県
押条知房さん

「シンプルでキレイに、できるだけオトナっぽく」がモットーという押条さん。他で見たことがないというボディカラーが気に入る。



7.5Jのリムを履きたくてセレクトしたのがSSRフォーミュラメッシュ。ボディ色とは好対照の鮮やかなイエローディスクが個性満点。

すっきり系なボディが好みという押条さんは、エンブレム類をスモーキングしたり、加工のベイスエアロにバルファムを選択したりとオトナなシンプルフォルムを追求中。20cmたたき出したリアフェンダーも迫力満点だが、造形自体はナチュラルだ。

そんなオトナ系スタイルだからこそ、ガツンとパンチが効いた足まわりの存在感が際立つ。アヒル商会の独立式アクスルは限界まで上げた状態とし、さらに10度のキャンバー角を設定。フロント側もTディメンズのアップパで5度倒し、イカツクワイルドな車高短を実現している。

シンプルとワイルドという相反する要素をうまくつないでいるのが、その独特の色使い。MRワゴン純正のレアなボディ色にイエローのSSRフォーミュラメッシュ、緑のナット。内装のオレンジもギャップで好印象だ。

無加工に見えて実は出ている 純正意識のマッシュブフェンダー



足まわりはバーディークラブ車高調。アックスルは純正を加工して8度のキャンバーを付けている。今後はもう少しホイールを外に出し、ツラを煮詰めるのが目標だとか。

11
PICK UP
K-CAR SPECIAL
Car of The Year
2015
見るべき
POINT
フロントを叩き出して2cm、リアは鉄板溶接で5cm出したフェンダーに注目。あえて純正のクッキリアーチを残して、やっている感を抑えた。



Aピラーに違和感なく埋め込んだ、ボークオーディオのツイーター。白LEDを仕込んだアクリルリングで彩る。

純正風のクオリティ！
美しい埋め込みワザ！



ドア内張りの樹脂はボディ同色で塗装して、統一感を上げる。白い部分はレザーを使って張り替えた。こちらは自分で仕上げたのが自慢だ。



助手席に座る人にも室内空間を楽しんでもらいたいから、グローブBOXを加工して7インチモニターを投入。



広島県
河久保毅さん



「この型のオッティではあまり見かけないから」、純正ボンネットを加工してパッドフェイス化。顔つきがかなりイカツくなり、オーナーも大満足。



出たばかりの頃にひと目惚れして、速攻で買ったエイムゲインGIM。ボディカラーと同じ緑で揃えた、326パワーのロングナットが映える。

ドアのレザー張り替えは、撮影時の段階で運転席側だけしか完成していなかった。「残り3枚も頑張って仕上げます」と河久保さん。

H92Wオッティ 平成20年式

OTTI

specification	
WHEEL	●エイムゲイン・GIM(16×7J+25)
TIRE	●クムホ(165/40-16)
AERO PARTS	●F=バタフライシステム・黒死蝶+ケイブレイク・コンプリート、S/R=バタフライシステム・黒死蝶
EXTERIOR	●フェンダー=純正加工
INTERIOR	●ステアリング=モモ、シートカバー=クラッツィオ、インパネ=塗装
SUSPENSION	●車高調=バーディークラブ、リアアックスル=純正加工
AUDIO	●ヘッドユニット&ウーファー=カロットツェリア、スピーカー=ボークオーディオ
MAKING SHOP	●マイロード

イベントを見学して刺激を受け、普段の足で乗っていたオッティを立派なドレスアップカーに変身させた河久保さん。まず目を奪われるのが、明るいグリーンのボディカラー。一見デミオの純正色かと思いきや、先代アルトのグリーンがベース。デミオの色は、オーナー的に少し濃い感じがしたのだとか。

エアロはケイブレイクが好きで、オッティ用が出るのをずっと待っていたがリリースの気配はなかった。そこでバタフライシステムのエアロをフルで組み、フロントはケイブレイクの23ワゴンR用とニコイチ。存在感のあるデザインを手に入れた。一方リアはマフラーの開口を埋めて、ドッシリ感を強めた。

そしてフェンダーは、純正のラインを残しながらワイド化したのがこだわり。純正風に見えるのが狙いだ。横にノーマルを並べるとその差は歴然だ。

見るべき

今年の30台

K-CAR SPECIAL

12
PICK UP
Kcar Special
Car of The Year
2015

見るべき

POINT

ひとつのジャンルとして確立している「中身充実のシンプル系」。一見、単なるフルキット車に見えるが、噛めば噛むほど味の出る井上ワゴンRだ。



MH34S ワゴンR 平成26年式

WAGON R

ホイールはユーロな雰囲気

に最適なVW純正のBBSをチョイス。年代物だがシルバーにリペイントしているのもポイントだ。

「次はリアバンパーをもっと自分好みの形に変えて、そろそろ内装もやりたいです」と井上さん。



井上 優大 さん
福岡県

specification

WHEEL●VW純正BBS(16x6.5J+45)
TIRE●クムホ(165/40-16)
AERO PARTS●F/S/R=ブローデザイン・
モードバルファム ファントム雅夢加工
EXTERIOR●ワイパー=レクサス純正
SUSPENSION●車高調=ティースタイル、
リアアクスル&ロアアーム=ジェーライン
BRAKE●ティースタイル
MUFFLER●ブローデザイン
MAKING SHOP●池田自動車

バランス感を研ぎ澄ました イマドキ純ユーロ

シンプル＆クリーンなスタイリングを目指す井上さんのワゴンRは、全体のバランス感を見ながらチョットずつ加工を施したオンリーワンにして判りづらいカスタムが持ち味。たとえばバルファムのバンパーも200系マジェのフログ移植だけにみえて、さりげなくグリルの位置を上げていたり、ラインを変更したり、さらに短縮加工を施したりとさりげなく自分色を込めている。

また、VW純正のBBSはインナリムを濃いシルバーにすることで、ディスクがクッキリと浮き上がる工夫が施され、さらにリアもキャリパー化することで上級グレード感を演出している。飛び抜けた個性ではなくトータルで純ユーロを目指した上級仕様。緻密な計算を重ねて導き出した低さと、低さのなかで映えるボディメイクは簡単にマネができるものではなさそう。



Tスタイルのワンオフ車高調とジェーラインのアクスルでキレイな車高を目指した。アクスルは80mm上げのためにインナー加工済み。

ブレーキは大口径が魅力の
Tスタイル製を装備する

リアブレーキはドラムとローターをボルト留めし、Tスタイルのキャリパーを装着。ローター径は300mmでストローク力は激しい！



マジェのフログ移植だけに見えてグリルの位置やバンパーのラインまで広範囲を加工。自分好みのバランス感にこだわった。





ホワイトディスクの華やかなホイール。「ダーク系のホイールではボディカラーを考えると目立ちにくいと思ったんです」。フェンダーのプレスダクトもホワイトに。



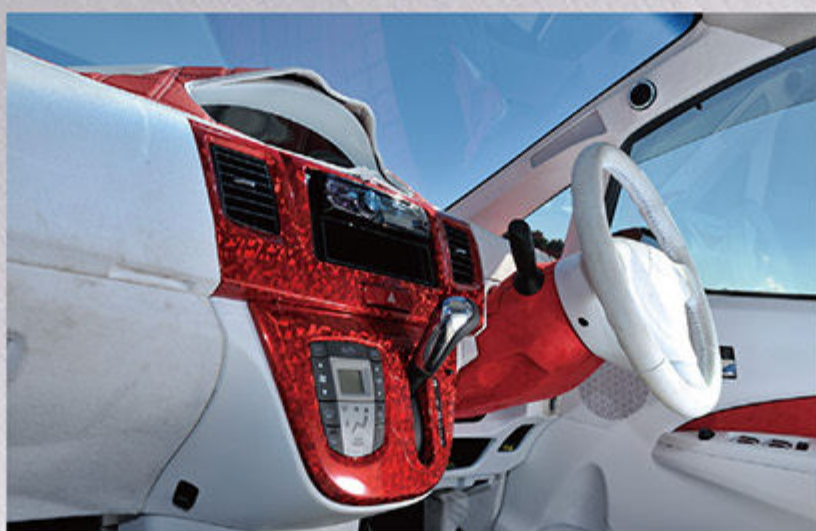
見るべき

スツキリとしたフォルムでありながら、エアロの造形とカラーリングはインパクト抜群。東北仕様を見事に活かしながら個性的に仕上げている。



スピンドルを採用しマスクの迫力を強化

グリル下から伸ばしたスピンドルラインが丈夫の長いバンパーにマッチ。迫力十分のフロントマスクを作り上げている。



キャンディレッドホログラムのイーザーグラフィックでキラキラ感を追加したパネル。光の当たり方で変わる印象が、室内に変化を与える。

汎用プロジェクターで目ヂカラをアップさせ、7色がグラデーションで流れるイカリリングを組み合わせる。滑らかなチューブラインも投入。



この車高で通勤車。「ベタベタでも走れるバンパーの短さを見て欲しい」。ドレスアップのきっかけはイデアル日下さんへの憧れから。



阿部直彦さん
宮城県



VIPに東北仕様のテイストを注入 現代風の要素を足して自分らしく

コンセプトのベースはVIP。だからこそ、ムーヴカスタムは迫力と高級感を両立させたスタイルに仕上がっている。特に注目はフロントフェイス中央のスピンドル。これはケイブレイクのN BOX用エアロを、これまたケイブレイクエアロにニコイチして作り上げている。なお、リアバンパーはケイブレイク+KLC+バタフライシステムのサンコイチでフィニッシュ。

「ディフューザーやダクトでオリジナル感を出すだけでなく、「ニコイチと見せかけてサンコイチ」というギャップも実は狙っているんです」。

ただし、約束事がひとつ。それは張り出しエアロやフェンダー加工が厳禁ということ。これは東北仕様を意識した部分。「やっぱり純正のフォルムは崩したくないんです。なのでイメージはVIP+東北仕様を現代風に」という感じですね。

LA100Sムーヴカスタム 平成24年式

MOVE CUSTOM

specification

WHEEL●フーク・シーカーCX(16×6.5J+32)
TIRE●クムホ(165/40-16)
AERO PARTS●F=ケイブレイク・コンプリートブラチナム+ケイブレイク・ハイパーゼロカスタム、R=KLC・エターナル+ケイブレイク・ブイラゲディション+バタフライシステム・黒死蝶セカンドインパクト
EXTERIOR●ヘッドライト&フェンダー=純正加工、テールレンズ=クリスタルアイ
INTERIOR●シートカバー=クラツツィオ、インパネ=塗装
SUSPENSION●車高調=イデアル、リアアクスル=ジェーライン
AUDIO●ヘッドユニット=カロッツェリア、スピーカー=ロックフォード
MAKING SHOP●ガレージワン

見るべき

今年の30台

KCAR SPECIAL

34

8月号の広島仕様
時点ではまだ内装が完
成していなかったあきら
しーさん。「中身もできた
ので、次はホイールの変
更ですね〜」。



あきらしーさん
広島県



天井にもシートに合わせたトリコロールラインを入れる。サンルーフは所属チーム・ナイスガイのトレードマークと言ってもらいたい。

オレンジのボディにアメリカのスーパーカー・フルコンF7をイメージしたフロントバンパー。フェンダーはクッキリとしたラインで膨らませ、合わせたホイールはパツパツのツライチに。キッチリと攻め切ったエクステリアはアグレッシブさを全面に押し出したスタイル。それと対応するかのように、最新仕様の内装もか

なり個性的。ベースカラーに採用したのは外装色とは真反対のグリーン。「内装生地サンプルを見ていた時に『これいいな』って決めたのがこの色なんです。元々好きだったっていうのもありますけど、濃い緑でまとめている人ってあまり見なかったんで」。

そこに加えたのがBMW・M社のコーポレートカラーをアレンジしたトリコロールライン。これはボンネットに合わせたメイク。シートと天井を貫いて、抜群のアクセントになっている。

トリコロールラインの映える緑一色ベース



14

PICK UP
Kcar special
Car of The Year
2015
見るべき

空間全体を緑で統一し、トリコロールカラーは上下のラインだけ。だからこそコンセプトが際立つ。このメリハリの付け方はぜひ参考にしたい。



MJ21S AZワゴン 平成17年式

AZ WAGON

specification

WHEEL●レイズ・ボルクレーシングGT-C(17×8J+38)
TIRE●ナンカン(165/40-17)
AERO PARTS●F/S/R=ブローデザイン・モードバルファムファントム雅夢加工
EXTERIOR●グリル=エヌデザイン、フェンダー=ワンオフ、サンルーフ=ベバスト
INTERIOR●ステアリング=スバルコ、シート=バケット張り替え、インパネ&天井張り替え
SUSPENSION●車高調&リアアクスル=アイビーエス
BRAKE●キャリパーキット=IBS
MUFFLER●IBS
AUDIO●ヘッドユニット=カロツツェリア
MAKING SHOP●IBS



張り替えと塗装を駆使して
自分だけの空間を作る

シートはバケットを張り替え。なおシートボタンはBMW M4を参考に。シートベルトやステッチなどの差し色はオレンジ。



ダッシュボードは総張り替え。足元などの下側は塗装仕上げ。「予算の都合でしかたが、結果的に変化が出て良かったです」。



伝統的な欧州スタイリングを狙ってステアリングはディープコンタイプを選択。インパネもミントカラーにペイントしている。

鮮やかなツートンブルーが映える



シートは鮮やかなブルーのコーブラをチョイス。パイピングはホワイトを選び、ボディカラーとの調和感もハズレない。



specification

WHEEL●ワーク・マイスター-CR01 (16×F7J、R7.5J)
TIRE●ルッチーニ (165/40-16)
AERO PARTS●F/S=ESB・CLS RM
EXTERIOR●グリル=ナビック、ウイング&フェンダー=ワンオフ、ヘッドライト=純正塗装、テールレンズ=レッドテール
INTERIOR●ステアリング=NRG、シート=コーブラ、フロアマット=日正タイヤ、インパネ=塗装
SUSPENSION●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=バルテック
MUFFLER●ワンオフ
AUDIO●ヘッドユニット&スピーカー=ケンウッド
MAKING SHOP●よんりんかん

この独特のハッチバックのスタイルが好きという人は多い。確かにユーロコンパクト的なムードを醸し出している。



コンパクトなシルエットのものがなかったため、リアウイングのみワンオフ加工で対応。といった言葉は聞かれず、これは気付きにくい形だ。



スモークフィッシュのヘッドライトにはESBのバッドフレイッシュを付け、アイズボンネットをあわせ、ナンバー穴もシェイプしてスッキリ!

クリーンを極めた ユーロコンパクトスタイル

ディープローンのステアリングにコーブラのシート、トドメはビタローニのエアロミラーと往年のファンにはタマランアイテムも目白押し。ヌケの良さは今いベントでもピカイチ!

いまでもいうところのスタンス風味を効かせたアルトだが、ジツクリ見れば見るほど古き良き欧州コンパクトに通じる驕の良さが伝わってくる。「できるだけ加工なしで仕上げたい」という石田さんの狙いは、徹底したクリーンスタイルを実践するため。エアサス+アクスルで突き抜けた低さを実現しているが、それでもエアロ加工などを極力控えることで、ちよつとした違和感も与えないように気を配った。もちろん配色にもこだわり、ボディはブルーパール多めのホワイトにブルーのレンズを合わせ、ホイールもメーカー純正のエナジームントで文句なしの統一感を狙っている。



石田拓哉さん 静岡県

「日本のパーツやクルマでユーロコンパクトのものを作りたい」と石田さん。次はさらに内装を進化させる予定とのことだ。



HA23Sアルト 平成10年式

ALTO

L150Sムーヴカスタム 平成15年式

MOVE CUSTOM

specification

WHEEL●XXR・535 (16×8.25J)

TIRE●マランゴーニ (195/40-16)

AERO PARTS●F=ケイブレイク・コンプリート加工、S=アウトバーンスポーツ・クラウディア、R=プロデザイン・モードバルファム ファントム雅夢加工

EXTERIOR●フェンダー=ワンオフ、ヘッドライト&テールレンズ=純正加工

INTERIOR●ステアリング=ミラジーノ純正、シートカバー=グレイス

SUSPENSION●エアサス=ボルドワールド加工、リアホーシング=サティス

BRAKE●イデアル

MUFFLER●ワンオフ

AUDIO●アンプ=ロックフォード、スピーカー=ケンウッド

リアはモードバルファムを加工して「宇宙船」っぽく大胆に。センター出しマフラーはワンオフ、逆三角に出口を積み上げたのが精悍。



ボンネットは純正を加工。エッジの効いたプレスラインだけでなく、曲線も添えたのが個性的。パッドフェイス化も施され、迫力満点。



レアなUSホイールが効く 大胆な個性派スポーツ

小澤さんのムーヴの核となるのは、8.25JというレアサイズなXXRの535。USモデルらしい精悍なコンケイブデザインで、16インチの1ピースでこの太さというのがオドロキだ。

そんなホイールに合わせて造形したフェンダーは、フロント60mm、リア70mmのクッキリ系。ボルドワールド製エアサスでガツンと落としたシルエットに、このホイール&フェンダーが絶妙にハマって好感だ。

ボディ造形も個性的。ケイブレイクをワンオフ加工したフロントは、大きな開口部を連ねたワイルドな意匠。ボンネットにも独創的なプレスラインを走らせるなど、攻撃力と疾走感とを重視したメイクを徹底。モードバルファムを徹底的に加工して仕上げたリアもまさに個性的で、直線と曲線とを巧みに絡ませたそのデザイン、まるで宇宙船！



フロント60mm、リア70mmのオーバーフェンダーは、ホイールを立てるためあえてクッキリ系に。エアサスはボルドワールド製だ。



主役はこのXXR・535。16インチの1ピースながら、8.25Jという深みあるレアサイズ。サティスのアクスルでキャンパーも。

愛知県
小澤佳隆さん



「リアはスタートレックのスペースシップみたいに。スーパーカー風も意識しました」という小澤さん。今後は内装を計画中、期待だ。

ヘッドライトはプロジェクター×バルカン、テールランプは流星仕様とイルミ系のカスタムも万全。ボディカラーはGT-Rの純正色で。





「内装は北海道のショップにお願いして作ってもらったんです」と智子さん。「できれば次は外装のリメイクをしたいですね」。凛華さんと。

峰智子さん
兵庫県



ブラウンを基調にレザーで張り替えを施したダッシュボードまわり。センターコンソールにはシヨークス製作。これも高級ブティックをイメージしたメイク。



天井にはまるでブティックの照明のような巨大なLEDディスプレイ。デザイン性にこだわっただけでなく、美しい光も演出。ちなみに、前後の波状の部分が建築用素材を使った部分。

「バッグを置いたようなイメージでデザイン」したというトランクオーディオ。個性的な作り込みがインテリアの雰囲気を大きく増す。



見るべき
POINT
内装・外装それぞれにハッキリとしたコンセプトを設定。それに沿って作り上げることでまとまり感のあるスタイルを実現している点が見事。

外装はクーペ、内装は高級ブティック風

イメージしたのは欧州車のクーペ。そのため、エアロはBMWのM6をモチーフにワンオフ。ただし「丸みを帯びると柔らかくなり過ぎる」と適度にエッジを立ててシャープなイメージに。この仕様最大の見所であるリアのブレーキもクーペを意識。

すか。だからこのクルマもリアまでキャリパーブレーキに。ただし、バランス良く止まることも考えてワゴンR用のフロントブレーキを移植。パーキングブレーキも4輪とも効くようにしてあるんです。

なお、インテリアは高級ブティックがメインテーマ。そのため色の組み合わせはブラウンとベージュを選択。さらに実際にブティックでも使うような建築素材のアイカモルルを使っているのもポイント。

「これは誰も使ってないですね」。



ボディカラーは智子さんの誕生石をイメージしたインベリアルトパーズ。「17コートで仕上げた特別な色。光の当たり方や状況によって全然違う表情を見せてくれるんです」。



特注リムに4輪ブレーキ
さらにフェンダーまで

ホイールは特注のブロンズカットアルミを採用。ブレーキキットはもちろんフロントにもインストール済み。

「欧州車のクーペではほぼない」というクッキリとしたオーバーフェンダーを敢えて造形。ギャップを与えて存在感を増す工夫。

MH21SワゴンR 平成15年式

WAGON R

specification
WHEEL ●ワーク・マスターM1R(16x8.5J)
TIRE ●マラゴニ(195/40-16)
AERO PARTS ●F/S/R=グッドワンファクトリー・EスポーツタイプI加工
EXTERIOR ●グリル=後期純正、ウイング=エヌエー・ジャック、フェンダー=ワンオフ、ヘッドライト=純正加工、テールレンズ=ヴァレンティ
INTERIOR ●シートカバー&フロアマット=ワンオフ
SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=ジェーライン
BRAKE ●イデアル
MUFFLER ●センスブランド
AUDIO ●ヘッドユニット=カロツツェリア、ウーファー&アンプ&スピーカー=ロックフォード
MAKING SHOP ●ヴィヴィッドラスター、サウンドディジー

見るべき

30台

KCAR

38



室内側ではリアシートを撤去、ロックフォードの大型アンプなどをスマートにレイアウトする。もちろんこの内向きも迫力の音圧系だ。

オーディオイベントでは高い評価を受けている

オーディオはロックフォードとヴァイブを組み合わせ。リアゲートを開けると6枚ものウーファーが出現、見た目もサウンドも迫力大。

智佳さんと参加した山岡さんはまずオーディオから入り、今年になってエアロをフル加工したそう。「オーディオは完成の域です!」



山岡 慎久さん

奈良県



見るべき

POINT
ゼストスポーツをいうベース車を使っているのが見所のひとつ。最近、少し大人しめが多いヘッドライト&テール加工には角柱アクリルを使っている。



ヘッドライトは純正加工。コの字を描くアクリルをプロジェクターに添えたのも斬新で、さらに最外には最先端な角柱アクリルを搭載。

角柱アクリルを取り入れた最先端ライトメイクは必見

もともとはオーディオカーだったという山岡さんのゼストは、だからリアゲートを開けると完成度バツグンな壁オーディオが出現。サウンドイベントでも高い評価を受けているという本格派で、リアシートも撤去して作り込むなどサウンド、ビジュアルともに文句なしの仕上がりが。とはいえエクステリアも、そんなハイレベルなオーディオに遜色のない仕上がり。腰下のエア

ロはすべてバタフライシステムとケイブレイクとのニコイチ仕上げで、ボディ色はオリジナルパールメタリックというクールなコンビ。イデアル製ブレーキも搭載するなど、まさに全身が見どころだらけ状態となる。中でも必見は、角柱を取り入れた最先端感バツグンのヘッド&テール加工。特にテールランプのアクリルバーは立体感が破格、コンセプトカーさながらだ。



テールランプも純正加工。ここに採用した角柱アクリルは、横から見るとバー状になっているのがよく分かる仕様で、立体感が圧倒的。



足元にはマイスターM1R。イデアルのブレーキはオーディオによる重量増対策で。エアサスはボルドワルド×エアダインのコンビ。

JE1ゼストスポーツ 平成18年式

ZEST SPORTS

specification

WHEEL ●ワーク・マイスターMIR (17×F7J+35、R7.5J+25)
TIRE ●ナンカン (165/40-17)
AERO PARTS ●F/S/R=バタフライシステム+ケイブレイクニコイチ加工
EXTERIOR ●ヘッドライト&テールランプ=純正加工
INTERIOR ●ステアリング=モモ、シートカバー=ベレッツァ
SUSPENSION ●エアサス=ボルドワルド+エアダイ、リアアクスル=ジェーライン
BRAKE ●イデアル加工
MUFFLER ●ワンオフ

大胆なフロントマスクで強い個性を形作る絵里さんのライフ。このスピンドル自体は前仕様からの継承だが、最新仕様では左右ダクト部分をリメイク。スベックのMH23SワゴンR用を組み合わせて、よりシャープな表情に変えている。

「スベック!」のエアロも増えてきたので同じ顔になるのも嫌だな。でも、スピンドルは作るのに凄く苦労したし、気に入っている部分だったので変えたくなかったんです。そこで新作エアロを融合。元々エアロを見た時に「カッコいいなあ」なんて思っていましたね」。

ちなみに絵里さんのもうひとつのお気に入りにはホイール。

「マイスターのディスクを無垢の質感にしてあるんです。表面がブツブツしてたりパツと見た感じは微妙かもしれないけど、履いてると味が出てくるんですよ。塗り分けとも相性抜群です」。

内外装の様々な部分に散りばめたトイストーリーのウッディとバズ。「ただ、一番見て欲しいのはヘッドライトの中なんです」。

森口絵里さん
岐阜県



JB1 ライフ 平成12年式

LIFE

specification

WHEEL●ワーク・マイスター-S1R(16×F6.5J、R8J)
TIRE●ヨコハマ(165/40-16)
AERO PARTS●F/S/R=フローデザイン・モードバルファム&スベック!・Sスタイルニコイチ
EXTERIOR●ウイング=フローデザイン加工、オーバーフェンダー&ヘッドライト&テールレンズ=ワンオフ、ドアミラー&ドアハンドル=ラッピング
INTERIOR●シート&ステアリング&天井&フロアカーペット=張り替え、インパネ&ドア内張り=張り替え&塗装、フロアマット=ワンオフ
SUSPENSION●エアサス=ACC加工、リアアクスル=ジェーライン
MUFFLER●スベック!加工
AUDIO●ヘッドユニット&アンプ=アルパイン、スピーカー&ウーファー=JBL
MAKING SHOP●ほんだ塗装



水色をベースに、パネル類はグリーン。ステアリングのホンダ刺繍やフロアマットなど遊び心も詰まったアレンジ。

爽やかな色の組み合わせはトイストーリーをイメージ

シートも含めて内装はフル張り替え。爽やかな水色とグリーンの組み合わせはトイストーリーをイメージした色。

19
PICK UP
Kear Special
Car of The Year
見るべき

抜群のアイキャッチとなるスピンドルは残しながら、左右開口部の変更で印象もチェンジ。よりアグレッシブなテイストの強い表情を作り上げている。



リアバンパーも同じくスベック!のMH23ワゴンR用に変更。「変わった感じが欲しかったので、フロントと一緒に換えました」。ホディカラーのオリジナルブルメタも美しい。



トイストーリーのキャラクターはヘッドライト内にも。助手席側はバズ、ウッディは運転席側。プリウス2連にハリアー用を合わせて3連プロジェクターに。



中央にウーファーを配置し、天板を作って立体感溢れる構造で仕上げたトランクオーディオ。エアサスタンクにはトイストーリーのエアブラシを描いた。

大好きなスピンドルは残しつつ
新作エアロの融合で個性強調



見るべき

30台

KCAR

40

specification

WHEEL●SSR・プロフェッサー SP3R (16x6.5J+32)
 TIRE●ルッチーニ (165/40-16)
 AERO PARTS●F=ケイブレイク・ハイパーゼロカスタム加工、S/R=ケイブレイク・ハイパーゼロカスタム
 EXTERIOR●テールレンズ=エヌエージャック
 INTERIOR●シートカバー=ベレッツァ、インパネ=塗装
 SUSPENSION●エアサス=イデアル、リアアクスル=ジェーライン
 BRAKE●イデアル
 MUFFLER●ケイブレイク
 AUDIO●ヘッドユニット=カロツツェリア、ウーファー=ロックフォード、アンプ&スピーカー=JBL
 MAKING SHOP●タイヤ番

エアロはすべてケイブレイクのハイパーゼロカスタムを加工、立体感バツグンのアグレッシブスポーツにまとめた吉崎さん。中でも異彩を放つのがボンネットで、鉄板を大胆に落とし込んだこの形状は通常では実現不可能なのだが、フレーム移設まで行なうて完成させたのだという。実はこのボンネット、ともにドレスアップを楽しんでいる彼女とおそろい仕様。それだけにこだわり、まさに満載だ。

「顔はナンバーレスで、ゆくゆくはインタークーラーも入れられます」と吉崎さん。アグレッシブさを今後もさらに高めていく予定。

吉崎貢平さん
福岡県

鋭い立体造形で魅せる 激インパクトスポーツ



JF1 N-BOXカスタム 平成25年式

N-BOX CUSTOM



デイトライトを移設し
よりローフォルムを強調

エアロはすべてケイブレイクのハイパーゼロカスタム。デイトライトはボトムへ移設し、ナンバーレス化。奥行き感たっぷりの造形が迫力。



インテリアのパネル類はBMWのブラウンでペイント。オーディオもカロツツェリアとロックフォード、JBLをコンビさせて万全に。

ホイールはプロフェッサーSP3Rをチョイス。ボディのスポーツ感をさらに強化した。その奥にはイデアル製のブレーキ。



鉄板をカットし、かなりの角度で大胆に落とし込んだボンネットは「彼女とおそろい仕様」。エンジンルームのフレーム移設で実現。



エアサスはイデアル製。さらなる低さを求めてジェーラインのアクスルも搭載、フロントはダンパーの皿抜き加工。エアバックは直付けに。

20
PICK UP
KCAR Special
Car of The Year
見るべき
POINT
まだまだドレスアップベース車としては数少ないN-BOXカスタムで果敢に挑戦。立体感のあるボディはハイパーゼロカスタムがバッチリ似合う。





ホイールは青いボディの頃から履いていたマイスターS1R。白ディスクは今のボディカラーにも良く似合っている。リムを被らせて低いまま走るのが流儀。

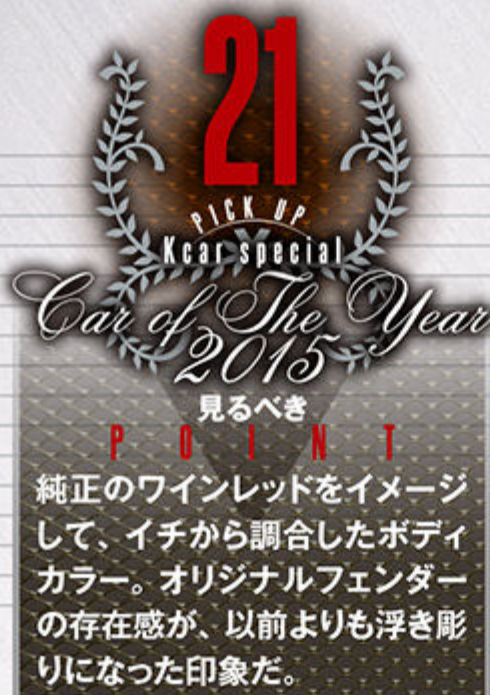


大きな開口部が目玉のフロントバンパー。フォグやデイルイトは付けず、締まった表情を作る。中央をほど良くえぐったアンダーフラップも要注目。

ライト類はスモーク化することも考えたが、「最近では増えているのであえてそのまま活かすことにしました」と理沙さん。いい表情!



安達理沙さん
山形県



見るべき
POINT
純正のワインレッドをイメージして、イチから調合したボディカラー。オリジナルフェンダーの存在感が、以前よりも浮き彫りになった印象だ。



オーディオは地元山形の老舗「ヨブ」パワーサウンドMで製作。機材はパワーのあるMTXをセレクト。アクリルもふんだんに使っている。

内装&オーディオもスキのない仕上がり!



白をメインに据えることで、清潔感漂うインテリア。シートは白のバンチングレザーで張り替え、クルマを製作したTガレージのロゴを入れる。



ボディカラーを青から赤に一新して 上質なユーロスポーツスタイルへ

L175S ムーヴ 平成22年式 MOVE

specification

WHEEL ●ワーク・マイスターS1R(17×F6/5J+42、R6.5J+32)

TIRE ●ルッチーニ(165/35-17)

AERO PARTS ●F=ワンオフ、S=ブローデザイン・モードバルファム雅夢レガリア(HE21Sラン用)加工、R=ブローデザイン・モードバルファムファントムバージョン加工

EXTERIOR ●フェンダー=ワークス風フェンダートリム、テールレンズ=LED加工

INTERIOR ●ステアリング&シート&天井=張り替え、インパネ=キャンディレッド塗装&張り替え、フロアマット=オリジナル

SUSPENSION ●車高調=ジェーラインwithモードバルファム、リアアクスル=ジェーライン

BRAKE ●Tガレージ

MUFFLER ●ワンオフ

AUDIO ●ヘッドユニット=カロツェリア、アンプ&スピーカー&ウーファー=MTX

MAKING SHOP ●Tガレージ、パワーサウンドエム



見るべき

30

KCAR

42

栃木県
村田悦子さん

JB1ライフ 平成14年式

LIFE

specification

WHEEL●バランディデザイン・スヌーク(16×F7J、R7.5J)

TIRE●クムホ(165/40-16)

AERO PARTS●F=マック加工、S=フローデザイン・モードバルファム加工、R=ファブレス+ESB・CLS STD

EXTERIOR●グリル=ケイブレイク(オデッセイ用)加工、フェンダー=ワンオフ、テールレンズ=純正加工

INTERIOR●ステアリング=モモ、シート=RX-7純正張り替え、フロアマット=ディーワークス、インパネ=張り替え&塗装

SUSPENSION●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=バルテック、

BRAKE●イデアル

MUFFLER●ワンオフ

AUDIO●ヘッドユニット=カロツツェリア、ウーファー&アンプ&スピーカー=ロックフォード

MAKING SHOP●ディーワークス



リアブレーキをガレージBのキットでキャリバー化し迫力の足元を実現。「前々からやりたかった念願のメニューだったんです」と悦子さん。

「オーディオも力を入れた部分。自分が良い音で聞くのはもちろん、ACGなどでも戦えるよう“鳴らす”にもこだわりました」。

22
PICK UP
Kcar Special
Car of The Year
2015
見るべき
POINT
エアサスパイプ組みとスリーシーター化の組み合わせでオリジナリティ抜群のインテリア。まとまり感のあるグリーン一色の内装で個性が映える。



シートはRX-7の純正品を張り替え。「レカロやブリットを付けている人は多いので違うものを!!」と思ったんです。座り心地もいいしカッコいいので気に入ってます」。



「前仕様で作っていたトランクオーディオのイメージを払拭するため」に、ガラスと変わるスリーシーター化に挑戦。なお、このシートはクラシックカーレースで使う本物。



唯一無二の個性が光るリアスペース

コンセプトは、大人スポーツ。ボディカラーは前仕様のクリムム色から黒に変えて「落ち着いているけど存在感がある」スタイルを狙う。ちなみに、パーツ類はスポーティな雰囲気漂うものを様々に組み合わせ。例えばフロントの開閉部には前置きのインタークーラー。ガッツリ開けたドアダクトはNSXなど、クルマの疾走感を高めるのに大きな効果を果たしている。

ただ、今回の仕様で悦子さんが最も見て欲しいのは実はインテリア。特にエアサスのパイプ組みはイチオシのメイク。「ローライダーの雑誌なんかを見ながら、3〜4年前からずっとやりたいと思っていたんです。エアサスでできないかなと思ってシヨップの社長に相談したら『できない訳ではない』と。だったらやってみよう!! っていうやうく実現したんです。これは他にはあまりないですよ」。

天井は緑の1枚張りにオーバーヘッドコンソールを製作。「以前が巨大な照明だったので、今回は派手過ぎずがテーマです」。



マフラーはワンオフの砲弾4本出し。「エアロの出口部分とも相性がよかったし、サイズもバッチリ」だったのが決め手となった。



様々な車種のアウターハンドルを見まわって、最終的に決めたのは現行GT-R用。これも高級感とスポーティ感を両立させる。

他車種純正を流用して
スポーティ感を強調

リアドアに移植したのはNS-X用のドアダクト。「なるべくワイド感を出さないように」ドアをへこませて入れているという。



精悍なグレーのボディに
眩いオレンジが冴える

MH34S ワゴンR 平成24年式

WAGON R

specification

WHEEL●SSR・フォーミュラ メッシュ (16×F6.5J+19, R7J+26)
TIRE●ナンカン (165/40-10)
AERO PARTS●F/R=ニュース・コンパクトライン加工, S=ニュース・コンパクトライン
EXTERIOR●フェンダー=純正加工, テールレンズ=コーリンプロジェクト
INTERIOR●ステアリング=モモ, シート=レカロ, インパネ=塗装
SUSPENSION●車高調&リアアクスル=ワンオフ
MUFFLER●アルファプロジェクト
AUDIO●ヘッドユニット=カロツツェリア, ウーファー&アンプ&スピーカー=ダイコック
MAKING SHOP●ガレージキーズ

内装のパネルやビラーは純正のベージュだと少々スポーティ感に欠けるため、ワゴンR納車直後に赤で塗装。モモのステアリングは、見た目もアグレッシブなディープコンタイプをセレクトした。



レーシーさを求めて赤を多用したインテリア



ラゲージオーディオはアクリルを多用し、内部にマルチカラーLEDを投入。機材は音圧を重視してダイコックでまとめた。

バケットシートはレカロのSR7。赤1色のビジュアルが気に入って選んだ逸品。ホールド性が良く、疲れにくい点も大満足。



車高調とアクスルはワンオフ。リアは何とスペーサーを使わずに、ギリギリのアウトリップでセッティングしたのが密かな自慢。

ネオクラシカルなムードが漂う、復刻版のSSRフォーミュラメッシュ。オレンジディスクはメーカーのオーダー色。塗り分けの色にも合う。



見るべき

POINT
アクセントカラーにオレンジを選んだことで、暗めのボディカラーでも注目を集めることに成功。迫力を強めたリアビューも見どころである。

イベント会場ではまだ新鮮さが光るMH34SワゴンRを、ニュースのエアロで最先端なスタイリングに仕上げた藤田さん。特に魅了されたのが、フロントマスクを攻撃的に見せるスピンドル。デザインを崩したくないため、フロントの加工はナンバーレス程度に留めている。しかしリアは中央の縦フィンとバックフォグを取り払い、横フィンを追加して軽やかさを底上げ。そしてワイドなオーバル4本出しマフラーで、リアビューにさらなるインパクトを与えた。



マフラーは知り合いから譲り受けた、ゼグスピードの50シーマ用を加工。セダン用だけに、大きなオーバルが迫力を一層強める。

純正ルナグレーパールメタリックと渋いため、それと相反する色を選んでメリハリを付けた。ライトグリーンと迷ったそうだが、結果的にボディカラーに合うオレンジにして正解だったとか。同時にホイールやサイドデカールもオレンジに染める。

MH23Sから乗り換えたという藤田さん。「MH34Sはライトの形がシュッといてカッコいいです」。今後もまだまだイジる予定。

藤田 佑斗 さん
香川県



見るべき

今年の30台

KCAR SPECIAL

44

L152Sムーヴカスタム 平成18年式

MOVE CUSTOM

specification

WHEEL●ブレイトン・タイプ10フレームスポーツ
(17×9J+40)

TIRE●ナンカン(16535-17)

AERO PARTS●F=クイーンズエヴィデンス・クイーンズアンビエント+ブローデザイン・モードバルファム
ファントム雅夢、S/R=ブローデザイン・モードバルファム
ファントム雅夢加工

INTERIOR●ステアリング=モモ、シート=レカロ、フロアマット=オートワールドアタック

SUSPENSION●車高調=ワンオフ、リアアクスル=バルテック

BRAKE●ブレンボ

MUFFLER●ワンオフ

MAKING SHOP●オータスカース



中央を1cm下げ、左右にプレスラインを追加したボンネット。アーチを描くパッドフェイスはアクセントに先端に折り返しを付けた。



フロントはクイーンとモードバルファムのニコイチ。出幅に頼ることなく、スリットの深さや造形によって立体感を生み出している。

24
PICK UP
Kcar Special
Car of The Year
2015
見るべき
POINT
ゆっくりと時間をかけて熟成させた菊永さんのムーヴカスタム。流行すたりではなく、自分のスタイルを貫き通している。次のクルマも期待したい。

ヨーロッパ愛を注いだ
上質プレミアムスタイル

車高調は欧州車も得意とするオータスカースでワンオフしてさらに落ち幅をアップ。アクスルはバルテックに変更している。



ホイールはブレイトンのMINI用で17×9J+40サイズ。ボディとの馴染みを狙ったキャンディカラーにペイントしている。



9Jのリムを飲み込みオーバーフェンダーにはレックスを意識したスリットデザインを投入。さりげなく出幅をアピールしている。

ヨーロッパアンスタイルが大好き、という菊永さんのムーヴは、凝りに凝ったエアロの造形が見もの。たとえばボンネットひとつとってもプラスラインを加えてセンター部を1cm落とし込んだり、バッドフェイスも先端を折り曲げるなど、自分好みの形状にこだわった。さらにボディカラーはポリッシュのブラジウムメタリックという淡いゴールドを選択し、BMWチューナーブレイトンのホイールはキャンディカラーで合わせるなど、モノ、イロともに欧州の背景が込められている。

内装に目を向けると、ページユメブランドで美しく張り替えられたレカロがお出迎え。さらにリアも同仕様のレカロを装着し、4連バケット仕様となっていたのもオドロキだ。丁寧に丁寧に仕立てられた純ヨーロッパ仕様の一台は、静かで大人びた佇まいが印象的だった。



「最後の仕様変更でようやく完成しました。これで最後です」と菊永さん。存分にやり切ったようで満足気な表情だった。



圧巻の前後レカロシート
しかも張り替えを施す

圧巻の前後レカロA8。これだけでも相当なコストだが、さらに張り替えまで施して欧州チューナーの内装に近づけた。



リアバンパーのイメージはネットで見つけたフェラーリの画像。「三本出しのマフラーも含めて、形状はほぼ同じように。ただ、ムーヴカスタムのバンパーに合わせてバランスを整えるときに少しだけオリジナル感を出しています」。



純正フェンダーをベースにプレスダクトを成型。そこにFRPで作ったフィンを組み合わせ。スポーティ感に溢れるアレンジに仕上げている。

L150Sムーヴカスタム 平成18年式

MOVE CUSTOM

specification

WHEEL●ワーク・マイスター CR01 (16×F6J、R6.5J)
TIRE●ナンカン (165/40-16)
AERO PARTS●F/S/R=ワンオフ
EXTERIOR●ウイング=ワンオフ、フェンダー&テールレンズ=純正加工
INTERIOR●ステアリング=モモ、シート=スパルコ張り替え、インパネ=張り替え
SUSPENSION●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=純正加工
MUFFLER●ワンオフ
AUDIO●ヘッドユニット&アンプ=カロットツェリア、ウーファー&スピーカー=アルパイン



大きなプレスラインをダクト風に
あしらった「スポーツセダン風」
に仕上げたボンネット。エアロと
の相性もバッチリ。

ボンネットからリアゲートを買
いた白と紺のライン。「これもフェ
ラーリのアレンジをイメージして
やってみました」。

25
PICK UP
Kcar Special
Car of The Year
見るべき
POINT
これでもか!!と作り込んだ造形
で見せるエアロワーク。イベン
ト会場にあっても存在感はひと
際強い。しかも全て自作という
のも驚きのポイント。



センター部分を尖らせたフロントバンパーは攻
撃的なマスクを作り上げる。ボディ各所のエッ
ジの効いた造形とも相まって雰囲気も十分。



大胆な後付けパネルを
リベット留め風に

「フェンダーをあまり出たくなかったので」ドアダクトは後付
けパネルで製作。リパティークワークを意識したリベット留め
でハードな雰囲気を出す。

フロントバンパーはワンスター
のGS用エアロがモチーフ。
「イベントで実際に付けているク
ルマを見た時に「これカッコいいな
」って、ワンスター風に作ろうと
決めたんです」。

ただし完全に再現というわけ
ではなく、例えばリップダクト
のアレンジなど製作中でももっ
と良いアイデアが浮かべば柔軟
に採用したという。そんなこと
ができるのも、篠原さんが自作
派オーナーだから。今回のフロ
ント&リアバンパーもすべて自
分の手で製作しているという。

「純正バンパーで型を取って、仕
事の合間に約1年かけて作りま
した。やっぱり大事なものは妥協
しないことですからね。理想の
カタチになるまでFRPを貼っ
て、パテを盛って削っての繰り返し。
し。それでこんなに仕上がってしま
いました(笑)」。

だからこそ、バンパーの造形
は自作の域を超えている!?

文字通り「自らの手」で作り上げた スポーティなアグレッシブフォルム



「リベット留めのフェ
ンダーパネルはだいぶ
前から考えてたんですけ
ね。クルマの完成を待つ
たら後追いになっちゃい
ました……」。

篠原貴志
さん
長野県



見るべき

今年の30台

KCAR

46



オートマからMTにギア換え。ステアリングは人気のディーブコンタイプ、モモ・ドリフティング。パネルやドア内張り、ピラーは肌触りが良いスエード張り。

ライトの加工は自作。しかも左右非対称なのが驚き。左側は汎用6連プロジェクターを投入。青のイカリリングで縁取った。



右はSMDイカリリングを追加した汎用プロジェクター。インナーはラメをたっぷり入れた黒で塗り、光が当たるとキラッ。



安全かつ快適に走るべく
燃料タンクを移設

バトルワークスを付けたことで給油口が開かなくなり、路面とのヒットも避けるために燃料タンクを車内に移設。その上にはボディ剛性を高めるピラーバー。



26
PICK UP
Kcar Special
Car of The Year
2015
見るべき

ビス留め仕様でワルッぽい雰囲気放つ、ESBバトルワークスの付けこなし。汎用品ながら、ミラのフォルムに違和感なく馴染ませている。

JBターボエンジンにスワップ! 見た目の期待を裏切らぬ走りのミラ

スパルタンなオーラを放つ黒サファリーのボディにこの上なくマッチした、スポーティ仕様のミラ。見た目だけではなく中身も手を加えており、エンジンをJBDET4気筒ターボに換装。高速をストレスなく走るために、リミッターもカットした。フロント開口部から見えるARCの前置きインタークーラーは伊達じゃない。

L700Vミラ 平成12年式

MIRA

specification

WHEEL ●ワーク・マイスターCR01(15×F8.5J-12、R8.5J-25)
TIRE ●ATR(165/45-15)
AERO PARTS ●F=ユースタイル加工、S=ライブスポーツ加工、R=AKR加工
EXTERIOR ●グリル=後期純正、フェンダー=ESB加工、ヘッドライト&テールレンズ=純正加工
INTERIOR ●ステアリング=モモ、シート=レカロ、インパネ=張り替え
SUSPENSION ●車高調=Fレオン加工、Rシルク加工、リアアクスル=アヒル商会加工
MUFFLER ●ワンオフ
AUDIO ●ヘッドユニット=ダイアトーン、ウーファー=カロツェリア、スピーカー=ロックフォード
MAKING SHOP ●グレイス

超ディープリムのマイスターCR01は、前後共に8.5J。フロントもギリギリまでツラを攻めたのがこだわりだ。ディスクの奥に見えるスリットローターも走りを感じさせる。



市川雄也さん
三重県

「これが走れる車高短スタイルです!」と市川さん。今後はオールベンやホイール変更など、まだまだ進化させていきたいとのこと。

足まわりは車高調。F18・R20キロと、Kカーにはかなり固めのバネを組んでストロークを抑える。アクスルはアヒル商会。





三重県
前田智美さん

ドアを開けなくても内装をアピールできるように、「最近プライバシーガラスからクリアガラスに入れ替えました」と語る智美さん。



まるで既製品のようにクオリティが高い、ワンオフのワークスフェンダー。アーチに沿って入れた3連ダクトも新設。ホイールは15インチのマイスターCR01。フロントもツラを攻めた。

赤から青へのイメージチェンジは誰にも言わずに挑戦した隠しワザ

27
PICK UP
Kcar Special
Car of The Year
2015
見るべき
ミニカーのブルーメタリックに塗り直し、以前よりもクールな印象になったエクステリア。夫の愛がこもったサイドの加工も見たい。



バーディークラブの車高調を加工し、アクスルにも手を加えてリムガードでツラをセッティング。タイヤの接地面を見せて重厚感を強めた。

また色だけでなく、サイドステップの後面に刻まれた立体感あふれるダクトも最新仕様のひとつだ。こちらは自作が大好きな旦那さんがコックピットと加工してくれたそうで、攻撃的なフロント&リアの造形とバランスを取ることで大満足！

ケイブレイク・プラチナムのムラウ用とニオイチしたアグレッシブなエアロメイク、ロケットバニー風のワークスフェンダーなど、注目すべきポイントが満載な智美さんのザッツ。今回はボディを塗り直し、眩しい赤からミニクーパー純正ブルーメタリックを身にまとった。濃いグリーンも候補にあったというが、中が赤だけに「クリスマスツリーっぽくなるからやめました(笑)」。まわりをビックリさせたいから今回全塗装することは誰にも言わず、生まれ変わった姿を見た人の多くが驚いて手応えはバッチリだったという。



JD1 ザッツ 平成19年式

That's

specification

WHEEL●ワーク・マイスターCR01(15×F8J-28、R9J-19)
TIRE●ナンカン(F165/45-15、R185/45-15)
AEROPARTS●F/S/R=ケイブレイク・コンプリートプラチナム(LA100S用)加工
EXTERIOR●フェンダー=オリジナル、ヘッドライト&テールレンズ=純正加工
INTERIOR●ステアリング&ドア内張り&天井&インパネ=張り替え&植毛塗装、シート=レカロ張り替え、フロアマット=スプレnder
SUSPENSION●車高調=バーディークラブ加工、リアアクスル=ワンオフ
MUFFLER●オリジナル
AUDIO●ヘッドユニット=カロツェリア、アンプ=JBL、スピーカー&ウーファー=MTX
MAKING SHOP●オータスカーズ



糸にまでこだわった妥協なき総張り替え

ダッシュボードも塗装ではなく張り替え。メインに赤を選び、ポイントでイエローを加えてバランスを取った。



内装はスプレnderがプロデュース。シートなどにあしらったステッチは、珍しいレインボーの糸を採用した。

見るべき

30

KCAR

48



L175S ムーヴ 平成19年式

MOVE

specification

WHEEL●XXR・530(16×8J+25)
TIRE●ケンダ(165/45-16)
AERO PARTS●F/S/R=ブローデザイン・モールドバルファントムバージョン加工
EXTERIOR●フェンダー=ESB加工
INTERIOR●ステアリング=純正張り替え、シート=レカロ張り替え
SUSPENSION●車高調=ワンオフ、リアアクスル=バルテック
MUFFLER●ワンオフ
AUDIO●アンプ=ミューディメンション、ウーファー=ロックフォード

オーナーの代わりに
長男の龍昇くんが登場。
ちなみに波多家は来
年1月、3人目の子どもが
産まれる予定。「待望の
女の子です!」。



波多優作さん
愛媛県

28
PICK UP
Kcar Special
Car of The Year
見るべき
POINT
DSU杯の東西王座決勝に参戦するにあたり、急ピッチで仕上げたボディのフルラッピング。各部の色分けは前仕様と同じくシルバーを選んだ。

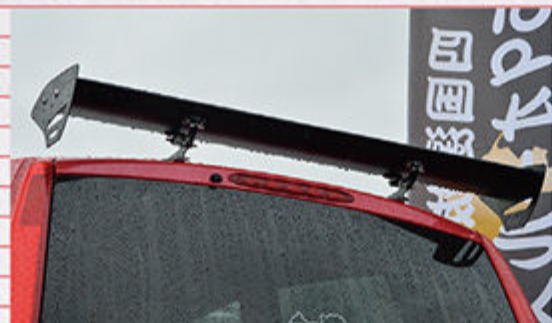


「貼り」の特性を生かし、リアドア左右に子どもたちの名前を引つけたイラストをエンボス風に入れる。左は次男の名前にちなみ「虎」。

貼りだからこそ実現した
浮かび上がる龍と虎



右は長男の名前に使われている「龍」。非常に立体的で、威圧感も文句なし。普通に貼るのも面白くないので、ちょっと個性を出しました。



リア周りが少し寂しいと感じ、新たに汎用のGTウイングを装着。幅・足の長さ共にちょうど良く、ボリューム満点なエクステリアにベストマッチ。



ホイールはディープコンケイブのXXR・530。ディスクは以前のゴールドから、差し色に合わせてシルバーで塗装し直して統一感を向上させた。

本誌14年6月号の表紙に輝いた波多さんのムーヴ。あれから着々と進化を遂げているが、今回の最新仕様はボディカラー。トレッドマークのゴールドから、短期間で鮮やかな赤にチェンジ。と言ってもオールペンではなく、ラッピングで仕上げています。かつてはボディが赤だった時代もあり、今の攻撃的な仕様にも合うだろうと思っただけのシートを選んだのだ。残念ながらこの日は雨だったが、光が当たると美しさがさらに増すのだとか。



イクスフェンダー。スソを大胆にカットすることでタイヤのトレッドがモロに見え、足元にどっしり感が出た。エアロはモールドバルファムを加工しているが、原型はほぼ残っていない。フロントは旬のスピンドルを採用。新しい雰囲気を手に入れた。



「男の人が作るクルマとは違う、自分だけのカタチにしたかった」と日野さん。フランス料理店の前にスッと止められるクルマを目指した。



もともとはACGなどオーディオイベントに出ていたということで、ラゲッジのオーディオもハイレベル。機材はロックフォード中心だ。



フロントに比べるとスポーティな装いのリヤセクション。ボトムまわりの造形はロエンのプリウスを使用している。

29
PICK UP
Kcar Special
Car of The Year
2015
見るべき
POINT
フロントはインパルの日産ノート用、リアはロエンのプリウス用を移植。インパクトある外観に対して、室内はピンクで女性的な華やかを演出する。

オシャレな街にも溶け込む
女性らしさを求めて

足周りはレオンの車高調とスーパーダックのリアアックスルの組み合わせ。リアのキャンバー角は7度、上げは60mmの設定だ。



L900Sムーヴ 平成11年式

MOVE

specification
WHEEL●ステルスレーシング・スベック01 (15x7J+35)
TIRE●ハンコック (165/45-15)
AERO PARTS●F=アルドアーズ+ホシノインパル・インパル (E21ノート用)、S=ジアラ・プラチナム、R=ジアラ・プラチナム+トミーカイラ・エコスポエディション (30プリウス用)
EXTERIOR●グリル=クイーンズエヴィデンス、ウイング&ヘッドライト&テールレンズ=ワンオフ
INTERIOR●シートカバー=クラッツィオ
SUSPENSION●車高調=レオン加工、リアアックスル=アヒル商会
MUFFLER●ワンオフ
AUDIO●ヘッドユニット=カロツツェリア、ウーファー&アンプ&スピーカー=ロックフォード
MAKING SHOP●岡田工房

特定のジャンルに囚われず、フレンチの店前においてもおかしくないスタイリングを目指したという日野さんのムーヴ。低年式を感じさせないようエアロ加工に凝り、フロントはアルドアーズとインパルのノートをニコイチ、リアもジアラとロエンのプリウス用をニコイチして立体感を極限まで高めた。ただ、そのままではインパクトが強すぎて「フレンチの前」とはいかないため、ボディカラーは女性らしさとテーマにマッチしたキューブのクラフトダンボールでオールペン。色味も明るめに調整することで、爽やかなムードを醸し出しているのもポイントだ。

女性らしさを求めつつも、正体不明感の強いフェイスメイクは斬新そのもの。自由な発想で楽しんだスタイリングは、強豪ひしめく会場でも際立っていた。



「荷物積むから作れないでしょ?」と言われ、その言葉をね返すためにトランクオーディオを製作。奥行きある作りはピークスならではの。



ユースタイルのミラ用パッドフェイスボンネットには、ベンツのダクトを埋め込んで高級感を演出。バンパー中央を尖らせて攻撃的に。



内装はブラウンとベージュで上品にコーデ。フロントのシートはレカロのセミバケットタイプ。素材は肌触りが良いアルカンターラを選ぶ。ドア内張りや天井も張り替え済み。



L802S オプティビークス 平成10年式

OPTI BEEX

specification

WHEEL ●ACシュニツァー・タイプ1 (16×7.5J+32)

TIRE ●クムホ (165/40-16)

AERO PARTS ●F/S/R=ワンオフ

EXTERIOR ●プリスターフェンダー=ワンオフ、ヘッドライト=フロントフェンダー=L700ミラ加工、テールレンズ=BMW E46用、トランク&リアフレーム=延長加工、ボンネット=ユースタイル加工

INTERIOR ●ステアリング=ファブレス、シート&ドア内張り&天井=張り替え、インパネ=ピアノブラック塗装、シフトゲート=コペン用

SUSPENSION ●車高調=レオン、リアアクスル=アヒル商会

BRAKE ●キャリパーキット=ブレンボ

MUFFLER ●セッション

AUDIO ●ヘッドユニット=カロツツェリア、アンプ=オーディゾン&サウンドストリーム、スピーカー=オーディゾン&ヘソックス、ウーファー=MATCH

MAKING SHOP ●ビーダッシュ、K2ファクトリー

ピークスだからこそ似合う
セダンを連想させる佇まい



青山佑樹さん
千葉県

クルマが完成してからは、全国各地のイベントに参加している青山さん。「できたてホヤホヤのトランクオーディオを見て下さいね」。

同じピークスに乗っていた、盟友タマさんから譲り受けたシュニツァー! ワンオフのスペーサーで履きこなす。アクスルはアヒル商会。



30
PICK UP
Kcar Special
Car of The Year
2015
見るべき

POINT
ボディを大きく見せるクッキリとしたプリスター、L700ミラ顔面&BMWテールのスワップなど、とにかく見るべきポイントが盛りだくさん!

希少なオプティビークスで、攻めのドレスアップを続ける青山さん。外装はかつてセダン界で一世を風靡した、エボリューションのキットをイメージしたワンオフプリスターが圧巻。クッキリとしたラインを起点にボコッと膨らみ、さらにクッキリとしたアーチを加えることでワイド感をさらに盛り上げる。

エアロはすべてワンオフで製作。ユーロなテイストを加えつつ、フォグは200系クラウン純正を選ぶなどプリスター同様にセダン意識もチラリ。数少ないセダン形状のKカー、ピークスだから似合う芸当だ。さらに顔面&テールまわりを変えてしまうという大ワザで、車種不明感を演出。フロントはL700ミラ、テールはBMW E46用を移植して「このクルマは?」と思わせる。そのボディ形状を生かして製作した、最新仕様のトランクオーディオも必見!



トランクまで伸ばした
リアまわりの大手術

純正と言ってもおかしくないほど、視線に埋め込まれたBMWのテール。さらにトランクを15センチ後ろに延長することで、よりセダンらしいフォルムに仕上げたのも自慢点。



Kスぺ編集部員 三者三様



今月号の巻頭特集を締めくくるのは、
登場したクルマたちをピックアップした編集部員による座談会。
30台のクルマから見てくる2015年のドレスアップシーンとは？
それぞれが各自の視点で語り尽くします!!

2015年のドレスアップシーンを総括



ある太郎

おなじみKスぺのトップガン。Kスぺコペンのプロデュースを手がけただけでなく、自らもシャコタン車に乗る生粋のドレスアップフリーク。



(郡)

本誌編集長。セダンやミニバンなどさまざまなドレスアップ誌の編集者を務めること30年という大ベテラン。最近腰痛に悩まされている。



カワグッチ

Kスぺ編集部、永遠の丁稚。ドレスアップのことはめっきりだったけれど、この2年間で少しはわかるようになってきた!?

一大ブームとなった フェンダーメイク

カワグッチ(以下カワ)

…2015年もまだ1ヶ月以上残っておりますが、今回ピックアップした30台に限らず、今年のドレスアップシーンの総括をしてみたいと思います。

(郡) …よろしく。

ある太郎(以下ある) …よろしく！

カワ…2015年を振り返る上で外せないキーワードはやはり『フェンダー』かと思います。

ある…フェンダーってやれば必ずしもプラスになるかっていうと難しいよね。

(郡) …フェンダーって聖域だったからね。

ある…やっぱり、一度やったらもう引き返せないっていうある意味で『覚悟』を決めてやらなきゃいけないことだったから。敷居が下がったこと自体はいいことなのかも知れないけれど。

カワ…そうだったなかでエポックメイキングだったのはとんちあん(安達L175S)ですね。

ある…Kカーの枠をはみ出さずにフェンダーメイクができるのがひとつの理想形だね。それ以外にも押条さん(L175S)みたいに『なる

べく純正に見えるように出す』みたいな手法もあるよね。

(郡) …たとえば低年式のMH21ならなにやっても良いって発想があるよね。でもこれからN・BOXとかがもつ

とドレスアップ車として出てくればシブブル仕様が流行ると思う。それは30セルシオ

が出たときも同じ。新しいクルマが出てくれば、フェンダー

やるって流れがなくなっちゃう気もしなくはないんだよね。

それに今のクルマはフェンダー樹脂なんだろう？

ある…はい。従来の鉄板溶接ができないんですよ。

カワ…デザインの傾向について考えてみたいと思います。

ある…大きくわけちゃうと、ロケットバン系と往年のセダン、プリスターオーパーフェンダーが多くなった気がする。

(郡) …『ビス留め』ってのは昔からあるんだけど、どっちかというやんちゃというか。デザインも、ただまーるく三日月状だったのが、前後にエッジをついたり、デザイン性を

持たせたのが今風だね。それにKカーのドレスアップってだいたいセダンでやってたの

を持って来たりするものだったんだけど、デモカーでカウ

ンタックとかGTRにコレをやっちゃってるから。それを見て、『カウタックにやっちゃってるなら、コレ、俺のクルマにもやっても良いのかな』

デザインやサイズ、フェンダーもいろいろ!!

青山佑樹さん

千葉県 ■■■■

L802S

OPTI BEEEX



「プリスターで膨らませ、その上からくっきりとしたオパールをレイアウト。そのラインはそのままツラへと繋がっていく様はカッコイイ」。



安達理沙さん

山形県 ■■■■

L175S

MOVE



「Kカーの規格に収まるサイズでフェンダーのミミに沿うようにパネルを貼り付け。まったく新しいタイプのフェンダーと言えるのでは」。



市川雄也さん

三重県 ■■■■

L700V

MIRA



「バトルワークスで極太のマイスターをアウトリッパで履きこなし市川さん。ショップオリジナルのナンバーボルトを使って固定しています」。



って思うんだろうな。

ある…往年のセダンっていうのはプリスターがあつて、そこ

にオーバフェンダーを作る。これに関しては、流行と言う

より完全にこだわりの持ちつて

やっているよね。ただここま

でフェンダーが流行ったのも『ス

タンス』というものが関係し

ていると思う。

海の向こうから来た スタンスという言葉

カワ…ではオーナーからも良く聞かれる『スタンス意識』

ってなんだろう？

(郡) …なんか定義付けみた

いなことってできるの？

ある…乱暴に言っちゃえば、

ホイール、車高、ボディカラー。

僕らがドレコンで取材するよ

うなVIPの流れを汲むド

レスアップではないですね。

(郡) …セダンとKカーではな

んなくハマルのに、ミニバンだ

としっくりこないような気が

するのなんだろう。

ある…背が高いからでしょう。

スタンスってどこまで車高が

下げらるかがキモだから。

カワ…そうなるのかなかなか

エアロも着けづらいですね。

ある…スタンスっぽいホイール

っていうと(ワーク・マイスター)

スタンスってエアサスが多いんだって。もちろん道路事情なんかもあるんだろうけれど。

(郡) …ドレスアップのひとつのジャンルである仙台仕様とスタンスの違いは車高調かエアサスかなのかも。

ある…だからといってこれからエアサスのシェアが伸びるかといえば違う。日本人的な感覚だと車高調で落としたいんじゃないかなと思う。

(郡) …あとスタンスって意外と派手な色も多いよね。ひと口にスタンスと言っても、そのスタイルそのものにしちゃうんじゃなくて、そのエッセンスを吸収して部分的に使うのがKカーのドレスアップなんだらうね。

ホイールを見せるツラ
アウトリッパが台頭

カワ…それから、今年になって顕著なのが『ホイールを見せるツラ』です。

(郡) …今までって仙台仕様を筆頭にツライチが良いって言われてきたんだけど。

ある…最近ではフェンダーしかり、アウトリッパ的な作り方をする人が増えているんですよ。でも5年前だったらツラウチ。その頃にこうやって30台選んだとしたらほぼリム被りだったと思う。それが段々とホイールを見せる、というツラ概念そのものが

変わってきて、だからバンブータッチで止めるっていう足の作り方が増えているのも、つまりはそういうことだろうね。

次々と移り変わるドレスアップのモチーフ

カワ…ほかに気になるキーワードはありますか？

(郡)…俺はね、やっぱりレカロ。広島仕様(8月号巻頭特集)のオーナー達に多かった。なんでかって考えたたら、シートカバーとか張り替えだとかタチはみんな同じでしよう。だからレカロだとひと目見て違うのがわかる。

ある…レカロだって張り替える人がいるからインパクト薄れるでしょう。

(郡)…純正シートに比べれば全然違う。とくにKカーの室内に対して、レカロシートは大きいからね。

カワ…ほかのバケットシートとはなにが違うんでしょう？

ある…レカロが良いのはいまにはじまったことじゃない。純正のスポーツグレードで使われているとかね、そういう裏付けがある。あとはヨーロッパからきたアイテムっていうブランド力も大きいと思いますよ。

(郡)…あとね、これは俺くらの年のオジサンが言っていたんだけど、「遠征が楽になる」って(笑)。

ある…外装で言えば「BMW」。今のドレスアップオーナーの感覚にマッチしているんじゃないかな。特にエアロ加工をするときにモチーフにしている人が多いと思う。

(郡)…昔はベンツありきたりなんだよ。チューナー系だとロリンザーとかブラバスに引張られていたんだけど。それにKカーのドレスアップってセダンをある程度、見本にするのが基本だったんだけど、今は経由しない。

ある…昔もいたけれど、今のオーナーは特に研究熱心。スマホで画像検索すれば見れちゃうのもあると思う。だから直接見つけて、持ってきてこれちゃうんだ。板金屋さんの技術も上がっているのも確か。こういう言い方するとアレだけど、雑誌にも罪はあるよね。

(郡)…ワンオフってすごいことのはずだったんだよね。昔はバンパーの加工ってフォグ交換とかちよつとした延長とかが一般的だったから。

カワ…エアロ加工が話に出たので、30台のエアロを見ていたら、とにかくインタークーラーの数が多い。

(郡)…開口部を大きく取ってそのままはどうしても間が抜けちゃうからね。アクセントになるし、かつこいよ。

カワ…ちよつと違和感あるかなってクルマでもいわゆる「ハズレ」になっていますね。

BMWのイメージを注入

くわチャラさん

兵庫県 ■■■■

MH21S

WAGON R

「フェンダーのダクトにはM3のウインカーをフィンに見立ててセット。ボディカラーはX3のスパークリングブラックだよ」。



エアサスならではのリムヅラ

リユーコックさん

山梨県 ■■■■

MJ22S

AZ WAGON

「たつぷりと張り出したオーバーフェンダーはエアサスにより、リムとツライチに。もちろんディスクデザインははっきりと見せているね」。



随所に取り入れたスタンスの香り

小島雅之さん

愛知県 ■■■■

L550S

MOVE LATTE

「コンケイブしたメッシュホイールにロングナットをセット。足元以外にもスタンスのエッセンスたつぷりだね」。



ある…クルマいじりの原点ってレーシングカーだから。速いクルマに対する憧れってどこにあるはずなんだよね。でも前置きインタークーラーってスポーツカーでも特殊なんです。取りまわしの問題から純正で使っているクルマも少なくない。それにBMWってターボ使い始めたの最近だから、BMW風加工とインタークーラーってちよつと違和感あるかな(笑)。

(郡)…パイピングしないとやっぱりダミーっぽく見えちゃう。でもこれがあるかないかじゃ全然違う。

ある…サイズ感も大切で、パイピングを上手に取りまわせばいいんだけど、シルビア用とか、あまり大きすぎるのをつけるのね。ドッカンターボみたいなセッティングになっちゃう。赤嶺さんのムーヴカスタムくらいがちょうど良いのかな。

(郡)…BMWから離れても、エアロ加工というスタイルのトレンドとしてはやはりレーシー。GTカー系と云えばいいのかな？

カワ…それは間違いないですね。別体風パーツなどもその影響のひとつだと思います。

ある…開口部で言うと、スピンドルってどう思う？

カワ…スピンドルやるともうイメージが決まっちゃう。「あ

のスピンドルのクルマね」ってなりますよね。

ある…かつこいけど、デザインにアクが強いもんね。

(郡)…ある程度、定着したした感もある。でもレクサスも次でスピンドルやめるって噂はあつたけれど継続するみたい。

カワ…アウディとかBMW以外にも国産だって、マツダも日産もホンダもアイデンティティになる共通デザインを根付かせようとしています。

ある…でもほかのメーカーの場合、開口部をマネすることはあっても顔全体をマネされることはないよね。だからドレスアップに取り入れるときも、顔全体に入れるんじゃないって、一部に取り入れても良いわけでしょう。そういう意味では来年も面白いんじゃないかな。

多様な車種もKカーならではの

カワ…ハスラーはどうでしょう？

(郡)…ハスラーとかコペンとかじよじよに出てきているよね。前のも含めてオープンのコペンとか、ジムニーもいてKカーは本当に幅広い。それにここ最近の新型車ラッシュもあって、来年からはもっと新しいクルマが出てきて良いと思う。たとえばパーツが増え

(郡) …あとは軽トラも単体でイベントが成立しちゃうくらい盛り上がりつつあるよね。メーカーさんのがんばりもあるし、雑誌でも取り上げて。だから『軽トラってイジっていいんだ』ってのが認知された。軽トラなら普通車をカスタムするのをためらっているオジサンがシャコタンにしても、ホビーって感じで全然平気みたいだし。

カワ…新しいクルマの動向も気になりますが、175ムーヴの多さも気になるところです。

ある…なんだろうね(笑)。

(郡) …MH23はやり尽くした感があるのは否めない。あと175ムーヴはカタチがキレイなんだよね。

ある…MH21と23 それに175は純正バンパーがシン

（郡）……ある意味ではセダン
的というか。端正な作りのプ
ロポーションの良い美人さん。
なに着せても似合うんだよ。
ワゴンRの優等生的な感じ
よりも、リアのピラーが寝て
たりとか純正のスタイルにデ
ザイン性があるんだよねあ。
それに年代的にそこまで古
くもなく、ドレスアップパー
ツも豊富でベース車として非
常に買いやすいよね。

カワ… 現行の150系をド
レスアップするのは大変です。
(郡)… あれだけ具だくさんの
バンパーを外すっていう発
想は、今はまだないよね。

(郡) … 光モノはどう？

ある…ミニタワーを100枚いれたり、LEDを3000発、4000発光らせましたって人はいなくな

「クロスオーバーやオープンが同じ舞台に立つのもKカーならではの光景。コペンはLA400Kも増えてきたね」。

ハーヴ!!

A young man with glasses and a red jacket stands next to a small, orange, futuristic car. The car has a boxy, rounded design with large, circular headlights and red wheels. The background is a solid light blue.

「赤嶺さん(左下)はカスタムから顔面移植でカジュアル化。同じ175ムーヴでもドレスアップの方向性はみんなバラバラなのもポイント。このパーツの豊富さ、ドレスアップベースとしてのプレーンさが、魅力だね」。



ある……なによりね、みんな上手に使うようになったんだよ。

(郡)……シャコタンにしても、もちろん低いのは低いんだけど、故障しているじゃないかっていう異常なほどのシャコタンで減っている気がする。

ある…光モノでもシャコタ

でも、はじめはすごい人がい
れば、雑誌で取り上げて、み
んなわーっとそれを目指した
んだけれど。今はそこまで低
さにこだわる人が少なくなっ
たというか。『超低い』みたい
なことに疲れちゃったんじや
ないかな。昔から『扱える車
高』って言い方するじゃない
ですか。みんな自分が乗れる
車高に落ち着いているんじゃないかな。

カワ…それでもこの30台みたいな車高でイベントのために100km、200km走っていることを考えたらすごいことですよ。

カワ…ページもなくなってきた

ましたので、そろそろまとめに行きたいと思います。

(郡)・・・レベルアップしすぎていて、なにかカッコいいとか悪いとか判断しずらくなったの

るとよけいにわからなくなる
(笑)。それからやっぱりフェン
ダーは昔は禁欲的というか、

それやっちゃだめだろうというかね。寸止め感があつたの。だからこそそのルールの中で創意工夫して、飛び道具が生まれてみたりね。それがKカーの良さだった。でもフェンダーやることで、可能性を広

ど、枠の中でやることの踏ん張りみたいなものがなくなつたかな。それからワンオフバンプのレベルが上がりすぎて以前だったら「これ元はあそこだよな」って知ったかぶりできたのが、通用しなくなつた(笑)。とにかく、一度はじまつたものは止まらないから、来年はもっとすごいワザが飛び出して、そう言った意味では面白くなる予感がするね。

ある&カワ……。○

？ (郡) …ふたりはなんかある

ある&カワ…そこまで言われちゃったら、もう付け加えることがありませんよ(笑)。

ある…来年もできるだけたくさんのイベントやオフ会に遊びに行けたらと思っています。

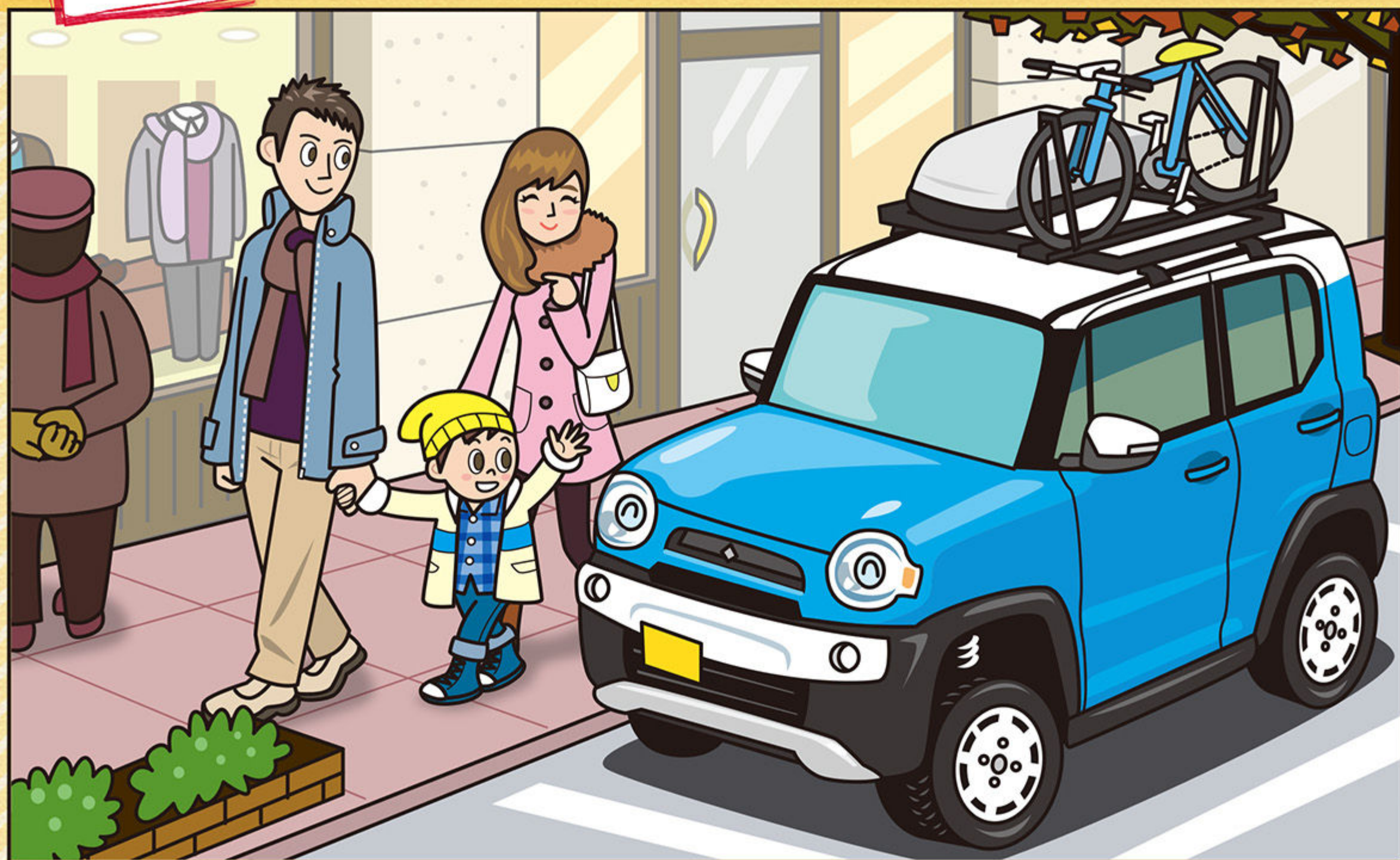
3人とも偉そうに好き勝手
言っただけでごめんなさい
(笑)。Kスベは来年もカスタ
ムシーンが盛り上がることを
願っています。



第8回

プロのアドバイスで脱・初心者を目指す

ドレスアップ実践教室



走って遊べるお洒落スタイル リフトアップ仕様の作り方

“上げバネ”を組むだけで
お手軽に車高アップ可能



段差も楽々
越えられる♪



無骨なホイールでオフロード系の雰囲気！

ハスラーの登場あたりからにわかに脚光を浴び始めたリフトアップ仕様。これまでローダウンばかりだったKカードレスアップ業界でも、確立されたひとつのジャンルとして認知されつつある。とはいえ、その具体的なノウハウが広く知られるまでには至っていない。そこで今回は、リフトアップ流行の仕掛け人、KLCの川原さんに話を聞く。

PHOTO●木下 誠
ILLUST●吉田たつちか

取材協力
K L C

ローダウンとは
ひと味違った
魅力があります



今回のプロ講師
川原 宏樹さん

ケーエルシー
千葉県富津市大堀2-13-10
☎0439-88-0450
<http://www.klc-div.com>
営業時間:10時~19時
定休日:日曜・祝祭日

業界でもいち早くリフトアップ仕様に注目していたKLC。オリジナルのリフトアップサスペンション“轟(とどろき)”も大好評で、対応車種は日々拡大中だ。川原さんは車高短好きでありながら、上げ系の造詣も深い。

リフトアップの魅力やメリットを知る

STEP
01

ココがリフトアップの
イイトコロ

- ・広い行動範囲で楽しめる
- ・乗り心地をキープできる
- ・ローダウンより比較的
低コストでイジれる



大人っぽくサリッと
キマるのもポイント



SUZUKI
エブリー

SUZUKI
ハスラー



DAIHATSU
ネイキッド

ヒンジがむきだしの無骨なボディが
リフトアップにマッチ。男っぽくワイルドに決まること間違いなし。

SUZUKI アルトラパン

クラシカルでポップなラパンだから、上げもイける。ラシーンっぽい雰囲気好きな人にオススメ。



DAIHATSU
キャスト
アクティバ

DAIHATSU ウェイク

お洒落な箱バンといった感じのウェイクもいい素材。ゴツめのオフロードタイヤがよく似合う。



こんなクルマも
ベース車両に
ピッタリです

ミニクロスオーバーを彷彿させる都会派SUVスタイル。元々車高が高いので、上げるのは確実だ。

キツイ段差や急なスロープもOK
どこでも気兼ねなく行けるのが◎



コンビニ



立体駐車場



ガソリン
スタンド



車高がアップするので、当然ながら段差関係は得意。コンビニやGSはもちろん、車高短ではまず入れない立駐も余裕だ。道路の陥没・出っ張ったマンホールなど、不意に遭遇するトラブルにも強い。ただし機械式の立駐など、高さ制限のあるところは逆に厳しくなるので注意が必要。

手軽にやれて今っぽくお洒落にキマる

少し前まで、Kカーでリフトアップといえ、まずジムニー。ほかには軽トラ・バンもチラホラという感じでしたが、ハスラーが当たったことで、裾野がグッと広がりました。今の流れを作ったのは間違いなくハスラーでしょう。

その背景には、クルマ業界全体のSUVブームがあったと思います。ハリアは昔から人気でしたが、CX-5が成功し、ジュークなどコンパクト系も売れた。そういった下地がハスラーのヒットにも繋がって、「リフトアップってお洒落だね」「カッコイイね」という雰囲気になっていったと思われます。

さてそのリフトアップ仕様。一番の魅力は、ストリートにルックスでしょう。好みは分かれるところではありますが、

前述の通り今はSUVブーム。流行のスタイルというだけで興味が湧いてくるし、そもそも「上げ」は昔から確立されてきたスタイルでもあるので、ハマる人はハマると思います。

個人的な意見だと、ボクのような四十代のおじさんが乗っていても、お洒落っぽく見えるのがメリット。ベタベタの車高短もワルっぽくていいのですが、もうちょい肩の力を抜いて、サラッと乗れるのがいいですね。実際、運転も楽ですし、「段差があるところはムリ」といった行動範囲の制約もない。

あとは低コストでやれるのも特徴。バネだけ組めばとりあえず上がるし、エアロはまず付けないので、その分お金もかからない。お手軽さが魅力です。

実際に“上げバネ”を組むとこんな風になる

STEP
02



17系エブリイ
装着後

装着パーツ: KLC・リフトアップサスペンション“轟”



装着後



装着前

FRONTアーチ高

REARアーチ高

FRONTアーチ高

REARアーチ高



569mm

573mm

529mm

543mm



装着後



装着前

FRONTアーチ高

REARアーチ高

FRONTアーチ高

REARアーチ高



609mm

614mm

584mm

593mm

装着パーツ:
シュビーゲル・アップサスキャンバー補正ボルト付セット

※アーチ高はアーチトップからホイール下部(リム)までの数値。また、しばらく走行するとバネが馴染んで数値が若干変化します

今回使った商品は コチラ

KLC リフトアップサスペンション“轟”



車種ごとに細かくバネレートと自由長を設定。硬すぎず柔らかすぎずのちょうどいい乗り心地を実現する。対応ラインアップは、エブリイ、ハスラー、N-BOX、ウェイクなど多数。

価格:3万7800円
※軽トラ用は
4万5360円

シュビーゲル アップサス キャンバー補正ボルト付キット

車高アップに伴うキャンバー角の狂いを補正してくれるボルト付きの上げキット。アップ量は25~30ミリで、ラインナップはハスラーのみ。二駆・四駆の両方に対応する。



価格:3万4560円

バネ交換だけで約3センチアップ!

リフトアップのやり方は大きく分けてふたつ。ひとつはウチやシュビーゲルさんで出しているような、「リフトアップサス」を使う方法(↑)。これはダウンサスの上げ版のような感じで、ショックは純正を流用し、バネだけをやや硬め&長めのものに交換するというもの。

上げ幅は1~1.5インチ(25~35ミリ)くらい。上の実例でフェンダーとタイヤのスキマに注目すると、装着後の方が明らかに空間が開いているのが分かると思います。数値では30ミリほどの差ですが、けっこう雰囲気が変わるでしょ? さらに、純正より外径の大きいタイヤを装着することで、もう15ミリほどアップ。計2インチ(50ミリ)アップがオススメのスタイルになります。

ちなみに、このくらい上げ幅なら、基本的に車検OK。ブレーキホースの延長など必要ないし、コストは工賃込み6~7万円で済みます。また、乗り心地をキープできる車高でもあります。構造的には、もっと長いバネを使って上げることもできますが、すると純正ショックが伸び切り、「縮むけど伸びない」状態になるのでNGなんです。

さてもうひとつの方法は、ブロックで純正ショックごとかさ上げするやり方。メリットはバネ交換よりも大きく上げられること(4インチくらいが目安)や、純正のストローク量をキープできることです。構造変更が必須。コストもグッと高くなるので、まずはバネ交換から始めるのがいいでしょう。

リフトアップに似合うタイヤ&ホイールは?

STEP
03

〈オフロード仕様〉



ホイールは13inch×4J、タイヤは175/70-13。ブロックパターンのトレッドでパッと見て明らかに「やっている」感じに。幅も右のオンロードより10ミリ太いので、さらに存在感アップ。

〈オンロード仕様〉



ホイールは13inch×4J、タイヤは165/70-13。扁平率が高めなのでタイヤの存在感はそれなりにあるが、見た目の雰囲気はわりと普通。さり気ないのが好みであればこっちか。

タイヤの
参考サイズを
ご紹介

オンロードタイヤ

13inch	165/70	外径561.2mm
14inch	165/65	外径570.1mm
15inch	165/55	外径562.5mm

オフロードタイヤ

13inch	175/70	外径575.2mm
14inch	175/65	外径583.1mm
15inch	165/60	外径579.0mm

※サイズはあくまで参考値。車種によっては車検適応外となったり、インナーに干渉する可能性あり

“上げ”にハマる
ホイールたち



ワーク
CRAG MH
15inch



バドックス
LOXARNY
BATTLESHIP4
15/16inch



KLC CROSS-X
12/13/15inch



クリムソン
DEAN
CROSS COUNTRY
14/15/16inch

タイヤの厚み分がアップ量に
上乗せされるのを忘れなく



例えばタイヤ
外径が30ミリ
大きくなれば
車高は15ミリも
アップするん
です！



要注意！

意外と忘れがちなのが、タイヤ外径アップに伴う車高の変化。同じインチ数でも、扁平率の数値が大きくなるほど外径も大きくなり、車高も平気で20ミリくらい上がったりする。パネ交換だったら車検も大丈夫でしょ、と思っていても、このタイヤの厚み分で弾かれるケースも考えられる。

分厚いタイヤ+無骨系ホイールが基本

前ページでも軽く触れましたが、リフトアップする上で、タイヤも重要なポイント。まずセオリーとして、「純正より扁平率を高く(＝厚く)する」「外径サイズを大きくする」というものがあります。これはSUV系のクルマがそういった分厚く&大きいタイヤを履いていることから来ています。

具体的には左上の表で紹介しているサイズがオススメですが、車種によって多少変わるので注意してください。中でもハスラーは純正がそもそもデカイ(外径579ミリ)ため、表のサイズだと少し物足りない感じがします。逆にエブリイバンあたりだと、純正の外径が540ミリくらいしかない(ワゴンだと550ミリくらい)ので、580ミ

りくらいのタイヤはちょっとオーバーサイズ。メーターの狂いも大きくなるので避けた方がいいです。目安は純正の外径+30ミリくらいまででしょう。

ホイールは、ゴツゴツした重量感あるデザインや、クラシカルで質素なタイプが似合います。特にゴツゴツ系ホイール+オフロードタイヤのコンビは、かなりインパクトがあつて、クロカンっぽい雰囲気を出すのにピッタリ。クラシカル系はオンロード・オフロードの両方に似合うので、迷ったらこっちです。

ただ、ハリアールっぽい都会派クロスオーバー系を目指すなら、薄い扁平タイヤ+大口径ホイールもアリじゃないかなと個人的には考えてます。興味のある方はぜひ挑戦してみてくださいね。

Q バネ以外に必要なパーツは？

A 3点リンク式の足まわりを採用しているクルマ（ハスラーやエブリイなどスズキ車）は、車高が変わるとリアタイヤが左右にズレます。なので調整式のラテラルロッドに交換するのがベター。これはローダウンと一緒にですね。一方でフロントは車種問わずキャンバーがポジティブ側に起きてしまうので、キャンバーボルトで戻してやった方がいい。また、大きくリフトアップする場合だと、ブレーキホースを長いタイプに換えたり、スタビの延長ブロックなどが必要になることもあります。轟で上げるレベルならそれらは不要です。



ラテラルロッド(スズキ車用) 1万6200円 キャンバーボルト(汎用) 5400円

Q 軽トラもリフトアップできる？

A キャリイやハイゼットは、リアにリーフ式スプリング（いわゆる板バネ）が採用されていますが、問題なく上げられます。ウチではアルミ削り出しのブロックを使ってリフトアップする方法を採っていて、他の車種とはちょっと仕組みが違いますけど、DA16Tキャリイで30ミリ、S500Pハイゼットトラックで35ミリのアップが可能。値段はちょっとだけ高くなり、1台分で4万5360円になります。



Q 上げバネはDIY装着も可能？

A リフトアップスプリングは純正よりも全長が長いので、一旦縮めないとショックに取り付けられません。もちろん腕力では縮められないので（笑）、専用ツールを使って縮めることになりますが、それさえできれば後はダウンサス装着と流れは同じ。何度か経験のある人なら大丈夫でしょう。取り付け後は、サイドスリップ調整、ヘッドライトの光軸調整も必ず行いましょう。



シュピーゲル
埼玉県越谷市大林414-1
tel.048-970-2800
http://www.spiegel.co.jp

シュピーゲル
逸見さん

装着ご希望の方はお電話で
ご予約を

Q 車検は通るの？

A 確実に、とはいいい切れませんが、1.5〜2インチアップくらいであれば、そのまま車検に通ると思います（もちろんフェンダーからタイヤがハミ出ていないのが前提）。ただし、前ページでも紹介したように、タイヤ外径に伴うアップ量も含まれる点に注意して下さい。もっとガッツリ上げた場合、例えば下写真は4インチアップですが、ここまで来ると確実に構造変更申請が必要。例えまだ車検が残っていても、改めて取り直さないといけないのを忘れなく。

ガッツリ
上げるなら
構造変更が
必要です



リフトアップに臨む前に知っておきたい

Q

A

講座

Q 上げ仕様に合うドレスアップは？

A 上げ仕様はまずエアロを付けないので、どうしてもシンプルになります。そこでオススメなのが、カッティングやラッピング。（→）はウチのデモカーですが、雰囲気を出すためにフェンダーアーチとドア下、ピラーなどに「シマイタ」風のラッピングを施してます。ここまでじゃなくても、ワンポイントで一部に迷彩柄を入れたり、マットブラック化してみるのも面白いかもしれません。



ラッピングを使って
ワイルド感を演出

Q 乗り心地はどんな感じ？

A ウチの轟の場合だと、バネレートが若干上がっている分、純正に比べて少しだけ硬く感じると。思いますが、といっても、ベッタベタの車高短のような突き上げ感とかはなく、いい具合にロールも抑えられて、カチッとしっかりした雰囲気。具体的には、車種によってもちょっとずつ変わってきますが、最近リリースしたウェイク用なんかは、明らかに純正よりもいい感じ。自信作ですよ〜。



“轟”は純正と
ほぼ同じ乗り心地
少しだけ硬めかな



11代目 CARRY & 9代目 HIJET TRUCK

DA63T型 スズキ・キャリイ

S200/210P・S201/211P型 ダイハツ・ハイゼットトラック

農作業や荷物運搬、移動販売など、業務用として他用途で重宝される軽トラック。単なる小まわりのきく便利なクルマなだけではない。実はドレスアップベースとしても、十分に実力を発揮する車両でもある。軽トラドレスアップの雄、翔プロデュースの金岡サンがその魅力を語る。

仕事も趣味もドレスアップも 軽トラ一台あれば全てOK!



11代目
CARRY



9代目
HIJET TRUCK

翔プロデュース
金岡浩志

☎079-232-7877
http://www.sho-produce.com



外装、足まわり、インテリアまで、多数のアイテムを開発し、軽トラオーナーを熱くサポートする翔プロデュースの代表。「人と一緒につまらないから、他とかぶらん商品を考えてるんです」。

Kカーベース車

K c a r B a s e C a r M U S E U M

博物館

第10回

TEXT ●内山智子
ILLUST ●風間康志

腹下のスカスカ感を 解消するエアロを作る

僕らは10年ぐらい前から軽トラエアロを作っています。その頃の軽トラのいじりって、デコトラ風か、旧車風。14、15インチの太いタイヤ履いて、バーフェンしてローダウンみたいな。箱スカ、ケンメリの軽トラ版みたいな感じ。いわゆるエアロを付けるドレスアップっていうのはなかったんですね。

軽トラって、なんせリアがスカスカに見えるんですよ。なんぼローダウンしても。あのスカスカ感が軽トラの醍醐味っていう人もおるやろうけど、いやあのスカスカはないやろうと僕は思っています。それを補うためにエアロを作ったんです。そのままだと、落としても落ちた感がないんですよ。フェンダーとタイヤの間隔を見れば下がっていることはわかるんですけど、目線を下にしていると地面との距離があるから、「あれ?こんなに隙間が」となる。でもエアロを巻けば、それは解消出来るからね。逆に落として無くて、エアロ巻くことによって触ってる感も出てくる。

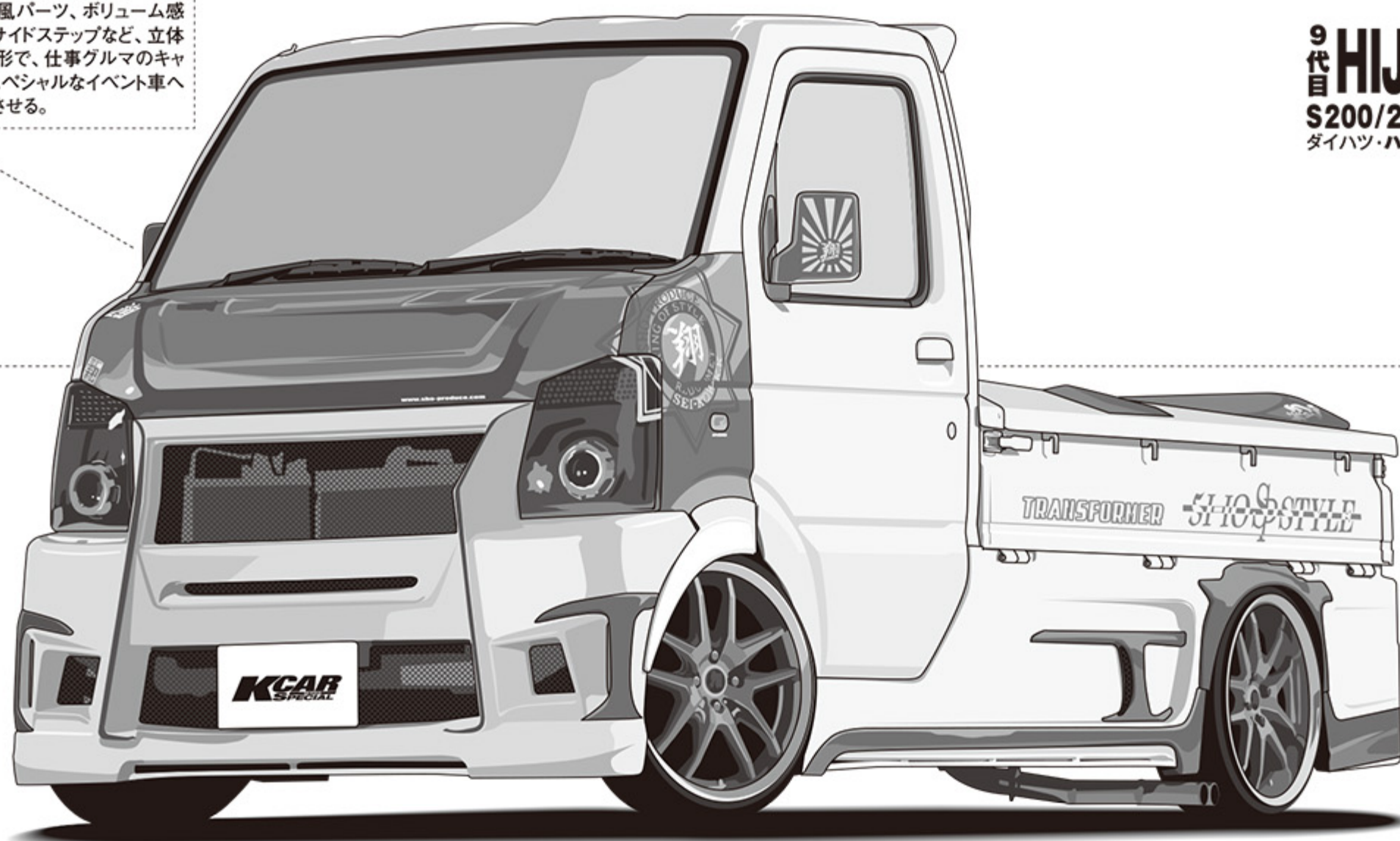
ただ、エアロを作るのは難しかったですね。特にサイドとリア。元がないんですよ。普通のKカーとかだったら、サイドステップにしてもリアバンパーにしても、純正のカタチがあるからそこから造形できるじゃないですか。イメージを作りやすい。軽トラに関してはまったくないんで、イチからデザインしていかなきゃあかん。だから正解がわからないんですよ。僕も未だにようやうかなと思いますもん(笑)。

クルマ自体を变身(トランスフォーム)させる、翔プロデュースのトランスフォーマーエアロは、ダイナミックな稲妻グリルで表情を一新。ワイドなフォグポケットや別体風パーツ、ボリューム感のあるサイドステップなど、立体的な造形で、仕事クルマのキャリイをスペシャルなイベント車へと変貌させる。

SHO PRODUCE Trans Former DA63T CARRY

11代目 **CARRY**
DA63T型 スズキ・キャリイ

9代目 **HIJET TRUCK**
S200/210P・S201/211P型
ダイハツ・ハイゼットトラック



男前な顔に長いホイールベース
ドッシリとローダウンが決まる
断トツにカッコイイ63キャリイ

ベース車としては
63キャリイが最高

ドレスアップベースとして一番カッコイイのは、63キャリイだと思います。まずホイールベースが長い。フロントタイヤがボディの先端に位置しているんです。だからタイヤが四隅にある。こっちの方が絶対カッコ良く見えるんですよ。全然ちやうと思えますよ、現行の短足のスタイルと比べると。新型のDA16はタイヤがシートの下に来てるから、短足に見える。ダックスフントなんです。同じように落としても、やっぱり63の方がワイルドにカッコ良く決まるんです。で、なおかつ足も前にあるんで、落とせる。フェンダーもある。しかも顔もカッコイイですよ。男前で。16はガルウイングもできないし、63の方がドレスアップしやすいと思う。最高のクルマですよ。値段も落ちて来たから、まだまだ現役でいけるでしょうね。

走りは、エンジンのには今の16の方がよく走るんですけど、乗り心地は僕的には63の方がいいかな。新型はケツの下でストロークするから、もろにバウンドを感じますからね。

足も落とせます。極端にいうと、現行とは5センチぐらい落ち幅が違う。サスの場所とフェンダーアーチの関係で、現行は下げられへんのですよ。ストロークが短くなってる。63は足が前にあるんでアーチに関係なく下げられるん

CARRYの誕生と歴史

11代目

DA63T
(1999年～2013年)



キャリイの登場は1961年。長きにわたって愛されてきた人気車種である。11代目のDA63T型は前輪がボディの先端に位置しており、乗降性が良く運転感覚も自然。荷台フロア長は軽トラ最長の2030ミリで、ビールケース60個もの積載力を誇る。

12代目

DA16T
(2013年～)



13年にFMCを果たして、登場した12代目。ハンドルとシートの間隔を45ミリ拡大し、前輪が収まるホイールハウス前側の足元空間も広げたため、居住性は格段に高まった。ディスチャージヘッドライトをオプション設定するなど、見た目にも先進性を。

ドアのプレスラインが 200ハイゼットの特徴

200系のハイゼットは、僕、最初作る気なかったんです(笑)。短足だしね。周りに「作りや、作りや」って言われて作ったんですけど。意外とカッコ良くなると思いました。ハイゼットは、ドアの横に独特のプレスラインがあるんですよ。これにうちのアグレッシブ

です。しかも減衰もすぐ触れる場所だしね。椅子の下にあつたら、フタ開けなあかんで面倒くさいんです。あと63はフロントキャンバーもつけられるけど、16になると構造上出来ない。足がゴロっと変わってるんですよ。

インをキレイに合わせて、トータルにまとめられたかなって。フェンダーがない分足元は広いし、ジャンボなら軽トラ唯一のリクライニングがあるのが魅力ですよ。うちのエアロは標準から作ってたんですけど、ジャンボの問い合わせが多かったんで、追加したんです。ジャンボの方がよく出ますね。これもロングセラーになってます。

新型500系の顔はライトまわりがキリッとして、純正のバンパーでも3D感が出てますね。メッキパーツも使ってみたいな。短足だけどカッコ良くなってる。14、15インチにすればもっとダックスフントっぽく、旧車ちっくな仕上げになるし、うちみたいに台形でガバツとクルマを大きく見せれば、また違った雰囲気を楽しめると思っています。

HIJET TRUCKの誕生と歴史

9代目

S200/210P・S201/211P
(1999年～2014年)



1960年に誕生したハイゼットは、現行Kカーで最も古い歴史を持つ。2010年にトラックの国内販売台数1位をキャリイから奪って以降、5年連続でその地位を維持。9代目となるS200P型は、ホイールベースを短く設定し、小回りのきくスタイルを踏襲する。

10代目

S500/510P
(2014年～)



昨年9月のFMCでは、「農業女子」をターゲットに、快適性やオシャレ感覚を高めるパッケージオプションを豊富に用意。たとえば「選べるカラーパック」では、オレンジやピンクといった華やかなメタリックのボディ色を設定。CDオーディオなどもセットした。

軽トラだからこそこできる
ドレスアップがある

やっぱり軽トラ乗ってる人って、仕事で使ってる人がほとんど。うちのお客さんだと、魚屋さんとか、自分で建築してる人とか、土建屋さんとか。会社で使ってる人はそこまでエアロ巻いたりできないので、自営の人が多いですね。荷物乗せるクルマがいるから軽トラ乗って、けど鈍くさいからノーマルはイヤ。ちよつとカッコ良くして乗りたい、みたいな人たち。仕事じゃなくても、趣味の道具とか、荷物を積みたい人にとっても軽トラはいいですよ。実用と遊びを兼ねられるし、お金もかからへん。一番手頃やと思いますけどね。2シート

ーを我慢できるなら。彼女とデートするには厳しいかもしれないけど(笑)。軽トラは車内狭いやん、バッグどこ置くん？ みたいな(笑)。ネックはそこ。それを解消できるなら、最高のクルマやと思います。トノカバ付けたら、荷物は荷台にもおけるしね。長距離もキツイけど、まあ300キロぐらいまではいけますよ(笑)。
長く乗れるクルマやと思いますよ。コソコソ自分できてるし。それこそ高いクルマはボーンとお金かけないとできないけど、軽トラはほんまにお金からないので。極端にいったら、半分ぐらいのコストで出来るかもわからない。変わりが映えが楽しめるじゃないですか。元のスタイルが寸胴で鈍くさいから、エアロを付けることによって、ビフォー!

アフターが凄いでしょ。セダンとかだと造形しすぎるとおかしくなるけど、軽トラだったらありになってしまふ。そこも面白いんですよ。
内装だって、軽トラやから出来へんってわけでもない。他の軽4と一緒にね。ダッシュおろして塗れるし、貼れるし、ドアの内張りもそうやし、オーディオもバーンとしたかったらオーバーヘッドコンソールみたいにも出来る。それはそれで、軽トラにしか出来ない空間がまた味わえると思うんです。狭いなりに。
エアロでいえば、うち以外にもたとえばはろ〜すぺしゅるはチンスボ系で、やんちゃ風。あのスタイルもいいなと思うし、ヘイゾーンは純正チックで社長曰く「オッチャン向け」。あれもやっぱり必要なんです。このまったくタイプの違う3メーカーを見ても、軽トラもいろんなことができるんやなあってことがわかりますよね。

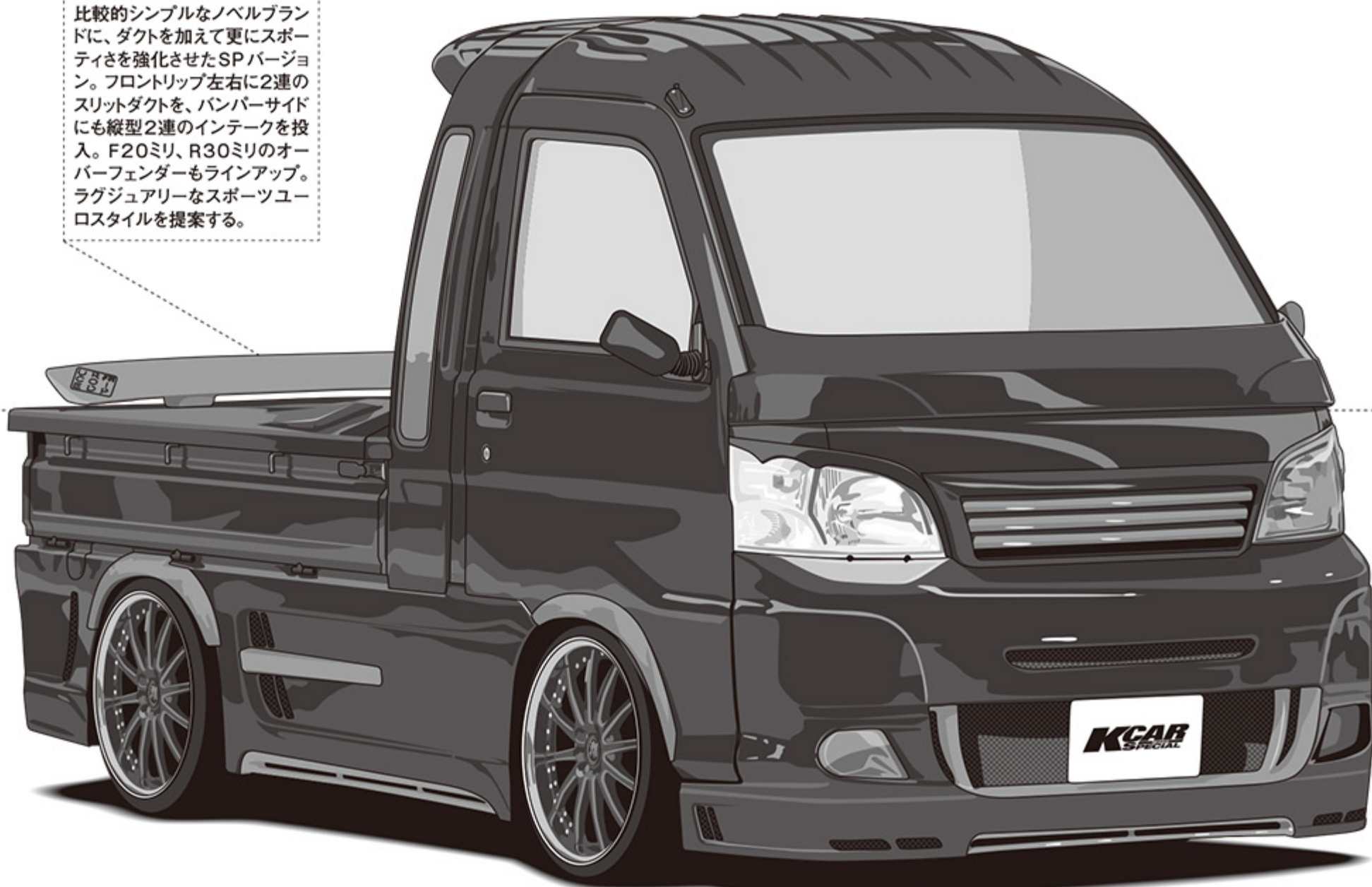
Kカーベース車 Kcar Base Car MUSEUM 博物館

第10回

ハイゼットジャンボの魅力は
軽トラ唯一のリクライニング
キリリとした眼差しも人気

比較的シンプルなノベルブランドに、ダクトを加えて更にスポーティさを強化させたSPバージョン。フロントリップ左右に2連のスリットダクトを、バンパーサイドにも縦型2連のインテークを投入。F20ミリ、R30ミリのオーバーフェンダーもラインアップ。ラグジュアリーなスポーツユーロスタイルを提案する。

SHO PRODUCE Novel SP S201/211P HIJET TRUCK JUMBO



■ 外 観
■ 室 内
■ 足まわり
■ オーディオ
■ チューニング
■ 光もの
■ 新 車
■ 自 作

ドレスアップ お悩み 相談室

EXTERIOR ■
INTERIOR ■
FOOT WORK ■
AUDIO ■
TUNING ■
LED & LIGHT ■
NEW CAR ■
DIY ■

わからないことは
その道の
プロに聞け!

何でもアンサー!

ドレスアップをしていれば日々ぶつかる数々の疑問。「でも、だれに聞いたらいいかわからない……」なんてことは多々あるはず。

そこで、みんなの代わりにKスぺが“その道のプロ”に聞いてしまおうというのが、このお悩み相談室だ。

TEXT ● 小泉聡志

質問募集

ドレスアップのこと、新車のこと、メンテまでKカーのことなら何でもOK。キミの悩みをその道のエキスパートが答えてくれるぞ。質問内容はメールでのみ受け付けます、たくさんの質問をお待ちしていますよ〜。メールのタイトルに「何でもアンサー!」と書いてね。

宛先

kcar.sp@does.jp

A

求めるスタイルや 車高によって変わります

大きく倒したキャンバーは車高が低いからこそよく似合う。ただし、太いホイールで大きくキャンバーを切った場合、車高を落とせば落とすほど干渉の危険も高まる。



たとえ止まっている状態のトー角を設定しても、走行中のトー変化による偏摩耗は避けられない。その意味では、「よく動く足にきついキャンバー」というのはリスクがある。



また、タイヤの減りという点でもあまり落とさない状態でキャンバー角を大きく付けるのは不利なんです。というのもクルマというのは走行中にタイヤが持ち上がり、ばね角がイン側にきつくなります。この傾向はキャンバーが付けば付くほど、そしてストロークすればするほど強くなります。そのため、極端な話しをすれば、よりシヨックのストローク量が多

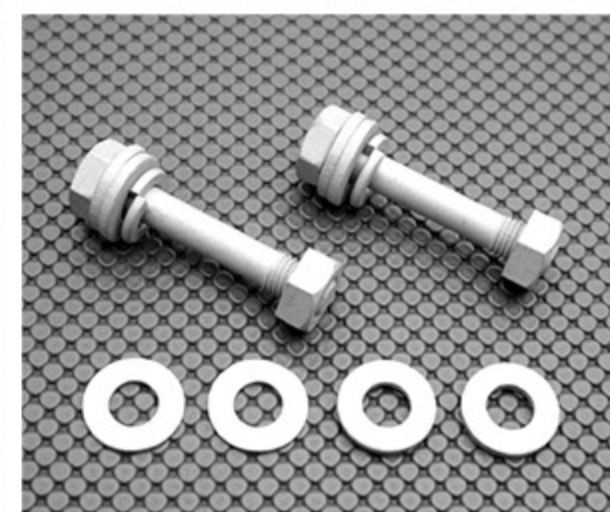
実は「キャンバー角は何度がいいですか?」という質問は意外に多いんですよ。そんな電話をいただいた時、僕は必ず「どんなスタイルにしたいのか?」「どのぐらいの車高で考えているのか?」を確認するようにしています。というのも、似合うキャンバー角はそのクルマの方向性や車高によって大きく変

わるからです。そもそもKカーのキャンバーというのはセダンなどマルチリンク式のクルマをローダウンした時につくナチュラクキャンバーを想定しています。つまり車高が低いことが前提なんです。ですから、あまり落とさない状態でキャンバーだけを大きく付ける、というのはちよつとおかしい。僕が考える目安はタイヤがぶりなら3度程度がいいと思います。そこから車高を落とすたびにどんどん似合う幅が広がっていく。ただ、ムーヴやN・BOXなどは純正状態でも1度程度はキャンバーが付いていますから、もしかしたら「物足りない」と感じる方は多いかもしれません。

純正からほとんど車高のクルマできついキャンバーを付けると、足がよく動くがゆえに走行中に沈み込むたびにタイヤをこすりつけることになり、タイヤの減りが早くなりがちなんです。そして考慮して欲しい点がもうひとつ。それはフロントとのバランスです。フロントとリアのキャンバーが著しく違えば、それはそれで見えた目のバランスを崩してしまうことにもなりかねない。そういった事情を考慮して最適な角度を選んでください。ただ、僕は自身はどんなに車高を落としても5度まで。ちなみにウチの一番の人気キャンバー角も5度なんです。



リアキャンバーはやはりリアアックスリットで付けるのがセオリー。ジェーラインの場合、設定キャンバー角は0度・3度・5度・8度・10度の5種類。ここから自分のスタイルと車高に一番合う角度を選択することになる。



ストラット式の足まわりでキャンバーを付けるならキャンバーボルトというアイテムもある。ショックのブラケットとナックルを留めるボルトをこれに交換することでタイヤが傾く。

Q1

ベストなキャンバー角は何度?

キャンバーを効かせすぎると、タイヤの片減りがすごいって聞きます。プロの目から見て、何度ぐらいがカッコ良く、しかも耐久性が良いですか?



J-LINE
氏家さん

もはや足まわりの伝道師と言っても良いジェーライン代表の氏家さん。ローダウンに対する造詣は他の追随を許さない。

回答者

ジェーライン

☎022-367-7534

<http://j-line-net.co.jp>

A

定期的な水抜きは絶対です オプション品もできれば用意を



コンプレッサーは使えば使うほど負担をかけることになる。そのため、あまり連続で使わない方が耐久性という点では有利に働く。



エアドライヤーやミストフィルターなどのオプション品は正しく使えばとても便利。エアサスの購入を考えているならぜひ一緒に揃えたい。



フィティングの確認は「指で触ってガタついてないかを確認する」程度でOK。強く締めすぎるのもよくないため、工具による増し締めは必要ない。

エアサスにとって最も大切なメンテナンスはタンクの水抜きです。エアサスは空気を取り込む際に一緒に湿気も取り込んでしまいます。これが水滴となつて溜まるとタンク内が錆びる。そしてこの錆が浮いて配管に入ると様々な場所でトラブルを引き起こしてしまふんです。それを避けるためにもタンク内に水が溜まらないように定期的に抜いてあげる必要があるんです。ただ、「どのくらいの頻度で？」と言われると、これは「使い次第です」と答えざるを得ません。例えば

イベントエントリーだけに使うのであれば、遠征後にしっかり抜いてあげるだけでも良いかもしれません。しかし毎日乗るのであれば一週間に一回、それでもまだ水が溜まるようであれば三日に一回抜いてあげる必要があるかもしれません。こればかりは自分の乗る頻度と相談して決めていただければと思います。

また、ウチの場合は例えばエアドライヤーやミストフィルターなどメンテナンスを補助するオプション品も設定しています。これも一緒に付けてもらえば、よりメンテナンスはしやすくなります。ただ、ひとつ勘違いして欲しくないのは「オプション品を付けばメンテナンスしなくてよくなるわけではない」という点です。いくらオプション品を付けても湿気の侵入を100%防げるわけではない。あくまで「補助」と思ってくださいね。

Q2

エアサスのメンテナンスについて

今度、エアサスを付けたいと思っていますが、定期的にメンテナンスをしなければならぬと聞きました。どんなことをするのですか？



BOLDWORLD
角南さん

エアサス開発20周年キャンペーンを実施中のボルドワールド。広報の角南さんは、エアサスの知識ならピカイチ!!

回答者

ボルドワールド

☎0868-74-1221

http://www.boldworld.co.jp

イベントエントリーだけに使うのであれば、遠征後にしっかり抜いてあげるだけでも良いかもしれません。しかし毎日乗るのであれば一週間に一回、それでもまだ水が溜まるようであれば三日に一回抜いてあげる必要があるかもしれません。こればかりは自分の乗る頻度と相談して決めていただければと思います。

A

腰痛の防止には効果的 ただし、形状には注意を

腰痛という点で言えば、レカロはかなり防げると思います。やはりホールド性が純正シートとはまったく違いますからね。特に太ももまでサポートが立ち上がっているタイプであれば、体をガッチリと包んでくれるので運転も非常にしやすい。サーキットを走るとても良いでしょう。ただ、街中を走るだけであればもしかしたら座面がフラットなタイプの方が使いやすいかもしれません。というのも太ももまでサポートするタイプのシートはホールド性が非常に高い代わりには乗り降りがしにくいというデメリットがあるからです。どちらが良いかはクルマの使い方に合わせて選んでもらえると良いかもしれません。

ただレカロの装着には注意しなければならぬ点もあります。まずひとつがシートのサ



サーキット走行を想定したクルマでも使われるだけに、シート自体の機能は非常に高いレカロ。だが、変わった感も強いのでドレスアップのポイントとしても効果的な事実。特に張り替えなどを施せば、インテリア最大のアクセントにもなる。

イズ。肩の部分が張ったシートの場合、フロント2脚を同時に換えると干渉してしまうことがあります。そのため必ず室内のサイズと照らし合わせてからにしてください。またレールも注意が必要です。レカロを入れる場合シートレールも一緒に換えるのですが、ネットで販売されているレールの中には車検対応のものが存在するんです。もちろん純正レールならそんなことはありません。それに純正には高さ調整機能が付いている。これが便利なんです。レカロのシートは薄いので座面が低くなりがち。ですから、運転のしやすさでも腰への負担でもメリットは大きいんです。

Q3

レカロシートの良さを教えて

イベントなどで長距離運転をすると、じんわり腰が痛くなります(40代・男です)。最近、よく見るレカロシートは腰痛も防ぐと聞いたのですが、本当でしょうか？



AUTO WORLD
ATTACK
小早川さん

ドレスアップだけでなく車両も買えるアタック。新車購入の方に成約プレゼントを用意したキャンペーンもアリ。

回答者

オートワールドアタック

☎0826-47-1107

http://attack-01.com



4/17(日)

兵庫県

CUSTOM& LUXURY RIOT 2016

エントリー開始
12/4(18:00~)

開催場所 会場未定

エントリー費 First sheet=2万円(officialグッズ&昼食付き) / Second sheet=1万4000円 / Third sheet=1万2000円 / Standard sheet=7000円(当日=8000円)

入場料 1人1000円(同乗者・見学者) / 駐車場代1000円
VIP、LUX、ユーロ、ヘラフラ、スポーツなどオールジャンルで行われるカスタム&ラグジュアリーイベント!

問:RIOT PLANNING ☎090-7104-0004(谷田)
http://clubosakahigasi.jp/riot/

5/1(日)

兵庫県

Find Rich Car Show Vol.10

エントリー期間
2/1~4/17

開催場所 兵庫県豊岡市
兵庫県立 但馬ドーム

エントリー費 S-VIP席=2万円 / VIP席=15000円 / 準VIP席=1万円 / 一般席=8000円(当日エントリー無し)

入場料 1人1000円(同乗者・見学者)午前中ピンゴカード付き
アルティメイト(究極)、フル(究極1歩手前)、ストリート(これから究極を目指す)の3クラス(自己ポイント申告)に分けて行われるカスタムイベント!

問:ファインド Find Rich Car Show 事務局 ☎0795-32-1689
http://findrich.net

5/1(日)

広島県

TOP STYLE杯 10th stage Anniversary
第2回 中国王座決定戦

事前エントリー
締め切り
6/6(月)

開催場所 広島県呉市 グリーンピアせとうち

エントリー費 SS席=1万5000円 / SA席=1万3000円 / SB席=1万円(要電話連絡予約) / 一般席=7000円(当日=8000円)

入場料 1人1000円(同乗者・見学者)、中学生以下無料
第2回目となる中国王座決定戦。今回も450台オールジャンルで大いに盛り上がること間違いなし。

問:TOP-STYLE 事務局 ☎090-3378-9977/082-426-3355
LINE ID: top-style 2012 Mail: top.style.japan@gmail.com
http://www.top-style2012.com

全国ドレコン情報大募集!!

ケーカースペシャルでは、
ドレコンの情報を大募集中。

掲載は
もちろん
無料!

掲載希望は、下記の番号までファックスか、
メールを送ってください。

FAX 03-5842-3912
kcar.sp@does.jp

1/15~17(金~日)

千葉県

TOKYO AUTO SALON2016

開催場所 千葉県千葉市 幕張メッセ

エントリー費 15日/15:00~20:00(一般)
16日/9:00~20:00 17日/9:00~17:00

入場料 入場料:15日/当日3200円、前売り券2600円
16.17日/当日2200円(大人) 1700円(中高生)
前売り1800円(共通) ※全日とも小学生以下無料
※但し保護者同伴に限る

新年の始めドレアップイベントといえばコレ! オールジャンル、たくさんのドレアップカーを見られる大イベント!

問:東京オートサロン事務局 http://tokyoautosalon.jp

2/12~14(金~日)

大阪府

第20回 大阪オートメッセ2016

開催場所 大阪府大阪市 インテックス大阪

エントリー費 12日/13日/14日

入場料 入場料:2700円(前売り券2100円)

※チケットは11日より販売開始

※中学生以下無料(但し保護者同伴に限る、要生徒手帳)

オートサロンが東の大イベントなら、西の大イベントといえばこのオートメッセ。

問:大阪オートメッセ事務局 http://www.automesse.jp

3/20(日)

静岡県

EXCITE KING VOL.7

事前エントリー
締め切り
2月末

開催場所 静岡県駿東郡
富士スピードウェイ

エントリー費 SS席=1万3000円 / SV席=1万2000円 / VIP席=1万円 / 一般席=5000円(当日=6000円) / バイク(原付・ビッグスクーターのみ)=3000円

7回目となるEXCITE KINGもちろん富士スピードウェイにて開催。オールジャンルで楽しめるイベント。

問:EXCITE KING 事務局 (11:00~22:00)
☎080-4838-1208(一般席) / ☎090-9198-8237(SS/SV/VIP席)

3/27(日)

滋賀県

第4回 V1グランプリ

開催場所 滋賀県高島市 国境高原スノーパーク

エントリー費 SS席=1万6000円 / SA席=1万4000円 / SB席=1万3000円 / S席=1万2000円 / 一般席=7000円(当日8000円)

入場料 1人1000円(一般・同乗者)※中学生以下無料/駐車料1000円(1台)
Kカーやセダン、ワゴン、アメ車などオールジャンルのグランプリ。車種別賞は事前エントリーの台数により増設予定。
※予定台数になり次第締め切り

問:V1 GP 事務局(塩月) ☎090-6759-0001

4/3(日)

山梨県

第4回 LOW FORM杯

開催場所 山梨県南都留郡 山中湖交流プラザきらら

エントリー費 S-VIP席=1万6000円 / VIP席=1万4000円 / 一般席=7000円(当日=8000円) / マスターシート=1万5000円(過去に全国のイベントで総合受賞した方のみ)

入場料 1人1000円(一般) / 1人2000円(同乗者・見学者)・駐車場

ドレスアップコンテストあり、サウンドコンテスト、音圧測定バトルありなど、オールジャンルのイベント。

問:LOW FORM ☎090-2758-7441(白井)

4/10(日)

山梨県

第19回 春のドレミ♪

開催場所 山梨県南都留郡 富士スバルランドドギーパーク

エントリー費 ロイヤルシート(最前列/2列目)=1万5000円 / 3列目以降事前エントリー=7000円

入場料 1人1000円(一般) / 1人1500円(同乗者・見学者)
内外装、オーディオなどのコンテストから、のど自慢やピンゴゲームなど盛りだくさんのイベント!

問:エルティード ☎042-313-4123

4/10(日)

岡山県

2016FUKUYAMA
DRESS UP CAR FESTIVAL

事前エントリー
締め切り
3/31(木)

開催場所 岡山県笠岡市
笠岡ふれあい空港

エントリー費 5000円(1台) / ダブルエントリー=8000円(1台)
笠岡ふれあい空港にて行われるドレスアップカーと外向きオーディオのコンテストイベント!

問:広島オートサウンドネットワーク ☎084-943-0392

5/29(日)

滋賀県

TOM杯1st

事前エントリー
締め切り
5/13(金)

開催場所 滋賀県甲賀市
田村神社特設会場

エントリー費 Arena席=1万7000円 / S-VIP席=1万5000円 / VIP席=1万3000円 / 一般席=7000円(当日=8000円)

滋賀県の田村神社特設会場にて行われるTOM杯。200台限定なのでエントリーを急げ!

問:Garage Royalty ☎0748-47-8883

EVENT
イベントカレンダー
CALENDAR

みんなで
参加だ!!

全国各地で開催されるドレコンはこのイベントカレンダーで一発検索! トロフィー目指してエントリーするもよし♪ 交流を求めて参加するもよし♪ このイベントカレンダーをチェックしてイベントへ足を運んでみよう♪

11/29(日)

鹿児島県

2015最終決戦 in 鹿児島
~Last decisive battle~

開催場所 鹿児島県霧島市
霧島高原国民体育館

エントリー費 VIP席=1万6000円 / アリーナ席=1万4000円 / 一般=8000円(当日=9000円)

入場料 1人1500円(同乗者・見学者)※18歳未満無料
鹿児島で繰り広げられる熱い戦い! 最終決戦というだけあって、気合いの入ったイベントになるだろう!

問:最終決戦事務局 ☎080-2775-6650 LINE:kagoshima-kessen

12/6(日)

兵庫県

第15回ドレフェス関西2015FINAL

開催場所 兵庫県淡路市 明石海峡公園臨時駐車場

エントリー費 アリーナS=1万5000円 / アリーナA=1万3000円 / アリーナB=1万1000円 / 一般席=7000円(当日=8000円)

入場料 1人1000円(同乗者・見学者)、駐車代1000円
※別途公園施設利用料金がかかります。

Kカー、セダン、コンパクト、ハイブリッド、SUV、スポーツなど、オールジャンルのイベント。

問:ドレフェス関西事務局 ☎080-8349-3828(17:00~22:30)
http://www.dorefess.com

12/6(日)

埼玉県

第2回「D-UP CAR 王座決定戦 パートI」
上野直幸プロデュース 春山杯

開催場所 埼玉県南埼玉郡 東武動物公園 第4駐車場内

エントリー費 SV席=1万5000円 / S席=1万2000円 / 準VIP席=1万円 / アメ車/ローライダー=6000円 / カップル席=8000円(2台) / Gal's席=5000円 / 一般席=7000円(当日=8000円)

入場料 1人1000円(同乗者)※中学生以下無料
Kカーはもちろん、セダン、ワゴン、アメ車など幅広い車種を集めてのチャリティーイベント!

問:北関東KG 寄久B・N・A KG イベント企画部
☎090-2673-6260(9:00~22:30)

12/13(日)

千葉県

第16回UNION杯

開催場所 千葉県長生郡 ロングウッドステーション

エントリー費 VIP席=1万5000円 / 事前一般=7000円 / 当日一般=8000円

入場料 1人1000円(一般) / 1人1500円(同乗者・見学者)

第16回目となるユニオン杯がロングウッドステーションで開催。Kカーはもちろんオールジャンルのドレスアップカーが多数エントリー。

問:☎090-6515-9755(高橋)、☎090-8479-5400(高橋み)

2016年 3/6(日)

兵庫県

第8回 ニュージェネ杯

開催場所 兵庫県三木市 三木総合防災公園

エントリー費 Aブロック=1万3000円 / Bブロック=1万2000円 / WIDE ZONE=1万2000円 / Cブロック=1万1000円 / Dブロック=1万円 / E&Fブロック=8000円 / 事前一般=6000円(当日=7000円)

なんと8回目を迎える「ニュージェネ杯」。もちろんオールジャンルで、益々パワーアップして開催だ。

※台数制限262台

問:N.G.C 事務局 ☎090-4567-0050



富士スピードウェイにドレスアップカーが大集合!!

SKFの すべて

スタイルワゴン
Kカーズスペシャル
フェスタ

開催日●2015年10月25日(日) 開催場所●富士スピードウェイ P7(静岡県駿東郡小山町)

エントリーしてくれた
みんなの愛車を掲載中!!

> <http://sk-fes.com>

3大イベント同時開催の
カスタムジャパン2015!!

国内最大級のオーディオイベント!
ACG 2015 WORLD FINAL



箱車の祭典
SBM2015FINAL

詳しくは122ページへGO!!

今年で2回目となるS.K.F(スタイルワゴン&Kカーズスペシャルフェスタ)。会場となった富士スピードウェイにはミニバン、Kカーなど400台以上のドレスアップカーが集結! 本当にありがとうございます!!! ここでは、2016年のオートサロン出展を懸けたドレコンの模様をはじめ、S.K.Fのすべてを余すことなくお届け。これを読めば来年はぜったいつたい参加したくなるはず。

大激戦のS☆1
GRAND PRIXも!



PHOTO●小林岳夫/佐藤 武/高木博史/中川シンジ/
本間章吾/前田真久仁/横村太郎/南 潤/渡部祥勝
TEXT●石川大輔/小泉聡志/塩谷佳史/清水 勤/Kカーズスペシャル編集部

オートサロンへの切符を賭けた大熱戦! ドレコンエリア



このクルマを買って8年目。青／白にこだわったラテは、息子の翔くんもお気に入りなんだとか。

ななさん(愛知県)
L550Sムーヴラテ
平成18年式



アンブレを埋め込んだラゲッジはD-1V仕上げ。モーターは計7枚をインストールしている。

子供が汚しても大丈夫なように室内は糸系でまとめた。フロアカーパーツは名前入りだ。

キュートな顔つきのラテを
ちょいワイルド風にイメチェン!



WHEEL●レーベンハートLT8LX(16X5.5J+45) TIRE●ヨコハマ(165/45-16) AEROPARTS●F/R=パプロデザイン加工、S=KLC加工 EXTERIOR●ウイング=パプロデザイン、ヘッドライト&テールレンズ=純正加工 INTERIOR●シートカバー=グレイス、インパネ=塗装 SUSPENSION●エアサス=ボルドワールド ほか MAKINGSHOP●RSAPO

純正の雰囲気を変えずに、どよみカスラム。キュートなラテをツリ目にして、ちょいと悪ぶらせたのもミソ。エアサスでどこでも行ける!



富士スピードウェイに集まった勇者たちを見ろ! 東京オートサロン2016の出展権をかけて開催されたドレコンにはKカーだけで100台を超えるエントリーがあり、各部門ともに僅差の戦いが繰り広げられたのだ。

18歳で手に入れてから10年間 このラパン一筋でドレスアップ

オールペンにあたり「ガムメタの塗料を買ったんですが、塗ってみたらガムメタじゃなかったと宮本さん。」「でも、この色も良かったとか。



宮本卓哉さん(茨城県)
HE21S ラパン 平成15年式



元々2シート仕様だったが、真ん中の造形によりシートが倒せなくなりました。



「リメイク完成祝いにメンバーがサブライズで作ってくれました」とお気に入りのLED加工のヘッドライト。

WHEEL●BBS-RS(15X7J+38) TIRE●ATR(165/45-15) AEROPARTS●F/R=エヌデザイン、ユーロスポートエディション加工、S=エヌデザイン、ユーロスポートエディション EXTERIOR●リアウイング=ジェイフェイス、フェンダー=ステージ21加工、ヘッドライト&テールレンズ=純正加工 INTERIOR●ステアリング=イタルボランテ、シートカバー=ベレッツァ SUSPENSION●車高調=レオン加工、リアアクスル=ワンオフ MUFFLER●ラッキースター ほか

この日のためにリメイクした 自作ウーファーBOXだよ♡



菅野まどかさん(福島県)
LA600S タントカスタム
平成26年式

ジェーラインの足まわりに加え、インナーフェンダーやエンジンマウントまでカサ上げて怒濤の極低フォルムを獲得。

WHEEL●ジェーライン・JRD RD-M9(16X6.5J+48, R6.5J+23) TIRE●ルッチーニ(165/40-16) AEROPARTS●F=純正オプション、R=バタフライシステム・グラント EXTERIOR●テールレンズ=エムプロ INTERIOR●ステアリングカバー&シートカバー=グレイス、フロアマット=ジェーライン、各部レース塗装&ラップ塗装、天井=張り替え SUSPENSION●車高調=ジェーラインwithモールドバルファム、スプリング&リアアクスル&ロアアーム=ジェーライン BRAKE●キャリパーキット=ティープラス MAKINGSHOP●ティープラス



クルマ好きだった父親の影響を受け、ガチのドレコン一筋で成長したまどかさん!!



総張り替えされた天井の小物入れには、これまたDIYのバラ柄ラップをペイントを施す。



ワンオフフェンダーを新投入 レーシーさに磨きを掛ける!

中島豪一さん(埼玉県)
L902S ムーヴカスタム
平成11年式

ボディカラーはミツビシアイのジン
ジャーブラウンで、ルーフはブラッ
クアウトしている。

「ヘッドライトを黄色くしたら、
フクロウみたいな顔つきになり
ました」と中島さん。

今日のためにフェンダーダクトを追
加! ホイールはワタナベ8スポー
クでレーシーにまとめる。



インパネの起毛ベント
やキルトステッチのシー
トで、楽しい室内空間を
コーディネート!

なるべく自分が使いやすく ピンスト入りのワイドボディ



「シンプルにまとめた」
というタントはガルウイ
ングでアピール。ボディ
も鮮やかだ



片側8cmほど広げたというボディが
迫力。ホイール選びにも旧車テイ
ストを盛り込んだ。

神杉 智さん(埼玉県)
L350S タント
平成17年式

WHEEL ●スピードスター・マークⅢ(14×F7J+10、R8J-12) TI
RE ●ダンロップ(F155/55-14、R165/55-14) AEROPARTS
●F/S/R=純正加工 EXTERIOR ●フェンダー=ワンオフ、ヘ
ッドライト&テールレンズ=純正加工 INTERIOR ●シートカバ
ー=グレイス、フロアマット=エルティード SUSPENSION ●エ
アサス=ボルドワールド、リアアクスル=ジェーライン MUFF
LER ●ワンオフ ほか MAKINGSHOP ●カーサービスヒロ



前後バンパーは純正ベースにスリ
ットやダクトを追加したもの。ボデ
イにはピンストを入れることでアメ
リカンテイストをプラスした。



スポーティなNRFエアロを
活かすコーディネートに掛ける。
あと2cm車高を落すために
も次はバルテックの加工ア
クセルを入れたいそうだ。

WHEEL ●レーシングサービスマタナベ8スポーク(15×
6.5J+20) TIRE ●ナンカン(165/50-15) AERO
PARTS ●F/R=NRF・ストームプリンガー、S=NRF・ロ
ックボトム EXTERIOR ●ウイング=インスベクション、
フェンダー&ヘッドライト&テールレンズ=ワンオフ
INTERIOR ●シート=レカロ SUSPENSION ●車
高調=シュビーゲル、リアアクスル=ワンオフ MU
FFLER ●HKS ほか MAKINGSHOP ●ショーア
ッププロGRESS

初めての自作オールペンで グラインダータトゥーペイント



ボンネットにはグラインダータトゥー。
「初めてのオールペン。これで勉強し
て次はもっと上手くなりたい!」



2本出しを2個購入し、溶接
の上手い友人に製作してもら
った左右4本出しマフラー。



ルーフにはキャリアを載せ「ヘラフ
ラを意識してるんですが、今後オバ
フェンにする予定なので、ちょっと変
わります」とコメントする。

小松 学さん(静岡県)
L700V ミラ
平成13年式

WHEEL ●ワーク・マイス
ター S1(15×F8J+25、R7J
+25) TIRE ●ハンコック
(15インチ) AEROPAR
TS ●F=純正加工 SU
SPENSION ●車高調
=JIC(ワゴンR用)、リアア
クセル=JIC ほか

「通動用に買ったミラです。
が……」という間に、輝
子さんと一緒に。



ワンオフの4本出しマフラーや切り
放し風のワイドフェンダーでワイ
ドな雰囲気強調する。プロ真ッ
青の仕上がりだ。



デミオ純正のグリーンにオールペン。
コツコツと仕上げたムーブは、フルハ
ンドメイドというから驚き!

マスタングをモチーフにして マッチョに仕上げたムーヴ!



「ハンドルを全切りできる車
高&ツライチが自慢」と林さん。
ホイールはXXRの15インチ。



ステージ21バンパーをベースにフル
加工。前置きインタークーラーも圧
巻の迫力を醸し出す。



パネル塗装を実施したカラ
フルな車内もDIY仕上げ。イン
プレス純正シートも流用する。

林 勇樹さん(神奈川県)
L900S ムーヴ
平成12年式

WHEEL ●XXR-522(15×F8J-25、15×R8J-48) TIRE ●Fハンコック、R ATR(165/45-15) AERO
PARTS ●F=ステージ21加工、S=純正加工、R=ワンオフ EXTERIOR ●グリル&リアウイング、テールレン
ズ=ワンオフ、フェンダー=ステージ21加工 INTERIOR ●ステアリング=モモ、シート=インプレス純正
SUSPENSION ●車高調=ワンオフ、リアアクスル=アヒル商会 MUFFLER ●ワンオフ ほか



エアロはケイブレイクがベース。フロント開口部から覗く特大のインタークーラーとパイピングが圧倒的なインパクトを醸し出す。



特大のインタークーラーが放つ
前置きインパクトに視線集中



フロントは326パワー車高調、リアはジェーラインアクスルにシェビゲルショートショックに日正タイヤスプリングの足まわり。



アウトリップでスタンスを振っている
と宮澤さん。通勤仕様だが「もう少し過激にしたい」。



WHEEL ●ワーク・マイスター S1 (15x7.5J+25)
TIRE ●Fグッドイヤー、Rハンコック (165/50-15、R165/45-15) AEROPARTS ●F=ケイブレイク・コンプリートゼロカスタム加工、S=ケイブレイク・コンプリートゼロカスタム、R=ケイブレイク・コンプリートゼロカスタム+ケイブレイク・コンプリートクワンタ SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=JIC MUFFLER ●ワンオフ MAKING SHOP ●リフェクト

7.5J ホイールをバツバツのツラで入れた足まわり。ノーマルフェンダーのままここまで攻めた。

若林貴矢さん (千葉県)
MH34S ワゴンR スティングレー
平成24年式

自分よりも年上のビートを
パーツを探しながらカスタム

ハーフウェイの前後にスタジオリベルタのサイド&トランク。フロントとサイドにはアルミ複合板でアンダーフラップを製作。



「パーツはほとんどが絶版なんです」とパーツ探しは大変。「でも目立ちたいから」と頑張る。



アルミ製のロールバーは「真っ直ぐじゃなくて、ちょっと曲げる感じ」で製作してもらったというワンオフもの。

佐藤晃一さん (千葉県)
PP1 ビート 平成3年式

WHEEL ●ウェッズ・ウェッズスポーツ TC-05 (14x F6J+20、R6.5J+25) TIRE ●ナンカン (F165/55-14、R165/50-14) AEROPARTS ●F/R=ハーフウェイ加工、S=スタジオリベルタ EXTERIOR ●リアウイング=ピッポスリック、テールレンズ=RS マツハ SUSPENSION ●車高調=ファイナルコネクション ほか

「フロントに7Jを入れたくて……」とオールベンの次の日に自分でフェンダーを20mmほどたたき出す。

池田卓己さん (東京都)
DA64W
エブリイワゴン
平成20年式



フロントフェンダーにはジャンクションのサメエラダクトはクルマから型取りした自作。

太いホイールを履きたくて
フロントまわりの脚を一新!



今回はフロント足まわりの他、ワゴンR純正パールホワイトにオールベンス、前後エアロもハーテリーLSラインへと変更する。

この低さでも意外に快適!?
シンプル仕上げのお手本仕様



メンバー上げやエンジン上げ、アチ上げにバンパー短縮など、低さを極めるためのテクニックをフル投入。これで車高調というのだから脱帽です。



4本出しマフラーもオリジナル。路面にヒットしないようフロアに沿って取りまわした。

WHEEL ●ワーク・マイスター S1 (17x F7J+25、R7.5J+19) TIRE ●ナンカン (F165/40-17、R185/35-17) AEROPARTS ●F/R=ハーテリーLSライン、S=Na. ジャック・アリュール EXTERIOR ●リアウイング=ハーテリー、フェンダー=純正加工 INTERIOR ●シートカバー=クラッツィオ SUSPENSION ●車高調=ファイナルコネクション、リアアクスル=純正加工 ほか



「低くてもちゃんと走ります。高速移動も意外に快適です」と、滋賀から自走で上りのK-magicさん。

WHEEL ●BBS-RS (16x7J+42) TIRE ●クムホ (165/40-16) AEROPARTS ●F/R=プロデザイン・モードバルファムファンム雅夢加工、S=純正加工 EXTERIOR ●グリル=MH22S 純正、ヘッドライト=ワゴンRRR 純正 INTERIOR ●シートカバー=クラッツィオ SUSPENSION ●車高調=ケイブレイク加工、リアアクスル=ワンオフ BRAKE ●イデアル MUFFLER ●ワンオフ MAKINGSHOP ●ゲーマジック

K-magicさん (滋賀県)
MH21S ワゴンR
平成17年式



シンプルスタイルに激低車高の渋さでアピール

「エアサスじゃないと家の駐車場に入れない」とボルドエアサスで着地スタイル。ブレーキはフロントワンオフ、リアウィッツ純正。

ESBとバルテックのコラボ
激低車高でも楽しく乗れる

エラボはESBのCL
Sバルテックエディ
ションをフルで装着。低車
高でも走行できる。

50mm上げ加工を施したハ
ルテック可変リアアクスルで
リアはキャンバー角10度で
ツラウチに。



遊び心をくすぐる超シンプル着地スタイル

複数のアンドリューを探し、い
いモノだけを組み合わせたと
いう代物。後ろは17インチ。

air.comさん(千葉県)
L250Sミラ
平成18年式

WHEEL ●ヴェイルサイド・アンドリューレーシング V(16x F6.5J+38、
R7.5J+10) TIRE ●Fクムホ、Rナンカン(F165/40-16、R185/35-
17) AEROPARTS ●F/R=ワンオフ INTERIOR ●ステアリン
グ=モモ、シート=レカロ SUSPENSION ●エアサス=ボルドワ
ールド、リアアクスル=バルテック BRAKE ●ウィッツ純正 ほか
MAKINGSHOP ●バルテック



Pal-3さん(神奈川県) L250Sミラ 平成17年式

WHEEL ●ESB-CLS MC-05(16x6.5J+32) TIRE ●クムホ(165/40-16) AEROPARTS ●F/S/R=ESB-
CLS バルテックエディション SUSPENSION ●車高調=日正タイヤ、リアアクスル=バルテック BRAKE ●アル
トワークス純正 ほか MAKINGSHOP ●バルテック

K-CAR ANOTHER



江田耕治さん(茨城県)
MK32S スペースカスタム



高地直樹さん(千葉県)
JB5 ライフ



宮本卓哉さん(茨城県)
HE21S ラバン



中村周平さん(滋賀県)
DA51V エブリイ



植松 秀さん(静岡県)
L250S ミラ

ワゴンR部門1位も!! 東京オートサロン 2016展示の 権利を獲得!!



リョーコックさん(山梨県) MJ22S AZワゴン



堤和貴さん(埼玉県)
S200P
ハイゼットトラック



菅原麻美さん(埼玉県)
L375S タントカスタム



上杉 明さん(広島県)
MJ21S AZワゴン



山崎邦彦さん(埼玉県)
MH21S
ワゴンR



赤嶺有太さん(栃木県)
L175S ムーカスタム



峯 智子さん(兵庫県)
MH21S ワゴンR



林 勇樹さん(神奈川県)
L900S ムーヴ



ザンマルティン アキラさん(静岡県)
MH34S ワゴンR スティングレー

気の合う仲間同士でわいわいと オフミーティング エリア



4年前にいじる目的でスティングレーを購入したみさきさん。現仕様はエアロレス、ワンオフアクスルでリアはキャンバー角12度という男前スタイル。「理想は純ベタ。今はこのスタイルを維持していきたいです」。



エアロに飽きてしまい
今はエアロレスの車高短スタイル

みさきさん(静岡県)
MH23S ワゴンRスティングレー

今後は「もしかするともう少し車高が落ちるかも……」と語るみさきさん。頑張ってくださいね。
前10度、後ろ12度というキャンバー。「タイヤがすぐ減ります。でも通勤は原付なので……」。

ドレコンエリアとは打って変わって、和気あいの雰囲気漂うオフミーティングエリア。今回はスティングレーオーナーズクラブが2つ参加してくれて、スティングレーの比率がかなり多くなっているぞ。

「CLUB STINGRAY」 今日は中部支部から12台で参加

中部支部のメンバーを中心に12台で参加してくれた「クラブスティングレー」。みんなカラをベースに2013年に創立され、全国に270台以上のメンバーを持つスティングレーオーナーズクラブ。中部支部は女性支部長が頑張っている。

フルバンパーエアロ&
オールベンで差を付ける



「今日はクラブのみんなで一緒に出ようという感じで」と参加したリザスティンさん。

エイムゲインシグナスのバンパーエアロを装着するリザスティンさん。「ボーナスが入り次第、すぐにホイールをマイスター17インチに変える予定です」とコメント。

リザスティンさん(静岡県)
MH22S ワゴンRスティングレー

「このシルエットが好き」とお気に入りのリアビュー。クリアワールドLEDテールも装着。

全くクルマに興味がなかったゆっきーさん。通勤用に買ったスティングレーが「最初にルームミラーを買ってから、月一でと思ったけど歯止めが利かなくなった……」とフルDAD仕様へと変化。



内外装ともにフルDAD仕様。ロゴやモックラム柄に合わせて、自分流にスワロをアレンジ。



ゆっきーさん(静岡県)
MJ23S AZ ワゴンカスタムスタイル



「前にリアのホイールを入れて、リアを7Jに変えて前後ともツラにしたい」と野望を持つ浅見さん。



ミックスエアロでスタイルアップ
ムラサキボディにメッキの輝き

浅見朱希さん(静岡県)
MH34S ワゴンRスティングレー

通勤にクルマが必要で購入というスティングレー。「初めは全然いじる気はなかったんですが、途中からハマってしまった」と浅見さん。21歳の若さながら中部支部支部長を務める。

オフミーティングの醍醐味は 隣同士なった方々の交流です

ここで紹介する3台、ワゴンRの高橋さん、hanabusaさんのスティングレー、てちこさんのラバン。実は今日初めて出会った3組なのだ。たまたま会場で隣同士になった縁で、交流を深めていたぞ。高橋ワゴンRはこだわりの限界通勤仕様で3回目の参

加。RS-Rブラックi車高調にボルド製アクスルを装着するが「あと5mm車高を落としたい」とコメント。hanabusaさんはストリートライド車高調にレオニスVX16インチ。初参加のてちこさんは純正エアロにグラムライツ16インチをセットする。



hanabusaさん(神奈川県)
MH23S ワゴンRスティングレー

高橋さん(新潟県)
MH23S ワゴンR

てちこさん(埼玉県)
HE22S ラバン





「ALL JAPAN STINGRAY 限定 OWNERS」 スティングレーならウェルカム

2010年にミクシのコミュニティサイトからスタートした「オールジャパン スティングレー限定オーナーズ」。コミュニティには560名ほどのメンバーがいて、10代から40代まで幅広い。今回は17台が参加してくれたぞ。



しおたんさん(右)、まなすけ@紫姫さん。「スティンガールズ」は現在5台で活動中だ。

女子力で魅せるムラサキな2台 スティンガールズから参加です



西川誠紀さん
(静岡県)
MH23S ワゴンR
スティングレー

なるべく自分が使いやすい
走りやすいよう考えてます

最初はダウンサスのみで乗っていた西川さん。「3年程前にクラブに参加したから、ちよくちよくという感じで現状スタイルに。「自分が乗りやすい」方向でカスタム。

ムラサキのスワロを散りばめるドアのスイッチパネルは自作。「紫が大好き!パープルプリンセスです」。



自作で組み合わせた
パーツのエアサス!

長島 仁さん
(東京都)
JE1 ゼスト
スポーツ



セカンドカーに購入したゼストスポーツ。微妙なオバフェンは「タイヤとフェンダーの間にダンボールを入れて、エアサスで落としていくんです。ユーチューブで見ました」とか。



「Club @ ist + PLUS」の3台です

クラブ名の通り、元々はイストのオーナーズクラブなのだが、イストオーナーの減少とともにイスト以外にも「+PLUS」というカタチで参加できることに。今回はPLUSの部分の3台を紹介します。



永井義仁さん(千葉県) JF1 N-BOXカスタム

オートサロンを見に行ったら「ドレスアップに火が付きました」と語る永井さん。「これからはアンダーLEDやホイールLEDなどナイトシーンで目立つようにしたい」とまだまだこれから進化を遂げる予定のN-BOXなのだ。



ハイマウントストップランプはLIFEの文字で点灯。さりげないがリアビューのアクセントとしてアピールできる。

職場の上司の方がクラブ@イストのメンバーという縁から、2年前から愛車もコツコツとカスタムを重ねた大原さん。後期純正テールをLED加工。メッキパーツは純正オプション。「最終的にはエアロを付けたい」と語る。

大原道子さん(千葉県) JC1 ライフ



リアウインドウには愛犬のそらちゃん(パピヨン)のシルエットでステッカーを貼る大原さん。



間もなくゴールデン予定の永井さんと朋子さん。実はN-BOXの本当のオーナーは朋子さんだったりするのだ。



「昨日モニターが映らなくなったんです。これからひっぺ返して公開処刑します」とみんなで自作の楽しさ。



LEDメイクで各部をスタイルアップ



> ACCESSORY



SMART KEY CASE
3980円

SEIZA-STICKER
1000円

SIXTH SENSE シックスセンス

汎用性の高いアイテムも充実するシックスセンス。「スマートキーケース」は、デニム調カラーを3色から、ジッパーを2色から選べる。一方の「星座ステッカー」は、12星座をモチーフとしたユニーク系。

●シックスセンス ☎0721-23-0707
http://www.sixth-sense.jp

> INTERIOR PARTS



SEAT APRON
2万9800円

HANDLE TISSUE
COVER 各4000円

DIVINER ディヴァイナー

ディヴァイナーは、メンズアパレルメーカーが発進する気鋭のブランド。汎用モノを数多く展開しており、最新の秋冬モデルは、ジャガード織りのシートエプロンのほか、ネルセン生地の手帳カバーなど!

●エヴァーグリーン ☎06-6371-3777
http://www.joker-ev.jp

> EXTERIOR PARTS



LED NUMBER
PLATE "AIR"
2万6000円

WHA CORPORATION
ワーコーポレーション

字光式ナンバープレート用の発光体「エアー」は、鮮明に映し出すムラのない光はもちろん、従来の1/10以下、厚さ2mmという極薄さが特徴。車検もちろんOKだ(ナンバー本体は各自で用意する)。

●ワーコーポレーション ☎0120-756-277
http://ledair.jp

> SHOP-MENU



SEAT-PAINT ASK

ELEGANT DESIGN エレガントデザイン

埼玉県にあるエレガントデザインは、多彩なメニューを1店舗で行うワンストップD-UPを掲げる気鋭のプロショップ。例えば張り替え時に生地の染色や塗装を行うなど、+αのアレンジにも柔軟だ!

●エレガントデザイン ☎048-556-9855
http://elegant-design.co.jp

> FUNCTION PARTS



RACE CHIP
3万3000円

IGNITE MSI
3万4000円~

T.M.WORKS ティ.エム.ワークス

サブコン「レースチップ」は、出力25%、トルク20%も強化できるブーストアップモジュール。ホンダNシリーズなどに幅広く対応。「イグナイトMSI」は、スパークを3回に上げ燃焼効率を高める点火システムだ。

●ティ.エム.ワークス ☎0555-72-0546
http://tmworks-web.jp

> WHEEL



XSA "05C" 5万1000円~

WORK ワーク

スポーツ系ブランド「イクサ」最新作、05C(ゼロファイブシー)は、クリスタルブラックと命名した写真の新色を引っさげての登場だ。重みのある機械的な色が特徴で、Kカー対応サイズは17×5.5あたり。

●ワーク ☎06-6746-2859
http://www.work-wheels.co.jp

> ACCESSORY



WHEEL NUT 5800円

ESPRIT エスプリ

SUVなどに向けた、「ゴーストライン」と銘打つホイールブランドを展開するエスプリのロゴ入りナット。トヨタやダイハツ車に使える、M12×P1.5・テーパタイプで、レッドやグリーンなど、全6色から選べる。

●エスプリ ☎054-645-3220
http://www.esprit-ltd.com

> LIGHTING PARTS



BIT ILLUMI 2万円~

junack
ジュナック

純正エンブレムまわりの幻想的に光る「トランスエンブレム」に、マツダ車用が追加決定。「ビットイルミ」は、間接照明やスポット的に使う極小ライト。トリムなどに埋め込むなど、自由なアレンジで楽しめる。

●ジュナック ☎0422-72-8090
http://www.junack.com

> ACCESSORY



どーもくん 1500円~

INSPECTION STICKER 500円~

MINT CONDITION ミントコンディション

海外で売られている特別仕様の「どーも」くんや、海外版の車検のステッカーなど、レアなアイテムがズラリ。本業はアメ車などの中古車販売で、今回のような物品販売は、イベント出展時限定とのこと。

●ミントコンディション ☎04-7170-0011
http://www.mint-condition.jp

> ACCESSORY



ILLUSION TAG 6800円

SILHOUETTE NIGHT SIGN 4000円

AVANZARE アヴァンツァーレ

光モノ「イルリュージョンタグ」は、紫外線で本体が妖しく光出す、話題の集光アクリル製。一方の「シルエットナイトサイン」は、クルマを象った本体をLEDで点灯(全4色)。どちらもロゴの別注が可能。

●アヴァンツァーレ ☎042-531-1916
http://www.avanzare.co.jp

> AERO PARTS



S660 F/L 2万円

HARD TOP: 6万円~

R/W: 近日発売

GARAGE VARY ガレージベリ

発売以来スマッシュヒット中のS660用エアロとして、フロントリップとウイング、天井のハードトップを出展。ハードトップはFRPとカーボンがあり、うちカーボンは表面のみ、または両面の2種類から選べる。

●ガレージベリ ☎048-469-1708
http://www.vary.co.jp

> FUNCTION PARTS



IDLING STOP
CANCELLER
9800円/本体

CRUISE GT 来春発売

MIRAREED ミラリード

S660など、ホンダ車用の新作「クルーズGT」は、スロコンにクルコン機能も追加したスグレモノ。「アイドリングストップキャンセラー」は、純正機能を強制的に止める、そのものズバリなハーネス!

●ミラリード ☎06-6452-4004
http://eco-glider.com

**OTHER
BOOTH**

ミニバン、SUV、
ハイブリッドなど
そのほかのメーカーブースも!!



IROC アイロック



admiration アドミレイション



AMS エーエムエス



NE-STYLE エヌイースタイル



K-SPEC
ケースペック



KUHL NAGOYA
クール名古屋



CK COMPANY
シーケーカンパニー



V-VISION
バイビジョン



BLACK PEARL COMPLETE
ブラックパールコンプリート



ROJAM
ロジャム



2015年2月号

ニコイチバンパーや絶妙なツライチでバランスよくまとめあげたムーヴは、東北のドレスアップシーンを牽引する1台なのだ。

安達理沙さん(山形県)
L175S ムーヴ 平成22年式



オーディオメイクはパワーサウンドMにお任せ。アクリルワークを駆使しているのも必見です。

ユーロテイストを取り込み
上質感のあるルックスに!



東北の元気娘、理沙さんは、イベント遠征にも意欲的に出撃。BMWを意識したメイキングを施している。

有名チームや人気ショップの
看板娘たちが参戦!!

カバーカー エリア

Kスぺの表紙を飾った有名マシンを間近でチェックできたのがカバーカーエリア。その気合いの入った作り込みに、ギャラリーの視線もクギ付けになっていた。ドレスアップの参考になったはずだ。

2015年4月号

イベント参戦に向けて
さらなるインパクトを!



「以前はシンプルにまとめていたけど、いまはインパクト重視です」と谷口さん。



エアロやホイール、そしてシートカバーまでD.A.Dでフルコーディネート。マフラーはHKS改ワンオフセンター出た。

谷口慶悟さん(愛知県)
JF1 N-BOXカスタム 平成24年式

2014年12月号

澤田珠愛さん
(兵庫県)
JB5 ライフディーバ
平成20年式



光に当たるとキラキラと輝くカラーやワンオフマフラーなど見所が満載。中身もブレオの足を移植して4独にするなど走りも拔かりなし。

86純正とニコイチした
バンパーで存在感アップ



翔プロデュースのフロントバンパーに86純正のフットパッドを移植。個性的に仕上げた。

ルマたちが集結!!



ダークグリーンにオールペンしたほか、ホイールもあえてディッシュのポリッシュを選ぶなど、VIPテイストを取り入れる。

ワルっぽいスタイルに
大イメチェンを決行!

米本尚幸さん(広島県)
L235S エッセ
平成18年式



内張りや天井はオレンジでコーディネート。レカロSRⅢもオレンジの生地張り替えられる。

2015年8月号
COVER NICE GUY



「かわいらしい雰囲気を出したい」と、はるばる広島県から遠征してくれた米本さん。



個性的なバンパーはレグーラチューニングのアウトディTT風がモチーフ。スポーティな空気感が溢れるスタイルだ。

GTスタイルを極める
絶妙コーディネート術

諏訪田恒崇さん(広島県)
L175S ムーヴカスタム
平成21年式



「真っ赤なボディに金をあしらったハデな色使いが自慢」というのは広島から遠征の諏訪田さん。



スバルのバケットシートはヘッドサポート付きの本格派。内装カラーはライトグリーンでコーディネート。

2015年10月号
COVER リフェクト3姉妹



シックなのに斬新な
ボディワークに注目

かなり攻めるツライチぶりも自慢のポイント。ホイールは鍛造3ピースのブランクをチョイス

足立 夢さん
(兵庫県)
L175S
ムーヴカスタム
平成16年式



深紅のボディで魅せる
攻撃的なスタイリング!

中村有加利さん(滋賀県)
MH23S ワゴンRスティングレー 平成20年式



17インチ履きに併せてT-DEMANDのキャリパーも装着した。深紅なホイールは、マイスターS1R。



モノトーン調に仕上げたスティングレーは強面風のスタイルでアピール。バンパーやサイドステップにアクリル加工を施すなど個性的に味付けた。

石田麻緒さん(兵庫県)
MH23S ワゴンRスティングレー 平成23年式



光が当たると表情が変わるホワイトピンクパールボディ色もお気に入り。緑っぽくも見え!

誰とも被らないをテーマに
純正バンパーをフルリメイク





2015年7月号

リメイクでさらに磨きがかかったクルマも！ マスターピース エリア

こだわりがギュッと詰まったクルマが揃ったマスターピースエリアも見ごたえ十分！リメイクでさらにカッコよさに磨きを掛けてきたオーナーもいて、ドレスアップ談義に華を咲かせていた。

トランクは15cm延長し、BMW用テールをインストール。マフラーはトレゾアをチョイス。



青山佑樹さん(千葉県)
L802S オブティビクス

インタークーラーを前置きにするためにバンパーは7cm延長。パッドフェイス化も実施した。フロントフェンダーはL700ミラ用を加工している。



リアルセダンをテーマに妥協なしの作り込み

Kスペを彩ったク

2015年9月号



エアサスはボルドワールドに特注。マイナー車だけに装着パーツのほとんどがオーダーメイドとか。



サイドをえぐるように造形したフロントは、あえてのサイドダクトレス。ライン追加で立体感を演出する。センターダクトにはディーワックスのインタークーラーをインストール。スッキリとまとめあげる。



戸所裕貴さん(群馬県)
RN1
ステラカスタム

スタンス風に仕上げたのがミソ。ホイールをフロントラインに変更しユーロテイストを強める。

2015年8月号

あえて古さを武器にした温故知新スタイルで魅了



特製パネルの撮影場所は大好きなアイドルの写真集が撮影された場所でもある。



ウインターにはアクリルチューブを入れる。現代風のテイストを加えることで、古さと新しさを同居させる。

まとまり感を重視したスタイルは計算なし。フロントはNFRバンパーにニスモマッパ用リップを組み合わせる。



上垣雅澄さん(兵庫県) L902S ムーヴ



SSRのマークIIIネオを選んだのは、飽きのこないデザインを吟味した結果、ここのツライチが良かった。

2015年10月号



パッドフェイスでイカツク仕上げたルックスは、欧州車テイストのセンター出しマフラーやダクトアレンジを取り入れる。



ギュッと絞り込んだリアバンパーは、ダクトをセンスよく配してセンター出しテールを際立たせる。

小林 愛さん(山梨県)
JE2 ゼストスポーツ

オーディオメイクも妥協なしの4駆ゼスト

Kスペ号も登場!!

ラグジュアリー感が溢れる大人のオープンクーペを目指し、Kスペで連載したコペンもお披露目。エアロはケイブレイクのワゴンR用をニコイチ、ムーヴ用エアサスを流用するなど、快適でスポーティに仕立て上げた。



LA400K コペンローブ



イベントに花を添える
読者レポーター

KSP47+1も 駆け付けた♪

Kカー大好き女子のKSP47+1を代表して、東京都のゆり姉や兵庫県のあゆみちゃん、愛知県の♡りえ♡ちゃんが駆け付け、トークショーやアワードマシンの選出など大活躍！ イベントを盛り上げてくれた。

ドレスアップはもちろん スポーティな走りも意識

走れるKワゴンを目指しているゆり姉は、ブリッツ車高調やグラムライツのホイールなどで、スポーティさをアップ。これで時とかに行きたくて楽しんでいるとか。ヘッドライトにはカラー切り替え式のイカリングを組み込んだ。

東京都代表
ゆり姉
ちゃん



兵庫県代表
あゆみ
ちゃん

ランボをモチーフに バンパーをワンオフ!

内装がハデなので、外装はシンプルにまとめたというあゆみちゃん。ワンオフのエアロはランボルギーニのダクトなどをモチーフに製作。硬派なイメージでまとめあげた。ドアノブまわりにはヴィトンの生地も貼り込む。

トークショーに!



Kスベ
ある太郎も
参戦!

KSP+1ガールズとある太郎のトークショーでは、普段は聞けないマル秘ネタも暴露!? ちなみに今回は3人がお気に入りのクルマをアワードとして選出。佐藤さんのビートがカッコいいというわけで、見事トロフィーをゲットしたぞ。

アワードも!



佐藤晃一さん(千葉県)
PP1 ビート



KSP
47+1
賞

3万7000個のスワロを 投入の煌めく有名マシン



愛知県代表
♡りえ♡
ちゃん

グリルまわりやフレームスなど、大量のスワロフスキーを投入して仕上げた♡りえちゃんのバモス。全身ピンクコーディネートにルックスはいつもでもインパクト満点。今回も注目を集めまくっていました!



豪華賞品争奪 じゃんけん大会

協賛各社による豪華賞品を争奪するじゃんけん大会では、参加者のテンションも最高潮に! みごと景品をゲットしたひとは大喜びだった。



MCはこのふたり



藤島知子さん



勝又智也さん

みんなで参加!だから楽しい♪ 大盛況のステージ イベント!!

気が合う仲間とクルマ談義をしたり、参加者のKカーをチェックしたり...。それだけがこのイベントの醍醐味ではない。盛りだくさんのステージイベントもSKFの魅力なのだ。

夢の コラボも 実現!



豊嶋 咲樹
ちゃんも登場

ロックフォードのイメージガールを務める豊嶋咲樹ちゃんも登場するなど、とにかく内容盛りだくさん。ステージにも目が離せない1日でした。

白熱の生ライブ



リバイバルスタンス

ポーカー&キーボード担当の安枝瞳ちゃんと、ポーカー&ベースを担当する双月南那ちゃん。ふたりが奏でるメロディに、会場の男子はもうメロメロ!?



KUCHIBIRU NETWORK



S☆1 GRAND PRIXとは?

Kスベの人気企画、S1グランプリとは、速さと低さを競う新感覚イベント。車高の低さとパイロンゲームのタイムをそれぞれポイント化し、合計ポイントによって争う。つまり速く走れば勝てない、低く走れば勝つ資格はない。まさに孤高のシャコタニストたちによる崇高な闘いの場。

シャコタン最速ナンバーワン

S☆1 GRAND PRIX

エスワン グランプリ

in 富士スピードウェイ

日本のレースシーン発祥の地、聖地ともいえる富士スピードウェイを舞台に開催された「S☆1グランプリ」。エントリー台数も23台と過去最高をマークし、低さとドライビングテクニックで熱いバトルを繰り広げた。各車の激走を動画でもチェックしてね♡

“低さ”と“ドラテク”を競え!!

第1位

MH21S
ワゴンR

DRIVER●山嶋邦彦さん
(埼玉県)

60 TOTAL
ポイント

27 TIME POINT
ポイント

33 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 60mm
フロントアーチ 495mm
リア地上高 30mm
リアアーチ 475mm

昨年の無念を晴らし見事に総合1位を獲得!

昨年はパイロンタッチの減点が響いて5位に甘んじてしまった山嶋ワゴンRだったが、今年はその無念を晴らすべく大奮闘。RS-R車高調に変更した足まわりで車高ポイントは第8位、気合いの走行でタイムポイントはペナルティなしの第3位を獲得。どちらも上位に進出する見事な仕上がりで総合第1位に輝いた。



パイロンタッチに泣いた昨年……



動画
チェック!



14インチのロンシャンXR-4、ダミーホースの外観で街道レーサーイメージに仕上げられるワゴンR。車高もさることながら、第3位のタイムをたたき出したドライビングテクニックも見事でした。

SPECIFICATIONS WHEEL●SSR・ロンシャンXR-4(14×6J+38) TIRE●クムホ(155/55-14)
SUSPENSION●車高調=RS-R、リアアクスル=バルテック

ガッツリ被った極低車高で総合2位!

第2位

MH23S
ワゴンR

DRIVER●よしおさん
(滋賀県)

57 TOTAL
ポイント

12 TIME POINT
ポイント

45 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント



動画
チェック!



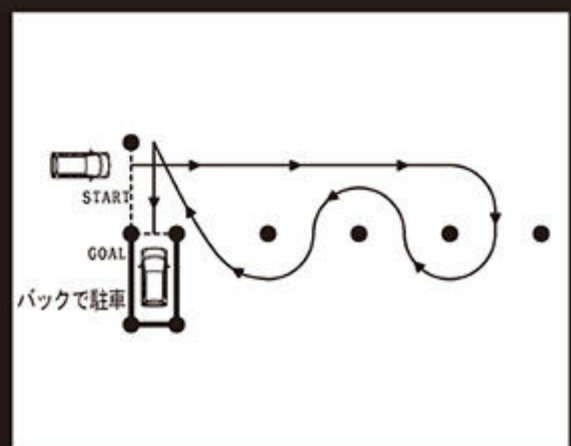
前後ともにガッツリとフェンダー被りの極低車高は第2位の45ポイントを獲得。スムーズな走行だったが、小回りが利かずタイムロス。タイムは第17位となったが、車高の低さで総合2位を獲得した。

フロント地上高 40mm
フロントアーチ 460mm
リア地上高 30mm
リアアーチ 430mm

SPECIFICATIONS WHEEL●スズキ純正(17インチ) TIRE●ルッチーニ(165/35-17) SUSPENSION●車高調=RS-R、リアアクスル=バルテック

ルール&ポイント概要 S☆1 GRAND PRIX REGULATION 定められたコースを走行し、各ポイントにより順位を決定する。

- コースを走行し走行タイムを記録とする(ドリフト、スピンターン等は今回を除き禁止)
- 走行タイム(①)は、基準タイム(50秒)でゴールした場合10ポイントとなり、走行タイムに応じて1秒単位でポイントが上下する。0ポイントが下限となる。
- フロントの高さ(②)はバンパー(エアロ装着可)まで、リアの高さ(③)はマフラーエンド下部(パイプやタイコ部分の低さは入りません)までの地上高が90mmを5ポイントに設定し、高低差に合わせて10mm単位でポイントが上下する(0ポイントが下限とする)。
- マフラーカッターもOKとしますが、バンパーにぶらさげているだけなど、装着方法によってはバンパーでの高さで計算。
- 地上からフェンダーアーチ頂点までの距離、フロント(④)とリア(⑤)の高さを500mmで5ポイントと設定。高さに合わせて10mm単位でポイントが上下する(0ポイントが下限とする)。
- 過去に、アーチ部が左右で高さが違うというオーナー様もいましたが、当日の判断で測定。片側だけ極端に低く見えるオーバーフェンダーなどはNG。
- 装着ホイールが前後で17インチ以上(⑥)の場合3ポイント加算する。(※16インチ以下、または前後どちらか17インチ設定は追加ポイント無し)
- 駐車はバックからの入庫とする。
- パイロンタッチした場合、コースから完全に出た場合ペナルティとして5ポイントの減点となり、コースミスでゴールした場合は失格となる。
- ①～⑥までの合計ポイントで、勝者を決定。
- 合計ポイントが同じ場合、車高ポイント、タイムポイントの高い順に、順位を決定する。



第3位

パルテックデモカーもタイムアタックで激走

L250S
ミラ

DRIVER●Pal-3さん
(神奈川県)

55 TOTAL
ポイント

21 TIME POINT
ポイント

34 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント



動画
チェック!



フロント地上高 60mm
フロントアーチ 480mm
リア地上高 70mm
リアアーチ 430mm

パルテックバージョンのESB-CLSエアロ装着のパルテックデモカーも激走。車高ポイント5位、走行ポイント9位とソツなくポイントを獲得した。

SPECIFICATIONS WHEEL●ESB-CLS MC-05 (16×6.5J+32) TIRE●クムホ (165/40-16) SUSPENSION●車高調=日正タイヤ、リアアクスル=パルテック



第4位

欧州車のようなフォルムで颯爽と駆け抜け5位を獲得

L802S

オブティビックス

DRIVER●青山佑樹さん
(千葉県)

52 TOTAL
ポイント

21 TIME POINT
ポイント

31 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 50mm
フロントアーチ 490mm
リア地上高 70mm
リアアーチ 465mm



動画
チェック!



53 TOTAL
ポイント

27 TIME POINT
ポイント

34 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 40mm
フロントアーチ 510mm
リア地上高 50mm
リアアーチ 510mm

アヒル商会の独立アクスルでセダンを意識する足まわりで車高ポイントは12位ながら、走行ポイントで頑張り5位を獲得。総合でも4位となった。

SPECIFICATIONS WHEEL●ACシュニツァー・タイプ1 (16×7.5J+32) TIRE●クムホ (165/40-16) SUSPENSION●車高調=レオン、リアアクスル=アヒル商会

第5位

L700V
ミラ

DRIVER●園部健太郎さん
(秋田県)

51 TOTAL
ポイント

17 TIME POINT
ポイント

49 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 60mm
フロントアーチ 480mm
リア地上高 50mm
リアアーチ 455mm



レオンウルトラマック車高調加工にワンオフのリアアクスル。キャンバーもフロント6度、リア10度と利かせ、ダントツ1位の車高ポイントを獲得。

SPECIFICATIONS WHEEL●BBS-RS (15×7J+38) TIRE●ATR-K (165/45-15) SUSPENSION●車高調=レオン加工

秋田からやってきた刺客は
トータルバランスで上位入賞

第7位

HE21S
ラパン

DRIVER●宮本卓哉さん
(千葉県)

57秒台の走行ながらダントツの車高ポイント

52 TOTAL
ポイント

30 TIME POINT
ポイント

27 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 50mm
フロントアーチ 505mm
リア地上高 45mm
リアアーチ 505mm



動画
チェック!



2位に1秒54もの差を付ける30秒39というダントツのタイムで走行ポイント第1位を獲得したムーヴだったが、パイロンタッチ&車高ポイントが27ポイントと12位だったため、惜しくも第6位に甘んじてしまった。

SPECIFICATIONS WHEEL●XXR-522 (15×F&J-25, R&J-48) TIRE●F ハンコック、R ATR (165/45-15) SUSPENSION●車高調=ワンオフ、リアアクスル=アヒル商会



オーナーさんの彼氏がドライブし見事に31秒93をマーク。走行ポイントで2位となる29ポイントを獲得し、車高ポイントの低さをカバーした。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・VS-KF (16×6.5J+38) TIRE ●ATR-K (165/45-15) SUSPENSION ●車高調=RS-R

動画
チェック!



51 TOTAL
ポイント

29 TIME POINT
ポイント

22 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 75mm
フロントアーチ 495mm
リア地上高 125mm
リアアーチ 475mm

車高ポイントの低さも
彼氏のドラテクでカバー!



第9位

L575S
ムーヴコンテ
DRIVER ●佐野琴美さん
(静岡県)

42 TOTAL
ポイント

8 TIME POINT
ポイント

34 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 30mm
フロントアーチ 500mm
リア地上高 45mm
リアアーチ 470mm



動画
チェック!



SPECIFICATIONS WHEEL ●メーカー不明 (16×F7.5J+35、R7J+30) TIRE ●ハンコック (165/40-16) SUSPENSION ●車高調=Fレオン、Rイデアル、リアアクスル=アヒル商会

L175S
ムーヴカスタム
DRIVER ●稲葉優麻さん
(静岡県)

5位の車高ポイントを獲得するも、走行ポイントで18位の8ポイントにとどまり総合11位。切り返し時にギアが入らずにタイムロスをおぼろけした。



車高ポイント上位ながら
走行でタイムロスを喫する



昨年のSKF開催のS1グランプリを制した柴山ムーヴカスタム。2連覇を目指す、最後の車庫入で痛恨のパイロンタッチを喫し、13位と撃沈。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・リザルタードメッシュ (16×F7J+7、R8J-4) TIRE ●Fハンコック、R ATR-K (165/40-16) SUSPENSION ●車高調=Fファイナルコネクション、Rメーカー不明 (ワゴンR用)、リアアクスル=ワンオフ

動画
チェック!



41 TOTAL
ポイント

18 TIME POINT
ポイント

28 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 45mm
フロントアーチ 500mm
リア地上高 45mm
リアアーチ 520mm

2連覇を目指すも
痛恨のパイロンタッチ



L150S
ムーヴカスタム
DRIVER ●柴山清治さん
(栃木県)

オープンボディで
清々しい走りを披露

車高ポイントでは16位と下位に甘んじてしまったが、34秒台をマークする走行ポイントで7位を獲得。総合ポイントでも挽回し、なんとベスト10に食い込むことができた。

46 TOTAL
ポイント

26 TIME POINT
ポイント

20 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 65mm
フロントアーチ 515mm
リア地上高 85mm
リアアーチ 515mm



第10位

L880K
コペン
DRIVER ●篠原秀章さん
(長野県)

動画
チェック!



SPECIFICATIONS WHEEL ●SSR・プロフェッサー SP1 (16×F7J+32、R7.5J+26) TIRE ●クムホ (165/40-16) SUSPENSION ●車高調=シュビーゲル、リアアクスル=マーシャングレート

L150S
ムーヴカスタム
DRIVER ●嵯原清仁さん
(石川県)

ハンドルの切れずに
切り返しの多さで撃沈



41 TOTAL
ポイント

0 TIME POINT
ポイント

41 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 35mm
フロントアーチ 480mm
リア地上高 30mm
リアアーチ 435mm



動画
チェック!



41ポイントと第3位の車高ポイントを獲得するも、ハンドル切れ角からくる切り返しの多さのため21位の71秒台と痛恨のノーポイントとなった。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ヨコハマ・クロイツァーシリーズ X (16×F7J+38、R7J+28) TIRE ●クムホ (165/40-16) SUSPENSION ●車高調=ファイナルコネクション、リアアクスル=アヒル商会

HA25V
アルトバン
DRIVER ●
むーびんさん



全身ホワイトコーデで
駆け抜ける

39 TOTAL
ポイント

20 TIME POINT
ポイント

19 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 80mm
フロントアーチ 500mm
リア地上高 120mm
リアアーチ 490mm



タイムアタックではマニュアル車らしく素早いギアチェンジでタイムを縮め40秒台をマーク。車高ポイント18位をカバーして総合アップを図る。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・マスターS1R

動画
チェック!



動画
チェック!



39 TOTAL
ポイント

16 TIME POINT
ポイント

23 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 50mm
フロントアーチ 530mm
リア地上高 80mm
リアアーチ 490mm

車高ポイントで14位、ソツなく44秒台をマークした走行ポイントで16位と可もなく不可もない平均点をマークした細野ムーヴ。総合で14位と健闘。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ASA (16×7J+38) TIRE ●ハンコック (165/40-16) SUSPENSION ●エアサス=イデアル

L175S
ムーヴ

DRIVER ●細野翔太さん
(神奈川県)



トータルアベレージで
平均点をたたき出す!

慎重なタイムアタックで
納得のノーポイント!?

小刻みな切り返しを繰り返す慎重なドライビングの高橋ムーヴ。愛車を誇る安定した走行でノーポイントとなる納得の72秒台をマーク。車高ポイントのみで総合17位を獲得する。



L175S
ムーヴ

DRIVER ●かじゅぽんさん
(秋田県)

37 TOTAL
ポイント

0 TIME POINT
ポイント

37 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 35mm
フロントアーチ 480mm
リア地上高 60mm
リアアーチ 440mm



SPECIFICATIONS WHEEL ●BBS-RG-II (16×7J+40) TIRE ●クムホ (165/40-16) SUSPENSION ●車高調=326/バワー

動画
チェック!



31 TOTAL
ポイント

0 TIME POINT
ポイント

31 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 60mm
フロントアーチ 490mm
リア地上高 70mm
リアアーチ 450mm



SPECIFICATIONS WHEEL ●BBS-RG (16×6.5J+45) TIRE ●クムホ (165/40-16) SUSPENSION ●車高調=ボルドワールド

動画
チェック!



L150S

ムーヴカスタム

DRIVER ●たくちゃん
(千葉県)

最初のJターンでミスコースしてしまい、終盤まで響いてしまった石田ムーヴ。痛恨の76秒台でノーポイントとなり、車高ポイント4位ながら上位進出ならず。



車高ポイント4位ながら
序盤で痛恨のミスコース

MH23S
ワゴンRスティングレー

DRIVER ●大塚 亮さん
(東京都)



車高ポイント最下位も
果敢なアタックを見せる

29 TOTAL
ポイント

27 TIME POINT
ポイント

2 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 115mm
フロントアーチ 550mm
リア地上高 185mm
リアアーチ 560mm



車高は2ポイントとダントツの最下位ながら、果敢なタイムアタックで33秒台前半と好タイムをマーク。走行ポイントで第4位を獲得して一矢報いた。

SPECIFICATIONS WHEEL ●バドックス・エスホールドエレノア (16×5.5J) TIRE ●ケンダ (165/45-16) SUSPENSION ●車高調=タナベ

動画
チェック!



動画
チェック!



31 TOTAL
ポイント

19 TIME POINT
ポイント

12 LOW DOWN POINT
ポイント

PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 65mm
フロントアーチ 505mm
リア地上高 180mm
リアアーチ 565mm



車高ポイントで20位と下位に沈むも、スムーズなタイムアタックで41秒台をマーク。走行ポイントは12位となり、総合41ポイント、18位となった。

総合17位と同点ながら
車高ポイントで泣く!

L375S
タントカスタム

DRIVER ●安澤 実さん
(埼玉県)



好タイムをマークするも 車高ポイントを挽回できず

タイムアタックでは40秒台をマークし、走行タイムで10位と健闘するも、4ポイントと22位の車高ポイントを挽回することができず、総合ポイントで21位に甘んじた。



MH23S
ワゴンRスティングレー
DRIVER ● 赤月ステインさん
(東京都)

28 TOTAL
26 TIME POINT
17 LOW DOWN POINT
-15 PENALTY POINT

フロント地上高 35mm
フロントアーチ 520mm
リア地上高 145mm
リアアーチ 520mm



SPECIFICATIONS WHEEL ● 阿部商会・ラストラダ メーテオ(16×5.5J+45)
TIRE ● ケンダ(165/40-16) SUSPENSION ● 車高調=ファイナルコネクション

動画
チェック!



24 TOTAL
20 TIME POINT
4 LOW DOWN POINT
- PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 100mm
フロントアーチ 580mm
リア地上高 145mm
リアアーチ 585mm



SPECIFICATIONS WHEEL ● ピア・フローラルクロス(16インチ) TIRE ● ヨコハマ(165/50-16)

動画
チェック!



L350S
タントカスタム
DRIVER ● 池田雄之さん
(千葉県)

走行ポイント的には34秒53の第6位のタイムをマークするも、3回のパイロンタッチによる15ポイント減点で20位に沈む。減点がなければ11位のポイントだ。



パイロンタッチの
ペナルティに泣く

迫力ボディに 18 インチ しかしポイント加算できず



JB5
ライフ
DRIVER ● 高地直樹さん
(千葉県)

18インチの極太ホイールで迫力のフォルムを演出する高地ライフ。しかし、車高ポイントが伸びず16位、58秒台となったタイムアタックも1ポイントの20位と伸び悩んだ。

21 TOTAL
1 TIME POINT
20 LOW DOWN POINT
- PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 60mm
フロントアーチ 565mm
リア地上高 55mm
リアアーチ 595mm



SPECIFICATIONS WHEEL ● リバーサイド・アルトシュタットグラズ(18×F8.5J、R9.5J) TIRE ● ナンカン(F165/40-18、R205/35-18) SUSPENSION ● 車高調=RS-R、リアアクスル=ジェーライン

動画
チェック!



スムーズな走りで意地の43秒台をマークするも車高の5ポイント21位が重くのしかかり、総合で22位。しかし、女性オーナーとして歓声を浴びていた。

SPECIFICATIONS WHEEL ● レイズ・グラムライツ57ゲイナー(16×5.5J)
TIRE ● プリジストン(165/401-6) SUSPENSION ● 車高調=ブリッツ

唯一の女性ドライバーで 意地の走りを見せるも...



22 TOTAL
17 TIME POINT
5 LOW DOWN POINT
- PENALTY POINT
ポイント

フロント地上高 90mm
フロントアーチ 555mm
リア地上高 180mm
リアアーチ 565mm

MH23S
ワゴンRスティングレー
DRIVER ● ゆり姉ちゃん
(KSP47+1東京都代表)

スムーズな走りで意地の43秒台をマークするも車高の5ポイント21位が重くのしかかり、総合で22位。しかし、女性オーナーとして歓声を浴びていた。

S ☆ 1 GRAND PRIX in FSW Result

Pos.	Machine	Driver	Fr	Pt	Frアーチ	Pt	Rrアーチ	Pt	Rr	Pt	車高Pt	TIME	Pt	INCH	Pt	PTY	Pt	合計Pt
1	MH21S ワゴンR	山崎邦彦さん	60	8	495	6	475	8	30	11	14	0	33	33.09	27	0	0	60
2	MH23S ワゴンR	よしおさん	40	10	460	9	430	12	30	11	17	3	45	48.51	12	0	0	57
3	L250S ミラ	Pal-3さん	60	8	480	7	430	12	70	7	16	0	34	39.41	21	0	0	55
4	L802S オプティベックス	青山佑樹さん	40	10	510	4	510	4	50	9	16	0	27	34.08	26	0	0	53
5	L700V ミラ	園部健太郎さん	50	9	490	6	465	9	70	7	15	0	31	39.36	21	0	0	52
6	L900S ムーヴ	林 勇樹さん	50	9	505	4	505	4	45	10	16	0	27	30.39	30	1	-5	52
7	HE21S ラバン	宮本卓哉さん	20	12	425	13	405	15	55	9	16	0	49	57.71	2	0	0	51
8	MH21S ワゴンR	K-magicさん	60	8	480	7	455	10	50	9	15	0	34	43.87	17	0	0	51
9	L575S ムーヴコンテ	佐野琴美さん	75	7	495	6	475	8	125	1	15	0	22	31.93	29	0	0	51
10	L880K コペン	篠原秀章さん	65	8	515	3	515	3	85	6	16	0	20	34.98	26	0	0	46
	L175S ムーヴカスタム	稲葉優麻さん	30	11	500	5	470	8	45	10	16	0	34	51.09	8	0	0	42
	L150S ムーヴカスタム	蛭原清仁さん	35	11	480	7	435	12	30	11	16	0	41	71.41	0	0	0	41
	L150S ムーヴカスタム	柴山清治さん	45	10	500	5	520	3	45	10	16	0	28	42.07	18	1	-5	41
	L175S ムーヴカスタム	細野翔太さん	50	9	530	2	490	6	80	6	16	0	23	44.58	16	0	0	39
	HA25Vアルトバン	むーびんさん	80	6	500	5	490	6	120	2	16	0	19	40.62	20	0	0	39
	L150S ムーヴ	たくちゃん	35	11	480	7	440	11	60	8	16	0	37	76.89	0	0	0	37
	L175S ムーヴ	かじゅぼんさん	60	8	490	6	450	10	70	7	16	0	31	72.37	0	0	0	31
	L375S タントカスタム	安澤 実さん	65	8	505	4	565	0	180	0	16	0	12	41.49	19	0	0	31
	MH23S ワゴンRスティングレー	大塚 亮さん	115	2	550	0	560	0	185	0	16	0	2	33.36	27	0	0	29
	L350S タントカスタム	池田雄之さん	35	11	520	3	520	3	145	0	16	0	17	34.53	26	3	-15	28
	MH23S ワゴンRスティングレー	赤月ステインさん	100	4	580	0	585	0	145	0	16	0	4	40.53	20	0	0	24
	MH23S ワゴンRスティングレー	ゆり姉ちゃん	90	5	555	0	565	0	180	0	16	0	5	43.74	17	0	0	22
	JB5 ライフ	高地直樹さん	60	8	565	0	595	0	55	9	18	3	20	58.02	1	0	0	21

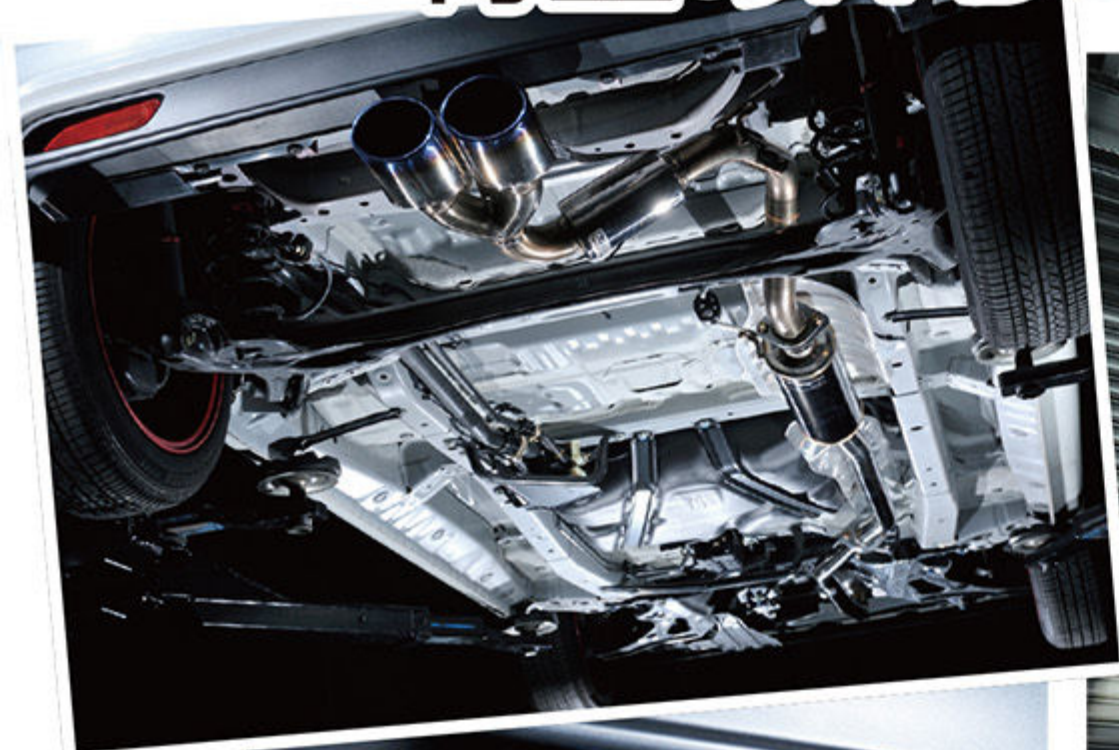


新作モノコレ

BLITZ NUR-SPEC OVAL Ti

問:ブリッツサポートセンター ☎0422-60-2277 <http://www.blitz.co.jp>

人気のハイスペックマフラーに 待望のN-BOXスラッシュ用設定完了!!



スポーティなリアビューを演出してくれる焼き色付きテールは、人気のオーバル形状を採用。オールステンレスのニュルスペックVSも同時登場する予定だ。



NUR-SPEC OVAL Ti

価格	未定
対応	JF1 N-BOX スラッシュ (2WD/ターボ)



テールエンドはセンター出しレイアウト。これと小型のサイレンサーでリアビューが構成される。



サイレンサーとメインパイプは鏡面仕上げのSUS304ステンレス。高い耐久性とルックスを両立する。



フル交換は価格が高くなってしまいますが、レイアウトの自由が高まり、理想的な排気効率を実現する。

(装着車両)

▶ JF1 N-BOXスラッシュ



デモカーはブリッツのダンパーZZ-R(15万6600円)でローダウン。減衰力調整幅の細分化と室内からの制御を可能にするスペックDSC(23万40円)も設定している。



足元を彩るはクラシックなデザインが魅力のエンケイ・オールワン。カラーコーディネートも抜群だ。

国内屈指のチューニングブランド・ブリッツ。そのKカー向けプロダクトにおいて、マフラーの占める重要度は非常に高く、それは精力的に新車種のラインアップを追加することから伺い知れる。ニュルスペックオーバルTiは吹け上がりの良さに加え、走行とサウンドの両面からのフィードバックアップが期待できる人気モデル。焼き色付きのオーバル型タンテールがリアビューをスポーティに演出してくれるとあってドレスアップ効果も申し分なし。今回追加されたN-BOXスラッシュは、ほかのNシリーズ同様純正が一本モノのため

マフラー交換と同時にインテークも強化!



アドバンスパワー
エアクリナー

価格	3万4800円(税抜き)
対応	JF1 N-BOX スラッシュ(ターボ)

エンジン内により多くの空気を取り込み、さらなるパワーアップを狙うエアクリナー。アルミ仕上げの筐体はドレスアップ性も高い。



スーパーサウンド
ブローオフ
バルブVD
リリースタイプ

価格	3万2500円(税抜き)
対応	JF1 N-BOX スラッシュ (ターボ)

空気の逆流から過給機の破損を防ぐブローオフバルブ。過給機本来の力を引き出すとともに、迫力ある開放音が走行シーンを彩る。

フロントパイプからのフル交換となる車種。コストは高くなってしまうが、フル交換は取りまわしやパイプ径を自由に設定できるといふメリットでもある。つまりこれまでブリッツが培ってきた、排気効率の向上や質の高いエキゾーストサウンドを実現するノウハウが惜しみなく注入されているというわけ。このオーバルTiのほかにコストを抑えたオールステンモデル、VSも同時に登場する予定。また既にリリースされているエアクリナーとの同時装着で、吸排気の強化はより確かなものになるはずだ。



装着サイズ:17×5.5+45(タイヤ 165/40-17)

CUERVO 40

クエルボ40 | 問:フレーダーマウス ☎072-555-8888 <http://www.fledermaus.jp>

サイズ:17×5.5J(4H-100)	
価格:3万8880円	
※補修パーツ	2700円
センターキャップ1個	1296円
エアバルブ1個	154円
ナット1個	1851円
ロックナット1台分	154円
ブラックナット1個	3292円
ブラックロックナット1台分	

アバンギャルドなスポーク形状が話題を集めたクエルボ20の余韻も冷めやらぬなか、フレーダーマウスがノスタルジックなテイストをもつ超弩級の新作をマーケットに投入してきた。

「登場願うのは中央から扇状に伸びる20本スポークがふた手に分かれ、40本へと増える繊細なデザインが与えられた、その名も「クエルボ40」。カスタマイズシーン全域に流れるネオクラシック人気をさらに加速させてく、れそんな古風な表情を最大の武器に、計6色に及ぶ大胆なカラーラインアップを設定。

ワイヤーホイールを連想させる複雑な構成と、来年以降も続くような足元のカラーアレンジを融合したあたり、なるほど着眼に鋭い同ブランドならではの発想といつていいだろう。

Kカー向けは17×5.5J+45のみながら、装着した瞬間から高級感あるスポーツテイストが楽しめるはず。逸早く履いた者がストリートを制するかも!?

K'S P
RECOMMEND

深みあるリップと抜群の訴求度を誇るメッシュが、意外と硬派な味わい。多彩なカラバリも魅力的だ。
複雑にして幾何学的なメッシュデザインが温故知新の雰囲気诉求。ネオクラ人気に沸くシーンに最適。
切削されたリム部に走るブルーのラインがアクセントとなり、ホイールの印象したいを大きく見せる。

大人気メッシュホイールに クエルボシリーズが参入! 超目玉の1本!

COLOR VARIATION
カラーは豊富な6種類!



ブルー



ブラック



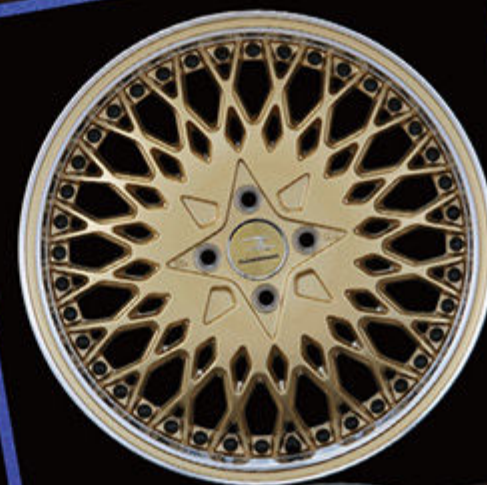
シルバーポリッシュ



ホワイト



レッド



ゴールド

K-BREAK 大林さんがドレスアップパーツメーカーの社長に突撃インタビュー!

ドレスアップ de 第11回 じゃべりまSHOW

新トークバラエティ♪

ケイブレイク大林さんが、ドレスアップパーツメーカーの社長とざっくばらんにしゃべり♪
“ドレスアップ de じゃべりまSHOW”第11回目のゲストは「フィール」ブランドでエアロなどをプロデュースしている、
エヌ・ファクトリーの中村代表です。さて、今回はどんなお話しが飛び出すのか、聞き耳を立ててみましょう♪

取材協力●エヌ・ファクトリー ☎0866-94-0670 <http://www.n-factory-feel.com> ケイブレイク ☎072-931-1000 <http://www.k-break.com>
PHOTO●高原義卓



HOST
ケイブレイク
大林一樹代表

スズキのディーラーマンが
追い出されるように独立!?

大林…中村くんのところは、も
ともとスズキのディーラーなの?
中村…サブディーラー。ぼくがも
ともと、スズキに勤めてて。
大林…親がやってたわけじゃない
の?

中村…親父はもともとチャリン
コ屋。
大林…あー、そうなの? 親が
スズキやって、その延長でやって
んのかなって思ってた。

中村…いいいやいや。
大林…スズキで働いてたんや?
中村…整備もやっとなけど、整
備8年くらいやって、営業1年だ
けやってみたい。

大林…で、そこから独立しようっ
てなの?
中村…うん。

大林…なんぞなん?
中村…うーん、いや。はつきりい
うたら、営業1年しかやってない
けど、CTのワゴンRとかそうい
うときで。

大林…うん。
中村…コンプリートカーとかもば
んばん売れよう。メーカーにも
コンプリートカー作る用の仕様に

うか、まあ、鉄ちゃんルーフキャリ
アなしにしてくれいって、50台く
らいまとめたり。

大林…それを、ディーラーで売っ
てるより、自分で売ったほうが儲
かる思ったん?

中村…んー、ぼく正直、自慢じゃ
ないけど、むっちゃ売りようた。
スズキのもんから「おめえ、もう
帰って(自分で)やれ」いわれて。

大林…うん。
中村…帰ってやれいっても、金ね
えし(笑)

大林…うん。
中村…工場もまともにねえし。
で、どうしよう思うて。そんで、
結婚と子どもができてとか、そ
んなのが重なって、正直なりゆき
で始めたのがあれで。

大林…ふーん。
中村…でも、クルマは確かに売れ
るのは分かったけど。お金も
ねえし、親父もチャリンコ屋やっ
とって、銀行から融資とかそん
なのなくて。

大林…うん。
中村…リース車をコンプリートし
て、売れたら解約して、一括返済
して、それを何台か並べて売って
いきよつたのが最初。

大林…最初は店はなかったの?

中村…えーと、こっち(注…現在
の店舗)はチャリンコ置いとったり
しとって。

大林…チャリンコ屋の場所の間借り
でやってたみたいな感じなの?

中村…うん。
大林…そんなやつたら、もとも
と場所があつたから、家賃的なも
のはない?

中村…そこだけは。
大林…へえ。

中村…うちだけで、そっちの工場
(注…現在のピット)もなかったし。
大林…あー、付け足したん?

中村…うん。工場は作ったかな。
大林…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?

大林…10年超えてんねや。
中村…12年くらい。んで、ちよう
どきつかけが、ちよつとあの、昔、
ケンズモードであつたの知ってる?



GUEST
エヌ・ファクトリー
中村真一代表



(親のチャリンコ屋を間借りして) クルマ屋さんをスタート

いとお金もできなかったかというときに、MH21のワゴンRをオークションで買ってきて、それにコンプリート組んで売って。

大林…あー。

中村…それでも儲かりよったし。

大林…昔、それできたっていうやね。

中村…その後、たいてい名義変更のコピーを送られてくるから。

大林…うん。

中村…ほな、どの業者が買ったとか、それを調査して「あ、何県、めっちゃ売れとるが」とか。だーっとDM送ったりとか。そういううちよと細かいことをしてた。

大林…へえ。

中村…でも、それにちゃんと反応してくれようたよ。「1台ちよつとやってみませんか?」って感じで「やってみるわ」いうて、たいていそれで「売れたから」いうて、おかわりしてくれるとか。

大林…あー。

中村…クルマ屋も景気よかったから。景気が悪くなったいうとき始めたけど、まだ全然よかったけ。

大林…うんうん。

中村…やっぱり最初ボンと売れたら「売れるがあ」ってなつて、それで乗っかってくれるっていうのがあったけ。

大林…MHのときが最終のピークちゃうかな(笑)

中村…うん。

大林…それまでずっと売れてたのね。CTもMCも売れてて、MHなんて最初売れてたのに。

中村…うん。まあ、だからぼくもMHで始めたんも、反対いえば、エアロが売れんようになって型屋がちよつと遊ぶようになったから入れたんやけど。それでも全然売れようたから。

大林…うんうん。

中村…CTじゃ、MCじゃいうたら、ものすげえ笑い止まらんかったやろうなあ。



もともと親がやっていた自転車屋「中村サイクル」の敷地を利用して、エヌファクトリーを創業。ビットなど、改築しながら現在に至る。フィールのエアロを装着したコンプリートカー販売にも力を入れているぞ。

岡山県総社市清音柿木461-3 営業時間/9:30~19:30 定休日/水曜日

新型らしきがない 最近のスズキ車

大林…中村くん、スズキのサブデイーラーやんか。スズキのクルマをよう仕入れたりとかが、つながりあると思うんだけど、ワゴンRのフルモデルチェンジの無駄さはなんなの?

中村…うん。

大林…はは(笑)

中村…正直いうと、開発がどういう風に、多分いいところまで出るとるんやけど、結局、上層部がわけのわからんことになって、崩してしまふよと思うんよ。だけ、最近のスズキは、なんでこんなに出すみたいな感じ。

大林…とりあえず、一旦燃費一番になつてこみたいたのが多いやん。

中村…うんうん。

大林…ほんで、おれらからしたら、やつぱりスタイルちゃうんつて。スズキでいうたら、23も34も一般の人見たら分からへんで多分。おれらは分かるけど。

中村…だからって23の部品を使い回ししとるんかいしたら、全然違うから、その意味が分からんね。

大林…もうちよつと新型つていつたら、変わった感、正直欲しいし。

中村…やつぱり新型やなつて。

大林…そうそう。おれ、まさかワゴンRがこんなにあかん時代がくるとは思わへんかったもん。

中村…開発費つてももの凄いかかるんやけど、いま大林くんがいった結局、燃費の方へ開発費をかけすぎて、外装の方とか、内装とか、そういう方の開発費をちよつと

コンプリートカーで お得にドレスアップ

「いまはまだベースが高くて商売としては難しいけど、今後、ワゴンバス仕様みたいになっていくとすれば」と中村さん。64エブリイをハイエース風にスワップする、エブリイエースにも参画している。



怠りすぎてから、それが出るとね。
大林…ワゴンRはいいも悪いも、そのままだね。
中村…うん。
大林…せっかくセンサーシヨナルに出たわけやん。Kカーの常識を覆すみたいな感じで出たから、ほんまは、タントとかNBOXとかワゴンRやないとかあかんかったん。
中村…やっぱり、スズキやるな、みたいな感じの。ワゴンRがすごいあれやな。
大林…エブリイでも、最近ちょろちょろ見るけどまだあかん。
中村…うん。
大林…エブリイもそうやんか。どっちが新しいん(笑) 後期といまのヤツ、どっちが新しいか分からへん(笑)

中村…あんまりクルマに詳しくない人が見たら、どっちが新型なんですかみたいな(笑)
大林…だから、それをやめて欲しいよね。明らかにこっち新型みたいな。
中村…見るからこっち新型ですよな。いまの状態じゃたら、旧型の64エブリイと新型の17を並べたら、下手すりゃ「こっちのほうがいいわー」って64が選ばれそうなんある(笑)
大林…あるある(笑) だから、ほんまに次来年くらいなん?
中村…来年なったら、結構いろんなもんが出てくる。アルトワークスも出てくるし。
大林…おれ、東京モーターショーで見たけど、ガッカリやったわおれ。
中村…あれは5速ミッションいうだけやね。
大林…RS意味あんのって話やん。
中村…RSを買った人がちよつと怒る。
大林…やろ? 怒るであんな。
中村…最初から5速ミッション出せばよかったんに、5AGSっていうクラッチのない変速するやつ出してるからおかしいことなってる。
大林…それと、圧倒的に顔面変えなあかんやね。アルトワークスって、おれらからしたら、絶対違うやんか。せやのに、顔面一緒で、これアルトワークスで、これアルトで、これRSっていわれても(笑)
中村…まったく変わってないもんね。
大林…ねえ。なんかワークスはワークスで、いままでちゃんとやってたのにね。なんであれやめたんやろ。そういうところがちよつと

せいのよな。
中村…せこさが出る。
大林…もったいないのよな。せつかくアルトワークスとか、おれらの世代からしたら、うれしいやん。おれらの世代でいったら、アルトワークスとかつていうのは、アルトよりは断然速くてイケてたってイメージがあるから。
中村…アルトは、いいようにいったら、あれだけカッコ悪いから、パーツメーカーとしては、結構変えられるような気がする。
大林…あー。
中村…正直、S660とか、カッコよすぎて、あれをフルバンパーで作れいうたら、どう作るうみたいな(笑)
機能パーツの開発も考えていきたい
大林…そーいや、なんでフィールなん?
中村…名前?
大林…よくありそうな名前やん。なんか、フィールっていう名前だけで検索したら、いっぱい出てくるんちゃう?
中村…あー。
大林…ハイエースのとか。どっかいいたら、いまそっちの方が押してるんちゃう(笑)
中村…ははは(笑) だいがね。
大林…最初は、なんやねんっていつたけど、向こうのほうが名前売れてるんちゃうか(笑)
中村…ははは(笑)
大林…結構フィールって多いよな。「ゼロ」並みに多いで。
中村…ははは(笑)

大林…で、フィールってなんなん? どういう意味なん?
中村…いや、基本、感じるとか、そういうようなあれなんやけど、とりあえずパンと口ゴのにわかりやすいのがええかなって。
大林…こんなにおもいは思わへんかったやろ(笑)
中村…もう、ね。かぶるとは思ってたけど。分かりやすい方が絶対いいかなって。
大林…中村くん、エアロパーツとかやってるやんか。せっかくスズキのサブディーラーしてるのに、機能パーツとか作らへんの?
中村…機能パーツって、エンジンとか?
大林…部品とか、ちよつと走る系のとか。
中村…あー。
大林…レースもやってるやん、遅いけど(笑)
中村…ははは(笑)
大林…ははは(笑)
中村…速くもねえけど。結局、むっちゃ開発費いるよな。
大林…ちよつと乗って、街乗りやったら、こんなあつたらええのにみたいのとか。
中村…アルトワークスが出て、昔のノリがくると思う。エアクリナー変えたりとか、いっぱい出せるようになるし、そういうものを作っていきたい。そういうところを期待してる。
大林…Kカーのレースもやってるんやから。遅いけど(笑)
中村…ははは(笑)
大林…ああいうなんて、走ってる人しかわからへんことあると

サブディーラーの立場だから もっとスズキにがんばって欲しい



思う。おれらやってないから、分からへんけど、せっかくやってんねやたら。
中村…そういうアオリはしたい。反対いえば、自分も遊べて、それで商売できれば。
大林…やっぱり一番いいのは、自分が乗って欲しいもの、自分が乗って楽しいものを作るのがパーツメーカーなんやけど、知らん間にこ

のクルマが出たから作るってなってるけど、乗りながら楽しみながら作るのが、ほんまは一番いいもんね。
中村…うん。
大林…アルトワークスが、中村くんにとって、そういうクルマにならたらええね。

ドレスアップ de 第11回
しゃべりまSHOW



軽ONE STARS!!



誰よりも早くコンプリート零式をニコイチ装着。見た人に、「もうニコイチしたんですか!」と驚かされると嬉しいとか。



通勤用のセカンドカーとして買ったムーヴカスタム。しかしちよつとイジってみたが最後、もうやめられない止まらない。結局メインのプレサージュを手放し、メインカーに昇格したというエピソードを持つ1台。

LA100Sの後期型はエアロが少ないため、ニコイチで他と差別化を図ったのが最大のポイント。フロントはスピンドル風デザインを採用した、ケイブレイクのハイパーゼロカスタムNB0X用をチョイス。付け根は素材が異なる純正バンパーを使っているが、加工を依頼したショップはニコイチに強いKCスタイル。まるでムーヴカスタム専用品のような、違和感のない仕上がりを実現した。一方リアは、デビューして間もないケイブレイクのコンプリート零式MH34SワゴンR用。シンプルながらも存在感がある下まわりの造形に惚れ、純正バンパーとキレイにニコイチして後付け感のない高いクオリティをゲット。

LA100S / 平成26年式

MOVE CUSTOM

MAKING SHOP●KC-STYLE

☎0942-94-9877 <http://www.kc-style.com>

ニコイチと塗り分けが織りなす
華やかなオンラインフランススタイル



以前は車高調を組んでいたが、さらなる低さを求めて理想的エアサスにチェンジ。アヒル商会の独立アクスルを組み、ドッシリ感を底上げ。





OWNER
行弘貴志
さん
(福岡県)

「一気に仕上げるのはつまらないので、あえてイジる余地を残しているんです」と行弘さん(左)。隣は彼女の結さん。

スピンドルのラインがライトと自然に繋がり、ニョイチした印象は皆無。色使いのバランスも絶妙。



サイドもケイブレイクで、こちらはれっきとしたLA100S ムーヴ用ブラチナム。後部のダクトは赤とガンメタで塗った。

SPECIFICATIONS

WHEEL ●フーク・デュランダルDD10.5(17×F6.5J+34、R6.5J+32)

TIRE ●ナンカン(165/35-17)

AERO PARTS ●F=ケイブレイク・ハイパーゼロカスタム(JF1用)加工、S=ケイブレイク・コンプリートブラチナム、R=ケイブレイク・コンプリート零式(MH34S用)加工

EXTERIOR ●ヘッドライト=プロジェクター&イカリング加工

INTERIOR ●インパネ=張り替え

SUSPENSION ●エアサス=イデアル、リアアクスル=アヒル商会

MUFFLER ●JIC

AUDIO ●スピーカー=カロツツェリア、追加モニター=8個



昔から憧れていた華やかなモニターメイク。ヘッドレストとミラー、そしてバイザーモニターは以前乗っていたプレサージュから移設したもの。



「遊び感覚でやってみたら、ハマってしまった」という内装の自作張り替え。ステアリングのホーンパッドは、透明感のあるキャンディレッドでペイント。

内装の赤スエード生地張りも自作。元でモーターのON/OFFができるように、トグルスイッチを増設した。

シートカバーはクラッツィオ。こちらは黒レザーをメインとし、さり気なく赤のダイヤスイッチを際立たせる。



ライトは自カラ割りし、枠を赤で塗った純正の2連プロジェクターにイカリングを装着。内側には汎用プロ目を投入。



まわりで装着している人がいなかった、デュランダルDD10.5を選ぶ。粗めのメッシュが足元に軽快な雰囲気を与える。



「女性が乗っていきそうなクルマにはしたくないです」と杏奈さん。愛娘の藍音ちゃん笑顔に癒されます。

OWNER
長谷川杏奈さん
(愛知県)



実用性を求め、ギャルソンのテーブルも装着。黒とメッキのコンビネーションが秀逸で、小さなパーツだが存在感はピカイチ。



知り合いが装着していて、クオリティの高さに惚れてオーダーしたというグレイスのシートカバー。ブラウンと黒の2色を組み合わせ、落ち着いた感じを演出する。



SPECIFICATIONS

WHEEL ●ワーク・マイスター S1R (16×6.5J)

TIRE ●ハンコック (165/40-16)

AERO PARTS ●F/S/R=スベック・エススタイル加工

EXTERIOR ●ヘッドライト=イカリリンク&LED加工、テールレンズ=ハナビブランド、各部ブラックアウト

INTERIOR ●シートカバー=グレイス、フロントテーブル=ギャルソン

SUSPENSION ●エアサス=イデアル、リアアクスル=アヒル商会

BRAKE ●キャリバーキット=イデアル

MUFFLER ●ワンオフ

夫がオバフェン仕様のアルファードに乗っていたこともあり、次第にドレスアップする楽しさに惹かれていった杏奈さん。今はアルファードを手放し、夫婦でワゴンRステイニンググレーをイジっている。いち早く装着したスベックのエアロにより、最先端なムードをかもし出すフォルムへと昇華。バランスの良いソリッドブラック>R純正ガンメタでの塗り分けも効果的で、そのままでもカッコいいスベックの立体的なディテールの完成度をより一層高めている。

フロントとサイドはスベックの良さを極力活かす方向だが、注目すべきはリアバンスポ。こちらは杏奈さんの意向で、夫が乗っていたアルファードのリアを参考にアレンジ。特にバックフォグとリフレクターはどうしても入れたく、モノは違っても同じ位置にセットしてアルファードの雰囲気近くに近づけている。さらに微妙に段差を付けたハス切り斜め出しのマフラーで、ヤンチャっぽさも表現した。

そして足まわりも夫の影響を受け、エアサスを組んでベタベタにダウン。リアはアヒル商会の独立アックスルで思いっきりキャンバーを付け、エアサスならではの見えるパツパツのツライチを披露。この攻めの足元と精悍なエアロメイクにより、オーナーが掲げる「男前仕様」を見事形にすることに成功した。

MH23S / 平成23年式

**WAGON R
STINGRAY**

MAKING SHOP ● ほんだ塗装 ☎0564-58-5808
<http://honda-tosou.com>

夫婦共同作業で具現化した 近寄りたいたい男前なスタイル

スベックのフロントは、ナンバーベースをスモーキングしたのみ。あとはブラック&ガンメタでの塗り分けで、造形を引き立てている。



ルーフも艶やかなブラックでペイントして重心を低く見せる。同時にアンテナもスモーキングして見た目をスッキリ。



テールエンドはセンスブランドのシャリラン。左右の出幅を少々ずらした上で、スベックのマフラーに溶接した。



LEDをスキなく並べたRX-8のリアフォグ。マフラーの上にはバルファムのLEDリフレクターを仕込んだ。



プロジェクターはV36スカイライン純正。奥行きで都合でインナーを大幅に切って収めた。インナーは黒で塗る。



フロントのキャリバーとリアのドラムカバーは、ゴールドで統一。イベントで見たワゴンRに影響を受けたとのこと。



マイスターS1Rのディスクも黒。リムの輝きにも負けない存在感を放つ。ブレーキはイデアルのヴァルムントを選ぶ。



リムとフェンダーがピッタリとくっ付いた至高のツライチ。リアのキャンバーは過激なマフラーに負けないように、何と15度も!

MH22S / 平成20年式

WAGON R STINGRAY

MAKING SHOP●CUSTOM GARAGE SPICE

☎0476-36-4104

http://customgaragespice.web.fc2.com、西田銀金



SPECIFICATIONS

WHEEL●ウェッズ・マーベリック107D (F16×7J+3、R17×7J+11)

TIRE●ナンカン (F165/40-16、R165/40-17)

AERO PARTS●F/S/R=ダブルブラッド・エック
クスラー加工

EXTERIOR●グリル=ダブルブラッド、ウイ
ング=ハーテリー、ヘッドライト=ワンオフ、テール
レンズ=ヴァレンティ

INTERIOR●シートカバー=グレイス、インパネ&
ドア内張り&天井=張り替え

SUSPENSION●車高調=ファイナルコネク
ション、リアアクスル=純正加工

MUFFLER●ワンオフ



メッシュ系からディッシュのマーベ
リック107Dに履き替え。ナットやバル
ブキャップはパープルをチョイス。



アクスルは純正加工で5センチダ
ウン+キャンバー8度に。フロント同様
にリアもフェンダーとバンパーの繋
ぎ目を削ってクイックリリースを装着。



ダブルブラッドの基本的な造形は生かし、塗り分けとフォグ変更でアレンジ。「Kカー
で斜め2連は珍しいと思って」、汎用プロジェクターを吊り目っぽく並べたのが特徴。



ハイ側もプロジェクター化し、その内部
に紫イガリングを装着。コの字型のアク
リルは「最近のベンツがモチーフです」。

フロントフェイスのインパクト強化を狙っ
て汎用ダクトを埋め込み、凹ませるので
はなく、膨らませてアビリティ度を高めた。



本来マフラーを出すために作られた中央
開口部に86用の社外バックフォグを投入。
「アクリルチューブが気に入りました」。



上半分がダブルブラッド+ディフューザーはロエンのアクア用をニコイチ。スポーティさを出して今っぽく見せる。

バランス重視の前後異径サイズ履き 小悪魔カラーのアクセントも映える

OWNER
篠崎由加里
さん
(千葉県)

職業は農家。トラクターなどを乗るために大型特殊自動車免許も取得済み。「田植えが得意です♥」。今後はオバフェンとラゲッジオーディオを製作予定。

ポリウレタン感と押し出しの強さが魅力のダブルブラッドエアロをまとい、足元にはどしり重めのドイツシュを装着。目指すはイカつく怪しいV・P系だが、「女の子っぽさも残したい」ということで、各部にパープルを配して小悪魔的にまとめる。

「黒×ピンクはわりと見かけるし、可愛すぎるので、ピンク寄りの紫を作ってもらい、フィンやディフューザーを塗り分けました」。

ヘッドライト&フォグに巻いたイカリリングもパープル。そして室内は白ベースながらコンビカラーはやはり紫。女子らしさの演出だけでなく、内外装の統一を図る色としても活躍している。

「大事なものはバランス。紫が多すぎるとイカツさがなくなるので、程よく使っているつもりです」。

バランスといえば、F16・R17インチと前後異径サイズなのも、そういう意識から。前後16インチだと、この車高ではリアだけ

が被ってしまう。それを解消するためのR17インチ履きなのだ。「前後16だと低すぎて家から出られないのも理由(笑)。これでも車高調は全上げなんです」。

なお、このクルマは普段乗り用につき、ハンドルが切れないと困る。ということでタイヤに干渉しがちなフェンダーとバンパーの接続部はカット。代わりにクイックリリースで固定している。「お陰でツラを攻められるし、ドレスアップのアクセントにもなる。二石一鳥なのでオススメです」。



室内をなるべく広く見せるために、ホワイトをベースカラーに採用。ダッシュボードも眩しさに負けず真っ白に染め、ナビパネルやエアコン吹き出し口、メーターまわりをパープルで塗り分けた。



ルームミラーまわりやサンバイザーモニターは外装と同じパープルでペイント。白い天井とのコントラストが鮮やかだ。



ドアトリムは紫のスエード生地を使って自作張り替え。ちなみに天井張り替えも由加里さん作で、「これでもう3回目です」。



ダイヤ柄のシートカバーはグレイス。ステッチやパイピングは紫で揃えた。今やファン垂涎のリアアイテムになった「ふぁぶぶ〜」3体がいつも同乗。

フジ・コーポレーションのWEBサイトで行われた、第2回となるマイカードレスアップコンテスト！知ってましたか？フジコーポレーションの各店舗およびネットショッピングで商品を購入したユーザーなら誰でも画像を投稿でき、それがWEBサイトの投票によって入賞するとギフト券やオートサロンの招待券がもらえちゃうってお得なイベントなのだ！そして今回、応募の中からケイカーズスペシャル賞つてのも用意されていたわけで、それに選ばれろとKカーズスペシャルでど〜んと紹介されちゃうってワケ！



ラパンの純正のインテリアが可愛くてお気に入りという大澤さん。チョイスしたアクセサリ類とのコーデもバッチリ。

大きなドレスアップはしていないものの、リラクマアイテムで統一した女性ならではの感性が素敵です。

運転席、助手席ともにリラクマがお出迎え。思わず座るのをためらっちゃいます。



マイカーオプションのルーフラックにオプションで手に入れたという赤いナンバープレートと組み合わせる。

足元はボディカラーに合わせた
プレミックスアマルフィ

足元にはボディカラーに合わせて、プレミックスのアマルフィのホワイト/レッドクリアの15インチをチョイス！いい感じ！



協力
ショップ

タイヤ&ホイール館 フジ
スペシャルブランド
新大宮バイパス店



住所 埼玉県さいたま市西区内野本郷212-1
048-621-0011
営業時間 平日:AM10:30~PM7:30
祝日の前日・土曜日:AM10:00~PM8:00
日曜日・祝日:AM10:00~PM7:00
定休日 無休
<http://www.fujicorporation.com>

KSP
RECOMMEND

フジコーポレーション
プレゼント!!

Special SHIN- Kカーズスペシャル賞は 第二回マイカードレスアップフォトコンテスト2015 真っ赤なラパ





生地

ステッチ

パイピング

	K	S	P	
G	o	o	d	s
N	a	v	i	

色が選べる シートカバー カタログ

理想のインテリア空間を手に入れるため、重要なカギを握るのがシートカバーだ。様々なメーカー、ブランドから発売されているシートカバーだが、なかなか理想のカラーやデザインは見つからない。そんな方にオススメなのが色が選べるタイプ。無限に広がる組み合わせで自分色に染め上げる!



素材／色が選べるオーダーカバーのパイオニア グレイスが人気の秘密に迫る!!

オーダーシートカバーの敷居を低くしてくれたパイオニアが「グレイス」といえるだろう。ベイスのカラー&素材、ステッチ&パイピングのカラーを組み合わせることで、これまでに無いカラーコーディネート提案し、インテリア空間を華やかに、そしてスポーティに演出してくれる。グレイスでもベイスカラーが決まっているスタンダードもあるのだが、やはり人気はオーダーメイド。様々なデザインを用意しているの、自分好みの逸品を手に入れることができる。グレイスのオーダー方法は、まずデザインを決める。次にレザー素材を全11色のラムース、全15色のPUソフトレザーのAライン、全14色のPVCソフトレザーのBラインから選ぶ。デザインによつてはベイス部とアクセント部で様々な組み合わせが可能なので、世界にひとつのオーダーワンを創造できるぞ。

グレイス

grace

問●グレイス ☎072-654-3363 <http://grace-cts.com>

EXECUTIVE DIA-EDITION

エグゼクティブダイヤエディション

●対応:Kカー多数
●価格:2万6000円～(1列分)、LEDオプション+3万円～ ※税抜き

ラムース	Aライン	Bライン	ステッチ	パイピング
11色	15色	14色	20色	15色
				*LEDパイピングを除く

グレイスのアイデンティティとなるダブルダイヤのキルトデザインを取り入れ、センターと両サイドにアクセントラインをプラス。LEDパイピングをオプションで設定する。

1 素材／色が選べる

グレイスのオーダーシートカバー最大の特徴が3タイプあるレザー素材。高級感あるバックスキン調のラムース、しなやかなPUソフトレザーのAライン、コストパフォーマンスに優れたBライン。デザインによって組み合わせ方は様々だが、ベイス部とアクセント部に2つの素材を組み合わせることができる。

【ラムース】	ブラック	ベージュ	ダークグレー	ブラウン	オレンジ	ボルドー
【Aライン】	ブラック	アイボリー	ベージュ	ダークグレー	アイスグレー	ブラウン
【Bライン】	ブラック	アイボリー	ベージュ	ダークグレー	グレー	ブラウン

2 ステッチ／パイピングの色が選べる

レザーカラーに合わせるステッチやパイピングの色でかなり印象が変わるのがシートカバー。グレイスではステッチに20色、パイピングに15色+LEDバージョンの特別オプションも用意。5色の点灯色を選べるシートカバーの常識を覆す光るパイピングで、これまでにないインテリア空間を楽しめるぞ。

【ステッチ】	ブラック	ホワイト	アイボリー	ベージュ	ダークグレー	グレー	ブラウン
【パイピング】	ブラック	ホワイト	ベージュ	ダークグレー	ライトグレー	ホワイト	ブルー

LEDも選べる!

教えて!山崎さん♪ クルマに合ったカラーの選び方



グレイス 山崎武志さん

目指す仕様に合わせるか 純正カラーを参考にするか。

「自分のクルマに合ったシートカバーの色を選ぶには、まずどうドレスアップをしていくかを決めることです。例えば、純正の雰囲気を活かすのか、それともガラッと色合いを変えてしまうのか。それによって、似合う色は変わってきます。ガッツリいじるのであれば、純正の内装色に合う色を選ぶのがいいと思います。そのとき重要なのは、ベースの色を純正とコーディネートすること。極端な話、アクセントは好きな色を選んで大丈夫です。天井の張り替えなどまで考えているのであれば、ベースカラーからしっかりと決めるのが失敗しない近道です」。



純正の内装色に多いのが、黒やグレー、ベージュなど。かといって、せっかく色が選べるシートカバーなら、多少冒険するのもあり。

▶ SPORTS-EDITION

スポーツエディション

●対応:Kカー多数
●価格:6万5000円～(1列分)
※税抜き
縦ブロック調のボーダー仕立て
で洗練されたビジュアルと快適
な座り心地を両立。スポーツエ
ディション専用デザインとして2
種類のネックパッドとステアリン
グカバーも用意される。

ラムース	Aライン
11色	15色
ステッチ	
20色	



グレイスの人気
シートカバーがコレ!

▶ LUXURY DIA-EDITION

ラグジュアリーダイヤエディション

●対応:Kカー多数 ●価格:2万6000円～(1列分)、
LEDオプション+3万円～ ※税抜き

Aラインベース、Bラインベースの2タイプを設
定。アクセントライン部にはラムースを選択す
ることもでき、スポーティさと高級感を味わえ
る。LEDオプションも選択可能。

ラムース	Aライン
11色	15色
Bライン	ステッチ
14色	20色
パイピング	
15色	
*LEDパイピングを 除く	



いち早く新商品を見られる!? 新ショールーム完成!!



多彩なシートカバーをラインアップするグレイスのショールームが、10月10日にリニューアルオープンした。店内にはLA600Sタントカスタムのデモカーが展示されるほか、シートカバーや小物などが展示され、実際に目で見、触れてグレイスの商品を選ぶことができる。また、トラックショップ・マドンナも併設されており、トラック用アイテムも多数ディスプレイ。中にはドレスアップに使えそうな小物もあるぞ!



トラック用ハンドルカバーには、グレイスとはひと味違ったカラーもあり、ドレスアップのスタイルによっては使えそうなものも。

シートカバーのデザインを実際に確認できるのもショールームならではの。デザインはもちろん、色合いなどを確かめられる。



大阪府摂津市鳥飼上4-6-26 ☎072-654-3363
営業時間 / 10:00～19:00 定休日 / 日曜日・祝日

コストパフォーマンス性の高い シートカバー業界の風雲児

Bellezza

ベレッツァ

問●CSマーケティング ☎0725-32-2801 <http://www.bellezza-cs.com>

高品質ながらロープライスというシートカバーの常識を打ち破ったブランド「ベレッツァ」。6色レザーを選択できるカジュアルシートカバーで1万3800円〜というお手頃価格を実現させる。しかも、デザイン&カラーオーダーでき

るベーシックセミオーダーでも2万3800円〜と格安プライスを実現。レザーをツートンカラーで配色できるフルオーダーでも3万800円〜と、まさにドレスアップユーザーにとって強い味方となってくれる。



▼ Wild Stitch

ワイルドステッチシートカバー



ボリューム感のある3Dダイヤキルトデザインで乗る人すべての五感を刺激する「ワイルドステッチ」。ダイヤキルトや外周のステッチカラーはオプションとなるが17色から選択が可能だ。

対応●Kカー多数
価格●1万6800円〜、
ステッチ変更+2000円
※税抜き

生地	ステッチ
6色	17色 *オプション

▲ Basic α ベーシックアルファ

スキニーレザーを採用した「アルファグロウ機能」で今までにない簡単な取り付けを可能にした「ベーシックα」。シンプルなデザインにビビッドなパイピングカラーを設定。

対応●Kカー多数
価格●1万9800円〜、パイピング変更+2000円 ※税抜き

生地	パイピング
4色	17色 *オプション

▶ Absolute アブソルート シートカバー

ベレッツァのフラッグシップモデルとなる「アブソルート」。センターのスエード調部、ショルダー部、センター部、側面4カ所のレザーカラーをそれぞれ9色から選べ、張り替えのようなパツグンのフィッティングを誇っている。

対応●Kカー多数
価格●5万9800円
※税抜き

スエード調生地
9色
PVC生地
9色
ステッチ
17色



4420通りの自分スタイルが見つかる



デザイン	ライン
13種	2種
生地	ステッチ
10色	17色

横ギャザー、縦ギャザー、パンチング、4本/2本ライン、ブロックWステッチなど13タイプのデザインパターンに2つのラインタイプ、レザーカラー10色、ステッチ17色を組み合わせ可能。

対応●Kカー多数
価格●3万800円 ※税抜き

▲ BASIC FULL ORDER SYSTEM ベーシックフルオーダーシステム



張り替えブランドが創造する デザイン性の高いシリーズ

エムアイシー

M.I.C

問●エムアイシー

☎072-654-3977

http://www.mic-miyabi.com

張り替えブランドとして誕生した「M.I.C」。「やっぱり張り替えは敷居が高い……」と考えるユーザーに向け、独特なスタイルのシートカバーもリリース。M.I.Cでは装着するシートカバーに合わせて内装を張り替えるプランなどもあり拡張性の高さも強みといえる。



Amur アムール

背もたれと座面にかけて配置されるダイヤキルトデザイン。ベースカラーとアクセントカラーを11色、パイピングカラー15色を自在に組み合わせ可能。背もたれには「M.I.C」ロゴを白で刺繍。刺繍カラーの変更もできる。

対応●Kカー多数
価格●4万4000円、LED
パイピング+3万円～
※税抜き

ベース	アクセント	パイピング
14色	14色	15色 *LED パイピング除く

Theodor テオドール

M.I.Cの新シリーズR.P.L(ランダムパターンロゴ)から登場するNEWデザインシートカバー。M.I.Cロゴをランダムに配したR.P.Lレザーをアクセントにしてカッコ良さを追求。R.P.Lレザー部には表面に透明ビニールが付く。

対応●Kカー多数
価格●3万7500円～
(1列分)
※税抜き

ベース	アクセント	ステッチ
14色	13色	20色

クラッツィオ

Clazzio

問●イレブンインターナショナル

☎082-330-8000

http://www.11i.co.jp

ネオのデザインカラーを
シンプルにカスタム可能



Clazzio Neo PLUS クラッツィオネオプラス

クラッツィオネオのデザインを基本ベースに、14色のダブルステッチパイピングを選べるシートライン、センターダブルステッチをインストール。特徴的な左右に入れられるアクセントのウイングパーツ部はシート本体又はシートラインと同色になる。

対応●Kカー多数 価格●3万5000円 ※税抜き

ベース
4色
パイピングorダブルステッチ
14色
アクセント
14色
*ベースまたはパイピング orダブルステッチと同色

最高の技術でオンリーワンを製作!



Clazzio CUSTOM ORDER クラッツィオカスタムオーダー

自分だけのオリジナルシートカバーが作れるカスタムオーダー。単色、ツートン、トリプルと自分好みにレザーカラーを組み合わせでき、18色のPVCの他、13色の本革も選択することが可能。ツートンWダイヤキルトなど高い縫製技術や正確な裁断を堪能できる。

対応●Kカー多数
価格●3万9800円～
※税抜き

デザイン	PVC
16種	18色
本革	パイピング
13色	17色
	ダブルステッチ
ORDER	18色

アルティナ

Artina

問●ケースベックインテリア

☎0566-54-2855 http://artina.jp

選べるスタイルは26万3640通り



Royal Custom Seat Cover ロイヤルカスタムシートカバー

6タイプのデザインから選べ、ベースカラーとツートンカラーを15色のレザーからチョイス可能なフルオーダー。同様にカラーオーダーできるネックパッド、ハンドルカバーで手軽に統一したイメージを演出できる。

対応●Kカー多数
価格●3万2000円～
※税抜き

デザイン	ベース
6種	15色
パイピング	ツートン
16色	15色
	ステッチ
	22色

数
円～

2本のダイヤラインがオシャレ!

エルティード

L-TIDE

問●エルティード ☎042-313-4123

http://www.vip-ltide.net

Twins Line Dia Seat Cover ツインズラインダイヤシートカバー

独特なツインズラインダイヤを背もたれと座面にデザイン。これまでのベース生地&ステッチカラーに加え、ベースカラーに黄色、青、ピンク、ダークブラウン。ステッチカラーに黄色、青、ピンク、緑、紫などが追加された。



生地
12色
ステッチ
12色
刺繍
12色

対応●Kカー多数
価格●7万5000円 ※税抜き

8インチが2モデルから選べる

CYBER NAVI

KSP
RECOMMEND



LA800S
WAKE



JF1
N-BOX
CUSTOM



MH34S
WAGON R



JF1
N-BOX
SLASH



MK32S
SPACIA
CUSTOM



JH1
N-WGN
CUSTOM



LA600S
TANTO
CUSTOM

時代は常に移り変わっている。カーナビといえば7インチと答えていた時代はいま昔。いまでは、8インチを中心に大画面モデルが各メーカーから発売されてきていて、カーナビ大画面時代の幕開けを予感せざるをえない。

※最先端の機能を持つサイバーナビと、使いやすさを重視した楽ナビ。スタイルの異なる2つのモデルから、自分に合ったモデルを選べるのがカロッツェリアのカーナビの魅力。ここ最近増えてきている8インチの大画面モデルにも、サイバーナビと楽ナビをラインアップしてニーズに対応する。

ただ、純正の2D-INパネルに

未来を体感できるAR技術



●8万円(税抜き)

ND-HUD3

クルーズスカウターユニットと合わせて使う。フロントウィンドウ前方に、必要な情報が表示されるので便利。

ND-CS3

前方を映すカメラの情報を解析し、信号や標識などの注意喚起をうながしてくれるユニット。



●5万円(税抜き)

最先端の機能を搭載する フラッグシップモデル



レコチョクのコンテンツを活用してストリーミング。パイオニアの楽曲解析技術 MIXTRAXにより、シーンに合った楽曲を再生。



carrozzeria AVIC-ZH0999L

●オープン価格

未来を見据えた最先端の機能を搭載するサイバーナビ。最新モデルは、これまでの高いナビ機能に加え、車内をエンターテインメント空間に変える“ミュージッククルーズチャンネル”を搭載。気分やシチュエーションに合った音楽をストリーミング再生してくれる機能で、新たな楽曲との出会いも楽しめる。もちろん、カロッツェリアで培ってきた技術をふんだんに取り入れ、フラッグシップに相応しいハイクオリティなサウンドを提供する。

カロツツエリアのカーナビ



JF1
N-BOX
CUSTOM



LA800S
WAKE



JF1
N-BOX
SLASH



MH34S
WAGON R



JH1
N-WGN
CUSTOM



MK32S
SPACIA
CUSTOM



LA600S
TANTO
CUSTOM

は8インチモデルをそのまま装着することができない。「えー!?せっかく8インチのサイバーナビが欲しいのに」とか「画面が大きくて使いやすいナビが欲しい」という人も安心して欲しい。カロツツエリアでは新型車を中心に「1.7サイズメインユニット取付キット(2万円※税抜き)」を設定。8インチモデルをそのまま取り付けられるので、大画面のサイバーナビや楽ナビを、気軽に違和感なく使いまくることができる。

人気の8インチを2つのモデルから選べるカロツツエリアのカーナビ。お気に入りの大画面で、ドライブを思い切り楽しもう!



carrozzeria
AVIC-RL99

●オープン価格

とにかく使いやすさにこだわっているのが楽ナビシリーズ。最新モデルでは、2014年より採用されているスマートコマンダーの機能を強化。よく使う機能をワンタッチで呼び出せるカスタムダイレクトキーに割り当てられる機能を追加したほか、ルート案内中に、別ルートへ切り替えるのを楽にするなど、ストレスフリーのドライブをサポート。もちろん、練度の高いルートや、見やすい画面などカーナビとしての機能性はばっちり。ドライブの[°]楽を徹底的に追求している。

使いやすさを追求した スマートコマンダーを採用



メニュー画面を見れば、スマートコマンダーをどう操作すればいいか一目瞭然。使いやすいインターフェースにこだわった楽ナビの特徴だ。

冠水地点やゾーン30エリア表示に対応



スマートコマンダーに
機能追加!!





owner's Salon

オーナーズサロン

Thank you
2015



イラスト: 沢木ワシヤ

読者の
みんなの
ダベリバ

それが
**owner's
Salon**

読者のみんなとKスペ編集部
の場「オーナーズサロン」。
ドレスアップにまつわる秘話か
ら、身のまわりで起きたあんなこ
とやこんなこと、なんでもいいか
ら聞かせてネ♪

あんなコト!
こんなコト!
何でもお便り
募集!!

三拍子揃ったキズ

強風でガレージの
シャッターが壊れて
しまった。でも災害保険
が適用されシャッターが新調
されたのも束の間、クルマ
の出し入れで早速
擦ってしまった。く
やしいーってシャッターの
キズじゃないですよ。もちろ
ん、クルマの擦り傷です。がっ
かりです。
■千葉県 佐久間さん
編: 新品のシャッターを早速擦つてし

あのクルマは今?

前をニッサン・マーチが走って
いた。オーテックのエンブレ
ム付きた。KカーのCMはよ
く見る気がするけど、マーチ
のCMって見てない気がした。
マーチって今もあり
ますよね? 自分
にとって興味のあることには目
がいくんですけどね(笑)

■神奈川県 三浦カズキさん
編: マーチといえば、コンパクトカーの
代名詞的だったのに、あまり見かけな
くなってきた気がします。汗 ヨヨスカ
ッちゃん、もしかしてマーチに興味が
そんなこと言わずに、Kカーをじっくり
見てみてくださーい。最近のK
カーって、実はかなりすてきですよ。(あ
る太郎@コンパクトカーも好き♡)

クリスマスシーズン

ここ数年、助手席は空っぽです。だいぶん慣れてきちゃって(笑) でもなぜかクリスマスになると空っぽはやだなんて思う自分がいるんす。

■福岡県岡田さん
編：大丈夫です、安心して下さい！まだクリスマスまで時間があります。

木枯らし小僧めえ！

秋晴れの日、車内を掃除機してあらゆるドアとハッチを開けて車内干しをした。徐々に強風が吹き荒れ、気になって車内を見ると……**落ち葉だらけだった。** せっかく掃除したのに(悲) 砂



最後の最後まであきらめちゃいけません。出会いは突然です!? クリスマス当日にその瞬間が訪れるかもです。今年が空でもまた来年があるじゃないですか。Kスベはハッピークリスマスを応援しています。(あつっ!!!)

大きなお世話か? 嫌がらせか?

事務員の子が気を利かせてクルマを移動させてくれた

埃と枯れ葉が散乱。クルマを止めた場所は吹き溜まりになっていました。なんでだろう?

■茨城県・羽村さん
編：車内干しすると気持ちいいし、車内の臭いも取れるような気がする……のは私だけでしょうか? ただ、クルマを止めた場所が悪かった! 掃除したのに落ち葉だらけで残念すぎます。次からは吹き溜まりになるような場所は避けてください。(アツコ・デラックス)

ようです。で、帰ろうと思つてクルマに乗るとエンジンがうんともすんとも掛からんぜよ。きれいさつぱりバッテリーが上がつていました。キーがオンになったままやんけえ。なぜオフにしない……。実は、やっちゃつてくれたの、これで5度目です(笑)。たぶんわざとじゃないと思うんですけどね。何度も気をつけてくれって言ってるんですけど……。

■静岡県ウハさん
編：すばらしい事務員さんですね。人の言うことを聞いていないのか(笑) あまり気にしない子なのか……。おほかたです。いいな。わたしもおおらかな性格になりましたー(血) 液型O型に憧れるA型のあつっ!!!

迷つてないで やっちゃえ!

ジエンガとか言う小さな木のブロックを積み上げたゲームをご存知ですか。積み上げたブロックを崩さないように引き抜いて上に乗せる素朴なゲームです。近所の人は40年くらい前にやったといいながらちよつとカビっぽいジエンガを出してきました。やってみると盛り上がっちゃったんですね。最初は比較的簡単ですが、どんどん難しくなつてきて迷いが生じ手が進まなくなるんです。そんな時、誰かが「やっちゃえ」と言った瞬間「日産」と応えま

Kスベ美術館

Kスベ画伯大募集♪

「ワレこそは!」の自薦画伯をはじめ「若い才能見つけました」的な他薦画伯も大募集中! テーマは自由だけどKスベだけにKカーを描いてくれると採用されやすいかな……なんてね。賛成は申しません、楽しく描いて掲載チャレンジ! ご応募お待ちしております。

早すぎた!

した。日産のCMでお馴染みのキャッチです。ね。クルマ好きならではの掛け合いです(笑) 「やっちゃえ」「日産」のやりとりが深夜まで続きました。

打ち合わせに都内までクルマで出かけた。渋滞を気にして時間に余裕を持たせ、かなり早く到着した。時間もあることだし一眠り、したのが悪かった(汗) ひー、目が覚めたのは打ち合わせ時間を過ぎてかかってきた先方からの電話だった! ×× 平謝りし

Kスベ川柳

ドライブで いじったクルマ 見かけると 条件反射で テンションアゲアゲ (埼玉県・福田さん)

イベントの 帰りに起る 大渋滞 先頭かざるは シヤコタンカー (茨城県・イベント大好き子ちゃん)

現金か ローンで迷つて みたものの 嫁の返事は 即「ダメ」撃沈 (AT) (広島県・沢口さん)

ザザザツと 火花を散らす オレのミラ (京都府・和田さん)

渋滞を 抜けたと喜び 気が抜けて アクセル踏んだら お縄頂戴 (群馬県・悲しみ免停くんさん)

川柳大募集!

日頃の思いを川柳に乗せて発表(笑)しませんか 川柳は脳トレにもよさげです! 難しいことは言いません。なんとなく575……になつてればオケ(笑) でもあまりネタ外れだと困るけど(笑) みんなの川柳 待つてます!

たのは当然だが、駐車場が見つからなかつたのも痛かった。不慣れな場所での駐車場探すのも大変だった。

ヤンキーに注目!

ヤンキーのバイクが通つても

オレは知らん顔をしてやつて いる。注目されたいからヤンキーをしているように思えてならないからだ。ひねくれた性格のオレは、絶対に見てやらない(笑) が、愛犬は身を乗り出して ヤンキーたちを見て いるのだ。興味があるのだろうか……。

■千葉県・原田さん
編：ヤンキーですか……。わたしも

ズバっと
解決!!

KSP

お悩み相談室

バッテリー交換しようかな?

室内灯の消し忘れでバッテリーが上がったサードカー。ほぼ乗らないのもあるが、1年間で3度ほどバッテリー上がりした。だから、量販店にバッテリーを買いにサードカーで向かった。バッテリーを買い込んでみたものの、長距離を走ったせいでバッテリーの調子がすこぶるよくなっちゃったんですけど。新品のバッテリーは積んだままです(笑) どうしようかなバッテリー交換……。

■新潟県・市川さん

サ、サードカー!? クルマの複数台所有に憧れるおいらとしては、聞き捨てならない言葉です(涙) うらやましいと思うのはおいらだけではないはず!! と、本題に戻って、せっかくなので、バッテリーを新品に交換してあげてみては? 何度か上がったバッテリーは、本来の性能を発揮できないですから……。ちなみに、バッテリー上がりを防ぐには、乗らないときバッテリーのターミナルをはずしておくというですよ。コペンロープ@Kスペ号も、当面の予定がない場合、そうやって事なきを得ています(笑) (ある太郎@毎度時計合わせが面倒ですが……笑)

未知への挑戦(笑)

一部地域で高速道路料金所のバーを撤廃し、渋滞解消の実験をしているとかいいたか……。それを聞いた旦那は、料金所のバーがギ

ヤンキーがいても見ないようにする派かも(笑) 原田さんと同じで、ヤンキーは見えてほしいからやましく走っているように思うので、見てしまおうと思う壺のようだからです(笑) こんなことを書いてるとなんだか笑ってしまいました。どーでもいいような……。人っていろいろなことを思っているんですね。アツコデラックス

リギリまで開かなくてブレーキを踏まないことに決めたらしい(笑) オイオイ大丈夫か? っと思っただんですが、結構ぶつからずに開いてやうんですね料金所のバー。入口でETCが正常であれば出口でもよっぽどのがなければ通過できると踏んでいるらしい。なにに挑戦しているんだか(笑) 編・ETCというものができた頃には、皆さんそんなことに挑戦していた人もいましたね。そして、だいたいはバーを吹き飛ばして弁償させられてしまったり。最近では開くタイミング

「機嫌モーニング」が二転……

グも前より遅くなっているの飛ばしすぎると危険ですよ。チャレンジ精神もいですが、安全運転も心がけてください(オオオ) 朝から食欲モリモリでドライブスルーでハンバーガーを2個買った。走行しながらひとつ目を食べ終え余裕で2個目の包装を開いておぼ

やって
くれました!

オーナーズサロンで
ひそかなブームとなっている
癒しの
アニマル
ワールド☆

クルマでお出かけ中に、見慣れた風景に遭遇すると大興奮してしまうクッキー(ミックス犬・10歳・♂)。それはいつものことなんでもいいんですけど、こともあるうに暴れすぎてドリンクホルダーに置いてあったコーヒを床に落としてしまいました。信号で赤になったタイミングでコーヒを探

親バカさんも大募集!!

当コーナーでは、ペットとクルマにまつわるエピソードを大募集!! いまや家族同然のペットちゃんたち。ドライブや旅行にペットちゃんも同行する機会も増えてますよね。そんな日常の珍事やホノボノシーンを教えてください。写真も大歓迎!! この際、恥ずかしがらずに親バカぶりを発揮しちゃいましょう。

ペットのお名前、年齢、性別も忘れずに!

したのですが、暗闇ですぐにコーヒーを見つけれず、見つけた時にはすでにコーヒーは全量カールマツトが吸い込んでいました。怒るに怒れないし……。ね。編・確かにです。怒れないですよ。クッキーちゃんも悪気はないです。嬉しくて大興奮! ちよつと調子に乗ってしまっただけです。そんな感じです。……です(笑)と思いたいです。……落ちないから投稿してくれただけです。ね。ワジコを飼っているところ、ゆー葛藤ありますよね。そんな時、私はおかげで掃除ができる、っと思ふようになります。(アツコデラックス)

ろうとした時、前方になにやら動物の死骸があつた(ゲロゲロ)……。モリモリの食欲は瞬間にしてどこかへすっ飛んでいった……。2個目はなんとか完食しましたが、無理矢理腹に収めた感じがした。あーあ。編・おえつ、それは災難でしたね。食欲無くなりそうです……。道路にナニかあるっぽい時、私は見ないようにします。内心はナニがあるのか確認したいのも山々ですが、そこはグツと押さえて(笑) (あつ!!!)

みんなの

投稿大募集

オーナーズサロンではみんなからの投稿を大募集!! ここでは投稿の仕方をレクチャーしちゃいます☆次はあなたが掲載される番!!

応募の仕方

お悩み相談、最近起こった面白いことなどなんでもOK! まずは官製はがきの用意をしましょう!!

投稿内容を記入したら

①住所②氏名③年齢④Kカースペシャルを読んだ感想……などなど必要事項を明記の上、下記の宛先まで

〒112-0004 東京都文京区後楽2-23-7 宮田ビル3F 「Kカースペシャルオーナーズサロン」係まで



投稿が見事掲載されると……

投稿掲載プレゼント!!

オーナーズサロンに投稿して、見事掲載された人全員にはうれしい特典として、リニューアルした特製口ゴのKカースペシャルステッカーをプレゼントしちゃうゾ! もちろん愛車の画像をはじめ、イラストやイベントでの写真、彼氏や彼女とのツーショットプリクラなんてのもOKだ。どしどし応募してネ!

特製ステッカーがもらえる!!



愛車やおもしろ写真も同時に大募集しています!!



からでもOK!!

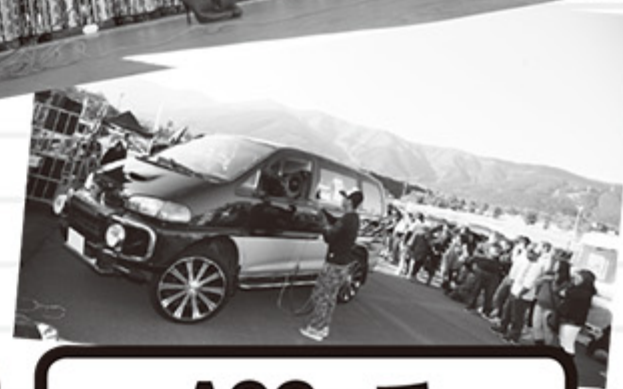


こちらまで kcar.sp@does.jp

その1

S.K.Fだけじゃない!!
CUSTOM JAPANの
2大イベントをチェック!!

ACG 2015 WORLD FINAL



ACGって こんなイベント!!

イース・コーポレーションが主催する国内最大級のカーオーディオイベント。細かくクラス分けされたオーディオコンテストやステージイベントなどオーディオファンにはたまらない一日。全国各地を転戦し、2015年も10月25日の富士スピードウェイが最終戦の舞台となった。

カスタムジャパンではACGの最終戦、ワールドファイナルも開催された。当日のイベントの様子やオーディオを中心にばっちりドレスアップされたクルマたちのレポートは次号Kカースペシャル2月号でお届け!!

詳細は次号で!!!!

気になる
オーナーカーは
次号で
レポート♪



問: イースコーポレーション
☎055-991-5130 <http://acg.ne.jp>

B会場も!! ハッスル!

1BOX & 商用車のヘヴン!

SBM

2015 FINAL

司会はこの2人!

■開催場所: イベント広場&P12 in F.S.W.
■主催: 芸文社 <http://www.1box-sbm.com>



正午からは、このCUSTOM JAPANの共通イメージガール「KUCHIBIRU NETWORK (安枝瞳&双月南那)」の二人がミニライブ! 片やカスタムCAR6月号のカバーガール! 片や、昨年のSBMイメージガール! お二人とも出世しまくって凱旋ライブ!

9年間、このSBMで毒舌吐きまくりながらも永続勤務中の偉大なる“最狂司会者”MCカモと、かつてはレースクイーンながら今や女優として活躍中の桃香嬢が今回のファイナルを仕切ってくれました。

でもって、メインスタンド裏の会場を牛耳っていたのは、「カスタムCAR」誌が主催の“SBM”ことスタイルボックスミーティング。ご存じの方も多いかもしれませんが、ハイエースやキャラバンといった1BOX車、軽バン軽トラ・ライトバンといった商用車ユーザーを集めたミーティングツアーのファイナルです。今回は、メインのA会場の他、B会場も用意して、延べ600台の商用車たちを大集結させてマシタ! メイン司会者・MCカモの毒舌たっぷりなアトラクションや、爆安商品てんこ盛りの各社ブースも会場を囲み、まったく賑やかに盛り上がりましてよ。このツアー、来年は10周年を迎えるそうです!

1BOX初のアーチ上げ!

プロショップ審査員の共同投票で決まる「ナローボディ等賞」は福島からお越しの石井さん。息子さんのVIPセルシオに倣って、ハイエース初の“アーチ上げ”を敢行! 着地してるのにBBS20インチがクッキリ丸見え! 箱車着地の新境地を見せつけてくれマシタ〜!



ベストデモカーは関西の着地王に!

来場者の投票で決まる唯一のデモカーアワード(およそ80台の中から)を獲得したのは大阪のDRスタイルの黄緑ナロー。生足の壮絶ローフォルムもさることながら、両スライドドアが片開き化! しかも内部ヒンジなのでそのトリックは開くまでワカンナイ、のだ!



ランボ顔のハの字ハイエース!

ギャラリーからも審査員からも注目浴びまくっていたのがS.A.D.CUSTOMのフルエアロまとった吉川さんのナローボディ・ハイエース。リジットサスでキャンパー切りようのないハイエースなのに、移植リアエンドで見事なネガキャン着地っぷり!



オールド商用車もSBM名物!

現行の200系やNV350ばかりじゃありません! ステージ横のビッグテント下には、トヨタ&ニッサンのオールド商用車も勢ぞろい。ナチュラルラスティーなE20キャンパーから、涙チョ切れの80'sバニング仕様の2代目ハイエースまで! 「HOT OLD賞」を獲得したのは懐かしすぎの初代プレーリー! しかも当時の北米版「スタンザワゴン」仕様に完璧チェンジ!



ハードコアな軽トラたち

軽トラのハードカスタムたちもSBMの名物! こちらは別添サブフレームにリアエンジンのサンバートラックを載せた愛すべき“オバカ”アゲトラ!



エアロじゃないのヨ!

何が凄いて、このハイエース、フロントバンパーがまんま現行ヴォクシーの純正バンパーなり! こんな手法、商用車カスタムの世界では過去に例ナッシング!



独自の世界観!

“スチームバンク”なる宮崎駿チックな「レトロフィーチャー」感をラッピングで表現した青木号。シボ付きラッピングシートとダミービスを巧みに使って新しいボディメイクを披露。窓埋め風パネルバン仕様になっているのもポイント!



NEXT ISSUE!

Kカーズスペシャル2016年2月号は 12月25日発売です



EDITOR'S ROOM | 編集後記 |



今月の①コマ/

2年に1度の モーターショー!!

2年に1度おこなわれる東京モーターショー。国内外のメーカーがコンセプトカーを出展し、自動車の未来を垣間見ることができる。でもさ、あれ、ほとんど市販化されないじゃんね。うわ、かっけーとか思っても、将来これに乗ることはないと思うと一気に冷めちゃうよね。メーカーさん、夢のあるクルマを作ってくださいな。

九州に取材に行くとき必ず買ってくるのが、少し甘い醤油。これでお刺身を食べると、ものすごくおいしいのだな。毎回、2本は買って帰ります。あ、タマゴかけご飯にもサイコーです。(郡)

年末が近づくとつれてだんだんアセアセする世間の空気に一緒になって焦るオオオです。今年ももう終わろうというのにまだまだめ切が目白押し、...、年はとりたくないけど、早くめ切終わって欲しいし、とても複雑な気持ちです。(オオオ)

S.K.Fを皮切りに、東京モーターショー2015、D・S・U杯、そしてスタンスセッションと秋のイベントシーズンを駆け巡った10月下旬から11月。それぞれイベントの雰囲気は違っていますが、並んでいるクルマのカッコよさはどれも変わらない。いじりたい、いじりたい、いじりたい。(ある太郎@S.K.Fに参加していただいたみなさま、ありがとうございました)

プロレスラーの天龍選手が引退しました。ちなみに僕は天龍選手と同じ中学校を卒業しました。来月も頑張ります。(カワグッチ)

最近体が痛い。腰も背中も痛ければ、腕や足はやたらとつりやすい。どうも限界が近いのではないかなと思う。この業界に入って10年。そろそろ働き方を考えねばならない時かもしれない。というわけで、この編集後記は今回で引退します!!(Mr.K)

ボルシェに負けないJA4トゥーデの映像を見つけたダンナ。クルマに興味のない人がトゥーデって速いんだねと嬉しそうに報告にきた。これまで私のJA4トゥーデ5MTを邪魔者扱いしていたが、少しは良さに気づいてくれたかな(笑) しかも!? ウチのはノーマル! MTRECは競技車に使われるケースが多いから逆にノーマルにこだわって保有している。もし超大切にしてくれる人がいたら譲ってもいいかなあ。(心揺れるアツコ・デラックス)

我が村にもまもなく冬が来る。支度は万全にしておかなくては! 愛息りっちゃんのおむつも買いためておこう。(実は郡氏と元同僚のS)

本誌に掲載した商品の価格・仕様・発売元等は編集部調べです(2015年10月現在)。商品を購入される際には、必ずメーカーやショップで価格や仕様、返品方法等についてご確認の上、お買い求め下さい。購入後のトラブルについて、出版元・編集部は一切関知しません。また、責任も負いかねますのでご了承下さい。

K-CAR special TEAM

Editorial Staff

Chief Editor 郡司智治
Deputy Chief Editor 山口 功
Editors 大森和幸
川口祐貴

Contributors 小泉聡志
杉山雄二
てらだあつこ

Writers 石川大輔
浦野浩之
岩田直人
内山智子
酒井賢次
塩谷佳史
清水 勤
堀口 訓

Photographers 秋元栄二郎
池本 昇
伊勢馬場建次
稲田浩章
井上 誠
木下 誠
小林岳雄
是本信高
佐藤 武
視谷昭広
高木博史
中川シンジ
高原義卓
西野キヨシ
本間章吾
前田真久仁
横村太郎
南 潤
渡部祥勝

Illustrators アキワシンヤ
風間康志
吉田たつちか

Art Director 飛倉啓司(Vincent)
Designers 高橋美里(Vincent)
近藤 智(Vincent)
CONCENT LIMITED
浜脇めぐみ

Advertising Division 高橋勇起(三栄書房)

Producer 吉岡範幸(三栄書房)

Publisher

発行人 鈴木賢志
編集人 赤嶺文昭
発行 株式会社三栄書房
〒160-8461 東京都新宿区新宿6-27-30
新宿イーストサイドスクエア 7F
販売部 ☎03-6897-4611
FAX03-6897-4651
受注センター ☎048-988-6011
FAX048-988-7651
広告部 ☎03-6897-4622
編集 有限会社ダズ
Kカーズスペシャル編集部
〒112-0004
東京都文京区後楽2-23-7 宮田ビル3F
☎03-5842-6954
FAX03-5842-3912

Kカードレスアップ応援マガジン



※本誌掲載の記事、写真・図版の一部または全体の無断転載・複写を禁じます。

AD CONTENTS | 広告索引 |

【ア】	
アデランス	118
イデアル	14
ウェッズ	表2見開き
AC kustom	68
S-LINE	15
NGK(日本特殊陶業)	表4
エムズスピード	16
音工房	68
【カ】	
カーポートマルゼン	184-185
グレイス	62

K-BREAK	4-5
ごんた屋	68
【サ】	
サンエイ・ウエルク	182-183
【タ】	
タイヤセレクト	124-125
トピー実業	10-11
トレジャーワン・カンパニー	12-13
【ナ】	
日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会JAWA事業部	108
ノア	89
【ハ】	

BADIX	8-9、表3見開き
ふいるむ屋さん	99
フジコーポレーション	180-181
ブリヂストン	18
ブリッツ	6-7
プレスト	88、90
フレイダーマウス	56
【マ】	
ミスタータイヤマン那須店	68
【ラ】	
レアマイスター	94-95

The Masterpiece.
最高傑作

ラパン HE21S LAPIN × SHINSEI NAGAI

永遠の未だ



ドレスアップはどこまでいっても「出来上がり」と「手直し」の繰り返し
会心の作だと思っても、時間が経てば不満な部分がチラホラと
そうやって7年の月日をかけて作り上げてきたラパン
それでも未だ完成形というわけではない
その歩みはまるで「終わりのない旅路」のよう

PHOTO ● 秋元栄二郎 TEXT ● 小泉聡志
製作ショップ ● ひかりBODY ☎058-235-6038
<http://hikaribody1995.web.fc2.com>

「できあがった瞬間はいつだって会心の出来なんです。でも、乗っているうちに『ここをもっとこうしたい』とか『あんなふうにしたらいかな』っていうのがどんどん出てくるんです。そうやって少しずつ理想に近づいていく。だから『日進月歩』ですね」。

ドレスアップは誰かに見せるためにしているわけじゃない。自分の中の「カッコいい」を追究し、手直しし、ずっとその繰り返し。そんな言葉を彼はさも普通のことのように紡ぐ。熱さが溢れることも無く、かといって冷めた口調でもなく。だからこそ思える。彼にとってはそれが本当に、当たり前のことなんだと。20年ものドレスアップも、きつと常にそう歩んできたんだろうと。

7年ほど前に乗り始めたラパンだって例外じゃない。試行錯誤の連続。ただ、普通と少し違うのはメニューの速さ。購入直後に事故に遭い「どうせ直すのなら」とエアロを買ってホイールを装着。さらに半年後にはまさか

「見せるため」ではない 基準は常に「自分」

の大技、フェンダー加工。
「でも、フェンダーに手を出したらダメですね。もう後戻りできなくなってしまうから(笑)」。

ちなみに、ドレスアップのコンセプトは、特にならない。むしろ作っていく過程で足りない部分を修正していく手法。例えばボディカラー。前仕様ではブルーメタリックにオールペン。昼間は抜群の鮮やかさだったが、夜が暗がりに溶け込んでしまっただけ。トミテイングでは目立ちにくい。ならば、と昼でも夜でも目に飛び込む白色に再度オールペンを。ホイールに至ってはもはや靴を履き替える感覚。もっと似合うものを探しているうちに、気付けばもはや8セット目!!

「僕、リメイクっていう感覚がないんですよ。オールペンにしたってエアロの加工にしたって、全ては修正だと思っているので。だからいつもどこかを直してる。そうしたら7年のうち半分ぐらい板金屋さんに預けっ放しになっちゃったんですけどね(笑)」。

The Masterpiece.

AGAI

3 フロントブレーキはウィルウッド。カラーはシルバーを採用。4 リアブレーキはフロントに合わせてアルトワークス純正を移植した上でウィルウッド風に加工。「ここまでクルマ全体を作るなら、リアブレーキも絶対必要だと思ったんです」。



1 しっかりとミミまで作り、バツバツにホイールを収めた足まわり。ハイレートのパネで沈みすぎないようにセット。2 圧倒的な深さを誇る長井さんのマイスターCR01。リムは特注のブラッシュド。なおピンクのディスクはカラリズム。「大阪オートメッセで見た瞬間に『これやな』って」。





HE21S LAPIN SHINSEIN

エアロはフルでモールドバルファム。原型を崩さず維持しているのは「三ツ口のビッグマウスがあまり好きではない」から「その、敢えて。ただし、Aラインやダクトなど若干のオリジナリティはプラス。さらにフロント&サイドにはアンダーフラップも。ボトムは存在感を引き立て、スピード感を追加。さらに開口部の奥には前置きのインタークーラーまで……。のほろが、そのインタークーラーがほぼ見えない。これも長井さんらしい演出。せつかくのアクセントもつや消しブラックに塗装してわざと目立たなくしているという。

「僕、フロントマスクよりも後ろから見たラパンの方が実は好きなんです。Kカーなのに白ナンバーの車幅って、インパクトが凄くないですか？」
ボディをワイドにした分、バランスを取るためにホイールもタイヤもより太く。リアはなんと9Jマイナス31。もうこれ以上はないという幅とリムの深さにこだわったサイズ。それを車高調でソライチにセッティング。かつ「通勤車としても使っている」というのだからもはや驚くしかない。
そうそう、先ほど少し触れたボディカラーの白色。これもやっぱり単なる白じゃない。ベースはレクサスLSの純正色。ただ、LSの場合設定色には2種類ある。それがパールとガラスフレーク。長井さんが使ったのはガラスフレークの方。というのも同じ白でも「少し青っぽい感じ」にしたかったから。
「ソリッドも考えたんですけど、晴れでも雨でも、明るくても暗くても同じ色っていうのはちょっと面白くないかなって。色にも変化が欲しい。そう思ってたので、ガラスフレークにしたんです。でも、なんにも考えずに注文したら、塗料がすごい高いんですよ。それこそパールの4倍くらい。これには参りましたよね。最初から知ってたらやってたかったかもしれない（笑）。まあ、仕上がりは凄くキレイだから良かったんですけどね」。

SPECIFICATIONS

WHEEL ワーク・マイスター CR01 (15×F7.5J+3、R9J-31)
TIRE ハンコック&ナンカン (F165/45-15、R195/45-15)
AERO PARTS F/S/R=ブローデザイン・モールドバルファム雅夢レガリア加工
EXTERIOR フリップ&サイドフラップ=エヌデザイン加工、ウイング&ゲートウイング=ブローデザイン加工、プリスター&オーバーフェンダー=ワンオフ、ドアミラー=純正加工、ボンネット=純正&ジムニー加工、ヘッドライト=キャンディブラック&キャンディブルー塗装、テールレンズ=キャンディブラック塗装、各部スモーキングボディカラー=オリジナルガラスフレークスノーパール(全塗装)
INTERIOR ステアリング=モモ、シート=コブラ、インパネ=塗装、ドア内張り&天井=張り替え
SUSPENSION 車高調=ジェーラインwithモールドバルファム&RS-R、リアアクスル=バルテック
BRAKE キャリパーキット=ウィルウッド、リアブレーキ=アルトワークス純正
MUFFLER ブローデザイン加工
AUDIO ヘッドユニット=アルパイン



11 給油口のフタはテレビのマグネットを使って固定。「それだけではイタスラされると大変なので、フューエルリッドは海外製のカギ付きのものにしています」。12 アンブレラレンジに悩んだ末にいったミソ。これがポイント。

圧巻のブリスターオーバーフェンダー 「Kカーなのに白ナンのワイド感」



1 フラップに合わせ両サイドのリップのラインを消し、自然にボカシ塗装。 2 モードバルファム雅夢レガリアのデザインは基本的に変えず。バンパー部分にはランエボダクトを投入。 3 ボンネットは純正にジムニー用を合体。中央から二分割してラインを入れている。「ここも前仕様からは少し修正して、より滑らかに立ち上がるようにしています」。 4 フィンを1本減らして「浮きフィン風」にあしらったグリル。



リアフェンダーは前方を少しだけ切り落とし。これはロケットバニーフェンダーを意識しつつ、膨らみの強調が狙い。

5 「4年間自宅で保管していた」というモードバルファムのオートメッセ限定マフラーエンド。 6 Kカーのリアバンパーに入れるは若干大き過ぎたため、ボトムのフラップを切り離し、ステーでつなげてスペースを確保。「後付けパーツっぽく」仕上げた。





シート裏のロールバーはサイトウロールゲージ製。ただし、インナーを触ったせいで既製品が付かず、結局加工して装着したという。



1 フロントパネルは純正ベース。パネル類やエアコンベゼルなどをオレンジで塗装。2 握りやすさからステアリングはモモ。「ネットでの値段を基準にしてみました。量販店でレジに持ったら予想よりめっちゃ高かったんですよ。涼しい顔して買いましたけどね」。



3 ドア内張りはブローデザインのディアミーでアレンジ。これは外装に合わせた部分。4 シートベルトはオレンジ色で巻き替え。ピラーは同じくオレンジのカーボン調生地で張り替えている。

シートはコブラシートに変更。「圧迫感が凄いなんで広々使いたかったんです。ただ、これだと車内で寝ころがれないんですけどね」。

内装は「普段乗りでも気を遣わないように」がテーマ。上半分をオレンジ、下半分を黒でまとめる。だが、目に飛び込んでくるのはロールバー。とは言え、サトキツトを走るわけでもない。これはリアシートの空間を埋めるために付けてみたんです。どうせ人は乗せないんだからって2列目を外したら、ぼつかりスペースが開いてしまて……。最後に恒例の質問を投げてみた。ドレスアップをしていて、一番楽しい瞬間は？と。すると永井さんの答えは「できあがっていく最中を見ている時」とのこと。「作業中の風景を見ているのって凄く楽しいんです。だから理想を言えば絶えず何かを作りたいくらい。そう考えると、クルマは辞められない感じもしますよね。だって、完成することなんてないんですから」。

The Masterpiece. LAPIN HE21S 平成20年式

使い勝手を重視したインテリア ドレスアップはこの先も終わらない



OWNER 長井真清さん 岐阜県
一番最初のクルマはプリメーラ。様々に乗り継いだけど、「結局ラパンが一番長いんですよね」。クルマの作製時には値段交渉を一切しないという男気溢れる一面も。



KSP
RECOMMEND

群馬県内2店舗目となる

タイヤ&ホイール館フジ スペシャルブランド 伊勢崎店!!!

10月16日
(金)
OPEN!

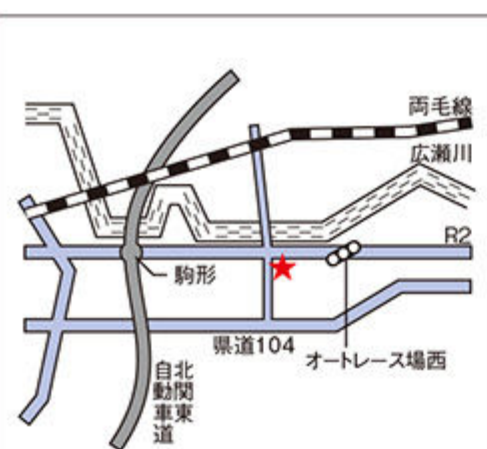


群馬県に2店舗目となる「タイヤ&ホイール館フジスペシャルブランド伊勢崎店」が、2015年10月16日よりオープン！スペシャルブランドならではの高級感溢れるスタイリッシュな定番のマットブラックの店舗。伊勢崎店は大通りに面しており駐車場も広く、フラリと立ち寄るのにも苦にならない。店舗内は最新のホイールをはじめ、各ジャンル多種多様の豊富な品揃えでユーザーをサポート。店頭では実際のホイールをクルマの横に合わせるリアルフィッティングもお試し可能なので、気になるホイールが有るときは遠慮なくスタッフに相談しちゃおう。

明るく親切丁寧なスタッフが、みなさんが足を運ぶのを首を長くして待っているぞ！



これからの季節には欠かせないスタッドレ斯科ーナーも設置されているぞ。



Shop data

住所:群馬県伊勢崎市宮子町
3469-25
☎0270-23-1100
営業時間:平日:AM10:00~PM7:00
祝日の前日・土曜日:AM10:00~PM8:00
日曜日・祝日:AM10:00~PM7:00
定休日:無休
<http://www.fujicorporation.com>



店舗外側にも豊富なタイヤラインナップがディスプレイされる。バリエーション豊富なので比較して選べるのもいいね。



商談スペースも店内に設置される、窓際の明るいスペースなのでつい長居してしまいそう。



壁には、他店舗同様ホイールがディスプレイされる。高い品物だけあってディスプレイも高級感溢れる。



フジコーポ
オススメの
Kカー用ホイール!

特選!

名瀬さん



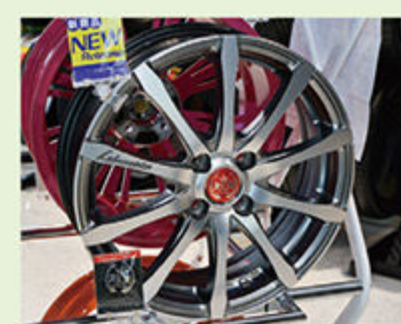
プレミックス ポリ

ポップで個性的なデザインで、足元に存在感をアピールしてくれるプレミックスの新作ポリ!



プレミックス サッシカイア

5組のVスポークが独特のディテールを生み出してくれるサッシカイア。



レアマイスター ノニーノ

太さの強弱、ラウンドと繊細な造形のスポークが特徴的なノニーノもオススメの一本。





スマートRGBフットライトキット



フロントグリルラインイルミ

光モノって“抵抗”とか“電圧”とか難しい言葉が並ぶから、どうにも敬遠しがち。
でも基本さえ覚えちゃえば、カンタンなアイテムならだれでも光らせることができる。
そこで今回は学生の頃、理科が苦手だった人でもできちゃうLED講座です。

第5回

DIYビギナーズ

難しい知識は必要なし

LEDを 光らせちゃおう



五郎丸!?

今回使う工具は……

よく使うクルマの
配線工具セット

これひとつで
み〜んな揃っちゃいます!!



詳しくは次のページへGO!!

エーモン
中塚さん



今回紹介するアイテムの問い合わせ先
問: エーモン工業 ☎0790-22-6262 <http://www.amon.co.jp>

PHOTO ● ガンツ

おぼえておきたい

電装DIY 基本のキ

配線と電源の
取り出しをしっかり
マスターしよう!

エーモン
中塚さん

配線編



いつ光らせたいかで
必要な電源が決まる

LEDを究めようと思えば、電圧や抵抗といった知識はもちろんのこと、はんだづけなど基盤製作のスキルも必要とされる。しかしエーモン製LEDを使うえば話は別。それはエーモン製LEDがクルマ専用のLEDだから。極端な話、配線コードで直接バッテリーの十から一へと繋げば光るのだ。つまり十と一がわかればOK。しかしバッテリーに直接繋いでそのままではバッテリーが上がってしまうので、装着するLEDアイテムに適した電源を取り出すことが必要だ。まずは、配線の接続方法と電

源の取り出し方を学んでいこう。配線作業は大きく分けてふたつ。純正の配線からの「分岐」。そして配線同士の「接続」だ。接続で有名な「ギボシ端子」を使ったやり方は、少し難易度が高いけれど、そのほかはプラグイヤー1本でOK。大切なのは状況に応じて接続なのか分岐なのかを間違えないことだ。

次に電源。電源にはいくつかの種類がある。種類とは簡単に言えば、どんなときに光るか。重要なのは検電テスターを使ってこの「電源の種類」を正しく判別することだ。必要な種類の電源を見つければ、あとは分岐、接続を駆使して電源の取り出しができるようになる。

ビギナー必携の詰め合わせ!

よく使うクルマの配線工具セット
参考価格●2380円

セット内容

- ・電工ペンチ
- ・プライヤー
- ・検電テスター
- ・スパナ
- ・内張りはがし
- ・接続コネクタ
- ・配線コネクタ
- ・異線径配線コネクタ



電工ペンチや検電テスターなど電装DIYに必須の工具をはじめ、配線コネクタなど配線に使うアイテムがまるっとセットになった便利なパッケージ。



内張りはがしはドアインパネからの電源の取り出しに、スパナは8mmと10mmの2wayなので幅広く活躍しそう。

電工ペンチ



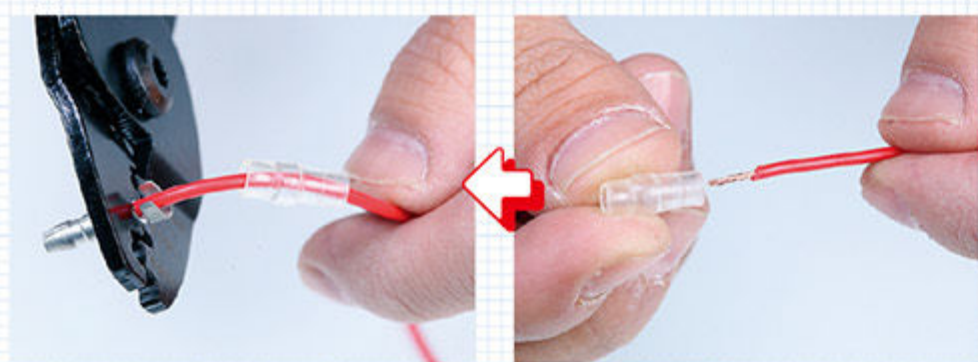
まずはコレの使い方を
マスターしよう!



穴の空いた刃の部分は配線の被覆剥きに使う。太さに対応している穴で挟んで引き抜く。電工ペンチは配線作業には必須の工具。中央部分を使ってコードを好きな長さにカットする。

被覆剥きとかしめ方の習得は必須

ギボシ端子



端子を被せ、小さなツメを芯線にかしめる。先端の1.25-2.0の部分を使う。配線コードに絶縁スリーブを通す。端子をかした後は通せないのを忘れずに。



ギボシ端子セット
参考価格●160円
(8セット)



ギボシ端子は脱着が簡単なので、メンテナンス性の高さがポイント。例えば、フォグランプの配線をヘッドライトから取るときなどに活躍。



オス端子とメス端子をロック部まで差し込めば、配線コード同士を接続する。メス端子もオス端子と同様に、スリーブを通し、電工ペンチで端子をかしめる。あらかじめ通しておいた絶縁スリーブを端子に被せればオス端子の完成。端子のツメがMの字になって、配線コードに食い込んでいればOK。大きなツメは電工ペンチの3.0-5.0の部分を使って、被覆部にかしめる。

プライヤーでギュッ！だけ 簡単配線パーツたち

プライヤー



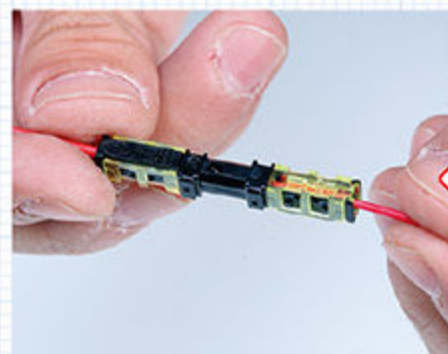
接続



接続コネクター

参考価格●390円 対応コードサイズ●0.2～0.5sq

＋(プラス)同士、－(マイナス)同士を簡単に接続



回転させたコネクターを差し込み、カチッと音がすれば接続完了。



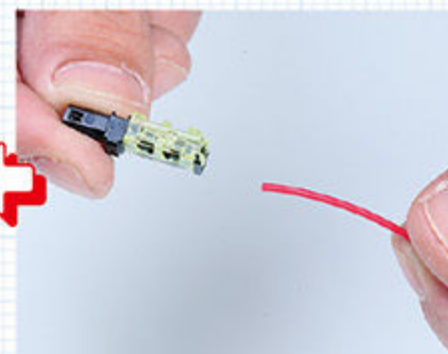
接続する際は、コネクターのどちらか一方を180度回転させる。



パチッと音がすればOK。接続するもう一方も同様に作る。

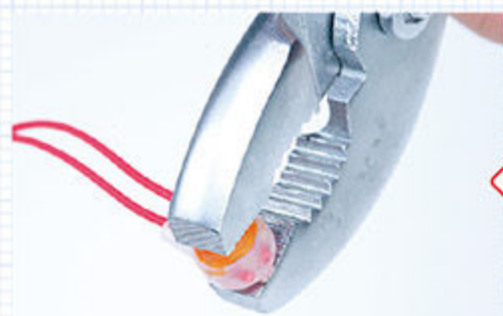


コードを奥まで差し込んだらプライヤーで挟み込み、圧着する。

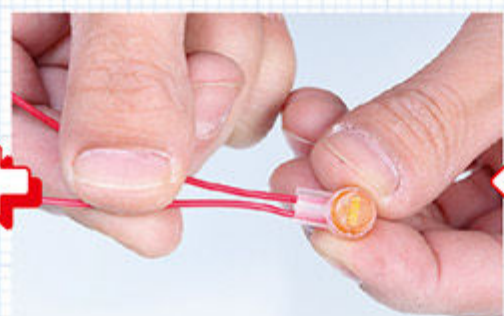


接続コネクターの黄色の部分に配線コードの被覆を剥かずに通す。

外装で活躍する防水タイプ



オレンジ色のカバーをプライヤーで圧着すれば接続完了となる。



もう一方の穴には接続したい配線コードを同様に差し込む。



車外での接続に最適な防水タイプ。まずは配線コードを奥まで差し込む。



防水ワンタッチコネクター(接続用)

参考価格●480円 対応コードサイズ●0.2sq

分岐

LED用の細い配線も楽々分岐



異線径配線コネクター 3個入り

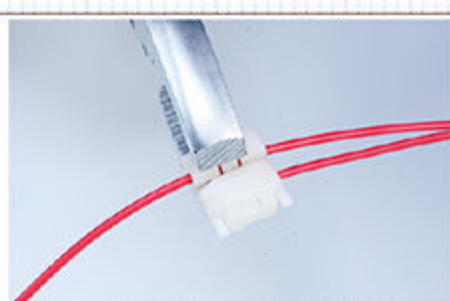
参考価格●390円

対応コードサイズ●電源側:0.5～0.85sq、分岐側:0.2～0.5sq

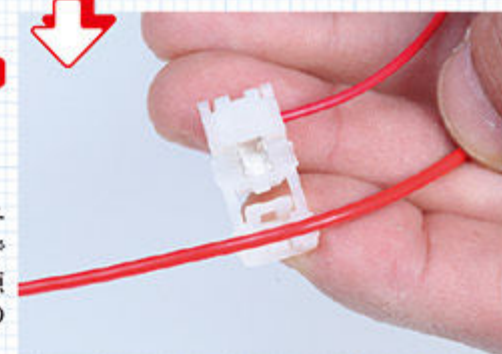
太さが同じ場合は配線コネクターで!

電源側と分岐側が同じ太さの場合は配線コネクターを使う。

電源側も分岐側と同様にプライヤーで圧着すれば完了。被覆を剥く必要はない。



太い純正配線から細いLED用に分岐するときを使う。ストッパーがある方が分岐側。

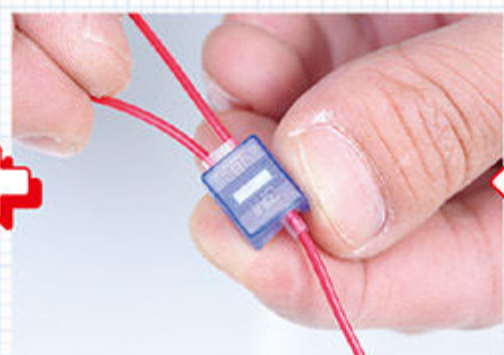


プライヤーでパチッと音がするまで圧着したら、電源側配線を一方の側にセットする。

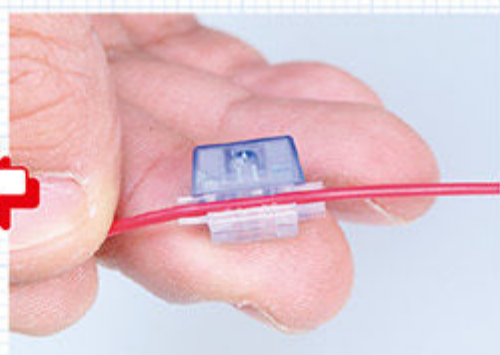
分岐も防水仕様があれば安心



電源側、分岐側の配線をセットしたら、プライヤーでパチッと音がするまで圧着。



もう一方には分岐させたい配線コードを被覆を剥かずに奥までしっかりと差し込む。



貫通している側に、電源側配線をセット。この時点では、くれぐれも圧着しないように。



防水ワンタッチコネクター(分岐用)

参考価格●480円 対応コードサイズ●0.2sq

検電テスター

電源取り出し編

電源の種類はコレで判別しよう!



クリップをクルマの金属部分にはさみ、ボディアースにする。針を電気が通っているか確かめたい部分にあてる。テスターが光れば電気が通っているということ。

ヒューズから取れる電源

- ・常時電源
エンジンオフでも作動
- ・ACC電源
キーを一段まわした状態で作動
- ・イグニッションON電源
キーをACCからもう一段まわした状態で作動
- ・イルミ電源
スモールランプONの状態で作動

【施工車両】
B21Wデイズ
ハイウェイスター



種類の電源が豊富な“電源の宝庫”

ヒューズBOX



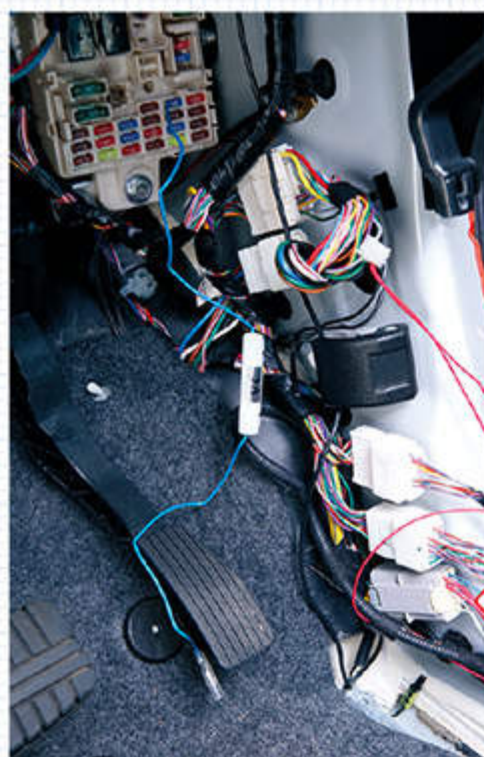
スモールONでテスターが反応。つまりこのヒューズはイルミ電源ということ。



エンジンをONでテスターは反応しない。常時、ACC、イグニッションONではない。



ヒューズBOXは、デイズの場合、キックパネルの裏。さまざまな種類の電源が取れる。



電源側コードが、電気が来ている端子と同じ向きになるように差し込む。



ヒューズの差し込み口には左右に端子があり、電気が来ているほうを探す。



調べた純正ヒューズを先の細いラジオペンチなどを使い、引き抜く。



ヒューズのアンペア数は純正と同じアンペア数と同じものを使用する。



左右の端子のうち、テスターが反応したほうが電気が来ているほうということ。

低背ヒューズ電源

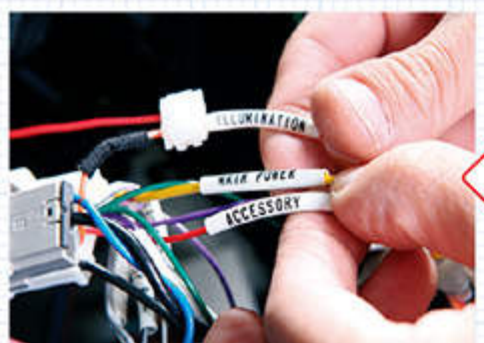
参考価格●
390円～430円



ヒューズの形状は複数。純正ヒューズの形状に合わせたヒューズ電源を選ぶ。デイズの場合は低背タイプ。

電源の判別が簡単!

デッキ裏



社外品ナビは配線に電源の種類が表記されている。純正の場合は検電テスターで判別しよう。



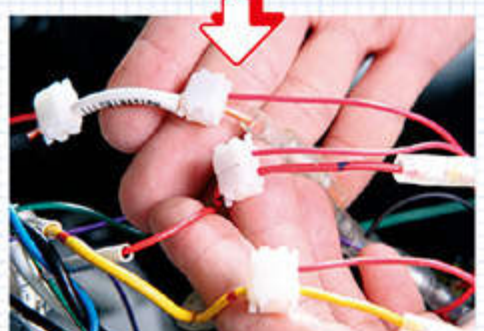
デッキを引き抜く。デッキは裏から配線で繋がっているのあまり強く引き抜かないこと。



デッキは左右のステーで固定されている。ドライバーでステーを留めているネジを外す。



内張りをはがしを使い、センターコンソールのパネルを浮かせて取り外す。



必要な電源を異径線配線コネクタを使い分岐させれば電源を取り出すことができる。

電源を取り出せるポイントはたくさん!

ヒューズBOXやデッキ裏以外にも、簡単に電源を取り出せる場所はたくさんある。ただし電源の種類に限られるので、欲しい電源の種類に合わせて最適なものを選ぶ。また場所によっては純正配線の分岐ではなく専用のコネクタが必要。



バッテリー
常時電源



OBDIIコネクタ
常時電源



シガーソケット
ACC電源



配線コード

参考価格●200円
長さ●4m

デッキ裏のハーネスの配線から分岐させ電源を取り出す。LEDは消費電力が少ないので細線がOK。



初級編

フロントグリルを ラインイルミで光らせよう

CHAPTER03

配線を接続



電圧変換ユニットの+と-の配線(黄と白の2組)をふたつのラインLEDと接続する。



電圧変換ユニットの黄と白のコードはともに黒が混ざっているほうが+となっている。



赤の配線は防水ヒューズホルダーと、黒の配線はスモールランプのマイナスと接続。



防水ヒューズホルダーを分解し、1Aのミニ管ヒューズをセットする。



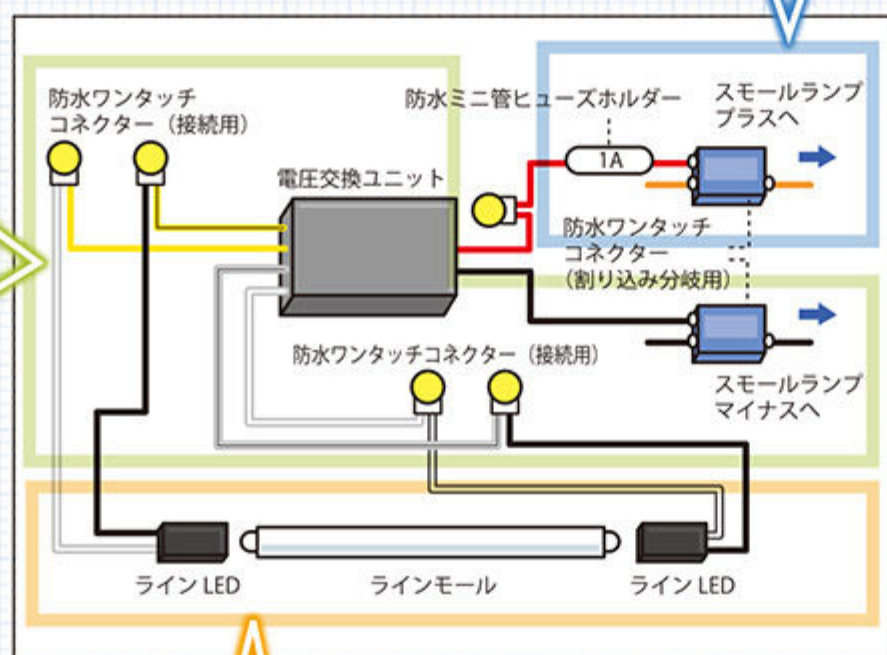
スモールONの状態ではテスターが反応した配線が電源を取り出す配線。



バルブを外す。検電テスターのクリップをボディアースしたら、カプラーに当てる。



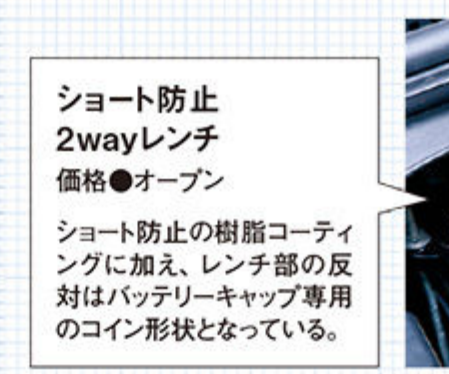
ボンネットを開けてヘッドランプ裏からスモールランプのカプラーを取り出す。



テスターで判別した配線から防水ワタタッチコネクタで防水ヒューズホルダーへ分岐。



ヒューズに向きはないので、そのままホルダーをいっばいまでまわせばOK。



ショート防止
2wayレンチ
価格●オープン

ショート防止の樹脂コーティングに加え、レンチ部の反対はバッテリーキャップ専用のコイン形状となっている。



電源を取り出したら作業中の安全のため、バッテリーのマイナス端子を外しておく。

CHAPTER01 電源を取り出す

CHAPTER02 ラインイルミをセット



4カ所の差し込み穴にモールをセットし、4方向から切り込みを入れる。



ラインモールと同じ形状になっているカッティングガイドを使い、被覆のみをカット。



必要な長さがわかったら、同じくLEDを取り付けるスペースを残してカット。



フロントグリルを緑取るように、マスキングテープで貼り付ける。



はじめに、ラインモールにLEDを取り付けるスペースを残した上で仮当てる。



ラインモールの導光部をラインLEDに差し込み、残りの剥離紙を剥がして貼り付ける。



フロントグリルの隙間からラインLEDのコードをエンジンルーム内に引き込む。



貼り付け部を脱脂したら、仮当てしたときと同様にフロントグリルに貼り付ける。



ラインモール裏の両面テープは3cmほど残した状態で剥離紙を剥がす。



切り込みを入れた場所にカッターの刃を当てて、カットした部分を切り離す。



スマートRGBで足元を光らせよう

6種類の電源を
確実に取り出そう

スマートRGBフットライトキットは最大16万色の中から、好みのシーン、パターンで点灯させることができるアイテム。エモンのネット通販のみで購入可能。最大の特徴は設定のすべてをアンドロイドアプリを使ってスマホ上で行えること。圧倒的な自由度はもとより、手で操作するというスマートさはライバルに差をつけられるはず。

DIYで取り付ける上でのポイント。電源の取り出し。さまざまなシーンで点灯させられるということはそれだけ取り出す電源の種類も多いということ。しかし電源の取り出しさえクリアしてしまえば、それらを本体に繋ぎ、そこからLEDへと繋ぐという、前のページで紹介したフロントグリルラインイルミと同じ流れ。検電テスターを駆使して、電源の種類をしっかりと確認しよう。あとはいかにたくさんの配線をスマートに取りまわせるかが、仕上がりを左右するだろう。



スマートRGBフットライトキットってこんなアイテム



カスタムモードを利用すれば、点灯パターンや点灯・消灯のタイマーを設定可能。光らせ方で魅せることができる。

カスタムモードなら
もっと細かく



たとえば……

点灯パターンを カンタン設定

色や点灯パターンを設定し、本体へ送信する。わかりやすい操作画面なので、はじめてでもカンタンに設定できる。





専用アプリをインストール!

スマートRGBフットライトキットの操作には専用のアンドロイドアプリが必要。あらかじめダウンロード&インストールしておこう。

さまざまな点灯シーンを実現するため

CHAPTER01 電源を取り出す

6種類の電源を3カ所から取り出そう

- ・運転席キックパネル
→ドアロック線、ドアアンロック線
- ・デッキ裏
→常時電源、ACC電源、イルミ電源
- ・ドア開閉スイッチ裏
→ドア開閉スイッチ線

電源を取り出す場所をしっかりとチェック

運転席キックパネル



テスターで判別した配線から異線径配線コネクタで分岐させ電源を取り出す。



スマートキーのドアロック・アンロックスイッチを押したときに反応する配線だ。



キックパネル内にある配線からドアロック・アンロック線を判別する。



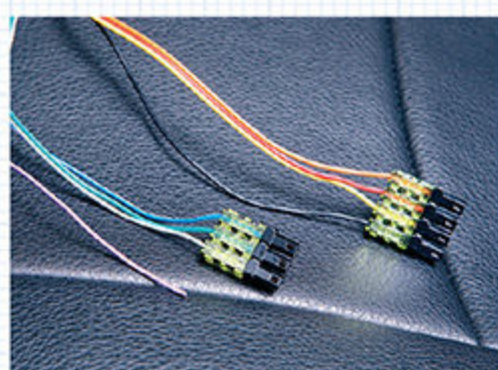
キックパネルを内張りをはがしてこじり、浮かしたら手で外すことができる。



キックパネルを外すには、まずは内張りをはがしを使い、運転席横のパネルを外す。

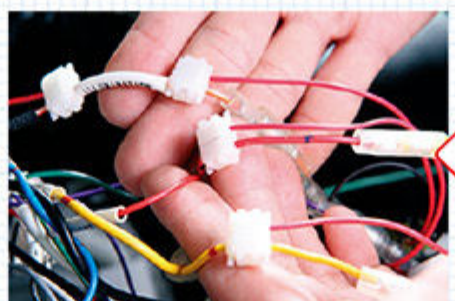
ドア開閉スイッチ裏

運転席側Bピラー下にあるドア開閉スイッチ裏のパネルを外し、中にある配線がドア開閉スイッチ線だ。

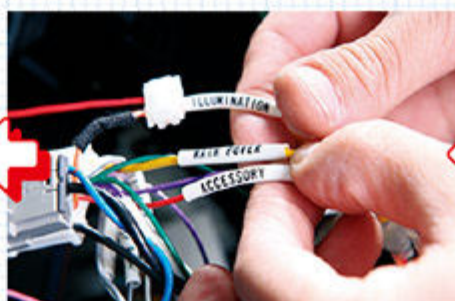


三カ所から取り出した電源、ボディアースは接続コネクタでひとまとめにする。

デッキ裏



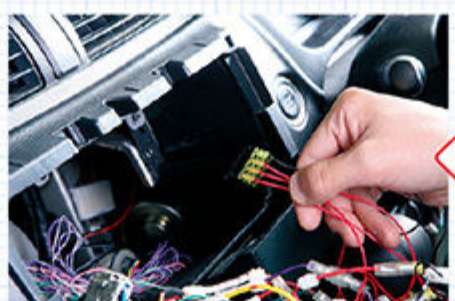
それぞれの配線から異線径配線コネクタで分岐させ、電源を取り出す。



デッキ裏のハーネスから、常時電源、ACC電源、イルミ電源を判別する。



138ページで紹介した手順で、パネルを外し、デッキ裏から電源を取り出す。



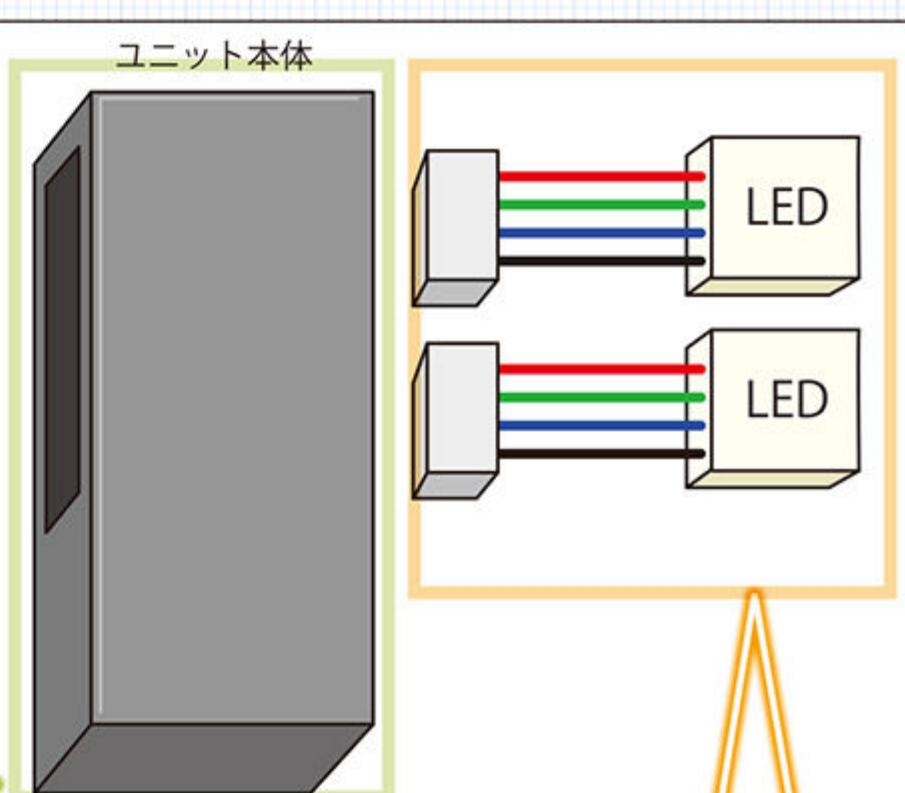
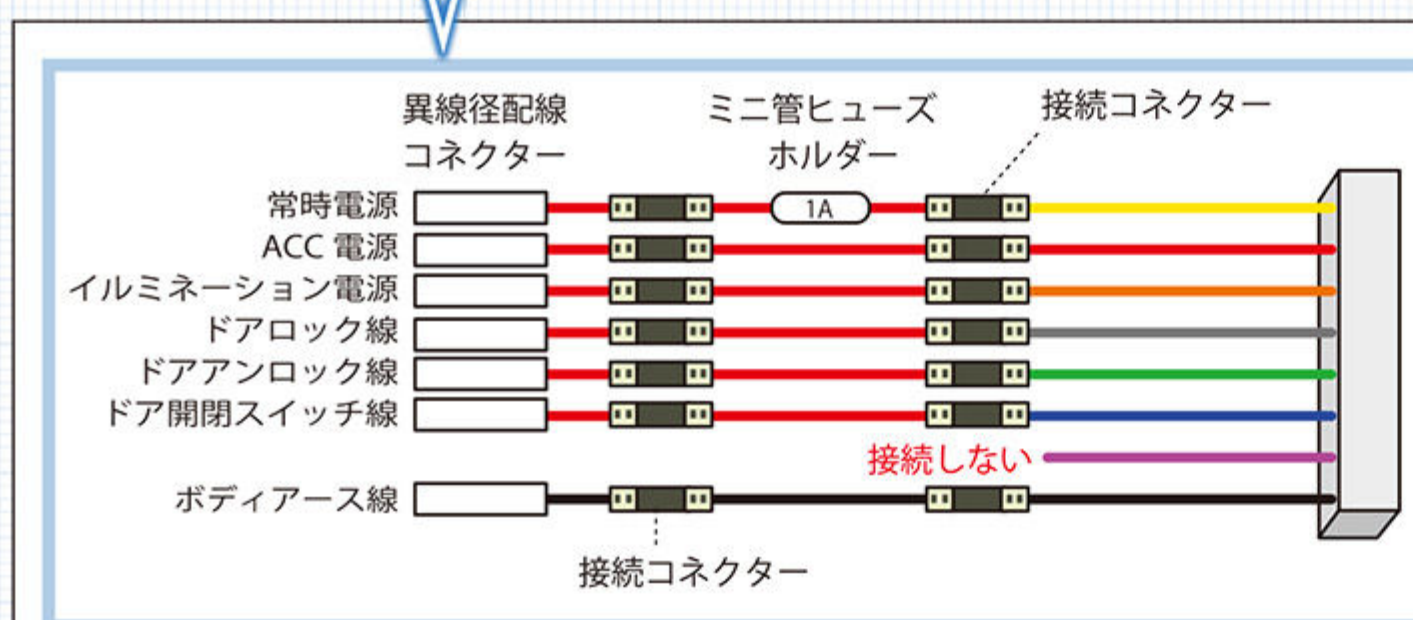
ボディアースもデッキ裏から取り出し、接続コネクタでまとめる。



ミニ管ヒューズホルダーにミニ管ヒューズ(1A)を入れて接続すればOK。



エンジンオフの状態に反応する配線に電装品保護のためヒューズを装着する。



CHAPTER03

本体と配線を接続



本体右上のランプが赤に点灯、時間が経ち緑に変われば配線完了だ。



取り出した電源とカプラーの付いた配線を接続し、本体にカプラーオン。



ふたつのLEDフットライトは本体にカプラーオンでOK。

CHAPTER02

フットライトをセット



フットライトの配線は既存の配線とひとまとめにすることでとりまわしやすくなり。



LEDフットライトは、運転席と助手席の足元に両面テープで貼り付ける。

最新エアロ一気見せ!

ニューエアロコレクション

NEW AERO COLLECTION

ハイスไตล์●MR31S ハスラー

HIGH STYLE HUSTLER

MR31S 対応

問: プラスライン ☎072-949-5000 <http://plusline-inc.com>

ワイルドかつクールに装う アゲ系スタイルが新登場

ジムニー&エブリイの専門店として名高いプラスラインがエブリイ用ボディキットを掲げて立ち上げた新ブランド、ハイスไตล์。その第2弾作品として選ばれたのが、このワイルドでクールなアゲ仕様のハスラーだ。

最大の見せ場はリフトアップによるインパクト。デモカーでは4インチのリフトアップキットを搭載し、力感あるオールテレーンタイヤとのマッチングを披露するなど本格的。アゲたときにしっくりとハマるようデザインされた各ボディキットも、シンプル寄りながらもしっかりとした存在感を発揮してくれる。アゲの必須アイテムであるア

プラスラインはジムニー&エブリイの専門店として活躍するショップ。LEDナンバー移動キットも用意。



フロントバンパーもシンプル寄りでワイルドな印象。グリルまでが一体成型となっているためまとまり感もあり、表情の力感も増す。

リアバンパーは丸みと量感を両立した本場Uステイストが漂うフィニッシュ。デモカーのように塗装でアクセント付けしても効果的。



足元はクリムゾン・ディーンとバックショットで彩る。デモカーには4インチリフトアップキットが。



近日発売予定の専用マフラーにも注目。リフトアップ時には見せ場ともなるため、スマートな見た目にも配慮。



インテリアはムートアイテムでコーデ。プラスラインで取り扱い中。ハスラーに精通するブランドならではの。

SPECIFICATIONS

●フロントバンパー(グリル一体)	4万6440円	●マフラー(ターボ車) 近日発売
●リアバンパー	3万2400円	●足まわり/4インチリフトアップキット=バドック
●スキッドバンパー	1万7000円	●ホイール/クリムゾン・ディーン クロスカントリ(14x4.5J+43)
●フロントアンダーガードバンパー	近日発売	●タイヤ/マキシス・バックショット
●LEDナンバー移動キット2	1万800円	

立体感の表現にこだわった DA17V用バブリーが完成

問:マークマスタース ☎0532-39-8280 <http://www.markmasters.jp>



DA64W用プログラムが大人気なバブリーが、いよいよ注目のDA17V用をリリース開始。スマートかつスポーティなオトナっぽいシルエツトを披露した。

全体的なスタイルとしては好評な前作、DA64W用の流れを踏襲。フロント両端ボトムにダクトを搭載するなど、スポーツムードを重視したビジュアルを採用しているのが特徴だ。ただしポリウム感はあるて控えめに。街中でもスマートに、オトナっぽく着飾れるよう配慮されているのも好印象。サイド&リアはシンプルのため、ワル目立ちせずさらに楽しめるプログラムに仕上がったという印象だ。

こだわりの立体感あるフェイスの造形。のっぺり感の強い純正の印象を端正に覆っている。

リアのハーフスポイラーも突出量は控えめ。純正ボディラインを崩すことなく、自然に装えるのがオトナ的で好感。



デモカーの足元にはSSRのフォーミュラメッシュが。スポーツ系ホイールはもちろんだが、ネオクラ系とも相性はバツリ。

ビラーのシートは、サイドビューがグッと引き締まってよりスポーティに。エアロのキャラクターをより活かせるコーディネート。



リーズナブルながらドレスアップ効果の高いLEDフォグランプも見。バルカン風スタイル、消灯時も目立つ。

SPECIFICATIONS

●フロントバンパー タイプR	6万480円	●上記4点セット	15万1200円
●サイドステップ	4万8600円	●ホイール/SSRフォーミュラ・メッシュ (16×6J+45)	
●リヤハーフ	3万4560円	●タイヤ/クムホ(165/40-16)	
●LEDフォグランプ	1万800円		

走りやすさと精悍さを備えた
新シリーズがデビュー!

K-02 EVERY WAGON

DA17W
対応

問: ファイナルコネクション ☎042-550-4533
http://www.finalkonnexion.co.jp



DA17Wは完成度が高い。そんな判断からファイナルコネクションが決断したのは、シンプルで構成される新シリーズのボディキット。フロント、グリル、リアディフューザーのみで完結できる。

中でも注目のはフロントリップ。走りやすさに配慮したかなり薄型の造形となっていて、シンプルながらも中央部を奥まらせたり、左右両端をプチカナード風に立ち上げたりと疾走感にこだわったフイットシュ。リアもアーチ状のデフューザースタイルで、精悍さだけでなく個性も上々だ。ちなみに設定する3点はすべてFRPだけでなく、カーボン仕様を選択することが可能。さらにスポーツ度を増したいなら、カーボンは必見だ。



新シリーズであるK-02の特徴は、走行性にも配慮した超薄型のフロントリップ。シンプルが基本だが、両端はカナード風に若干、立ち上げた。

グリルは線が太くてワイド感のアピールにも貢献できるシンプルデザイン。フェイスの存在感を確実に引き上げてくれる。前後リップ、グリルともにFRPだけでなく、高級スポーツ感にあふれたカーボン仕様も設定あり。よりスバルタンに構えるなら注目だ。

リアは旬なディフューザースタイル。アーチ状に切り上げたリップの底面にさり気なくフィンが備わる個性的なデザインで、オトナ感も獲得可。

デモカーのホイールはレオニスLV。硬派なスポーツモデルもこのエアロには似合うが、こんなデザイン系とも相性よし。

SPECIFICATIONS

●フロントリップスポイラー (FRP)	2万9800円
●フロントリップスポイラー (カーボン)	近日発売
●フロントグリル (FRP)	2万4800円
●フロントグリル (カーボン)	近日発売
●リアリップスポイラー (FRP)	2万9800円

●リアリップスポイラー (カーボン)	近日発売
●足まわり/キッズレーシングダンパー	開発中
●ホイール/ウェッズ・レオニスLV (16×5J+45)	
●タイヤ/ジューテックス (165/40-16)	

※価格は税抜き



フェイスイメージを劇的に変化させられるフロントバンパーは必見。中央は大胆なスピンドルグリル風デザインで、両側の開口は大きく、躍動的。



サイドステップはシンプルでプレーンな仕立てで、ダクトなどはあえて採用せず、オトナな印象となる。ボトムはグッと内に巻き、躍動感を演出。



オリジナルホイール、車輪はこのDA17Vにももちろんマッチング可能。サスペンションキットも設定する。



フロントはバンパータイプだが、リアには小振りなアンダースポイラーを採用。薄めな造形ながらAライン内をグッと奥まらせるなど立体感あり。



ハス切りの両側4本出しスタイルとなるマフラーもオリジナル。エアロ以外も慶番で統一できるのは魅力的だ。

大胆スピンドルフェイスで最先端な雰囲気を実現

ケイゾーンが発表したDA17V用プログラムは、なんと大胆なスピンドル風スタイル。エッジを効かせたラインが鋭くスピンドルを描くまさに最先端なデザインで、表情をガラリと一新できる。そんなスピンドル形状が武器となるフロントは、左右開口も大きくて鋭く、スポーティなフィニッシュ。それでもサイドはシンプルに、リアは薄めなアンダースポイラーになっているため、純正のイメージを大きく崩すことなくスタイルアップを実現できるというのもポイントだ。

SPECIFICATIONS

●フロントバンパー	5万7240円
●サイドステップ	3万9960円
●リアアンダースポイラー	4万8600円
●上記3点セット	14万3640円
●マフラー／左右4本出しマフラー	8万4240円
●足まわり／サスペンションキットA	9万9144円
●ホイール／慶車輪(17×5.5J+45)	
●タイヤ／ナンカン(165/35-17)	



ノベルエスピー●DA16T キャリイ

Novel SP CARRY DA16T 対応

問:翔プロデュース ☎079-232-7877 <http://sho-produce.com>

ノベルが発表したDA16T用ボディキットは、流麗で立体感あるならではのライン使いが華やかに際立ったフィニッシュ。特にフロントはグリルまでが一体となったデザインで完成度が高く、ヘッドライト下から中央開口部の下へとつながるラインは、やわらかな曲線でありながら精悍さも薫る独特の装いだ。

フロントボトムは別体風フラップや、最先端感たっぷりな立体的リアスタイルなど、ノベルらしいさは随所に。もちろん今作でも1カ所1000円でのダクト加工にも対応してくれるから、さらなる精悍さを追求めるのも、他にない個性をプラスするのも自由自在。オーバーフェンダーや荷台カバーなどアシストパーツが充実するのも魅力大。



フロントはグリルまでが一体成型。大胆で大きな開口形状やボトムは別体風デザイン、側面のプレスライン&ダクトなど見どころが満載だ。

リアバンパーも迫力満点な攻撃的デザイン。後方中央ボトムは別体風のリップ形状で、バンパー側面にもダクト&フィンを配するなどスポーティ。



ワイドでマッチョな雰囲気を手に入れるオーバーフェンダーキットもラインアップ。ホイールはクリアレッドのマイスター-S1R。

サイドステップもボトムが別体フラップ風となるなど、前後バンパーに負けない攻撃的なスタイルを採用。サイドステップダクトの最先端感も必見。



リーズナブルにさり気なく遊び心を演出できるナンバーキャップは250円、封印代は100円。ファンなら必須。



荷台カバーにはダンパー付きタイプも設定。この荷台カバー専用の跳ね上げ形状ウイングもオリジナルで設定。



ななめ出しのデュアルテールが精悍なサイドマフラー。トラックでサイド出しというギャップ感がインパクト。

SPECIFICATIONS

●フロントバンパー	6万5000円	●86バックフォグ	2万5000円
●サイドステップ	5万5000円	●LEDテール	2万9000円
●リアバンパー	5万1000円	●荷台ウイング	2万7000円
●上記3点セット	16万5000円	●3D 荷台 FRP カバー	12万円～
●アイライン	1万2000円	●足まわり/俺の足～車低～	
●リアウイング	3万6000円	●ホイール/ワーク・マイスター	
●オーバーフェンダー	3万7000円	S1R (16×F6.5J+22, R7J+25)	
●フロントバンパーダクト	1000円	●タイヤ (165/35-17)	
●サイドステップダクト	1000円	※価格は税抜き	



洗練の3Dラインで魅せる
オトナの流麗スポーツ

Novel PREMIUM WAGON R STINGRAY

MH44S
対応問:翔プロデュース ☎079-232-7877 <http://sho-produce.com>

さらに洗練度が増された 新デザインがMH44Sへ!

これまでのノベルの装いを踏襲しつつ、より大胆に、さらに洗練度を高めた新デザインへと進化してきたノベルプレミアム。そんなノベルプレミアムから、いよいよ待望のMH44S対応エアロプログラムが発表された。

フロントはグリルまでを一体とした存在感のあるバンパータイプで、ノベルらしい立体ラインや中央ボトムの別体フラップ風造形などを随所に踏襲。中央開口内の両端に縦方向のバーを走らせるなど、より精悍さにシフトした造形となる点に注目だ。

リアバンパーのデザインも独特。F1バックフォグを中心に、翼を広げたようなイメージでダクトが連なるボトム形状は、優雅ながらも疾走感満点。立体感も強く、変化度も上々な作品だ。



中央のワイドな開口部内両端に、縦方向へ流麗なバーを走らせているのが特徴。中央ボトムは別体フラップ風で精悍、グリルまでが一体式。リアも立体感あふれるバンパータイプ。デモカーのように塗り分ければその独特な造形がより生きる。F1バックフォグ、フラッシャーも。



サイドステップにも立体感あるデザインを採用。鋭いラインを描き、さり気なく面に高低差を持たせてスポーティに。塗り分けもしやすい。



純正ヘッドの造形に合わせ、個性的で大胆な意匠を採用したアイライン。前後のプロテクターは手軽だが効果大。



ホイールはレッドクリア仕様のマッヘスターM1R。翔プロデュースならではのカラーリングで、精悍さが際立つ。

SPECIFICATIONS

●フロントバンパー(グリル一体)	6万円	●3Dフロントプロテクター	1万5000円	●配線キット	1万2000円
●サイドステップ	5万円	●3Dリアドアプロテクター	1万9000円	●足まわり/車高調=イデアル、リアアクスル=ジェーライン	
●リアバンパー	4万7000円	●フォグランプ	3万円	●ホイール/ワーク・マッヘスターM1R	
●上記3点セット	15万円	●リアバンパー用左右LED	1万2000円	(16×F6.5J+30、R7J+25)	
●アイライン	1万2000円	●F-1バックフォグ	9000円	●タイヤ/(165/40-16)	
●リアウイング	3万6000円	●F-1フラッシャー	8500円	※価格は税抜き	





Another Story

もうひとつの物語

谷本知弘 & 直美 (香川県)

L880K COPEN

ひと組の夫婦に3台コペン。それも全部ガルウイングだから驚き。
今回はコペンによって結ばれたひと組の夫婦に迫ります。

PHOTO ● 高原義卓

ひと組の夫婦と
3台のコペン

さまざまな顔を持つ コペンが写し出す 温かな人間模様

自分自身について語るのは難しい。たとえば入社試験で「あなた自身について原稿用紙4枚以内で書きなさい」と言われても、なかなかできないもの。たった1600文字で自分という存在の答えを提示するのは困難なことだろう。けれども、ドレスアップオーナーは、クルマについて語ることはできる。人は愛車について語るとき、そこから見えてくる愛車との距離や関係性から自然と自分自身を語ることになるのではないだろうか。

夫婦でコペンに乗っている谷本夫妻は、コペン乗りが集まるオフ会で知り合い、結婚した。振り返れば、お互い特別印象に残るようなファーストインプレッションではなかったそうだ。

「すごくイジっているクルマに乗っていたので、そういう意味では目立っていましたが、特に気になる存在とかではなかったんですよ」と直美さん。

彼女が独身最後の贅沢というコペンを購入したのはとにかく運転が好きだったから。屋根を開け、優雅に風を感じながら走るのがなにより楽しみ。一方、知弘さんはドレスアップに夢中だった。そんなふたりだから、一気に急接近するような出来事は無かったそうだが、それでもお互いに理解を深め、惹かれ合っていたのは、そこにコペンがあったからにほかならない。

「同じクルマでも方向性が全然違う。それでもコペンに乗ってなかつ



Another Story

もうひとつの物語

KCAR
SPECIAL

150

た出会ってなかっただろうね」と知弘さん。

それぞれの楽しみ方や思いが、コペンというフィルターを通し相手に表現される。突き詰めていけば、お互いが自分自身について語るようになっていたのだ。

ふたりには共通する思いがある。それはいつまでもコペンを大切に乗り続けたいという思い。

「我が家にあるほかのクルマだったから古くなってきたら下取りに出すことも考えるけれど、コペンだけは別。もう買えないということもあるけれど、たとえ動かなくなっても大切に取っておきたい」と直美さん。

クルマそのものに対する愛着はもちろん、コペンを通じて知り合った仲間や、思い出を目に見える形で残しておきたいという思い。しかも10年以上乗り続けているクルマだ。いつでも万全というわけではない。

「コペンが故障したら自分がケガをしたかのように心が痛むんです。なんだかぞわっとするような。そういうときは、『なんだか調子悪いんだけど』って主人に見てもらいます。そうしたら、『ああ、コペンが悪いみたいだね』って修理してくれます。自分でできないときは治せるお店を探してくれるんです」。

夫婦でコペンに惜しめない愛情を注ぐ。それはやっぱりコペンを通してお互いに相手を尊重し、慈しむことに等しい。

ドレスアップオーナーが自分の愛車について語ること、それは自分自身について語ることなのだ。

縁結びのコペンは
10年たった今も走り続ける

夫婦の念願 ドイツから来た 左ハンドル車

人とは違う仕様を追い求めていた知弘さんは、左ハンドル化を計画していた。シヨップまで見つけたところで、直美さんに相談してみると、右にあるべきものを左に移すなんて大がかりな加工はトラブルが怖い、と首を縦に振らなかった。そんなときに舞い込んで来たのが滋賀県のシヨップに逆輸入の左ハンドル車があるという情報。谷本夫妻は購入を即決した。

「私も主人の希望を叶えてあげたかったのですが、加工となるとやはり不安でした。だから左ハンドル車が我が家に来たときは夫婦の念願が叶ったって大喜びしました」と直美さん。

結果的に夫婦ふたりに対してコペンが3台になったのだが、結婚後

購入した左ハンドル車には特別な思いがあるという。
「最初の2台は独身の時から乗っていましたから、今思えば左ハンドルのコペンがわたし達の子どものかなって」と直美さん。
「それにドレスアップする予定じゃなかったのにね」とふたりは笑った。



テイクオフのエアロを巻いた知弘さんのコペン。幾度かの仕様変更を経て、ボンネットのグラインダーを入れたラグスポ仕様へとたどり着いた。足元はレイズのホイールにエンドレスのキャリパーキットを投入するなど本格派の一面も覗かせる。またオフ会などでふたりで遠出をする際にも活躍している。



直美さんのコペンはツーリングに主眼を置いた程よい車高のシンプルな仕様。ホイールのリムとミラーを同色とするなど随所にセンスの良さを見せる。またフロントボトム部のカナードもさりげなくレーシー。インテリアではシートにスポーティさを演出するエスケレートのパケットをチョイスした。



ドイツから来た左ハンドルのコペンはなんと1300cc。「やっぱりトルクが違いますね」とは知弘さん。エクステリアはあくまでシンプルに。インテリアメイクとオーディオ強化にとどめて快適なドライブを実現する。



Another Story

もうひとつの物語

超 Scoop!!

メーカーの極秘情報
すっぱ抜き!

■ 翔プロデュース

SHO PRODUCE

問:翔プロデュース ☎079-232-7877 <http://sho-produce.com>

最上級モデル、 S500系も登場

S500P
ハイゼット
トラック

今月号の146ページで紹介している翔プロ・ノベルの最上級モデル、“プレミアム”。MH44SワゴンRステイグレイに続いて500系ハイゼットを開発中だ。ボトムには別体風のリップスポイラーをレイアウト。そして最大の目玉は現行クラウンを思わせる稲妻型グリルだ。



仕事ゲルマ特有のリア下がりを解消

KLC

■ ケーエルシー

問:KLC ☎0439-88-0450
<http://www.klc-div.com>

仕事で重い荷物をたくさん積んでいると、リア下がりになりがち。見た目がカッコ悪いだけでなく、ロールが大きくなるなど運転にも支障が。このスプリングなら最大積載量一杯まで積んでもリアが下がることがなく、運転もスムーズに。

ワークスプリング 横綱

価格●2万3000円(税抜き)
対応●DA52/62/64/17V/W
エブリイ&ワゴン

※写真は開発中のもの

■ シュビーゲル

Spiegel

問:シュビーゲル ☎048-970-2800
<http://www.spiegel.co.jp>

上げメイクにも
似合う新作ホイール



このポリカはディスクに空いた10コの穴がポップな雰囲気を漂わせつつも、ポリッシュされたディスクのフチがワイルドな印象も与える。カラーはホワイトポリッシュとブラックポリッシュの2色で、後者はブロックパターンのタイヤにも似合いそう。

ポリカ 価格●15×4.5J(2万8000円/税抜き)
カラー●ホワイトポリッシュ、ブラックポリッシュ



■ ガレージベリー

GARAGE VARY

問:ガレージベリー ☎048-469-1708 <http://www.vary.co.jp>

S660用エアロに追加パーツが!

JW5
S660



いち早くS660用エアロをリリースしたガレージベリー。現在はサイドステップとリアウイングの開発が進行中だ。サイドステップはボトム部にキャラクターラインを設けた疾走感溢れる意匠。リアウイングはシンプルながらアイキャッチになること間違いなし。



ハスラー
MR31S・平成26年式
.....
inomasa7さん
(京都府)

オレンジ、白、黒を上手く
組み合わせてカラー
コーディネートされるino
masa7さんのハスラー。



ゴテゴテにせずに品良く
仕上げてみました! とオ
ナーのinomasa7さん。



ポイントおさえて
センス良くしあげる!



セルフトレーディングのパーツや塗り分け
を使って、センス良くコーディネートする。



セルフトレーディングのステアリングで、
インテリアのカラーに合わせて仕上げる。

SPECIFICATION

WHEEL ●レイズ デイトナ (16×5.5J+48)
TIRE ●グッドイヤー イーグルLS2000 (165/50-16)
INTERIOR ●ステアリング=セルフトレーディング、シートカバー=ユアブラ
ンド、フロアマット=コラボマット、セルスターGPSレーダー
EXTERIOR ●リアワイパーレス、二輪復刻エンブレム、アルファベットエン
ブレム、メッキルバー&ヘッドライトカバー&バックミラーカバー&メッキリア
ゲートガーニッシュ&アンテナカバー&ウオッシャーカバー=セルフトレー
ディング、サイドモール=サムライブロデュースほか

超盛り上がりまくりの
ハスラーカスタムをいち早くおとどけ!!

はっする ハスラー

晴天の中、大きな広場にたくさんの
ハスラーが集まったオフ会!
サークル状の広場をグルリと囲むように
並んだ強者たちをドローンと紹介しちゃおう♪

ハスラークラブジャパン東海支部主催 ヤマハリゾートつま恋オフ会

●開催日:9月21日(月) ●開催場所:ヤマハリゾートつま恋(静岡県)
●主催:上野 重邦 <https://www.facebook.com/events/764521113669166/>

テイニングに潜入!



今回新調したワンオフ
のデュアルマフラーが、ハ
スラーにやんちゃなイメ
ージを演出する。



ハスラーの分厚いフェン
ダーのツメをローダウン
のために切ったぞ!

フェンダー切って、ベタ車高しました!



旧車風のイメージをハスラ
ーに融合した池永号。や
んちゃスタイルがとても魅
力的だ。



次はサンルーフの施工や、塗装が傷
んできたところをオールペンしたい
です!と池永さん。

ハスラー
MR31S・平成26年式
.....
池永拓也さん
(和歌山県)



ハスクロ圈央連合よろしくです!!



ハスラー
MR31S・平成26年式
.....
Newハス太郎さん
(埼玉県)

当日も気分十
分、友達いっ
ぱいのNew
ハス太郎さん。
取材も早く受
けてくれました。



シックなカラーコーディネート
は、カーボンシートも使うこ
とで個性をアピール。



今回オススめの大きな
ドライビングランプがハ
スラーのフェイスにイン
パクトを与えている。



SPECIFICATION

WHEEL ●ワーク シーカー EX (17×7JF+32、R+30)
TIRE ●ハンコック (165/40-17)
AERO PARTS ●F=自家塗装
EXTERIOR ●グリル=ノーマル加工アミ貼り、ウイング=OP
ルーフエンドスポイラー、フェンダー切り上げ加工、テールレン
ズ=セルフトレーディング
INTERIOR ●ステアリング=ナルディ、シートカバー=ベレッツ
ァ ワイルドステッチ、インパネ=ライツ&自家塗装
SUSPENSION ●車高調=シュビーゲル プロスペックワゴン、
バネF=326POWER チャラバネ/R=日正直巻、アクスル
=JIC グラウンドゼロ3A
TUNING ●ブレーキ=キャリパーカバー、ブローオフバルブ=HKS
MUFFLER ●貴志タイヤ商会ワンオフデュアル

SPECIFICATION

WHEEL ●マーチ てっちゃん (14インチ)
TIRE ●ヨコハマ (165/70-14)
EXTERIOR ●グリル=自作メッシュ、ウイング=3D GT
ウイング、テールレンズ=スモーク塗装、ドライビングフォグ
SUSPENSION ●スプリング=エスベリア
MUFFLER ●ウィルズウイン
TUNING ●ウィルズウイン製 大型パワーチャンバー



お目々ぱっちり ハスラー!

可愛いまつ毛と
チェックーストラ
イプが個性を放
つ大場ハスラー。

ハスラー

MR31S・平成26年式

大場宏司さん
(山梨県)



走行中はつけられないけど、イベント仕様で
てことで、と手作りのまつ毛を装着。

SPECIFICATION

WHEEL ● ウォレスト (17×5.5J+45)
TIRE ● ナンカン (165/45-17)
EXTERIOR ● GTウイング = 汎用品
SUSPENSION ● 車高調 = シューペーゲル
TUNING ● マフラー = ウイルズ ウィン



バンパーグリル部分はパンチングメッシュをあし
らい日の丸が描かれている!



家族でオフ会に遊びに来ていた
大場ファミリー! 楽しい1日
を過ごしていたぞ!

ハイクオリティサウンドを堪能できる!



良い音を追求めし、構築
されたラゲッジスペース
のサウンドシステム。見
た目も美しい!



ワンオフで構築されたパッ
シブネットワークが高級な
サウンドを期待させてくれ
る。

外から見れば普通のハスラー。
しかしその中身は驚きのハイク
オリティサウンドを奏でるこ
だわりの1台なのだ!



ハスラー

MR31S・平成26年式

ヤダカさん
(愛知県)



SPECIFICATION

AUDIO ● サウンドナビ、スピーカー = モデル、アンプ = グラウンドゼロ、
ムンドルフパッシブネットワーク = ワンオフ、ピラーツイーター

ハスラーミー



笑顔で登場は長男の来都くん。自分
ちのハスラーと同じ色のラジコンを持
ってにっこり!



インテリアも基本的にはカスタムとい
うよりはステッカーチューン。ハワイ
アンな空間が素敵。



会場となる多目的広場のスペース
を使う、オフ会とともに余暇を
過ごす渡邊ファミリー!

SPECIFICATION

WHEEL ● バンドラ ラグテック ネオムーン (15×5J+45)
TIRE ● ヨコハマ (175/60-15)
EXTERIOR ● メッキバンパーF/R = セルフレーディング、
スーリー・ウイングバーエッジ、ハワイアンステッカー
INTERIOR ● ハワイアンステッカー

迫力のハイリフト仕様で勝負だ



会場でもひと際目立っていたハイリフトハスラー!
ボディとホイールでカラーコーディネート!

ハスラー

MR31S・平成27年式

八木基裕さん
(静岡県)



顔まわりはブラックカラ
ーでワルな雰囲気はコ
ーディネイト。



家族みんなでオフ会に遊びに
来ていた八木ファミリー! おこ
さまも上機嫌!!

SPECIFICATION

WHEEL ● デザートラック BR-9 (15×4.5J+45)
TIRE ● ヨコハマ ジオランダー A/T-S (175/80-15)
EXTERIOR ● ヘッドライト = カバー、テールレンズ = ワンオフ、エンブレム/グリル
= マットブラック塗装、ホイール = オレンジ塗装、ハワイアンステッカー
INTERIOR ● ステアリング = オレンジ同色

違いの分かる チューンカスタムで楽しむ

ちゃばたけさんのハスラーは、まさに羊の皮を被ったオオカミ的なハスラー！バッチリチューンアップされる。

マフラーはHKS製のセンター出し。カッター部分のチタンブルーがクールだ。

タワーバーやロワアームバーなど補強パーツもバッチリセットされる。

そんなたいしたことはやってまーせんと謙虚なちゃばたけさん。

みんなのアラレちゃんスタイルで登場！オフ会を満喫している鈴木ファミリー！

家族みんなのアラレちゃんなのだ！



ハスラー
MR31S・平成25年式
ちゃばたけさん
(山梨県)

SPECIFICATION
WHEEL ●レオマスター ブルネッロ (16×5J)
TIRE ●ダンロップ (165/50-16)
SUSPENSION ●車高調=プリッツ
EXTERIOR ●ピラーカバー
TUNING ●マフラー=HKS、スロコン=プリッツ、タワーバー、ロワアームバー



室内のあちこちにLEDを埋め込んだり、ピラーを張り替えたりと試行錯誤する室内。



ハスラー
MR31S・平成27年式
ハスタンさん
(山梨県)



エンジンルームのエアクリーナーを自作でラップ塗装するなど手が込んでいます。



外見はノーマルチックではあるモノのスパッタゴールドフィルムを貼ったり、テール変えたりとさりげなくコーディネートする。

SPECIFICATION
EXTERIOR ●テールレンズ、フロントガラス=スパッタゴールド(75%)フィルム
INTERIOR ●ピラー=スエード(ピンク)張り替え、室内LED照明=DIY
AUDIO ●5.1chフルカロッツェリア、ウーファー=カロッツェリア

このオフ会でローダウンしているハスラー見たら車高を下げてくれました。とハスタンさん！



ラゲージルームも100均で自作ラゲージボードを製作し見た目と機能性を両立。違和感なく収まる。



ハスラーの天井には、自作ラックを使ってキャンプ道具などが収まっている。アイデアものだ！



ハスラー
MR31S・平成26年式
鈴木直人さん
(愛知県)

100均でカスタマイズされた鈴木ハスラー。家族みんなのアイデアでできている1台なのだ。

おもしろワザ満載の1台



使われていなかったスターターボタン部分。押すとびんぽーん！と遊び心も忘れない。



天井には空が一望できるキャンバスストップが！この開放感ほかにない！



ブルーのボディにレイズの白いTE37がセンス良く鎮座する。相性抜群のホイールチョイス！



SPECIFICATION
WHEEL ●レイズ TE37 (14×5J+45)
TIRE ●トーヨー (165/70-14)
EXTERIOR ●ドアノブ=ワゴンR流用、車体番号エッチング
INTERIOR ●キャンバスストップ、ステアリング=セルフレーディング、タコメーター=エアコンダクト埋め込み

ハスラー
MR31S・平成26年式
あゆおさん
(神奈川県)



SPECIFICATION
EXTERIOR ●フロントアンダースポイラー&リアワイパー=ホワイトラッピング(セルフレーディング)、自作マッドガード=100均
INTERIOR ●自作ラゲージボード=100均、フロアマット=オレンジチェッカー



トランクスペースにはウーファーが埋め込まれ、フルにディスプレイされる。音も最高だ。



インパネはカーボンシートでラッピングされる。シブい室内を演出している。

マフラー、シートカバー、フロアマットなどまだまだ足りないとのこと。



ハスラー
MR31S・平成24年式
ともやさん
(三重県)

見た目も音も
最高です！



SPECIFICATION

WHEEL ●ユーロスピード タイプ805 (16×5J+45)
TIRE ●グッドイヤー (165/45-16)
EXTRIOR ●ボンネット=マットクロームオレンジラッピング、ヘッドライト=イエローフィルムラッピング
INTERIOR ●インパネ=カーボンシートラッピング
SUSPENSION ●車高調=ファイナルコネクション イエロー
AUDIO ●ウーファー=ロックフォード P3SD2-10、アンプ=ライトニングオーディオ LA1000DMMINI

ヘッドライトのイエローフィルムやブラックのホイールチョイスで、シブいフォルムをアピールする。ローダウンはファイナルコネクション！



インテリアもエクステリアに合わせてピンストライプを施される。



エアブラシ、シルバリーフ、ピンストライプでセンスフルにキメられるエクステリア。

会場イチ低いのは
このハスラー!のはず!?



ハスラー
MR31S・平成26年式
龍さん
(大阪府)



超ローダウン、タイヤプリントによるホワイトリボンなど、独自性を貫く龍さん！

SPECIFICATION

WHEEL ●クリムゾン ディーンクロスカントリー (15×6J+42)
TIRE ●グッドイヤー (165/55-14)
AERO PARTS ●F/R=セルフトレーディング メッキガーニッシュ
EXTRIOR ●グリル=KLC、テールレンズ=ライト、エアブラシ、ピンストライプ、シルバリーフ
INTERIOR ●シートカバー=クラッツィオ、インパネ=ピンストライプ
SUSPENSION ●車高調=JIC、バネF=326POWER O.D.K、アクスル=JIC 可変式
MUFFLER ●HKS リーガマックス



ハスラー
MR31S・平成26年式
青木武史さん
(兵庫県)

独自のセンスとアイデアが
車中泊のキャンパー仕様



独自の楽しみ方を具現化するオーナーの青木さん。見るからに楽しそうな一台に仕上がっています。



すべてがDIYという青木さんのハスラー。メーカーやブランドにとらわれず安く楽しくをモットーにカスタム。



大胆にそしてカッコいいボディラッピング。あえて半面だけというのもイイネ。



車中泊の際に役に立つのがこの自作のウインドウバグネット。アイデア豊富だ。

SPECIFICATION

WHEEL ●TT K (14×4.5J+35)
TIRE ●トーヨー (185/70-14)
EXTRIOR ●ジムニー純正 [SUZUKI] エンブレム流用、ヘッドライト=ライトスポークレンズカバー、テールレンズ=DIY塗装、ボディラッピング、リアライトガード、フロントアンダーガード、アンダーLED、タグマスターヒッチメンバー、ワークライト (ルーフ&リア)、A-STYLE ヒッチキャリア、KCドライビングライト、TERZO ルーフキャリア/サイクルキャリア、自作フラットパネルキット/ウインドウバグネット、リアワイパー撤去バックカメラ化、ルーフ/ドアデッドニング
INTERIOR ●ステアリング=モモ、シートカバー=ユアブランドシートカバー、インパネ=AutoGage
メーターラッピング、プッシュスタートスイッチ
SUSPENSION ●スプリング=エスベリア アップサス
MUFFLER ●ウィルズウィン
TUNING ●ウィルズウィン製 大型パワーチャンバー

専用のタープを広げて気持ちいい！



奥様と一緒にオフ会を楽しんでいる石間さん。専用のタープがとても素敵です。

見た目はノーマルだが、内装はドアにデッドニングを施しこだわりのサウンドを実現している。



足元はスキの純正スチールホイールを装着して、クラシカルなムードを演出する。

ハスラー
MR31S・平成27年式
石間 亘さん
(静岡県)



SPECIFICATION

WHEEL ●スズキ純正スチールホイール
TIRE ●ファイアストン
INTERIOR ●ドア=デッドニング
SUSPENSION ●スプリング=インチアップ

低く、そして目立つ、そんなハスラーで登場した龍さん。次の進化も楽しみです。

ゴージャスなアイテムを数多く開発する、「D.A.D」でおなじみのギャルソンが開催したWEB上のドレコン。投票はFacebookとLINE、Twitterで行うというイマドキな手法。各方面から多くのユーザーが参加し、その中から栄えある「マイスター」たちが選ばれた。

D.A.D オーナーズ ミーティング

お気に入りのピンクの
モノグラムレザーカバー！
特注シートカバー！

KSP
RECOMMEND

スタム決定!!



黒×ピンクの色使いが
ブランドの高級感にマッチ

D.A.Dをこよなく愛するオーナーたちがエントリし、大盛況のうちに幕を閉じた「D.A.Dオーナーズミーティング」。何と総勢100台のエントリー車両の中から、投票で各賞を決定する熱きWEB上ドレスアップコンテスト。今回は本誌も賞を用意し、見事「Kカーズスペシャル賞」に輝いたのが祐奈さんのタントカスタム。

クルマを見てみると、徹底的にD.A.Dのアイテムでコーディネートされているからビックリ。しかもただパーツをポン付けしただけではなく、女性らしいセンスも加えてオリジナリティを



エアロの開口に美しくマッチした、D.A.D4本出しマフラー。上部のエムプレムをアピール。



D.A.DのエアロはL350Sタント用の設定がないため、L175Sムーヴカスタム用をニコイチで装着。



ピンクのモノグラムレザーをふんだんに使った特注シートカバー。天井もピンクで張り替えたかったそうだが、生地が足りなくて断念した。



もちろんフロントテーブルはD.A.D。ドリンクホルダーに設置した灰皿もピンクを選んだ。



天井は黒モノグラムレザー張り。中央のラインは別色の生地を使い、LEDホールも投入。



ルームミラーもピンクのモノグラムレザー仕様。こちらも激レアな直営店限定カラーである。

SPECIFICATIONS

WHEEL ●ギャルソン・D.A.D ツェンレイン109ジュエル (17×6J+40)
TIRE ●ヨコハマ (165/40-16)
AERO PARTS ●F/S/R=ギャルソン・D.A.D ZXエディション (L175Sムーヴカスタム用) 加工
EXTERIOR ●グリル=プレジァティモ、フェンダーモール&エムプレム=ギャルソン、ヘッドライト&テールレンズ=ワンオフ

INTERIOR ●ステアリングカバー&シートカバー&インパネ&フロアマット=ギャルソン、ドア内張り&天井=張り替え
SUSPENSION ●エアサス=エアゼニス、リアアクスル=ワンオフ
MUFFLER ●ギャルソン
AUDIO ●ウーファー&追加モニター=ギャルソン

Kカーズスペシャル賞は

祐奈さんの タントカ

D.A.Dオーナーズミーティング
Kカー部門の受賞車はこの2台!

インテリアマイスター

L375S TANTO CUSTOM

Owner

つなちやわさん

車内はD.A.Dモノグラムシリーズのアイテムで埋め尽くされ、ワンオフの小物も多く取り入れたことで高い評価を得た1台。



エクステリアマイスター

JB1 LIFE

Owner

ひかちむさん

今も根強い人気を誇る、ブラックマフィアのエアロでワルッぽさをアピールしたライフ。カスタムペイントも凝っている。



L350S
TANTO CUSTOM
平成19年式

Owner

長嶋祐奈さん
(埼玉県)



フルD.A.D仕様のセルシオに乗っていた夫の影響で、ギャルソンにハマった祐奈さん。チームメンバーからタントを譲り受け、自分色に染めた!

出したのが好印象。それを象徴するのが、ビビッドなピンクでの塗り分け。フロントの開口部やグリル、ボンネットスポイラーなどバランス良くピンクを加え、黒×ピンクの色使いでセクシーにまとめたところが評価に繋がったと言える。

そのカラーコードは内装にも活かされ、シートカバーを筆頭にピンクをたっぷり加えてキュートにキメ。特にシートカバーは、貴重なピンクのモノグラムレザーを使ってワンオフで作ったこだわりの逸品。D.A.Dレイクタウンアウトレット店の店長に何度もお願ひしてワンオフを依頼した経緯もあり、完成した時の嬉しさは格別。大好きなブランドに囲まれ、本当に幸せそうな祐奈さんであった。



LaLa Palm KC-8 ララパーム KC-8 マルゼンオリジナルカラー

MALUZEN ORIGINAL COLOR

問:マルゼン ☎0120-252-353 <http://www.maluzen.com>

サイズ:14×4.5J/15×5J(4H-100)
価格:1万5500円~2万2000円(税抜き)
カラー:ピンクメタリック



キャッチーなロゴ入りエンブレムはシンプル系コーデにドンピシャ。硬派なスポーツテイストを打ち出したいならコチラを推す。



骨太な8本バナナスポークがマッシブにもポップにも映る絶妙な進化系デザイン。メイク幅を拡げてくれる使い勝手の良い1本。



椰子の木が描かれたセンターキャップも用意されており、コチラはポップなメイクを目指すなら効果的。キャル風味を目指そう。

イマドキ化が図られたバナナホイールの進化系

永遠のマスターピースといえるバナナホイールの進化系といえるのが、この「ララパームKC-8」。リムに向かって太さが増していくマッシブなデザインなのに、どこか愛らしい印象を感じるのは、ひとえにカラーリングのおかげではないかと。

このピンクメタリックはタイヤ&ホイールのメガストアとして知られるカーポートマルゼンだけが取り扱っている限定色となり、早くも女子のあいだで話題騒然となっていると聞いた。シンプルなデザインゆえに見飽きることもなく、どんな一台にでも意外なほどのマッチングぶりを披露してくれそうな予感。

ドレスアップの第一歩としても上級者のパワーアレンジにも効果を発揮してくれそうな1本、それがKC-8の魅力だろう。

TC01

問:ESB
☎072-369-7080
http://www.esb-style.com

男気あふれる 鉄っちゃんワイド出現!!



普遍性の高い星型5スポークがオールドスクール感を強調。男っぽい硬派なアレンジを活かした野性的なアプローチを目指そう。



往年を賑わしたディープリム構造の採用により、迫力満点の足元づくりが可能に。スチール製だからコストに優れる点も嬉しい。



カラーリングはあえてのホワイト一択。だからこそ硬派なデザインに爽やかな雰囲気が出るわけで、じつは意外と確かなチョイスだと思う。

カスタマイズ黎明期に流行に流行った純正スチールホイールのリムワイド加工。その快気に満ちたロマンをいまのシーンに問う衝撃作が堺市に誕生した。手掛けたのはハードコアな作品づくりで知られるESB、ホイール名は「CLS TC01」という。存在感にあふれるたっぶりとしたリップ幅、オールドファンならずともむせび泣く星型デイスク、自分色に染め甲斐のあるホワイト一択、すべてが懐かしつつ新鮮なインパクトに満ちた逸品ぶり。これほどの存在感を訴求しながら、価格は驚くほどリーズナブルともくれば、購入する価値はすこぶる高いといえるハズ。設定は15インチ、7J+35/+10と、8J+20/マインス10の計4モデルのみ。人氣爆発はまず間違いない!!

サイズ:15×7J / 15×8J (4H-100)
価格:1万4000円~1万5000円(税抜き)
カラー:ホワイト



PASSAGE パサージュ デュオ

Duo

問:ホットスタッフ コーポレーション

☎092-303-8033

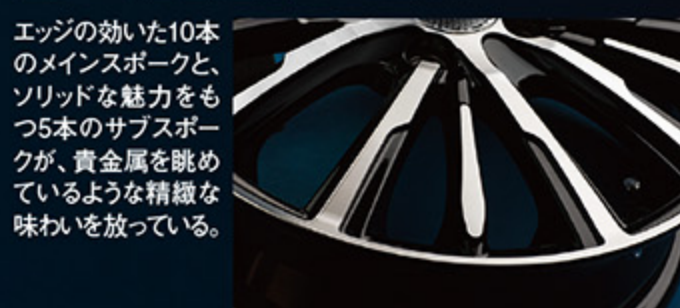
http://www.hotstuff-cp.co.jp

実際に、ブラックポリッシュにしろ、シルバーポリッシュにしろ、貴金属を眺めているような繊細な風味があり、上級車へマッチングしても車格に負けない存在感を発揮してくれるに違いない。設定は14×4.5J～16×5J、使い勝手の良いサイズラインアップとカラーが揃う点も心強い。

10本のメインスポークと5本のサブスポークがおりなす絶景ともいうべき造形美はどうか。小振りなセンターパートも相まって、実際以上に大きく映るというビジュアル効果も獲得するなど、真円内全域が緻密にデザイン計算された結果だと思う。いわゆるダブルフェイスデザインは高級感を訴求するのにドンピシャながら、この「パサージュデュオ」は通常以上の上質感が味わえそうではないか。



ベゼル状アレンジが効いた高級感あふれるセンターキャップが、質感をさらに強調する。小振りなセンターディスクも視覚的な大径化に貢献。



エッジの効いた10本のメインスポークと、ソリッドな魅力をもつ5本のサブスポークが、貴金属を眺めているような精緻な味わいを放っている。



中央からゆるやかに隆起してリムへと接続されており、リム幅以上の立体感を覚える。絶妙のデザインコントロールであり、質高さが際立つ。

足長感を訴求する 絶妙のスポークデザイン



ブラックポリッシュ

シルバーポリッシュ

問:ホットスタッフ コーポレーション

☎092-303-8033

http://www.hotstuff-cp.co.jp

ブラック&レッドライン



紋章風の硬派なエンブレムが印象的なセンターキャップ。奇をてらわないストレートな仕立てぶりを強調するスマートな装い。



ムーンカバーを装着すれば、たちまちスポーティな風味は消え去り、一気にポップな印象へ。一粒で二度オイシイ贅沢なコンボ。



シンプルな10本スポークデザインとリム上を走るブルー&レッドラインが、剛毅なUSテイストを訴求。遊び心を活かすメイクを。

ホワイト&ブルーライン



ホワイト&ブルーライン_ムーンカバー



サイズ:12×3.5B~15×4.5J (4H-100)
価格:1万9000円~2万5000円(税抜き)
カラー:ホワイト&ブルーライン、
ホワイト&ブルーライン_ムーンカバー



ブラック&レッドライン_ムーンカバー

遊び心満点が活かせる 魅惑の2ウェイデザイン

ときにはレーシースパルタンで、ときにはキュートなギャル気取りで。そんな、その日の気分や趣向に応じて異なる表情を楽しむことができる注目作、それが「ララパームMD-10」。

シンプルなアポロンデザインとリム上を走るラインでレーシーな味わいを宿しつつ、センターキャップとムーンカバーを同梱することで、がらりと印象の違うホイールを装うことができる点が最大の特徴。素直な意匠が採用されているのでどんなメイクにも似合うだろうし、なによりユーザーなりの遊び心を活かしたコーデが楽しめそう。

ホワイト&ブルーライン、ブラック&レッドラインの計2色が用意されているので、愛車に合ったマツチングを考えたいところ。面白いホイールの登場である。

K.S.W. × D.A.D
Keitai Style Wagon

スペシャルコラボ

全員もらえる 新規入会キャンペーン!



ケータイ★スタイルワゴンがGARSON WEBDIRECTとスペシャルコラボ! 「D.A.Dオーナーズミーティング」にケースタ賞を設置したほか、スペシャルコラボ企画としてケータイ★スタイルワゴン新規入会者には新作非売品スペシャルコラボステッカーほか、激レア編集部グッズ全3種の中から好きなアイテムをプレゼント!

欲しい人は
今すぐ
アクセス!



※ステッカーの仕様は現在制作中につき、変わることがあります。

※非売品ステッカー・非売品ロゴTシャツ・編集部ロゴ名刺入れからご希望のものを1点お選びいただけます。

※入会時に賞品のご指定がない場合は「新規非売品コラボステッカー」を送付させていただきます。

11/30まで

三栄書房 〒160-8461 東京都新宿区新宿 6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7F TEL 03-6897-4611 (受付時間/平日10:00~17:30)

※公式サイト(情報料300円+税)及び、無料版(情報料無料)はiモード/EZweb/Yahoo!ケータイでご利用になれます(一部端末を除く)。※パケット通信料は別途かかります。※「iモード」及び「i-mode」ロゴはNTTドコモの登録商標です。※「EZweb」ロゴはau by KDDIの登録商標です。※「Y!」ロゴは米国Yahoo! Inc.の登録商標です。※QRコードは一部ご利用にならない携帯電話もあります。※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

D.A.D オーナーズミーティング K.S.W.賞 発表中!

先ごろおこなわれた「D.A.D オーナーズミーティング」もGARSONWEBDIRECT上で各マイスターが発表。

「ケータイ★スタイルワゴン」でも第一次・第二次と候補車を選出し、ついにK.S.W.賞がこのほど発表されたぞ!

「ケータイ★スタイルワゴン」賞
発表はこちら! →



この14台の中からK.S.W.賞が!!



雑誌掲載車は
この中のどれだ!?



KSP
RECOMMEND

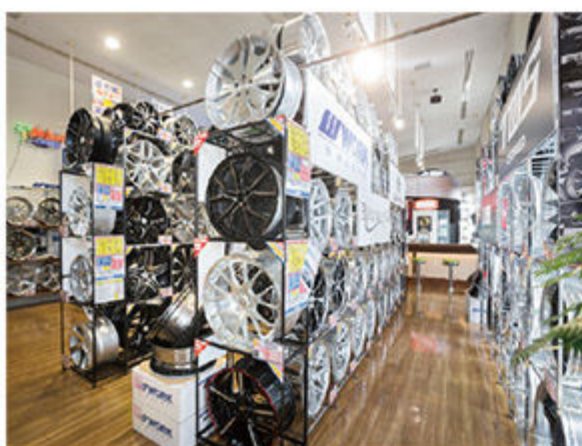


リアルマッチング

いざホイールを交換しようと思っても、高価な買い物だけに、失敗したくないのが人情。ニュースタイヤ&ホイールズでは、愛車の横にホイールを置いて、装着したときの雰囲気を確認できるので、オーナーも安心だ。



最新モデルが特別価格！ 大商談会を開催したぞ！！



SHOP HERE!

NEW'S Tire & Wheels

九州のドレスアップオーナーから熱い視線を浴びるタイヤ&ホイール専門店。数地内には、ドレスアップ&車両販売を行うニュースカーズを併設。クルマ選びからドレスアップをサポートしてくれる。

福岡県福岡市東区下原1-22-24
☎092-663-8185
営業時間／10:00～19:00
定休日／水曜日
<http://www.new-s.co.jp>



おどろきの特別価格

ニュースタイヤ&ホイールズがオープンしたのは、2014年9月。以来、九州のドレスアップを足元から支えてきた。今回、一周年記念ということもあり、普段以上の特別価格でホイールを購入できるチャンス。現在、「WORK ALL PRODUCTS」キャンペーンを対象に36回ローンまで分割手数料0%中だ。



ニュースといえば、九州のドレスアップを牽引してきた実力派ショップ。そんなニュースが昨年、九州最大級の品揃えと最安値を標榜してオープンしたニュースタイヤ&ホイールズは、地元にはなかったタイヤ&ホイール専門店として、ユーザーからも好評を集めている。
去る9月12日(土)と13日(日)

には一周年を記念した展示商談会を開催。店頭には有名メーカーのテントが並び、人気&最新モデルが間近に並ぶ。さらに当日は、特別価格にプラスして、契約特典として36回払い金利0%やロックナットのプレゼントを実施。両日ともに多くのお客さんが訪れ、足元のオシャレを楽しんでいたのだ。



有名メーカー勢揃い

ワークやウェッズ、スーパースター、さらにはレイズなどKスベでも馴染みのホイールメーカーがずらり。最新モデルなどを展示して、一周年記念を盛り上げていたのだ。



●開催日:11月8日(日)
●開催場所:ブルーメの丘(滋賀県)
●主催:D・S・U 執行部

秋のD・S・U杯といえば、春の予選を勝ち抜いた猛者が最後の戦いに臨む東西王座決勝の舞台。今回も、優勝旗を目指してリメイクを重ねてきたマシンがズラリ! 東西王座決勝に進んだクルマを中心に最新仕様をお届けするぞ! そぼ降る雨に負けない熱いドレスアップ魂をとくとご覧あれ!!

第49回 D・S・U杯 第12回東西王座決勝(K-CAR)



おしゃれなチューナーズVIP



ヘッドライトのイメージもチューナー系。アクリルをアルミでサンドイッチするなど、オリジナリティあふれるアイデアで製作。



H81W
eKスポーツ
平成18年式

OWNER
近藤友樹さん
(東京都)

「いまはインタークーラーがダミーなので、ゆくゆくはちゃんとパイピングをつなげたいです」と近藤さん。



ただ出すのではなく、造型にこだわったプリフェン。出し幅は、フロント5cm/リア10cmという超ワイドボディ。



フロントのイメージに合わせてリアを製作。マシは「派手過ぎず、シンプル過ぎず、キレイに魅せる」を意識。



おしゃれなチューナーズVIPがモチーフ。フロントはアウディ用エアロを加工する。「ボディ色は、あえて渋くメタリックブルーです」。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・マ イスターM1R(17×F9J±0、R10J-22) TIRE ●グッドイヤー(F205/40-17、 R215/40-17) AERO PARTS ●F/ S/R=ワンオフ EXTERIOR ●プリ スターオーバーフェンダー&ヘッドライト= ワンオフ INTERIOR ●ステアリング =モモ、シート=レカロ張り替え、フロア マット=ワンオフ、インパネ=張り替え SUSPENSION ●エアサス=ボルド ワールド、リアアクスル=ジェーライン BRAKE ●キャリパーキット=ファイナル コネクション MUFFLER ●ワンオフ ほか MAKING SHOP ●ディメン ションファクトリー

見どころは最先端の ヘッドライト!



ブルーとイエローのコーディネートに加え、グリーンをプラス。「プラスチックの部分は、ほぼ植毛してもらっています」。



ベゼルのLEDヘッドラ イトのモデル&ロービームを移植。「インナーをイチから作り直して、なんとか入りました」。

ドアに新たにイルミネー ションパネルを増設。現 物合わせのため、何度 も付けて削り削りてを繰り返して完成したという。



SPECIFICATIONS WHEEL ●スーパースター・レオンハルトプログレスラインビューゲル(16× F7J+29、R7.5J+15) TIRE ●クムホ(165/40-16) AERO PARTS ●F/S/R=KLC- コンプレッサー加工 EXTERIOR ●グリル=ワンオフ、ウイング=KLC、フェンダー=ア ーチ上げ&プリスター化、ボンネット=ワンオフ、ドアミラー=18クラウン純正LED加工、ヘ ッドライト=純正加工 INTERIOR ●ステアリング&シート&ドア内張り&天井=張り替え、 フロアマット=ワンオフ SUSPENSION ●車高調=ワンオフ、リアホーシング=サティス ファクトリー MUFFLER ●ワンオフ ほか MAKING SHOP ●D.K factory

JB3
ライフダンク
平成13年式

OWNER
中山裕文さん
(兵庫県)

「プレスラインのエッジが立つ ように、前のボディ色をすべて はがしてから、プレスラインを作 り直しています」と中山さん。

シトロエンをモチーフにした中山ダンク。 Aピラーだけ上までシャンパンゴールドを残し、フロントトムトップ風に見せる。





フロント&サイドにアンダーカナルを装着し、スポーティさを主張するナオ吉ワゴンR。ウィング純正グリーンの全塗装に合わせ、塗り分けはガンメタ。



MH23S
ワゴンR
平成20年式

OWNER
ナオ吉さん
(茨城県)



5本スポークのデランダルは限定色。「グリーン」のボディカラーに合うかな？安でしたが、意外と似合いました。



「スポーティさに加えて、ワイド感を出してみました」とナオ吉さん。「全体的に“やった感”が出せました。」

ラゲッジオーディオは立体感が出るように「ワゴンR」を左右に配置。コナではなくシムルに。

コンセプトは スポーティ！

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・デュランダルDD5.2(17×F8J-7、R9J-20) TIRE ●ATR-K(F165/40-17、R195/40-17) AERO PARTS ●F=ケイブレイク&ユースタイル、S=ケイブレイク・コンプリート加工、R=ケイブレイク&スリフト用 EXTERIOR ●オーバーフェンダー=ワンオフ、ヘッドライト&テールレンズ=クリスタルアイ INTERIOR ●ステアリング=モモ、シートカバー&フロアマット=グレース、インパネ=張り替え SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=ワンオフ BRAKE ●キャリパー=ブレンボ(インテグラ用) ほか MAKING SHOP ●RSプロジェクト

真っ赤なボディの 赤鬼仕様！

JB3
ライフダンク
平成15年式

OWNER
さとぴ〜さん
(神奈川県)

「ボディカラーは、赤鬼で有名な富岡さんのカルディナが塗っていたレッドを使わせてもらいました」とさとぴ〜さん。



スバルレヴォークのフォグまわりを参考に、さとぴ〜さんがデザインを描き上げた。リアウィングの両サイドを残し、赤鬼仕様。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・エクイップ03(15×F7J-3、R9J-31) TIRE ●ピレリ&ファルケン(F165/45-15、R195/45-15) AERO PARTS ●F/S/R=ワンオフ EXTERIOR ●ウイング&ブリスターオーバーフェンダー&ボンネット=ワンオフ INTERIOR ●シートカバー=ワンオフ、インパネ=塗装 SUSPENSION ●車高調=エイムゲイン、リアアクスル=ケースベック MUFFLER ●センスブランド ほか MAKING SHOP ●KSK

安定感のあるワイドフォルム



スポーティさがアクセントになっているガナドールのエアロミラー。「以前から取り入れたいと思っていたんです」と有加里さん。



MH21S
ワゴンR
平成15年式

OWNER
山本大地さん
(岡山県)

「自作を推すわけではないけど、決勝には自分で手を加えて出したかった」と意気込みを語る山本さん。

左右非対称の色使い



迫力のオーバーフェンダーが目を惹くワゴンRステイグレイ。クッキリとアーチを見せつつ、スノを絞ってトレッド面もアピール。



インテリアのテーマは、左右非対称。運転席側をピンク、助手席側を紫という色使いで仕上げる。「ダッシュボードの張り替えは自分たちです」。

MH23S
ワゴンR
ステイグレイ
平成20年式

OWNER
中村有加里さん
(滋賀県)



「光の加減で、表情が変化するオリジナルキャンディレッドのボディカラーも自慢です」と有加里さん。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・マイスターS1R(17×F9J-9、R9.5J-15) TIRE ●ナンカン(F195/40-17、R205/40-17) AERO PARTS ●F=ケイブレイク・コンプリートクワタ加工、S/R=ケイブレイク・コンプリートクワタ EXTERIOR ●オーバーフェンダー=ワンオフ、アイライン=スズキスポーツ、テールレンズ=ステラファイブ、ドアミラー=ガナドール SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=バルテック BRAKE ●キャリパーキット=ティーデッド ほか MAKING SHOP ●リフェクト



SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・リザルトードメッシュ(17×F7.5J+9、R8.5J-4) TIRE ●ナンカン(F165/35-17、R185/35-17) AERO PARTS ●F=エイムゲイン・シングナス&NKB、S=ブローデザイン・モードバルファム加工、R=エイムゲイン加工 EXTERIOR ●グリル&ブリスターフェンダー=ワンオフ、ヘッドライト=エアクリ移植、テールレンズ=RR純正 INTERIOR ●シートカバー=ブロッサム、各部フロッキー&張り替え SUSPENSION ●エアサス=イデアル、リアホーシング=サティスファクトリー加工 MUFFLER ●ワンオフ ほか MAKING SHOP ●エスイズ、サウンドマリーナ

シンプルかつスポーティに!



「シンプルでスポーティな感じが好きで、バルファムのバンパーは開口部を加工し、インテーククーラーを覗かせる。リアはジンを装着。」



運転席側をセミバケに変更。「助手席は、彼女が乗り降りしやすいように、純正のままです」。

「インパクトが欲しくて」マイスターS1Rを装着。あえてボディと真逆の色でメリハリをつけている。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・マイスターS1R (16×6.5J+32) TIRE ●クムホ (165/40-16) AERO PARTS ●F=ブローデザイン・モードバルファムファントム雅夢加工、R=ブローデザイン・モードバルファムジュン EXTERIOR ●テールレンズ=LED加工 INTERIOR ●シート=ビーフリー、インパネ=張り替え SUSPENSION ●車高調&リアアクスル=イデアル MUFFLER ●ガレージBほか MAKING SHOP ●ガレージB



**MH23S
ワゴン
平成23年式**

**OWNER
辻上 裕哉さん
(和歌山県)**

「内装の張り替えやスポーティな小物を追加していきたい」と今後の予定を話す辻上さん。彼女の安紗香さんと。



ウーファーを埋め込み、シンプルに作り込んだラゲッジ。内装にはピンクの使い、外装とのギャップを楽しんでいる。



**LA100S
ムーヴ
カスタム
平成22年式**

**OWNER
青山 裕介さん
(静岡県)**

「前後バンパーを加工する予定です」という青山さん。シンプルさを追求する造型で仕上げていくとのこと。

シンプル×後付け オバフェンの妙技



ジェーラインが好きで、東北仕様のシンプルスタイルを追求している青山さん。「ジェーライン仕様としてははみらない」とJRDを履く。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ジェーライン・JRD RD-M9 (16×7J) TIRE ●(165/40-16) AERO PARTS ●F=KLC-エターナル加工、R=ブレイジアティシモ加工 EXTERIOR ●オーバーフェンダー=ESB、ヘッドライト=純正加工 INTERIOR ●フロアマット=ジェーライン、各部張り替え SUSPENSION ●車高調=ジェーラインwithモードバルファム、リアアクスル=純正加工 MUFFLER ●ネオヤンキーほか MAKING SHOP ●ファーストステージ

「流行ってるので、やってみたら面白い」とバルワークスを装着。「シンプル系でもアリでした(笑)」。



**MH23S
ワゴン
Rスティングレー
平成22年式**

**OWNER
代田 晃章さん
(千葉県)**

「スペシャルステージのときは、その日だけのお試しでしたが、このイベントに合わせて、納得の外装に仕上がりました」。



「足まわりの仕様変更に合わせて、目立つように全塗装しました」というボディカラーは、メタリックキャンディゴールド。



フロントのキャンパーは11度、前はリアに15度付けてみたが、フロントに合わせて13度にしました。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・シーカー EX (16×F8J-4, R9J-17) TIRE ●ATR-K&ヨコハマ (F165/40-16, R195/40-16) AERO PARTS ●F/S/R=エイムゲイン・ユーロエディション加工 EXTERIOR ●ウイング=ケイブレイク、オーバーフェンダー=ワンオフ、テールレンズ=ワゴンR純正 INTERIOR ●ステアリング=パーソナル、シートカバー=エルティード、フロアマット=エムアイシー、インパネ=張り替え SUSPENSION ●車高調=326パワー&日正タイヤ、リアアクスル=バルテック MUFFLER ●ワンオフほか MAKING SHOP ●JMSection



**L175S
ムーヴ
カスタム
平成19年式**

**OWNER
濱田 涼さん
(兵庫県)**

「今後は、内装やブレーキをドレスアップしたいです」と濱田さん。お兄さんの影響でドレスアップをスタートした。



ボンネット短縮&グリル延長によって、バックフェイイスを強調。「純正から続くように、ラインを追加してもらいました」。



前後のキャンパー角を8.5度でそろえた美脚仕様。32ガレージらしくツライチセッティングでもしっかり走れる仕様。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・リザルタードメッシュ (18×F8J+15, R8J+3) TIRE ●ナンカン (185/35-17) AERO PARTS ●F/S/R=KLC-プレミアムパフォーマンスエディション+加工 EXTERIOR ●ウイング=ブローデザイン、テールレンズ=純正加工、ボンネット=ワンオフ SUSPENSION ●車高調=日正タイヤ&イデアル、リアアクスル=純正加工 MUFFLER ●ワンオフほか MAKING SHOP ●32 Garage

ユーロGTを意識したフォルム



ドレスアップのイメージはユーロ。「フロントバンパーは、TWSのベンツを参考にしています」と濱田さん。



サンルーフカバーも、往年のVIPを思わせるデザインを採り装着。細かい部分にも、自分の信念を貫いている。



MH21S
ワゴンR
平成18年式

OWNER
矢貝光紳さん
(山梨県)

「VIPが好きなので、流行にながれず、自分のクルマは、自分がやりたいようにやる」がポリシーの矢貝さん。



グッドワンファクトリーのエアロは、各部をバランスよく加工して、自分の好きなVIPを追求。ボディカラーは「欲求不満な紫」です。



「昔のVIPでありましたよね?」というリアスポのスムージング。同時に、厚みなども切って詰めて加工した。



スポーティなVIPスタイル

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・VS-KF(16×F7J+19、R8J+7) TIRE ●クムホ(165/40-17) AERO PARTS ●F/S/R=グッドワンファクトリー加工 EXTERIOR ●プリスターオーバーフェンダー=ワンオフ、ウイング=グッドワンファクトリー加工、ヘッドライト&テールレンズ=LED加工 INTERIOR ●ステアリング&シート&インパネ=張り替え SUSPENSION ●車高調=ジェーライン with モードバルブファム、スプリング=ワンオフ、リアアクスル=バルテック BRAKE ●キャリパーキット=イデアル加工 MUFFLER ●ヴァルド加工 ほか MAKING SHOP ●ペイントショップベスト



ド迫力のボディメイクは必見



BMWをモチーフに大胆なボディワークが冴え渡る伊藤ダンク。ボディカラーは、ガンダムに登場するザクをヒントに。



「前から見ても、横から見ても、後ろから見ても好き」なクッキリフェンダーにリア10Jをマシニング。



JB3
ライフダンク
平成14年式

OWNER
伊藤義八さん
(三重県)

「外装は仕上がったので、内装やオーディオをやっていきい」と伊藤さん。東西王座決勝に向け、外装をフルリメ。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・マイスターM1R(17×F9J、R10J) TIRE ●グッドイヤー(F205/40-17、R215/40-17) AERO PARTS ●F/R=KLC-コンプレッサー加工、S=ロリンザー加工 EXTERIOR ●ウイング=ケイブレイク、オーバーフェンダー&ボンネット=ワンオフ INTERIOR ●シートカバー=グレイス、インパネ=張り替え SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=ケースベック MUFFLER ●ワンオフ ほか MAKING SHOP ●ディメンションファクトリー



MH21S
ワゴンR
平成19年式

OWNER
剣持義明さん
(神奈川県)

「来年あたりに内装をやりたいです」と剣持さん。今年のはじめくらいに、プライベートの事件がきっかけでリメイク。



シブアートもピンクでコーディネート。「非売品のピンクで、世界にこれしかない」という自慢の品。



ボディカラーは、ヴィッツ純正にラメやパールを増やしたオリジナルピンク。リアはスムージングを駆使し「派手に見えつつ、実はシンプルです」。



ブラックマフィアのデザインを活かしつつ、大胆に面をくり抜いたバンパー。「デイトも埋め込んで、今風にしてみました」。



ブラックマフィアを今風に!

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・シュヴァートSC2(16×6J+18) TIRE ●ナンカン(165/40-16) AERO PARTS ●F/R=ギャルソン・ブラックマフィア加工、S=ギャルソン・ブラックマフィア EXTERIOR ●ウイング=バタフライシステム、ヘッドライト&テールレンズ=純正加工、各部スムージング INTERIOR ●シートカバー=クラツィオ、インパネ=塗装 SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=ジェーライン MUFFLER ●ワンオフ ほか MAKING SHOP ●KSK



L575S
ムーヴコンテ
カスタム
平成20年式

OWNER
おもちもちさん
(山梨県)

「コンテを買ったときは、まさかここまでいじるとは思っていなかった」とおもちもちさん。次はフロントを予定。



外はシブく、中はカワイく♪



以前はショップロゴだったパネルを「大好きな、くまのプーさんをエアブラシで描いてもらいました」。花とハチも描き、楽しく遊んでよう。



SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・シーカーCX(17×F8J、R9J) TIRE ●ナンカン(F185/35-17、R195/40-17) AERO PARTS ●F=純正加工、R=ワンオフ EXTERIOR ●グリル=純正加工、オーバーフェンダー&ボンネット=ワンオフ INTERIOR ●ステアリング&インパネ=張り替え、シートカバー=グレイス、フロアマット=ワンオフ SUSPENSION ●エアサス=イデアル、リアアクスル=バルテック BRAKE ●キャリパーキット=イデアル MUFFLER ●ワンオフ ほか MAKING SHOP ●グランツ

ツラをしっかりと出すために、一度作り直したワンオフオバフェン。「見てもわからないくらい微妙な違いです」。

LIVE!
660
OWNERS

- 開催日:10月4日(日)
- 開催場所:イオックス・アローザスキー場駐車場(富山県南砺市)
- 主催:\$SUCCESS\$事務局

北陸ドレスアップユーザーのやる気を底上げしてくれる「北陸加賀百万石」も、今回でなんと30回目のアニバーサリー。数々の名車を生み出してきたこのイベントだが、今回は石川県から富山県にステージを移し、熱いバトルが繰り広げられた。そのレベルの高さには定評があるぞ。

第30回記念チャリティー 北陸加賀百万石杯



こだわって作った自慢の
愛車をじっくり見てくれ



赤からオレンジゴールドに全塗装

リアのナチュラルプリスターは8.5Jの深リムSSRヴィエナを飲み込む。次はヘッドライトのリメイクを予定。

SPECIFICATIONS WHEEL●SSR・ヴィエナメーリア(16×F6.5J+26、R8.5J±0) TIRE●ATRスポーツ(F165/40-17、R205/40-16) AERO PARTS●F=モードバルファム加工、S=ケイブレイク加工、R=フィール加工 EXTERIOR●グリル=ブローデザイン、ヘッドライト=ワンオフ INTERIOR●シートカバー=グレイス、インパネ=塗装 SUSPENSION●エアサス=イデアル、リアアクスル=ジェーライン MAKING SHOP●ガレージロイヤリティ



MH21S
ワゴンR
平成17年式

OWNER
飯田真平さん
(滋賀県)

「ロイヤリティ」のメンバーとしてイベントにも積極的に参加している飯田さん。

リアのラゲッジをいっぱい使ったオーディオに注目。サウンドももちろん大迫力。



ラゲッジ部分に支柱を立て、その上にはエアサスのタンクをセット。この置き方は面白い。



ヘッドライトは大粒のLEDを敷き詰める。このビジュアル的なインパクトは抜群。



バックフォグは20マジェスタ用を移植。新たにLEDを打ち込み雰囲気を変える。



HE21S
ラバン
平成18年式

OWNER
三村和弘さん
(岡山県)

「リアブレーキをどうするか迷っています」と三村さん。まだまだ進化させる予定です。



エアロはモードバルファム雅夢レガリアを加工。ホイールはBBSを履き、高級感を活かしながらドレスアップを施す。キャンバーの角度もやり過ぎない。



リアシートを取っ払い仕上げたラゲッジオーディオ。「キレに大きく鳴るように作ってます」。

高級感をアクセントに



SPECIFICATIONS WHEEL●BBS-RS(16×7J+50、R7J+25) TIRE●クムホ(165/45-16) AERO PARTS●F/R=ブローデザイン・モードバルファム雅夢レガリア加工、S=ブローデザイン・モードバルファム雅夢レガリア EXTERIOR●ヘッドライト&テールランプ=純正LED加工、フェンダー=アーチ上げ INTERIOR●シートカバー=クラツィオ、インパネ&天井=張り替え SPENSION●車高調=(F)日正タイヤ&(R)モードバルファム、リアアクスル=グロスラインオリジナル可変式 BRAKE●ウィルウッド MAKING SHOP●グロスライン、サウンドマリーナ



黒の塗り分けに注目



MH23S
ワゴンR
平成20年式

OWNER

黒たんさん
(岐阜県)

実はこれからフルリメイクを考えているという黒たんさん。再度のフェンダー加工も考えている。



黒の塗り分けでホワイトボディにメリハリを出す。フェンダーはツメ切りして、さりげなく叩き出している。



開口部中央にあつたラインをカットして、その上部に5連のLEDを埋め込む。スポーティな印象に。



ワンオフマフラーを装備するためにESBエアロを加える。バンパー上部を黒くするのはエエワークだ。

SPECIFICATIONS WHEEL●ステルス(16×F7.0J+25) TIRE●エコノミスト(F165/40-16) AERO PARTS●F/S/R=ESBアンバーサリ加工 EXTERIOR●グリル=ベンツEクラス、テールレンズ=コーリン SUSPENSION●車高調=オリジナル、リアアクスル=JIC MUFFLER●オリジナル MAKING SHOP●Sプロデュース



プロジェクターを組み、イカリングもセット。夜の雰囲気が一変する仕上がり。



「エアロがないので、今度バルファム風にワンオフしようと思っています」と久保田さん。

ブラウン系の室内は「カフェのような感じに」したくてこの配色にしました。



L675
ムーブコンテ
カスタム
平成21年式

OWNER

久保田 光さん
(新潟県)



手に持っているのは仙台のゆるキャラ「むすび丸」。ボディのブラック塗り分けもむすび丸意識とか。

SPECIFICATIONS WHEEL●リバーサイド・トラフィックスターC-VZ(16×5.5J+45) TIRE●ハンコック(165/45-16) EXTERIOR●フェンダー=オバフェン加工 INTERIOR●シートカバー=グレイス、インパネ=自作スエード貼り SUSPENSION●車高調=ファイナルコネクション、リアアクスル=ジェーライン MUFFLER●KLC MAKING SHOP●ENRICH

富山の軽トラ仲間

Low Intelligence K-truck TOYAMA



ヤンキーホーンのタンクもキャンディレッドでワンポイントに。軽トラだと似合うから不思議。



翔プロデュースのバンパーをレクサスのスピンドル風に加工。塗り分けすることで、より立体感をアピール。



新型キャライもカッコ良く

サイドステップの下にはトタン板で自作のアンダーフラップを付けている。これでエアロの割れや破損を防止しているのだ。

SPECIFICATIONS WHEEL●ワーク・リザルタードスポーク(17×F6.5J+25、R7J+30) TIRE●ルッチーニ(165/35-17) AERO PARTS●F/S/R=翔プロデュースノベル EXTERIOR●フェンダー=翔プロデュース、テールランプ=ステラファイブ INTERIOR●シートカバー=翔プロデュース SUSPENSION●車高調=翔プロデュース、スプリング=326パワー

DA16T
キャライ
平成24年式

OWNER

川前真也さん
(富山県)



ホイールはワーク・リザルタードの翔プロデュース専用カラー。ホイールキャップにも「翔」の文字が。

「実は軽トラは2台持っていて、こっちは完全に遊びクルマになっちゃいました」と川前さん。



荷台には昇り龍のエアブラシが。キズを付けるのが心配で、荷物を置くことを躊躇しちゃいます。

S211P
ハイゼット
トラック
平成24年式

OWNER

川口靖博さん
(富山県)



180で走り屋をやっていたタイヤ運び用だったんですけど、今やこっちがメインになっちゃいました(笑)。

SPECIFICATIONS WHEEL●ワーク・ジュヴァートSC4(17×7J) TIRE●ルッチーニ(165/35-17) AERO PARTS●F/S/R=翔プロデュースノベル加工 EXTERIOR●フェンダー=翔プロデュース SUSPENSION●車高調=翔プロデュース、スプリング=326パワー

スピンドル顔面のハイゼット



今回のホワイトはレクサス純正のホワイトパールクリスタルシャインをベースに調合。リアバンパーはクラウンをイメージする。



内装は赤をメインにして外装とのギャップを図る。シートは赤レザーで張り替えたレカロを装備。



リアもデイズクフレキ化。前後ともにウィルウッドのキャリパーとウエーブローターを採用する。

SPECIFICATIONS WHEEL ●アイフォース・FD-50S (17×F6.5J+31, R6.5J+5) TIRE ●ルッチーニ (165/35-17) AERO PARTS ●F/S/R=ブローデザイン・モードバルファムファントム雅夢加工 EXTERIOR ●グリル=メッキ加工、ボンネット&フェンダー=純正加工、ウイング=ワンオフ INTERIOR ●ステアリング=イタルボランテ張り替え、シート=レカロ張り替え、各部張り替え SUSPENSION ●車高調&リアアクスル=ガレージB BRAKE ●ガレージB MUFFLER ●セッション加工 MAKING SHOP ●ガレージB



こちらシートはレカロ。白レザーに張り替えてゴージャスに。



後付サンルーフで高級車意識。見た目のカッコ良さだけでなく、実用性もある。

MH22S
ワゴンR
スティングレー
平成20年式

OWNER
けーたさん
(奈良県)



「こんにゃく屋さんで働いています」とけーたさん。来年の目標は「まだ行ったことのない東北遠征です」。

さりげなくシンプルメイク



SPECIFICATIONS WHEEL ●フロントライン・FLS-01 (16×F7.0J, R7.5J) TIRE ●ルッチーニ (165/40-16) AERO PARTS ●F/S=エイムゲイン加工、R=ケイブレイク加工 EXTERIOR ●テールランプ=LED加工、フェンダー=ワンオフ INTERIOR ●シート=レカロホワイトレザー張り替え、インパネ=ホワイトレザー張り替え SUSPENSION ●車高調=ガレージBオリジナル BRAKE ●イデアル MAKING SHOP ●ガレージB



ロックフォードのスピーカーを並べたトランクオーディオ。ふたつあるアンプもロックフォードだ。



前作がアクレシブだったため、今回は前後バンパーともにシンプルに。自慢はさりげなく叩き出したリアのフェンダーメイク。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

ハイレベル車がズラリ揃う 「SPEED☆STAR」



MH21S
ワゴンR
平成15年式

OWNER
田中優衣奈さん
(奈良県)



黒からカメラレッドパール、そしてレクサスホワイトに3度全塗装した田中さん。かわいい赤ちゃんと一緒に。

ガレージBワンオフの車高調とアクスルで、BBSホイールはリムかぶりの低さ。ファントム雅夢加工のフロントはスーブラ用3連ダクトが目立つ。



L175S
ムーヴ
カスタム
平成22年式

OWNER
ぼんさん
(滋賀県)

仲間と一緒に全国へ遠征中



奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

奈良の腕利きショップ、ガレージBに全幅の信頼を置いていたぼんさん。関東や北陸など仲間とともに遠征中。

ピンクボディは 地元でも有名車



MH23S
ワゴンR
スティングレー
平成23年式
OWNER
大和亮太さん
(愛知県)

これからはフェンダー加工と内装を手がけたいという大和さん。まだまだやる気まんまん。



バックランプはハイエースのハイマウント用を移植する。マフラーはセンズブランド。



スペックのフロントバンパーは、丸みのある開口部を加工して、迫力ある仕上がり。ピンクと黒の塗り分けでレックス風を強調する。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・リザルタードメッシュ(16×F7J+40、R7J+25) TIRE ●クムホ(165/40-16) AERO PARTS ●F=スペック・Sスタイル加工、S/R=ケイブレイク・コンプリートプラチナム EXTERIOR ●ヘッドライト&テールランプ=ワンオフ SUSPENSION ●車高調=ワンオフ、スプリング=スワフト、リアアクスル=ジェーライン MUFFLER ●センズブランド



天井は自作したゼブラ柄。「うまく出来ていないのでやり直します」。

夫婦でドレスアップを楽しむ

同じダクトを入れて
パールック仕様です!



MH23S
ワゴンR
スティングレー
平成21年式
OWNER
谷なおみさん
(栃木県)



旦那さんの影響でドレスアップを始めたあゆみさん。一緒にイベントを楽しんでいる。



リアのみ、デザインが気に入ったバタフライシステムを選ぶ。塗り分けでより立体感と個性を演出する。

SPECIFICATIONS WHEEL ●AW(18×5.5J+45) TIRE ●ナンカン(165/35-18) AERO PARTS ●F/S=ダブルブラッド・リアル加工、R=バタフライシステム・黒死蝶 EXTERIOR ●テールレンズ=ヴァレンティ SUSPENSION ●車高調&リアアクスル=イデアル MUFFLER ●バタフライシステム MAKING SHOP ●MORE



小さな2連ダクトを入れる。さらに塗り分けしているのが自慢。エアロはダブルブラッド。

4WDを2WDに換えて、こだわりの車高に

バンパーにはレックスをモチーフにした1型ディライトを切り込む。メーターサのオレンジリムが印象的。



AH23S
ワゴンRスティングレー
平成20年式
OWNER
西巻達也さん
(新潟県)



「4WDでは落ちきらないので、今回2WDにしました」。今度は内装を手がける予定とか。



見にくい場所だが、ルーフも黒とシルバードで塗り分ける。こういう場所も気を抜かない。



SPECIFICATIONS WHEEL ●イリスインターナショナル・メデューサIW1(17×5.5J+45) TIRE ●ヨコハマ(165/40-17) AERO PARTS ●F/S=ダブルブラッド・リアル加工、R=バタフライシステム・黒死蝶 EXTERIOR ●ウイング=ハーテリー、ヘッドライト=ワンオフ、テールレンズ=ヴァレンティ SUSPENSION ●車高調=RS-R、リアアクスル=ジェーライン MUFFLER ●ワンオフ



L700S
ミラ
平成13年式
OWNER
斉藤はじめさん
(滋賀県)

Y32セド改で有名だった斉藤さん。チーム「ロイヤリティ」としても頑張っている。



高級感を取り入れる



フォグまわりはN-WGNの純正バンパーをカットして移植。メッキの光沢が高級感をアップさせる。



リアシートを取っ払い、ウーハーボックスを鎮座させる。サウンドだけでなく、イルミネーションでも魅せる。



ヘッドライトには大きめのプロジェクターを装備し、迫力ある目力を獲得した。表面はスモークにして引き締める。



シートはレカロのコンフォート。フルバケットではなく、高級感あるタイプを選び、張り替える。

SPECIFICATIONS WHEEL ●BBS-RS(15×7J+30) TIRE ●ATR-K(165/45-15) AERO PARTS ●F/S/R=ワンオフ EXTERIOR ●ヘッドライト&テールレンズ=LED加工、フェンダー=ワンオフ INTERIOR ●シート=レカロ張り替え、フロアマット=MIC SUSPENSION ●車高調=ケイブレイク MAKING SHOP ●ガレージロイヤリティ

- 開催日:9月21日(月・祝)
- 開催場所:トラックアート歌麿群馬店駐車場
(群馬県伊勢崎市)
- 主催:トラックアート歌麿・はろーすべしやる

ベースは同じながらまったく別ジャンルであるデコトラ系軽トラとドレスアップ系軽トラが、一同に会したイベントが開催された。当日は関東を中心に200台を超える軽トラが大集合。異なるジャンルの交流会だったが、お互いのクルマをチェックしあったりして、大いに盛り上がったのだ。

オフ会だよ!軽トラ大集合& 第2回軽トラック野郎ミーティング



DA63T
キャリイ
平成23年式

OWNER
大木克彦さん
(千葉県)

迫力の外向き荷台オーディオ



地元の腕利きショップ、B-DASHで作ってもらった外向き荷台オーディオが自慢という大木さん。



荷台は丸ごとオーディオBOXに。ここまで本格的に作り込んでいる軽トラは見たことがない。ウーファーは好きなブランドのダイコック。



室内はステアリングから天井まで徹底的にオールホワイト仕様。エアコンのつまみまで白く塗るこだわりぶり。



中央にはオーディオ部品が収まるが、左右のバーは実はネオン管で、夜ともなれば縦横無尽に光が踊りまわる。

エアロと2連フェンダーダクトは知る人ぞ知るラストステーション。ホイールは旧車ちっくなエイトシックスを履く。

SPECIFICATIONS WHEEL ●はろーすべしやる・エイトシックス(14×7J) AERO PARTS ●F/S/R=ラストステーション
EXTERIOR ●テールレンズ=ハロースペシャル、その他=オーバーフェンダー、板ハネ、ライトカバー INTERIOR ●
シートカバー=ホワイト張り替え、パネル=オールホワイト SUSPENSION ●車高調=ファイナルコネクション
MAKING SHOP ●B-DASH

渋みをきかせたヤンチャ仕様



TT1
サンバー
トラック
平成16年式

OWNER
石川富国さん
(埼玉県)

「これからも旧車&ヤンチャ仕様で頑張ります」と石川さん。今後は顔面チェンジに挑戦したい。



ブラックボディにはグリーンフレックをたっぷり入れている。ホイールは段リムが洗いワークのエクイップ。リアはなんと9Jの極太サイズ。



天井は特注のブラックレザー&グリーンダイヤストレッチ。外観とのコーディネートもばっちりだ。



マッドRのバンパーの先に、さらにはろすべのチンスボをドッキング。地面との距離は1センチもない。



SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・エクイップ01(14×F7J-8、R9J-11) TIRE ●フェデラル(F155/55-14、R185/55-14) AERO PARTS ●F/R=マッドR+はろーすべしやるチンスボ、S=マッドR+クラウン改 EXTERIOR ●ウイング=はろーすべしやる、フェンダー=マッドR INTERIOR ●ステアリング=ナルディ、シート=特注張り替え SUSPENSION ●車高調=シュビーゲル加工 MUFFLER ●ウィルズウイン MAKING SHOP ●Remix

S500P
ハイゼット
トラック
平成24年式
OWNER
かおりさん
(埼玉県)

全車エアロ装着で目立って配送中 ハヤブサ運輸

埼玉で運送業を始めて、今年で7年目を迎えるハヤブサ運輸。現在、5台の軽トラが稼働しているが、すべてエアロ装着車だというから驚きだ。埼玉の人なら見たことあるんじゃないかな。



かおりのハイゼットは仕事クルマであり、イベント車でもあるのだ。注目されるのは嬉しいとのこと。

ハヤブサ運輸スタッフのかおりさん。普段はこのS500系ハイゼットに乗ってケーキなどの洋菓子を運んでいる。「目立ちますけど、慣れちゃいましたね」。エアロは翔プロデュースの200系用を加工して装着し、ホイールは渋さが光るワークのエクイップ15インチ。保冷庫の上のウイングはハコスカ用だ。



普段はケーキを運んでいます！



ハヤブサ運輸の代表でもあるハヤブサGTさん。「このサンバーも仕事で使ってたんですけど、やり過ぎちゃって今はもう完全に遊びクルマです」。TT2系サンバー用のパーツは少なく「中古部品を見つけてきては、自分で加工して付けています。軽トラはそれができるから面白いですね」。荷台で目立つ大きなウイングはR34スカイライン用だ。



TT2
サンバー
平成16年式

OWNER
ハヤブサGTさん
(埼玉県)



アンダーウイングはランサー用のリアルーフを逆さ付けて加工。違和感なく収まっているから不思議だ。バンパーは完全ワンオフ。

仕事に趣味に、話せば話すほど軽トラ愛を感じさせるハヤブサGTさん。スタッフのドレスアップも手がけちゃうのだとか。

仕事に趣味に軽トラ愛が炸裂

珍しい保冷車ベースのキャリイ改



DA63T
キャリイ
平成15年式

OWNER
恩田裕太さん
(新潟県)

ボディカラーはレクサス純正のミディアムグリーン。荷台のBOXはしっかりと保冷してくれるそうです。



ターボエンジンに載せ替えたためタコメーターや水温、水温などの各種メーターを新設している。



SPECIFICATIONS WHEEL ●スポークタイプ(14×5.5J) AERO PARTS ●F/S/R=ケイブレイク・コンプリートブラチナム EXTERIOR ●テールレンズ=自作フルLED INTERIOR ●ステアリング=イタルボランテ SU SPENSION ●車高調=オリジナル MUFFLER ●JIC加工



エアロはブラックスをフル装備。ボディカラーはキラキラ輝くキャンディオレンジだ。「次はガルウイングを予定しています」と石渡さん。

DB52T
キャリイ
平成12年式

OWNER
石渡 清さん
(神奈川県)



内装もオレンジ色で統一。シフトノブには懐かしい水中花をセット。ダッシュボードは植毛塗装だ。



SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・エクイップ03(15×7J+7) TIRE ●ヨコハマ(165/50-15) AERO PARTS ●F/S/R=KCTレーディングカンパニー・ブラックス EXTERIOR ●ヘッドライト=純正 DA62用、テールレンズ=はろーすペシャ、フェンダー=オーバーフェンダー INTERIOR ●ステアリング=モモ、SUSPENSION ●車高調=ティン加工 MUFFLER ●GTカープロデュース

キャンディオレンジが鮮やか



軽トラとは思えないゴージャスな室内。パネルの赤黒塗装などは、すべてオーナーが自作したというから驚き。



星が飛んでいるようなアイラインはガレージNOBUのオリジナル。ウインカー時には、さらにその威力を発揮しよう。

赤と黒のワンオフキャリイ



DA63T
キャリイ
平成16年式

OWNER
矢田部貴尋さん
(栃木県)

お仕事は理容師という矢田部さん。これからはオーディオ関係に力を入れたいという。



エアロは純正バンパーから型どりして作った品もの。リアバンパーもワンオフで日産キューブ用テールを埋め込む。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ロンシャンXR-4(14×F7J+1、R8J-2) TIRE ●ヨコハマ(165/55-14) AERO PARTS ●F/S/R=ガレージNOBUワンオフ EXTERIOR ●テールレンズ=キューブテール移植、フェンダー=はろーすベリヤ加工 INTERIOR ●シートカバー=ベレッツァ MUFFLER ●ワンオフセンター3本出し MAKING SHOP ●ガレージNOBU

右が旦那さん、左が奥さんの63キャリイ
どちらも翔プロエアロで完全武装



夫婦で楽しむツインズ翔プロ仕様

夫婦で軽トラドレスアップを楽しんでいるのは兵庫県の芦原夫妻。旦那さんの康史さんは「SMALL TRACK King」という軽トラクラブのリーダーをしていて、

この日は兵庫からはるばる遠征して参加。翔プロデュースのツインズ仕様のように並べられた2台のDA63キャリイはやはり注目を集めていたぞ。

DA63T
キャリイ
平成16年式

OWNER
芦原夫妻さん
(兵庫県)



翔プロデュースの金岡社長とは大の仲良しという芦原夫妻。往復1400キロのロングツーリングを一緒にしたというのだから、その親密さがうかがえる。

道なき道を突き進む クロカン軽トラ

悪路をものともせず突き進むクロスカンリース仕様の2台。雪道、泥道などの悪路もガンガン走破するそのポテンシャルは、もはや軽トラのジャンルを超えているかも。



公認を取れば公道も走れるが、キャタピラがゴムのためアスファルトを走らせるとスグに削られるという。

DA16T
BEAST
CARRY
ビースト
キャリイ



坂道や泥道だってガンガン進むぞ

ジムニーカスタムで有名な京都のファイナルビーストが手がけたクロカンキャリイ。ベースは新型のDA16系のダンプ仕様。得意のリフトアップと前後にオリジナルのルーバーで武装。さらにフロントバンパーにはウ

インチ、荷台には小型クレーンも装備している。実際に農業で働くオーナーからのリクエストで作ったそうで、その走破性と利便性はかなりのものだろう。前後のオーバーフェンダーで、軽トラとは思えない存在感だ。

日本初のキャタピラが付いた軽トラ

北海道の人気ショップ、フィールが展示したキャタピラ仕様の63キャリイはイベント会場でも注目的。ゴム性のキャタピラはカナダ製で、フィール独自のアタ

ッチメントによって簡単に脱着ができるという。ぬかるんだ農場や雪道では抜群の走破性を発揮する。費用はパーツ代含め110万円から応相談とのことだ。

DA63T
CRAWLER
CARRY
クローラー
キャリイ



北海道 SWEET GARAGE FEEL スイートガレージフィール
☎011-776-4220 <http://www.sweetgarage-feel.com>



京都府 Final BEAST ファイナルビースト
☎0771-83-9313 <http://www.final-beast.com>



油圧クレーンで荷物の上げ下げもカンタン。今は実際に農作物を運んだりしているのだから。



ベストデコトラ賞を獲得した名車



夢観光

ベストデコトラ賞を獲得した長野県の「夢観光」。飾りのラッセルバンパーやロケットはほぼハンドメイドらしく、その迫力はもはや軽トラックのそれではない。20年近くリニューアルを繰り返しながら進化しており、アートトラック界ではかなりの有名車だそうだ。さらに8ナンバー取得で、ほぼこのままの状態ですぐに車検に通るというから驚き。

押し出しのある黒ボディを見よ



迫力あるブラックボディが際立つ「香織丸」。あえてアンドンなどは付けずにシンプルなハコ型バンパーで魅せている。S210系のハイゼットのダンプ仕様をベースにしており、実際に土砂などを運んでいるようなリアル感がある。リアは丸型テールが配置され、大型の泥よけがユニーク。押し出しのある男のデコトラという感じだ。



バンパーの白い部分にはこれから文字が入るのだろうか？上部はステンレス板でカバーする。

香織丸



左右が見にくいのではないかとと思うくらいの巨大なバイザーが特徴。ベースはハイゼットトラック。



ドア横に「生鮮」と書いてあるので、魚などを運んでいるのかも。ステンレスバンパーが輝いている。

唯一無二の存在感 デコトラの 魅力

今回のイベントのもうひとつで主役でもあるデコトラ系の軽トラを大紹介。ほとんどがワンオフ仕上げで、その存在感はまさに唯一無二。ドレスアップとは違う世界だが、同じベース車でここまで世界感が変わるの面白い。



奥利根恋道中



シートカバーの花柄チンチラは、見る人が見れば激シブな仕様だ。小径ウッドも懐かしい。



背面に大きく「大和魂」と描かれる。カットティングではなく、直接ペイントしている。



昭和の香りを残すレトロアート系

「夢観光」が最先端をいくスーパーアート系なら、「奥利根恋道中」は昭和の香り、いわゆる映画「トラック野郎」の雰囲気をもしたレトロアート系といえる。屋根の上のアンドンや丸みのあるマーカーランプをあえて使って、当時のスタイルを再現しているようだ。室内のチンチラ貼りにも当時仕様が感じられる。



NEW PARTS Information !!

ニュー パーツ インフォメーション

欲しいが見つかる!

pregia tissimo

プレジアティシモ

問:ループ ☎0725-90-2888
http://www.pregiatissimo.jp



▲Ptクラウンステッカー

シンプルデザインにワンポイントとなる王冠をあしらった新作ステッカー。このさりげないおしゃれさがプレジアティシモらしさ。こちらも「Kスベ1月号」を見た、で限定10名まで1080円になるキャンペーンを実施中だ。

価格●1296円
サイズ●約70mm×200mm

▼Ptブラッシュアップボンネット

スポーティなフロントフェイスを演出するダクト付きボンネットに待望の23ステイグレイ用が追加。別売りのボンネットスポイラーとも同時装着が可能だ。限定10名まで「Kスベ1月号」を見た、で4万9896円になるキャンペーン中。

価格●7万1280円
対応●MH23S ワゴンRステイグレイ



「Kスベ見た」で
キャンペーン
価格!!

GLANZ

グランツ

問:バタフライシステム ☎092-943-1888
http://www.butterfly-system.com



▼LA150S ムーヴカスタム

人気のハーフシリーズから、遂にLA150S用が登場。フロントはハーフ、アイライン、グリルの3点構成で、しっかりと変わった感を演出する。リアは作り込み十分のセンターパートに専用のLEDを装備し全方位隙ナシ。

- フロントハーフスポイラー 3万7800円
- リアハーフスポイラー 3万7800円
- フロントグリル 3万7800円
- アイライン 1万2960円
- 専用LED レッドレンズセット 1万2960円

Beat-Sonic

ビートソニック

問:ビートソニック ☎0561-75-1655
http://www.beatsonic.co.jp

▼DLK10A



純正のポジションランプを保安基準に適合する明るさで常時点灯させ、デライト可するキット。純正のランプを使用するので後付け感がなく、取り付けはカプラーオンなので初心者でも手軽にチャレンジできそう。

価格●1万5000円 対応●MR31S ハスラー
※価格は税抜き

Dear.me

ディアミー

問:ブローデザイン ☎0725-20-0522
http://www.blowdesign.co.jp

▼スマートキーケース(仮)



ブローデザインのインテリアブランド・ディアミー生地を使ったスマートキーケース。キーケースとしてだけでなくコインケースとしても使えるのが特徴だ。カラーは全6色をラインアップ。ファン必携のアイテムだ。

価格●5000円
カラー●全6色
※価格は税抜き

To FiT

ツーフィット

問:ツーフィット ☎045-253-7945
http://www.to-fit.co.jp

▼カー金庫

A4サイズまでなら楽々収納できるクルマ用金庫。開閉キーは手動ダイヤルと電動リモコンのダブル構造としたことで高い安全性を誇る。取り付けはラゲッジベースなどに専用金具で固定する。

価格●9万8000円 ※価格は税抜き



PANDORA

パンドラ

問:パンドラ ☎048-798-0397
http://www.pandora-inc.com

▼エスパーファイブ

段付きのクラシックな雰囲気を醸しだせるリムに、捻りを加えたスポークを融合。ポリッシュされたリムとブラックのディスクによって1ピースながら組み立てホイールであるかのように見せているのがポイント。

価格●15×5J～17×7J(未定)
カラー●ブラック/リムポリッシュ

jufarre

ジュファール

問:シンケ ☎0725-53-3719
http://www.shinke-box.com



▼DA17W エブリイワゴン

シンケの現行エブリイワゴン用プログラムは程よいボリューム感でスタイルアップを狙うハーフスポイラー。フロント、サイド、リアのほかにスポーティな意匠のフロントグリルと64でも人気を集めたユーロボンネットを用意する。

- フロントアンダースポイラー 3万円
 - サイドスポイラー 5万円
 - リアアンダースポイラー 3万3000円
 - フロントグリル 2万8000円
 - ユーロボンネット 3万8000円
- ※価格は税抜き



モータースポーツのファン感謝デー

ホンダレーシング サンクスデイ2015



一年間の応援に感謝を込めてホンダモータースポーツがファンに贈る一大イベント。聖地・ツインリンクもてぎを舞台に2輪、4輪のドライバーが登場するのはもちろんのこと、車庫入れチャレンジやエキシビジョンレースなど一日中楽しめるコンテンツが盛りだくさん。スペシャルゲストはゴールデンボンバーだ。

開催日●12月6日(日)
開催時間●8:00～16:00(予定)、
入場ゲートオープン6:30
開催場所●ツインリンクもてぎ(栃木県芳賀郡)
入場料●前売り券:2000円、当日券:2500円、
中学生以下無料

問:ホンダお客様相談センター ☎0120-112010
http://www.honda.co.jp

飛び込み

スクリーン情報

気軽に参加できる体験イベント

カロツツェリア エクスペリエンス2015



サイバーナビや楽ナビの体験、専用チューニングが施されたオーディオデモカーの試聴などカロツツェリア製品の魅力を余すことなく体験できるイベントがカロツツェリアエクスペリエンス2015。入場は無料、またオリジナルグッズのプレゼントもしているので、気軽に遊びに行ってみよう。このあとは仙台と札幌での開催を予定。

12月5日(土) 11:00～16:00
夢メッセみやぎ(宮城県仙台市)
2016年1月24日(日) 11:00～16:00
札幌グランドホテル(北海道札幌市)

問:パイオニアカスタマーサポートセンター ☎0120-944-111 http://carrozzeria.jp

